学科課程カリキュラム
及び
授　業　計　画

【共通総合教育科目】

（鹿児島キャンパス）

[履修にあったての遵守事項]
　我が国の大学教育は単位制度を基本としており、1 単位あたり 45 時間の学修を要する内容をもって構成することが標準とされている。ここでいう1 単位あたりの学修時間は、授業時間内の学修時間だけでなく、その授業の事前の準備学修・事後の準備復習を合わせたものとなっている。この主旨を踏まえ、各教科の履修に当たっては、授業計画を参考に予習・復習に努め、1 単位当たりの学修時間を確保することに努めること。

２０１７年度

（平成２９年度）

第一工業大学

２　学科課程カリキュラム

(1)　共通総合教育科目

（情報電子システム工学科（情報工学ビジネスコース除く。）、自然環境工学科、建築デザイン学科）

凡例	②：集中講義　○：共通総合必修　●：指定学生履修 ☆：教職必修　★：教職選択 区分最低修得単位：科目区分毎の修得すべき最低単位数（必修＋選択）

科目区分		科目番号	授業科目	科目単位	週授業時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必選科目	修得単位区分最低		教職課程 中学 技術	高校 工業	高校 情報
自己発見力	人との関わり	0166	世界の地理と歴史	(2)		2								6	全科目から6単位			
		0158	やさしい哲学	2			2											
		0152	現代社会に生きる倫理	2				2										
		0551	体育実技Ⅰ	1			2									☆	☆	☆
		0552	体育実技Ⅱ	1				2								☆	☆	☆
	社会との関わり	0165	政治と文化	(2)		2												
		0252	現代社会の諸相	(2)		2												
		0253	日本国憲法	2					2							☆	☆	☆
		0254	法学	2						2								
		0912	経営学総論	2		2												
		0915	技術と経営	2			2											
		0935	マーケティング論	2				2										
		0919	情報メディアの活用	(2)				2										
工学基礎力	基礎学力	0380	修学基礎	1	2								○	12				
		0387	数学入門	4	4								●					
		0382	工学基礎数学（微分積分学）	4		4							●					
		0372	微分積分学	4		4							○					
		0383	応用微分積分	2		2							●					
		0375	線形代数	2		2												
		0388	基礎物理	4	4								○					
		0362	化学入門	2			2											
		0363	高分子化学	2				2										
	技術者入門	0255	技術者倫理	1						2			○					
		0251	産業と人間	2	2													
社会人基礎力	国際化	0471	英語入門演習	2	4								●	12				
		0472	実用英語	4		4							○			☆	☆	☆
		0473	総合英語Ⅰ	2			2											
		0474	総合英語Ⅱ	2				2										
		0475	英会話入門	2					2									
		0476	基礎英会話	2						2								
		0477	実用英会話	(2)	海外語学研修等													
		0478	ビジネス英語Ⅰ	2			2											
		0479	ビジネス英語Ⅱ	2				2										
		0460	基礎ドイツ語	2	2													
		0461	ドイツ語	2		2												
		0065	日本語講座Ａ	4	4	4			留学生のみ開講									
		0066	日本語講座Ｂ	4			2	2	留学生のみ開講									
	キャリア教育	0159	コミュニケーション技術Ⅰ	1	2								○					
		0160	コミュニケーション技術Ⅱ	1						2			○					
		0917	インターンシップ（事前指導）	1	②													
		0920	インターンシップ	2	ポイント制で単位付与													
		0927	地域企業インターンシップ	2	②													
		0925	地域社会貢献活動	2	ポイント制で単位付与													
		0928	地域貢献演習	2	②													
		0918	就業力演習	2					2				○					
		0934	ベンチャービジネス論	2					②									
一般教養			他大学等履修科目，その他指定する科目	(4)										0				
共通総合教育科目　計				89									18	30	6			
														36				

(2)　共通総合教育科目（鹿児島キャンパス）

（情報電子システム工学科(情報工学ビジネスコース)）

凡例	②：集中講義　○：共通総合必修　●：指定学生履修 区分最低修得単位：科目区分毎の修得すべき最低単位数（必修＋選択）

科目区分		科目番号	授業科目	科目単位	週授業時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必選科目	修得単位	区分最低
自己発見力	人との関わり	0158	やさしい哲学	2			2							6	全科目から4単位
		0152	現代社会に生きる倫理	2				2							
		0551	体育実技Ⅰ	1			2								
		0552	体育実技Ⅱ	1				2							
	社会との関わり	0252	現代社会の諸相	(2)		2									
		0254	法学	2						2					
		0912	経営学総論	2		2									
		0915	技術と経営	2			2								
工学基礎力	基礎学力	0380	修学基礎	1	2								○	8	
		0387	数学入門	4	4								●		
		0388	基礎物理	4	4										
		0362	化学入門	2			2								
		0363	高分子化学	2				2							
	技術者入門	0255	技術者倫理	1						2			○		
		0251	産業と人間	2	2										
社会人基礎力	国際化	0471	英語入門演習	2	4								●	18	
		0472	実用英語	4		4							○		
		0473	総合英語Ⅰ	2			2								
		0474	総合英語Ⅱ	2				2							
		0475	英会話入門	2					2						
		0476	基礎英会話	2						2					
		0460	基礎ドイツ語	2	2										
		0461	ドイツ語	2		2									
		0065	日本語講座Ａ	4	4	4			留学生のみ開講						
		0066	日本語講座Ｂ	4			2	2	留学生のみ開講						
	キャリア教育	0159	コミュニケーション技術Ⅰ	1	2								○		
		0160	コミュニケーション技術Ⅱ	1						2			○		
		0917	インターンシップ(事前指導)	1	②										
		0920	インターンシップ	2	ポイント制で単位付与										
		0927	地域企業インターンシップ	2	②										
		0925	地域社会貢献活動	2	ポイント制で単位付与										
		0928	地域貢献演習	2	②										
		0918	就業力演習	2					2				○		
		0934	ベンチャービジネス論	2					②						
		0935	マーケティング論	2				2							
一般教養			他大学等履修科目，その他指定する科目	(4)										0	
共通総合教育科目　計				71									10	32	4
														36	

(3)　共通総合教育科目

（航空工学科、機械システム工学科）

凡例	②：集中講義　○：共通総合必修　●：指定学生履修　◎：パイロット資格コース必修科目 ☆：教職必修　★：教職選択　※教職「中・高数学」は航空工学科航空宇宙工学コースのみ受講 区分最低修得単位：科目区分毎の修得すべき最低単位数（必修＋選択）※( )内はパイロット資格コース

科目区分		科目番号	授業科目	科目単位	週授業時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修科目	修得単位区分最低		教職課程 中学 技術	中学 数学	高校 工業	高校 数学
自己発見力	人との関わり	0166	世界の地理と歴史	(2)		2								6 (2)	全科目から6単位				
		0158	やさしい哲学	2			2												
		0152	現代社会に生きる倫理	2				2											
		0551	体育実技Ⅰ	1			2									☆	☆	☆	☆
		0552	体育実技Ⅱ	1				2								☆	☆	☆	☆
	社会との関わり	0165	政治と文化	(2)		2													
		0252	現代社会の諸相	(2)		2													
		0253	日本国憲法	2					2							☆	☆	☆	☆
		0254	法学	2						2									
		0912	経営学総論	2		2													
		0915	技術と経営	2			2												
		0935	マーケティング論	2				2											
		0919	情報メディアの活用	(2)				2											
工学基礎力	基礎学力	0380	修学基礎	1	2								○	8 (6)					
		0387	数学入門	4	4								●						
		0382	工学基礎数学(微分積分学)	4		4							●						
		0372	微分積分学	4		4							●				★		★
		0383	応用微分積分	2		2							●				★		★
		0375	線形代数	2		2											★		★
		0388	基礎物理	4	4								○						
		0362	化学入門	2			2												
		0363	高分子化学	2				2											
	技術者入門	0255	技術者倫理	1						2			○						
		0251	産業と人間	2	2														
社会人基礎力	国際化	0471	英語入門演習	2	4								●	12 (18)					
		0491	英語入門演習(操)	2	4								◎						
		0472	実用英語	4		4							○			☆	☆	☆	☆
		0492	実用英語(操)	4		4							◎						
		0473	総合英語Ⅰ	2			2												
		0493	総合英語Ⅰ(操)	2					2				◎						
		0474	総合英語Ⅱ	2				2											
		0494	総合英語Ⅱ(操)	2					2				◎						
		0475	英会話入門	2					2										
		0495	英会話入門(操)	2	2								◎						
		0476	基礎英会話	2						2									
		0496	基礎英会話(操)	2		2													
		0477	実用英会話	(2)			海外語学研修等												
		0497	実用英会話(操)	2			②						◎						
		0478	ビジネス英語Ⅰ	2			2												
		0498	ビジネス英語Ⅰ(操)	2							2								
		0479	ビジネス英語Ⅱ	2				2											
		0460	基礎ドイツ語	2	2														
		0461	ドイツ語	2		2													
		0065	日本語講座Ａ	4	4	4			留学生のみ開講										
		0066	日本語講座Ｂ	4			2	2	留学生のみ開講										
	キャリア教育	0159	コミュニケーション技術Ⅰ	1	2								○						
		0160	コミュニケーション技術Ⅱ	1						2			○						
		0917	インターシップ(事前指導)	1			②												
		0920	インターンシップ	2			ポイント制で単位付与												
		0927	地域企業インターンシップ	2			②												
		0925	地域社会貢献活動	2			ポイント制で単位付与												
		0928	地域貢献演習	2			②												
		0918	就業力演習	2					2				○						
		0934	ベンチャービジネス論	2					②										
一般教養			他大学等履修科目、その他指定する科目	(4)										0					
共通総合教育科目計				107									14 (24)	26	6				
														32					

１　共通総合教育科目

（情報電子ｼｽﾃﾑ工学科（情報工学ﾋﾞｼﾞﾈｽｺｰｽを除く。）、自然環境工学科、建築ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科）

教科番号	0166	授業科目：世界の地理と歴史　（ History of World ）
開講時期	後期	（　全　）学科（ 1 ）年（ 2 ）単位　担当者：　石田尾　博夫

【授業の到達目標】

・人類の出現と進化，古代オリエント文明、ギリシア文明，ローマ世界の発展などを理解できる。
・キリスト教とイスラーム教の発展、西ヨーロッパ世界とイスラーム世界との交流等を理解できる。
・今日のパレスチナ問題や中東問題等の国際紛争の歴史的・地理的な背景等を理解できる。

【授業の概要】

文明の衝突が人類を進歩させ，歴史が築かれていく。世界の歴史の時代を大きく動かした歴史事象について学習し，その原因と結果，そして地理的視野の拡大を考察しながら，地理・歴史の面白さを理解し，考察する。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	東アジア	東アジアのあらまし 中国と周辺諸国、地誌	テキストを読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
2	東南アジア	東南アジアのあらまし 東南アジア各国地誌	テキストを読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
3	西南アジア	西南アジアのあらまし 西南アジア各国地誌	テキストを読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
4	中央アジア	中央アジアのあらまし 中央アジア各国地誌	テキストを読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
5	ヨーロッパ	ヨーロッパのあらまし ヨーロッパ各国地誌 小テストの実施	テキストを読みまとめる 授業の内容を復習する 小テストの準備	60 60
6	1～5回までのまとめ	演習問題の解答、解説とまとめについてディスカッションにより理解を深める	演習問題を解き理解を深める ディスカッションの内容をまとめる	120 60
7	中南部アメリカ	中南アメリカのあらまし 中南アメリカ各国地誌	テキストを読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
8	北アメリカ	北アメリカのあらまし アメリカ、カナダ地誌	テキストを読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
9	ロシアと周辺諸国	ロシア周辺諸国のあらまし ロシアと周辺諸国地誌 小テストの実施	テキストを読みまとめる 授業の内容を復習する 小テストの準備	60 60
１０	アフリカ	アフリカのあらまし アフリカ各国地誌	テキストを読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
１１	オセアニア	オセアニアのあらまし オーストラリア、ニュージーランド地誌	テキストを読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
１２	両極地方	北極、南極のあらまし 北極、南極地誌	テキストを読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
１３	日本	日本の地誌	テキストを読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
１４	7～13回までのまとめ	演習問題の解答、解説とまとめについてディスカッションにより理解を深める	演習問題を解き理解を深める ディスカッションの内容をまとめる	120 60
１５	まとめ	まとめと総括 小テストの実施	小テストの準備 ノートの整理とまとめ	60 120

【テキスト】　授業中に随時資料配布

【参考書・参考資料等】　授業中に紹介

【成績評価基準・方法】　授業の進度に応じてのレポート提出や小テスト（40%），試験（60%）等で総合的な評価を行う。

教科番号	0158	授業科目：やさしい哲学 (Introduction to Philosophy)
開講時期	前期	（ 全 ）学科（2）年 （2）単位 担当者：知念 潔

【授業の到達目標】

西洋近代の二大源流である、ギリシア哲学とキリスト教の思想を、それぞれ、具体的にソクラテス、プラトン、アリストテレスの哲学、そしてユダヤ教、キリスト教の基本的な事柄を開設する。哲学の基本的述語を易しく解説して哲学的な表現を理解できるようにする。

【授業の概要】

かみ砕いた講義によって哲学の初歩を理解させる。既習の事項や用語の意味を尋ねて身についているか確かめる。アクチュアルなテーマを講義中に投げかけ、それに対して、哲学的な思考をして自分の意見をまとめさせてみる。

また、アクティヴ・ラーニングについても考慮して積極的に取り入れていきたい。

【授業要旨】

回数	題目	授業内容	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1	序章	哲学　西洋思想　東洋思想　西洋思想の二大源流	哲学の語源　東西の思想の根本的相違（有と無）を復習	９０分
2	古代ギリシアの思想	エートス　黄金時代　ペロポネソス戦争とエートスの衰退	エートスの意味を復習	９０分
3	ソクラテス	デルポイの神託　無知の知　神託の意味	無知の知の意味	９０分
4	ソクラテス	問答法　ソクラテス裁判	問答法の意味	９０分
5	ソクラテス	ソクラテスの死	死の意義	９０分
6	プラトン	プラトンの論理主義　霊肉二元論　ソクラテスの生き方についてディスカッション	ソクラテスのまとめ	９０分
7	プラトン	イデア　エロス　ソクラテスからプラトンへ	イデア、エロスの意味	９０分
8	プラトン	想起説　無意識の世界	アナムネーシスの意味	９０分
9	プラトン	魂の三部分説　馬車の比喩	三部分説とは？	９０分
１０	プラトン	哲人政治　理想国家	哲人政治とは？	９０分
１１	アリストテレス	現実主義　質料と形相	質料と形相の意味	９０分
１２	アリストテレス	心の構造　植物的心；動物的心；人間的心	心の構造とは？	９０分
１３	アリストテレス	中庸の徳と習慣　ヘブライズム	中庸の意味	９０分
１４	キリスト教	ユダヤ教の特徴　キリスト教について論じる	どんな特徴がある？	９０分
１５	キリスト教	ユダヤ教からキリスト教へ　悔い改めと信仰	悔い改めとは？	９０分

【テキスト】　テキストは特別に定めない。担当教官の講義ノートから、授業中に、それを板書し解説する。

【参考書・参考資料】講義中に適宜紹介。書店で入手しやすい古典を紹介する。

【成績評価基準・方法】　ノートのまとめかた（三回提出）（３０％）、　出席状況（２０％）、
テスト（５０％）で総合的な評価を行う。

教科番号	0152	授業科目：現代に生きる倫理　（　Ethics in the modern society　）
開講時期	後期	（　全　）学科　（2）年　（2）単位　担当者：　知念　潔

【授業の到達目標】

現代に生きる者にとって問題になる倫理を基礎づける、西洋近代の思想と倫理を、その成り立ちからカントによる完成までをあとづける。その際、その二大源流である、経験論と合理論を順次、解説し、それぞれの利点と欠点を明らかにして、カントによるその統合と、近代倫理学の確立を解説する。

【授業の概要】

易しくわかりやすい解説で近代哲学、ならびに、倫理学の内容と用語を行ってゆく。内容と用語の意味するところを身につけ、自己を表現する時の、重要にして必要な語彙にしてもらいたい。現下のアクチュアルな実際問題へのテーマを講義中に提起し、それに対して倫理的思考を適用して、自分の意見をまとめてみさせる。アクティブな主体的な、積極性を喚起したい。

回数	題目	授業内容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	序章	近世　神中心か人間中心へ	目的論とは？　形相と質料の意味は？	９０分
2	ベーコン（1）	近代科学の成立　知は力なり	経験論とは？　合理論とは？	９０分
3	ベーコン（2）	四つのイドラ	種族のイドラとは？　洞窟のイドラとは？　市場のイドラとは？　劇場のイドラとは？	９０分
4	ロック	経験論　ターブラ・ラサ	ターブラ・ラサとは？	９０分
5	ヒューム	経験論の徹底　懐疑論	懐疑論とは？	９０分
6	デカルト（1）	デカルトの生涯　方法論　デカルトから近代哲学が始まると言われるの何故か、考えてみよう	Method とは何だろう？	９０分
7	デカルト（2）	我思う、故に、我あり　四つの準則	明証性、分析、総合、枚挙、それぞれの規則とは？	９０分
8	デカルト（3）	学問の木　暫定的道徳	学問の木とは？	９０分
9	デカルト（4）	情念の制御　自覚と訓練	情念とは？　訓練とは？	９０分
10	デカルト（5） スピノザ（1）	高邁の精神　スピノザの神　理神論	高邁の精神とは？　理神論とは？	９０分
11	カント（1）	カントの生涯	三批判書とは？	９０分
12	カント（2）	模写説と構成説	構成説とは？　感性とは？　悟性とは？	９０分
13	カント（3）	構成説の意義と限界	もの自体(Ding an sich)とは？	９０分
14	カント（4）	人間の二重性　自然因果と自由因果 カントに始まる自由に対する新しい考えを深く反省して自覚してみよう	自由因果とは何か？	９０分
15	カント（5）	仮言命法と定言命法	現代に生きる倫理とは何か？	９０分

【テキスト】　テキストは特別に定めない。担当教官の講義ノートから、授業中に、板書し解説する。

【参考書・参考資料】　講義中に適宜紹介。書店で入手しやすい古典を紹介する。

【成績評価基準・方法】ノートのまとめ方（三回提出）（３０％）、出席状況（２０％）、テスト（５０％）で総合的に評価する。

教科番号	0551	授業科目：体育実技Ⅰ（ Physical education practice Ⅰ ）
開講時期	前期	（ 全 ）学科（2）年（1）単位 担当者： 岩元真一、神之門 均

【授業の到達目標】

・生涯生活での健康に基づく体育の役割を理解する。

・社会生活の基本的なルールに基づく協調性を養う。

【授業の概要】

人生における生涯生活の中で健康に基づく体育の役割を認識させ、運動（特に、トレーニング、持久走）の実践により、心身の発達を促し、よりよい社会生活の基本的なルールを会得し、学生相互の協調性を養成して集団生活及び個人生活を養う。霧島山麓の自然の中で、体力づくりを実施することにより、心身のリフレッシュと社会性を養う。

また、学習課題としての予習・復習については、毎回の授業内容の復習を兼ねて自主的にトレーニングを行い心身の健康管理や体力づくりに生かせるようにする。

【授業要旨】

回数	題　目	授 業 内 容
1	散歩	城山　アスレチック～城山～アスレチック　個人の体力を知る
2	筋力トレーニング(1)	腕力（腕立、腹筋、背筋、馬跳び等）自己の体力の衰えを知る
3	筋力トレーニング(2)	脚力（サージャントジャンプ、スクワット、変形スタートダッシュ）
4	筋力トレーニング(3)	脚力（サージャントジャンプ、スクワット）
5	スポーツテスト	個々人の体力測定結果を知る
6	持久走 or トレーニング(1)	2kmx2 周（体育館～一高～中央高）補助トレーニング
7	持久走 or トレーニング(2)	2kmx2 周、補助トレーニング
8	持久走 or、バスケット、バレーボール	4km　向花方面（体育館～中央高から向花小折返）補助トレーニング　学生相互間の和を養う
9	持久走 or ウオーキング	6km　城山方面（体育館～中央高～国分高～城山折返）
10	持久走 or ウオーキング	7km　日当山方面（体育館～重久～日当山～向花～体育館）
11	持久走 or ウオーキング	8 km　鹿児島神宮（体育館～向花参宮橋～神宮折返）
12	持久走 or ウオーキング、マット運動	10km　清水～城山（森林浴を兼ねる）柔軟性の欠点を知る
13	アスレチック	アスレチック器具を使用して持久力を高める
14	早朝城山	学生生活と社会性の変化を知る
15	夜間歩行	歩くことにより、集団生活と協調性を養う（森林浴を兼ねる）、 60 ㎞（国分～霧島～高千穂河原往復）

【テキスト】

プリント

【参考書・参考資料等】

なし

【成績評価基準・方法】

履修状況等を総合的に判断して評価する。

教科番号	0552	授業科目：体育実技Ⅱ（ Physical education practice Ⅱ ）
開講時期	後期	（ 全 ）学科（2）年（1）単位 担当者： 岩元真一、神之門 均

【授業の到達目標】

・生涯生活での健康に基づく体育の役割を理解する。

・社会生活の基本的なルールに基づく協調性を養う。

【授業の概要】

人生における生涯生活の中で健康に基づく体育の役割を認識させ、運動（特に、トレーニング、持久走）の実践により、心身の発達を促し、よりよい社会生活の基本的なルールを会得し、学生相互の協調性を養成して集団生活及び個人生活を養う。霧島山麓の自然の中で、体力づくりを実施することにより、心身のリフレッシュと社会性を養う。

また、学習課題としての予習・復習については、毎回の授業内容の復習を兼ねて自主的にトレーニングを行い心身の健康管理や体力づくりに生かせるようにする。

【授業要旨】

回数	題 目	授 業 内 容
1	散歩	城山 アスレチック～城山～アスレチック
2	・バレーボール 1	・理論による技術の解説
3	・バレーボール 2	・実技指導と学生相互の和を養う
4	・バスケットボール 1	・理論による技術の解説
5	・バスケットボール 2	・実技指導と集団プレーを養う
6	・バドミントン 1	・理論による技術の解説
7	・バドミントン 2	・実技指導と学生相互の和を養う
8	・テニス 1	・理論による技術の解説
9	・テニス 2	・実技指導と学生相互の和を養う
10	・サッカー 1	・理論による技術の解説
11	・サッカー 2	・実技指導と集団プレーを養う
12	・ソフトボール1	・理論による技術の解説
13	・ソフトボール 2	・実技指導と集団プレーを養う
14	体育講義 1	健康と体力について知識等を理解させる
15	体育講義 2	今後の体力増進について知識等を理解させる

【テキスト】 プリント

【参考書・参考資料等】 なし

【成績評価基準・方法】

履修状況等を総合的に判断して評価する。

教科番号	0165	授業科目：政治と文化（Politics and Culture ）
実施期間	後期	（ 全 ）学科（1）年（2）単位　　担当者：

【授業の到達目標】

・政治学の諸概念、専門用語について理解し、それらを用いて政治現象の実際を説明できるようにする。また、社会の構成員として必要な問題解決力と表現力が身につくようにする。

・民主主義概念の歴史的変容を前提として、政治学のカバーする多様な問題をできる限り包括的に取上げることによって、個別科学としての政治学のアウトラインを理解してもらう。

【授業の概要】

・政治現象が、人間社会に随伴する社会現象であるとともに、身近なものであることを理解した上で、先達の政治研究の成果から政治現象をより深く理解できるようにしたい。

・主に制度論を中心に取り上げ、国情による政治文化の差異も理解する。

・講義事項はすべて板書するので、必ずノートを準備されたい。

【授業要旨】

回数	題　　目	講　義　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	政治体制とは何か	はじめに J・リンスの政治体制論	開講にあたっての注意喚起 講義内容の説明	２０ ７０
2	議院内閣制と大統領制①	イギリス、アメリカの政治体制	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
3	議院内閣制と大統領制②	フランス、ドイツの政治体制	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
4	議院内閣制と大統領制③	ロシア、中国の政治体制	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
5	選挙制度①	選挙の原則・意義・機能	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
6	選挙制度②	選挙区制度	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
7	政党と政党制① 発表と討論	政党の定義と機能 講義で扱った項目について自ら調べた成果を発表し、それを評価する。	前回講義の復習 講義内容の説明 発表と討論	１０ ８０ ９０
8	政党と政党制②	政党の類型と発達史	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
9	圧力団体①	圧力団体の定義・機能	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
10	圧力団体②	圧力団体の種類	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
11	マス・デモクラシー①	マス・デモクラシー成立の要因と歴史的背景	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
12	マス・デモクラシー②	政治構造の変容	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
13	マス・デモクラシー③	マスコミの機能と問題点	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
14	民主主義と「参加」①	直接民主主義と間接民主主義	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
15	民主主義と「参加」② 発表と討論	現代民主主義論とエリート 講義で扱った項目について自ら調べた成果を発表し、それを評価する。	前回講義の復習 講義内容の説明 発表と討論	１０ ８０ ９０

【テキスト】　砂原庸介、稗田健志、多胡淳『政治学の第一歩』（有斐閣ステゥディア、2015 年）

【参考書・参考資料等】　・川出良枝, 谷口将紀編『政治学』（東京大学出版会、2012 年）
・佐々木毅『政治学講義　第 2 版』（東京大学出版会、2012 年）

【成績評価基準・方法】　期末試験 80%、平常点 20%（出席・レポート）の総合評価

教科番号	0252	授業科目：現代社会の諸相（Various Aspects of Modern Society）
実施期間	後期	（ 全 ）学科（1）年（2）単位　　担当者：

【授業の到達目標】

・政治学の諸概念、専門用語について理解し、それらを用いて政治現象の実際を説明できるようにする。また、社会の構成員として必要な問題解決力と表現力が身につくようにする。

・民主主義概念の歴史的変容を前提として、政治学のカバーする多様な問題をできる限り包括的に取上げることによって、個別科学としての政治学のアウトラインを理解してもらう。

【授業の概要】

・政治現象が、人間社会に随伴する社会現象であるとともに、身近なものであることを理解した上で、先達の政治研究の成果から政治現象をより深く理解できるようにしたい。

・講義事項はすべて板書するので、必ずノートを準備されたい。

【授業要旨】

回数	題　目	講　義　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	政治とは何か①	はじめに 政治の定義	開講にあたっての注意 喚起 講義内容の説明	２０ ７０
2	政治とは何か②	政治の機能	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
3	政治とは何か③	実体概念と関係概念	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
4	権力①	サイモンとラズウェルの権力観	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
5	権力②	イーストンとパーソンズの権力観	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
6	権力③	アレントとルークスの権力観	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
7	権力④	フーコーの権力観	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
8	支配と服従①、 発表と討論	支配の分類、支配の正当性 講義で扱った項目について自ら調べた成果を発表し、それを評価する。	前回講義の復習 講義内容の説明 発表と討論	１０ ８０ ９０
9	支配と服従②	支配・服従関係の安定化、エリート論	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
10	支配と服従③	リーダーシップ論	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
11	政治学の発展①	政治学の学問的特質、政治学固有の困難性	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
12	政治学の発展②	政治学の科学化	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
13	政治学の発展③	伝統的政治学と科学的政治学	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
14	政治学の発展④	システム論	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
15	政治学の発展⑤ 発表と討論	行動論革命と脱行動論革命、支配の正当性講義で扱った項目について自ら調べた成果を発表し、それを評価する。	前回講義の復習 講義内容の説明 発表と討論	１０ ８０ ９０

【テキスト】　砂原庸介、稗田健志、多胡淳『政治学の第一歩』（有斐閣ステゥディア、2015 年）

【参考書・参考資料等】　・川出良枝, 谷口将紀編『政治学』（東京大学出版会、2012 年）
・佐々木毅『政治学講義　第 2 版』（東京大学出版会、2012 年）

【成績評価基準・方法】　期末試験 80%、平常点 20%（出席・レポート）の総合評価

教科番号	0253	授業科目：日本国憲法（ The Constitution of Japan ）
開講時期	前期	（ 全 ）学科 (3) 年 (2) 単位　担当者：　中村　武四郎

【授業の到達目標】

将来の日本の発展に寄与する有為な形成者になるように、生徒を教え育む役割の教職を目指す学生諸君に、この日本国憲法の内容を習得してもらう。

【授業の概要】

基本的にはプリントを使用して講義をすすめ、折にふれて、日本国憲法に関係する時事的事柄にも、新聞の切り抜き等の資料を用いて触れることによって、学生諸君にこの日本国憲法をより深く理解してもらう。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	二本国憲法への導入	私たちの生活における憲法のかかわり	資料プリントを読み学習 本時授業の復習	７０ ２０
2	憲法の展開	大日本帝国憲法から日本国憲法の成立へ	プリント（１～２）を読み学習 本時授業の復習	７０ ２０
3	日本国憲法の基本原理	三大基本原理	プリント（２～３）を読み学習 本時授業の復習	７０ ２０
4	日本国憲法「前文」	日本国憲法の基本的な考え方	プリント（３～４）を読み学習 本時授業の復習	７０ ２０
5	第一章　天皇	日本国憲法第１条～第８条	プリント（５～６）を読み学習 本時授業の復習	７０ ２０
6	第二章　戦争の放棄	日本国憲法第９条	プリント（７～８）を読み学習 本時授業の復習	７０ ２０
7	１回～６回までのまとめ	まとめの問題の解答について討議し、理解を深める	まとめ問題を解き理解を深める 討議の内容をまとめる	６０ ３０
8	第三章　国民の権利及び義務（1）	日本国憲法第１０条～第２３条	プリント（９～１０）を読み学習 本時授業の復習	７０ ２０
9	第三章　国民の権利及び義務（2）	日本国憲法第２４条～第４０条	プリント（１１）を読み学習 本時授業の復習	７０ ２０
10	第四章　国会	日本国憲法第４１条～第６４条	プリント（１２～１３）を読み学習 本時授業の復習	７０ ２０
11	第五章　内閣	日本国憲法第６５条～第７５条	プリント（１４）を読み学習 本時授業の復習	７０ ２０
12	第六章　司法	日本国憲法第７６条～第８２条	プリント（１５）を読み学習 本時授業の復習	７０ ２０
13	第七章～第十一章、補則	日本国憲法第８３条～第１０３条	プリント（１６～１８）を読み学習 本時授業の復習	７０ ２０
14	日本国憲法の課題	日本国憲法の諸問題について討議し、理解を深める	課題について討議し・レポート作成 討議の内容をまとめる	７０ ２０
15	まとめ	まとめ　小テストの実施	プリント整理と総括 小テストの準備	７０ ２０

【テキスト】　プリント　資料

【参考書・参考資料等】　必要に応じ資料・プリントを配布

【成績評価基準・方法】　ノート記録状況と受講態度（30%）、小テスト（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0254	授業科目：法学（ Law ）
開講時期	後期	（ 全 ）学科 (3) 年 (2) 単位　担当者：　中村　武四郎

【授業の到達目標】

・法の常識的知識を身につけ，これからの社会での生活に役立てられることを目標とする。

【授業の概要】

学生の皆さんには，新聞を読んだりテレビ等を視聴したりすることを督励し，授業でも各法律に関連して，できる限り身近な時事的出来事を題材に取上げ，より理解を深めやすいような講義とする。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	法の分類	日本国憲法・民法・刑法などの我が国における法の分類	プリント（1）を読み学習 本時授業の復習	７０ ３０
2	基本六法について	日本国憲法・民法・刑法・商法・民事訴訟・法刑事訴訟法の概観と法学への導入	プリント（2）を読み学習 本時授業の復習	７０ ３０
3	日本国憲法	前期で学習した日本国憲法についての復習	プリント（2）を読み学習 本時授業の復習	７０ ３０
4	民法 (1)	総則についての解説	プリント(3～6)を読み学習 本時授業の復習	７０ ３０
5	民法 (2)	物権・債権についての解説	プリント(7～9)を読み学習 本時授業の復習	７０ ３０
6	民法 (3)	親族・相続についての解説	プリント(10～11)を読み学習 本時授業の復習	７０ ３０
7	１回～６回までのまとめ	まとめの問題の解答について討議し、理解を深める	まとめ問題を解き、理解を深める 討議の内容をまとめる	９０ ３０
8	刑法 (1)	刑法の役割、犯罪の成立要件（行為・構成要件）	プリント（１２）を読み学習 本時授業の復習	７０ ３０
9	刑法 (2)	犯罪の成立要件（違法性・責任）	プリント（１３）を読み学習 本時授業の復習	７０ ３０
10	商　法	企業関係における諸問題	プリント（１４）を読み学習 本時授業の復習	７０ ３０
11	刑事訴訟法･民事訴訟法	犯罪の捜査、裁判（公判）、裁判で言い渡された刑の執行。民事訴訟の機構及び作用	プリント（１５）を読み学習　本時授業の復習	７０ ３０
12	労働法	労働法の意義、労働組合、労働契約、労働災害及びその補償	プリント（１６）を読み学習 本時授業の復習	７０ ３０
13	手形・小切手法	手形・小切手の経済的機能	プリント（１７）を読み学習 本時授業の復習	７０ ３０
14	諸法律の課題	普段の生活における法律とのかかわりについて討議し、理解を深める	課題について討議し、レポート作成 討議の内容をまとめる	１２０ ６０
15	まとめ	小テスト まとめと総括	小テストの準備 プリント整理とまとめ	９０ ３０

【テキスト】　プリント、資料

【参考書・参考資料等】　プリント配付

【成績評価基準・方法】　ノート記録状況&受講態度（30%）、レポート（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0912	授業科目：経営学総論（business administration introduction）
開講時期	後期	（ 全 ）学科（1）年（2）単位　　担当者：　石田尾　博夫

【授業の到達目標】
・企業経営の基本的考えについて理解を深め、企業を取り巻く経営環境、企業の社会的責任についても理解ができる。

【授業の概要】
近年、わが国の企業を取り巻く環境は、益々その厳しさを増しつつある。このような状況のもとで、企業の中には、生産・販売などの経営活動を合理的・経済的に維新するとともに、組織の革命、管理の科学化に取り組み、業績を伸ばしているものが見られる。そこで、本講義では、企業の成長発展の基礎となる経営者の理念、経営環境との関連性、経営戦略、経営意志決定、リーダーシップなどについて学ぶ。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	経営学の世界	経営資源、会社と企業の区別。 経営と管理の区別。	テキスト(P1~2)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	経営学と経済学	企業の３機能、企業の利益と経営効率、経営学と経済学。	テキスト(P3~6)を読みまとめる。 授業の復習をする。	３０ ６０
3	経営組織	経営組織の形態（ライン・スタッフ）CEO/COO、リーダーシップ論。	テキスト(P7~9) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
4	経営構造の発展（1）	職能別組織、事業部制組織、マトリックス組織。	テキスト(P10~13) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	経営構造の発展（2）	SBU、アントレプレナー。	テキスト(P12~13)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ３０
6	経営戦略（1）	事業戦略（５つの競争戦略・競争戦略の３類型)	テキスト(P14~21) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
7	１回～６回までのまとめ	演習問題の解答・解説とまとめについてディスカッション等で理解を求める。	演習問題を解き理解を深める。 ディスカッションの内容をまとめる	１２０ ６０
8	経営戦略（2）	CSR,PPM 分析	テキスト(P27~29) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
9	経営戦略（3）	SWOT 分析	テキスト(P30~31) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
10	マーケティング論（1）	マーケティングの４P、４C	テキスト(P32~33) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
11	マーケティング論（2）	サプライチェーン・マネジメント（SCM)	テキスト(P73~74)を読みまとめる。 授業の内容を復習をする。	３０ ６０
12	マーケティング論（3）	POP システム、プッシュ・プル戦略	テキスト(P40~41) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
13	マーケティング論（4）	M&A,AIDMA 理論	テキスト(P41) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
14	経営学の課題	日本型経営の特徴と現状経営を比較し課題を理解する。	海外で活躍する日本企業の経営、企業の社会的責任等レポートにまとめる。	１２０ ６０
15	まとめ	まとめと総括、小テストの実施	小テストの準備。 ノートの整理とまとめ。	６０ １２０

【テキスト】講義ノート「経営学」石田尾　博夫編　日本経済大学刊

【参考書】　授業中に適宜配布する。

【成績評価基準・方法】　ノート取得状況・レポート（30%）、テスト（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0915	授業科目：技術と経営　(Technology and Management)
開講時期	前期	(　全　) 学科 (2) 年 (2) 単位　担当者：當金一郎

【授業の到達目標】　現代社会の技術を取り巻く概況を国内外に渡って認識する。大学で修めた技術を実社会で効果的に生かすことができるように技術経営の基本を理解する。

【授業の概要】技術と経営とは一見すると結びつきにくいように感じるが、現代の経営の多くは技術と密接に関わるものが多い。日本企業が国際競争力を取り戻すには、「経営感覚のある技術者」が握っていると云われている。本講義では、技術と経営の両方の視点で活躍できる技術者の育成を目指して議論を進めていく。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習復習）	時間（分）
1	技術と経営	技術者に求められる経営管理とは	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	ＭＯＴとは何か	Management of Technology の視点、ＭＢＡとの違いは	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
3	市場環境と技術経営	市場ニーズ、価値連鎖、新製品開発	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
4	技術戦略とは(1)	技術戦略とは、技術戦略策定のプロセス	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	技術戦略とは(2)	競争優位の技術戦略、技術投資の意思決定	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
6	研究開発マネジメント	研究開発とは。研究開発予算管理、製品開発プロセス	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
7	１回～6回のまとめ	社会状況の変化と理解促進。ディスカッション	授業前半総括、課題の検討と発表、ディスカッション	９０
8	知的財産マネジメント(3)	製品開発の組織、知的財産権マネジメント	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
9	アライアンスマネジメント	外部企業利用の必要性、アライアンスの種類と形態	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
10	生産マネジメント	生産管理とは、工程管理、作業管理	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
11	生産マネジメント	品質管理、資材購買管理	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
12	ＣＴＩの基礎	コンペティティブ・テクニカル・インテリジェンス	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
13	プロジェクトマネジメント	プロジェクトマネジメントの手法、研究開発の効率化	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
14	レピュテーションマネジメント	企業の社会的責任（ＣＳＲ）、企業市民	授業の全体総括とグループディスカッション。	９０
15	まとめ	学修のまとめと総括	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０

【テキスト】　「技術経営論入門　わかりやすいMOTの考え方」阿部隆夫著　(森北出版)

【参考書・参考資料等】技術経営論：藤末健三（生産性出版）．コンペティティブ・テクニカル・インテリジェンス：菅澤嘉男（コロナ社）．レピュテーションマネジメント：(日本実業出版社)．バランススコアカード入門：吉川武男（生産性出版）．技術マネジメント入門：三澤一文（日経文庫）．技術士制度における総合技術監理部門の技術体系：(日本技術士会)．通勤大学MBA11,MOT:総合法令

【成績評価基準・方法】受講態度(20%)、レポート、小テスト(20%)、最終評価試験(60%)を行い、総合的な評価を行う。

教科番号	0935	授業科目：マーケティング論（Marketing Theory）
開講時期	後期	（全）学科（2）年（2）単位　担当者：　石田尾　博夫

【授業の到達目標】マーケティングの基本的な分析手法を知る。企業におけるマーケティングの役割、IT 社会におけるマーケティングの特徴を理解する。

【授業の概要】マーケティングとは「企業が価値を創造し、提供し、他の人々との交換することを通じて、消費者が望むニーズ、ウォンツを満たすこと」である。分りやすく言えば、「起業家とって最適な目標市場を導きだして利益を上げるために」「消費者の行動分析、競合企業との競争分析、自社の経営資源分析を行うこと」となる。この視点に立って、より具体的に例を挙げながらマーケティングについて解説する。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習復習）	時間（分）
1	マーケティングコンセプト	マーケティングの定義、マーケット戦略、顧客の視点	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	マーケティングの必要性	生産志向、製品志向、販売志向、顧客志向	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
3	マーティング環境分析	PEST 分析、５フォーセズ、3C,	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
4	マーティング環境分析	SWOT 分析、マズローの欲求５段階説	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	ターゲット市場の選定	セグメンテーション	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
6	ターゲット市場の選定	ターゲティング、ポジショニング	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
7	マーケットミクスの最適化	４P の整合性とは	授業前半総括、課題の検討と発表、ディスカッション	９０
8	戦略的マーケティング	製品戦略	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
9	マーケティング・ミックス	価格戦略	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
10	マーケティング・ミックス	流通戦略	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
11	マーケティング・ミックス	コミュニケーション戦略、AIDMA、AMTUL、損益分岐点	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
12	マーケティングのキーワード	リサーチ、CRM、RFM 分析	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
13	インターネット・マーケティング	サービスマーケティングの 6P とは	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
14	さまざまなマーケティング	サービス、品質の見える化	授業の全体総括とグループディスカッション。	９０
15	まとめ	学修のまとめと総括	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０

【テキスト】　講義ノート「マーケティング論」：石田尾博夫著（日本経済大学）

【参考書・参考資料等】ＭＢＡマーケティング：（ダイヤモンド社）．通勤大学 MBA2 マーケティング：青井倫一（総合法令）．コトラーを読む：酒井光男（日経文庫）．マーケティング活動の進め方：木村達也（日経文庫）．ベーシックマーケティング入門：相原修（日経文庫）．日経ビジネス誌.

【成績評価基準・方法】受講態度(20%)、レポート、小テスト(20%)、最終評価試験(60%)を行い、総合的な評価を行う。

教科番号	0919	授業科目：情報メディアの活用（Application of Information Media）
開講時期	後期	（全）学科（２）年（２）単位　　担当者：當金　一郎

【授業の到達目標及びテーマ】

(1)学校図書館と関連する情報メディアの種類と特性について理解する。

(2)学校図書館と関連する情報メディアの活用の方法について考察を行う。

【授業の概要】

本講義では、教育現場で活用される様々な情報メディアの種類、特性、活用法について知り、併せて司書教諭として学校図書館の運営を担う立場から必要とされる様々な課題、問題点について理解させることを狙いとして講義を行う。

授業計画

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	はじめに	司書教諭科目の概要と本科目の位置づけ 学校図書館の役割と機能	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	高度情報化社会の構造	高度情報化社会の定義、高度情報化社会における学校教育のありかた	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
3	情報と情報メディア	情報および情報メディアの定義 情報メディアの種類と歴史的変遷	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
4	学校教育と情報メディア(1)	学校教育において利用される情報メディアの種類、各情報メディアの特徴	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	学校教育と情報メディア(2)	学校教育における情報メディア活用の事例分析、情報メディアの教育的効果	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
6	学校教育と視聴覚メディア	視聴覚メディアの種類と特徴 学校教育における視聴覚メディア活用の場面と効果	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
7	教育用ソフトウェア(1)	教育用ソフトウェアの種類と特徴及び活用時の教育的効果	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
8	教育用ソフトウェア(2)	E-learning ソフトウェア Moodle の紹介 Moodle を使った教育の効果の検証	レポートを作成する。 授業の内容を復習する。	１２０ ６０
9	データベースシステム(1)	データベースシステムとファイルシステムの違い、各種データベースシステムの定義と特徴	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
10	データベースシステム(2)	リレーショナルデータベースモデルの概要、図書館における図書の分類の方法	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
11	データベースシステム(3)	学校図書館におけるデータベースシステム、学校図書館における図書検索及び情報検索のサービス	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
12	インターネットを利用した情報検索	Google、Amazon、質問回答サイト、国立情報学研究所等を用いた図書検索と情報検索のやり方	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
13	著作権の定義と範囲	知的財産権とは、著作権の定義と各種事例紹介	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
14	インターネットにおける情報発信	ブログ、ホームページ、ＳＮＳ等を用いた情報発信、情報発信と個人情報保護および著作権保護	各自でレポートを作成し、グループで討議する。 授業の内容を復習する。	１２０ ６０
15	まとめと評価	授業のまとめと総合評価	小テストの準備。 ノートの整理とまとめ。	６０ １２０

【テキスト】　情報メディアの活用と展開（学校図書館図解・演習シリーズ）中山伸一　青弓社

【参考書】なし

【成績評価基準・方法】　ノート取得状況&受講態度（30%）、小テスト（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0380	授業科目：修学基礎　（ School Foundation ）
開講時期	前期	（ 全 ）学科（1）年（ 1 ）単位　　担当者：　各学科教員

【授業の到達目標】

大学における修学や生活に取り組む態度・心構えを身につけ、自己管理力を養成し、自己実現に向かって積極的かつ実践的に取り組むことができるようにする。

また、卒業後、技術者として将来の目標を設定する必要性を学び、希望する専門領域を確定し、その学習のための事前準備を含めた履修計画や行動を自ら立案し実行することができるようにする。

【授業の概要】

大学生として自主的に学び，考え，行動するための基礎を築き，卒業後の自分の姿を具体化し，目標を明確にする手助けとする。

履修方法の指導，講義を受けるための基礎となるノートの取り方，テキストの読み方，レポートの書き方などを学ぶ。また，外部講師等の講話を聴講し，4年間の学生生活を心身ともに健康に過ごすための方策とする。

図書館をはじめとした大学の諸施設の見学や利用方法を学び，自分の目的に応じて学習環境を利用できるようになることを目指す。

また、アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	イントロダクション	・大学で学ぶ意義、講座の目的を知る。 ・各学科教員の紹介と教員の経験に基づく訓話。 ・将来の目標について考える。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	学生生活での危機対策（全学科620教室）	・大学生活で陥りやすい問題（薬物乱用等）の正確な知識を得て、退学処分等を受けることなく勉学を全うするための心構えを学ぶ。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。 （担当者：外部講師）	３０ ６０
3	学生生活と心の健康（全学科620教室）	・青年期における悩みや不安についての理解とその対応（ストレスマネジメント）について学ぶ。 ・学生相談室の概要と利用の仕方について。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。 （担当者：切手）	３０ ６０
4	スタディ・スキルを身につけよう（全学科620教室）	・人類を人間として発達させた「ことば」の意味を考え、ことばでノートをとる技能のイロハをやってみる。	４００字以内で抱負を書いてくる。（提出） 主張文構造を復習する。 （担当者：岩橋）	６０ ６０
5	学科・コースの紹介	・卒業後を見据えた各コースの紹介。 ・先輩たちの就職先の紹介。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
6	単位の修得等	・単位の修得（４年間のコースごとの単位習得についてのシュミレーションを提示）、テストの受け方やレポートの書き方。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
7	修学・生活態度	・1年間の学習計画、行動計画をワークシートにしたがって書き、提出させる。それに基づいてクラスアドバイザーとの面談を後日行う。	資料を読みまとめる。 面談内容をまとめて復習する。	６０ ６０
8	情報収集の仕方	・図書館の利用の仕方、インターネットの利用の仕方。実際に学科ごとに図書館とコンピュータルームに行って、簡単な利用上の説明を受けた後、レポート作成などの具体例を挙げてより詳しく図書館、インターネットの活用法を学ぶ。	資料を読みまとめる。 図書館利用やインターネットの活用法をまとめて復習する。	６０ ６０

【テキスト】　随時資料配付

【参考書・参考資料等】　なし

【成績評価基準・方法】　ノート取得状況&受講態度（50%）、レポート（50%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0387	授業科目：数学入門（ Introductory Mathematics ）
開講時期	前期	（全）学科（1）年（4）単位　担当者：竹下俊一・福永知哉

【授業の到達目標】

工学全般に必要な微積分学や線形代数を学ぶ上で必要な基礎的な事項を学び、高等学校数学からのなめらかな接続をめざす。

【授業の概要】

高等学校までの学習において、履修科目や習熟度の差があることに配慮し、基礎的な事項の定着をめざす。論理的な説明はなるべく簡略にし、基礎事項の学習や問題演習に時間をかけ、計算力の習熟をめざす。工学や日常の例をできるだけ取り上げ、興味を持って学べるよう工夫する。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	数や量の概念	数と寮の計算、人割合、いろいろな数量関係	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
2	式とグラフ	１次式・２次式・分数式、式とグラフ・方程式	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
3	式と計算　1	整式の加法・減法・乗法・展開、因数分解	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
4	式と計算　2	整式の除法、因数定理、３次以上の方程式	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
5	式と計算　3	グラフと不等式、1 次不等式、2 次不等式、	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
6	三角関数　1	三角比、一般角と弧度法、単位円と三角関数	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
7	三角関数　2	三角関数の相互関係、三角関数の性質	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
8	三角関数　3	三角関数のグラフ、三角関数の方程式・不等式	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
9	三角関数　4	単位円と三角関数、加法定理	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
10	三角関数　5	2 倍角・半角、積⇔和・差、合成	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
11	三角関数　6	単位円と逆三角関数、逆三角関数の値	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
12	11 回までのまとめ	演習問題の解答･解説とまとめについてディスカッションを行い理解を深める。	演習問題を解説し発表する。 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
13	指数・対数関数１	累乗と累乗根、指数法則、指数の拡張	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
14	指数・対数関数２	指数関数の性質、指数関数のグラフ	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
15	指数・対数関数３	指数関数と対数関数、対数の性質	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
16	指数・対数関数４	対数関数のグラフ、対数の応用	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
17	16 回までのまとめ	演習問題の解答･解説とまとめについてディスカッションを行い理解を深める。	演習問題を解説し発表する。 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
18	ベクトル　1	ベクトルの加法・減法・実数倍	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60

19	ベクトル　　2	座標平面、座標空間、ベクトルの成分表示	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
20	ベクトル　　3	内積の定義、内積の性質、計算法則	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
21	ベクトル　　4	成分と内積、内積の応用	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
22	21 回までの まとめ	演習問題の解答･解説とまとめについてディスカッションを行い理解を深める。	演習問題を解説し発表する。 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
23	ベクトル　　5	図形とベクトル､直線や曲線のベクトル方程式	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
24	複素数　　1	複素数、複素数の計算、複素数と方程式の解	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
26	複素数　　2	複素数平面､複素数平面における加法・減法	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
27	複素数　　3	複素数の極形式表示、ド･モアブルの定理とベキ乗根	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
28	複素数　　4	指数関数表示、極表示、オイラーの定理	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
29	複素数　　5	指数関数表示、極表示、オイラーの定理	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
30	まとめ	まとめと総括。小テストの実施		60 120

【テキスト】　実教出版　「理工系の基礎数学」

【参考書・参考資料等】　　なし

【成績評価基準・方法】　ノート取得状況&受講態度（30%）、小テスト（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0382	授業科目：工学基礎数学（微分積分学）(Fundamental mathematics for technology)
開講時期	後期	（全）学科（1）年（4）単位　担当者：　竹下俊一・福永知哉

【授業の到達目標】

工学全般に必要な数学の基礎的な事項を学び、工学の学習に対応できる数学的な思考力・表現力・計算力を養う。

【授業の概要】

高等学校で数学Ⅰしか学習していない学生にも配慮した授業内容で、工学を学ぶ上で必要な数学の基礎的な事項を学ぶ。また、微積分や線形代数の学習につながるような基礎事項の学習や問題演習を通した計算力の習熟を目指す。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1	関数とグラフ1	比例・反比例、２次関数、グラフの平行移動	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
2	関数とグラフ2	三角関数、指数関数、合成関数	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
3	関数とグラフ3	逆関数、無理関数、	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
4	関数とグラフ4	逆三角関数、対数関数	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
5	関数とグラフ5	グラフの合成、双曲線関数	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
6	５回までのまとめ	演習問題の解答･解説とまとめについてディスカッションを行い理解を深める。	演習問題を解説し発表する。 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
7	微分法　1	関数の極限、平均変化率	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
8	微分法　2	関数の定義、変化率	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
9	微分法　3	いろいろな関数の微分	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
10	微分法　4	積の微分，商の微分	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
11	微分法　5	合成関数の微分、逆関数の微分	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
12	11回までのまとめ	演習問題の解答･解説とまとめについてディスカッションを行い理解を深める。	演習問題を解説し発表する。 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
13	微分の応用1	接線と法線および関数の増減と極大・極小	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
14	微分の応用2	高次導関数と陰関数の微分法	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
15	微分の応用3	曲線の凹･凸･変曲点および平均値の定理と不定形の極限値	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
16	16回までのまとめ	演習問題の解答･解説とまとめについてディスカッションを行い理解を深める。	演習問題を解説し発表する。 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
17	不定積分1	原始関数、不定積分、不定積分の基本公式、および問題演習	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
18	不定積分2	置換積分および問題演習	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60

19	不定積分3	部分積分および問題演習	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
20	定積分　1	三角関数の変形公式、三角関数の積分および問題演習	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
21	定積分　2	有理関数の積分（部分分数分解）および演習問題	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
22	定積分　3	無理関数の積分および問題演習	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
23	定積分　4	定積分の定義、定積分の性質、定積分の基本定理	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
24	工学系の基礎数学　1	航空工学に関する数学	演習問題を解説し発表する。 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
26	工学系の基礎数学　2	機械工学に関する数学	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
27	工学系の基礎数学　3	情報電子工学に関する数学	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
28	工学系の基礎数学　4	土木工学に関する数学	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
29	工学系の基礎数学　5	建築工学に関する数学	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
30	まとめ	まとめと総括。小テストの実施		60 120

【テキスト】　実教出版　「理工系の基礎数学」

【参考書・参考資料等】　　なし

【成績評価基準・方法】　ノート取得状況&受講態度（30%）、小テスト（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0372	授業科目： 微分積分学（Calculus）
開講時期	後期	（ 全 ）学科（1）年（4）単位 担当者： 山元 完二

【授業の到達目標】

微分積分の基本的な概念を学び、微分積分を利用して、初等関数についての理解を深める。

【授業の概要】

論理性に深入りせず、具体例による直観的な概念理解を深め、工学の分野へ利用する姿勢を養う。高校で微分積分学を学習していない、または、学んだが理解が不十分な学生にも十分配慮し、興味を持って取り組み、自ら計算し、思考することができるよう工夫する。予習への取り組みを促し、主体的な学習姿勢を育てる。

【授業要旨】

回数	題 目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	いろいろな関数	整関数、分数関数、無理関数、三角関数、指数関数、対数関数	テキスト（P.1～5）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
2	関数の極限	関数の極限、右極限・左極限	テキスト（P.6）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
3	関数の連続	区間、連続関数（点・区間で連続）、連続関数の四則、中間値の定理	テキスト（P.7～9）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
4	微分の基本公式	微分の定義、微分の基本公式、展開して項別微分	テキスト（P.10～13）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
5	積・商の微分	積の微分、商の微分	テキスト（P.14～16）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
6	合成関数の微分	合成関数、合成関数の微分	テキスト（P.16～18）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
7	三角関数	三角関数を含む式の極限、三角関数の導関数	テキスト（P.20～22）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
8	逆三角関数	逆関数の概念、逆関数の導関数、逆三角関数	テキスト（P.34～35）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
9	逆三角関数の微分	逆三角関数の導関数（逆正弦関数・逆余弦関数・逆正接関数）	テキスト（P.36～37）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
10	1 回～9 回までのまとめ	今まで学習した箇所の演習問題を学生が黒板に書き，考え方等を学生自身が説明する。	より良い方法がないかを学生どうし議論する。	120 60
11	対数関数の微分	ネピア数、自然対数、対数関数の微分	テキスト（P.22～28）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
12	指数関数の微分	対数関数と指数関数、指数関数の微分、対数微分法	テキスト（P.31～33）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
13	双曲線関数	双曲線関数とその導関数および対数微分法	テキスト（P.43）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
14	高次導関数	第ｎ次導関数、いろいろな関数の高次導関数	テキスト（P.61～62）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
15	変化する量と微分	速度・加速度、接線の傾き、媒介変数表示、陰関数の微分	テキスト（P.70～72）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
16	微分と近似	変化する量と微分、近似計算、工学への応用例	テキスト（P.72～75）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
17	11 回～16 回までのまとめ	今まで学習した内容について，演習問題を学生が黒板に書き，考え方等を説明する。	より良い考え方がないかを学生どうし議論する。	120 60
18	基本的な不定積分	原始関数、不定積分、不定積分の基本公式、 展開して項別積分	テキスト（P.78～81）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
18	分数・無理関数の積分	分数関数・無理関数の積分基本公式	テキスト（P.106～108）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60

19	置換積分①	置換積分のいろいろ	テキスト（P.97～98）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
20	置換積分②	置換積分を利用した積分計算	テキスト（P.98～99）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
21	部分積分①	部分積分法（整関数と三角・指数・対数関数との積）	テキスト（P.100～103）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
22	部分積分②	部分積分を2回以上実行するタイプ、漸化式利用	テキスト（P.103～105）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
23	18 回～22 回までのまとめ	今まで学習した内容について，演習問題を学生が黒板に書き，考え方等を説明する。	より良い考え方がないかを学生どうし議論する。	
24	三角関数の積分①	三角関数の変形公式を利用した三角関数の積分	テキスト（P.92～94）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
25	三角関数の積分②	置換積分・部分積分の利用による積分	テキスト（P.109～111）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
26	有理関数の積分	部分分数分解、有理関数の積分	テキスト（P.106～107）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
27	無理関数の積分	無理関数の積分	テキスト（P.107～108）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
28	定積分の計算	基本的な定積分	テキスト（P.82～86）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
29	24 回～28 回までのまとめ	今まで学習した内容について，演習問題を学生が黒板に書き，考え方等を説明する。	より良い考え方がないかを学生どうし議論する。	120 60
30	すべてのまとめ	今まで学習した内容について疑問点，また関心を持った点を各自発表する。	演習問題を解き，より良い考え方がないかを議論する。	120 60

【テキスト】　「新　微分積分Ⅰ」　高遠節夫　（他）著　大日本図書

【参考書・参考資料等】　プリントを準備する

【成績評価基準・方法】

取り組みの姿勢や積極性（10%）、事前予習（15%）、演習課題（15%）、小テスト、中間・期末試験（60%）等により総合的に評価する。

教科番号	0383	授業科目：応用微分積分学（ Applied Calculus ）
開講時期	後期	（ 全 ）学科（ １ ）年（ ２ ）単位　担当者： 山元 完二

【授業の到達目標】

・定積分を用いて、面積や体積を求めるなど、求積問題に微分積分が応用できる。
・テイラー展開やマクローリン展開による関数の無限級数展開ができる。
・物理量や工学の分野への応用例を具体的に取り上げ、近似計算にもふれる。

【授業の概要】

「微分積分学」では「基本的な関数の微分および積分」の計算に習熟することを主眼としている。この後に続く「応用微分積分学」では、工学への応用を意識し、微積分を積極的に活用することができるようになることをめざす。そのため、できるだけ具体的な例を取り上げ、微積分の有用性を実感できるようにする。予習への取り組みを促し、主体的な学習姿勢（ＡＬ）の育成にも努める。

【授業要旨】

回数	題　目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	面積・曲線の長さ	曲線で囲まれた図形の面積、曲線の長さ	テキスト（P.115～121）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
2	立体の体積	立体の体積、練習問題	テキスト（P.122～128）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
3	媒介変数表示による図形	図形の媒介変数表示と面積・曲線の長さ・回転体の体積	テキスト（P.127～130）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
4	極座標表示	図形の極座標表示と面積・曲線の長さ	テキスト（P.131～136）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
5	広義積分	広義積分の定義と考え方	テキスト（P.137～139）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
6	変化率と積分	変化率（速度・加速度）と積分、練習問題	テキスト（P.140～141）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
7	1回～6回までのまとめ	6 回までの演習問題を学生が解き，それを板書して学生自身が解説する。	演習問題を解き理解を深める。 解説の内容をまとめる。	120 60
8	多項式による関数の近似（1）	1 次近似式，2 次近似式	授業の内容を復習する。	30 60
9	多項式による関数の近似（2）	ｎ次近似式	授業の内容を復習する。	30 60
10	数列の極限	無限数列，収束と極限値	授業の内容を復習する。	90
11	級数	部分和，等比級数	授業の内容を復習する。	90
12	べき級数	べき級数の収束，発散について	授業の内容を復習する。	90
13	テーラー展開とマクローリン展開	テーラー級数とマクローリン級数について	授業の内容を復習する。	90
14	オイラーの公式	テーラー展開からの発展	授業の内容を復習する。	90
15	8 回～14 回までのまとめ	14回までに出てきた演習問題を学生が解き，それを板書して学生自身が解説する。	演習問題を解き理解を深める。 解説の内容をまとめる。	120 60

【テキスト】　「新　微分積分Ｉ」　　高遠節夫ほか　　大日本図書

【参考書・参考資料等】　適宜、プリントを配布する。

【成績評価基準・方法】　取り組みの姿勢や積極性・出席状況（１０）、事前予習（１５）、演習課題（１５）、中間・期末試験（６０）等により総合的に評価する。

教科番号	0375	授業科目：線形代数　（ Linear Algebra ）
開講時期	後期	全学科（ １ ）年（ ２ ）単位　　担当者：山元　完二

【授業の到達目標】　行列、行列式の定義と基本性質、連立１次方程式との関係、余因子展開、逆行列、クラメールの公式、平面と空間のベクトルについて学ぶ。特に、２次または３次の行列や行列式の計算や活用ができるようにする。

【授業の概要】

高等学校の新学習指導要領から、行列がなくなったため、学生にとっては、全く新しい分野となる。丁寧な説明をこころがけ、基本的な概念や演算に習熟するように努める。解説はできるだけコンパクトに押さえ、問題演習にも十分時間をかける。数学の教職科目としての設定でもある。予習への取り組みを促し、主体的な学習姿勢（ＡＬ）の育成に努める。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1	行列の定義	行列の定義、行列の和・差・実数倍	テキストＰ．47～52 を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
2	行列の積	行列の型と行列の積、計算法則、演習問題	テキストＰ．53～58 を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
3	正方行列	転置行列　、逆行列、正則行列	テキストＰ．59～66 を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
4	連立 1 次方程式と行列	消去法、係数行列、行基本変形、	テキストＰ．68～72 を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
5	逆行列と連立１次方程式	逆行列と連立１次方程式	テキストＰ．73～79 を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
6	練習問題，行列式	練習問題２－Ａ，試験，行列式の定義	テキストＰ．80～83 を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
7	１回から６回までのまとめ	講義の内容や演習問題等で理解が不十分と思う所を発表し，互いに理解を深める。	良いアイディアを持った学生が皆の前で発表する。	120 60
8	行列式の定義と性質	行列式の定義(2)，行列式の性質	テキストＰ．84～92 を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
9	行列式の計算	行列の積の行列式，行列式の展開	テキストＰ．93～100 を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
10	行列式と逆行列	行列式と逆行列，連立１次方程式と行列式	テキストＰ．101～112 を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
11	平面のベクトル	ベクトルの成分	テキストＰ．1～9 を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
12	ベクトルの内積	定義、成分と内積，平行と垂直	テキストＰ．10～14 を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
13	図形への応用	位置ベクトル，直線のベクトル方程式	テキストＰ．15～20 を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
14	図形とベクトル	線形独立・線形従属,	テキストＰ．21～25 を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
15	8 回から 14 回までのまとめ	講義の内容や演習問題等で理解が不十分と思う所を発表し，互いに理解を深める。	良いアイディアを持った学生が皆の前で発表する。	120 60

【テキスト】

「新　線形代数」　　高遠　節夫　（他）著　　大日本図書

【参考書・参考資料等】

図書館を積極的に利用してください。書店で自分に適した本を購入し，テキストと並列で勉強する事も勧めます。

【成績評価基準・方法】

取り組みの姿勢や積極性・出席点(１０)、ＡＬ(予習)（１５）、宿題（１５）、試験（６０）等により総合的に評価する。

教科番号	0388	授業科目：基礎物理（ Basic Physics ）
開講時期	前期	（全）学科（1）年（4）単位　担当者：山田　猛矢、大脇　康博、福永　知哉

【授業の到達目標】

・ 力学・熱力学・波動学・電磁気学・原子物理を概念的に理解し、簡単な計算ができるようになる。
・ 物理分野全般の現象をイメージできるようになる。

【授業の概要】

身近な例や多くの絵によって、イメージ的に理解することを優先する。単位や三角関数などのおさらいから半導体や放射線まで、物理全般を直感的に説明する。専門外の技術課題に対してある程度理解ができ、将来、他分野の技術者と協働できるようになるために、どの分野の技術者も教養として知っておくべき物理を学ぶ。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	物理のための道具（1）	単位、有効数字、三角関数	テキスト(p1～4)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 120
2	物理のための道具（2）	指数関数、対数関数	テキスト(p5～7)を読みまとめる。 テキスト p8 の問題を解く。	90 150
3	力学の基本（1）	速度、加速度	テキスト(p9～12)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 120
4	力学の基本（2）	落下運動、反発係数	テキスト(p13～16)を読みまとめる。 テキスト p17 の問題を解く。	90 150
5	運動と力（1）	力、運動方程式、力のつり合い	テキスト(p18～22)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 120
6	運動と力（2）	慣性の法則、作用反作用の法則	テキスト(p23～24)を読みまとめる。 テキスト p25 の問題を解く。	90 150
7	圧力と回転	圧力、気圧、水圧、浮力, 力のモーメント、重心	テキスト(p26～32)を読みまとめる。 キスト p33 の問題を解く。	90 120
8	1～7 回までのまとめ	力学分野(力と運動方程式)についての工学分野の応用においてディスカッションを行い理解を深める。	力学分野(力と運動方程式)の復習。 ディスカッションの内容についてまとめる。	180 120
9	エネルギーと保存則（1）	仕事、仕事率、運動エネルギー、位置エネルギー	テキスト(p34～37)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 120
10	エネルギーと保存則（2）	弾性エネルギー、エネルギー保存の法則	テキスト(p38～39)を読みまとめる。 テキスト p40 の問題を解く。	90 150
11	運動量と慣性力（1）	運動量、力積、運動量保存の法則	テキスト(p41～43)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 120
12	運動量と慣性力（2）	相対速度、慣性力、遠心力	テキスト(p44～45)を読みまとめる。 テキスト p46 の問題を解く。	90 150
13	9～12 回までのまとめ	力学分野(エネルギー保存則, 運動量保存則)についての身近な物理現象においてディスカッションを行い理解を深める。	力学分野(エネルギー保存則, 運動量保存則)の復習。ディスカッションの内容についてまとめる。	180 180
14	気体分子の運動と熱（1）	熱運動、熱量保存の法則、ボイル・シャルルの法則	テキスト(p48～51)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 120
15	気体分子の運動と熱（2）	状態方程式、内部エネルギー、熱力学第１法則	テキスト(p51～54)を読みまとめる。 テキスト p56 の問題を解く。	90 150
16	波の性質と表し方（1）	振幅、波長、振動数、位相、横波・縦波	テキスト(p57～90)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 120
17	波の性質と表し方（2）	回折、反射、屈折、定常波、干渉	テキスト(p61～64)を読みまとめる。 テキスト p65 の問題を解く。	90 150
18	音と光（1）	音波、うなり、ドップラー効果	テキスト(p66～69)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 120
19	音と光（2）	光、全反射、レンズ、光の干渉	テキスト(p70～73)を読みまとめる。 テキスト p78 の問題を解く。	90 150

20	14～19 回までのまとめ	熱、波分野についての身近な物理現象においてディスカッションを行い理解を深める	熱、波分野の復習。 ディスカッションの内容についてまとめる。	180 180
21	静電気と力（1）	電子、静電気力、電気量保存の法則	テキスト(p79～80)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 120
22	静電気と力（2）	電場、電位	テキスト(p81～82)を読みまとめる。 テキスト p83 の問題を解く。	90 150
23	オームの法則、電気回路	自由電子、オームの法則、電力、アース、コンデンサー	テキスト(p84～90)を読みまとめる。 テキスト p93 の問題を解く。	90 120
24	電流と磁場（1）	磁場、コイル、右ねじの法則	テキスト(p94～96)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 150
25	電流と磁場（2）	フレミングの左手の法則、ローレンツ力、モーター	テキスト(p97～99)を読みまとめる。 テキスト p100 の問題を解く。	90 120
26	交流（1）	電磁誘導、誘導電流、交流電源	テキスト(p101～104)を読みまとめる。授業の内容を復習する。	90 150
27	交流（2）	自己誘導、相互誘導、電磁波	テキスト(p105～107)を読みまとめる。テキスト p108 の問題を解く。	90 120
28	原子物理	半導体、集積回路、放射線、放射性崩壊、半減期	テキスト(p109～113)を読みまとめる。テキスト p114 の問題を解く。	120 150
29	21～28 までのまとめ	電気、磁気分野について身近な物理現象を調べディスカッションを行い理解を深める。	電気、磁気分野の復習。 ディスカッションの内容についてまとめる。	180 120
30	総合演習、まとめ	総合問題演習とまとめと各専門分野とのつながりについて。	テキストの章末問題の解きなおし等，テストに備える。	240

【テキスト】　教養基礎シリーズ「まるわかり！基礎物理」時政孝行 監修 桒子 研 著　南山堂

【参考書・参考資料等】　授業中に適宜配布する。

【成績評価方法】　　試験（80%），授業態度(20%) で総合的な評価を行う。

教科番号	0362	授業科目： 化学入門（Introduction of Chemistry）
開講時期	前期	（ 全 ）学科（2）年（2）単位　　担当者： 切手 純孝

【授業の到達目標】
・原子の構造と電子軌道について理解を深め、物質の結合論と化学的性質についても理解ができる。
・物質の三態（固体・液体・気体）について、それぞれの基本的法則の理解ができる。また、理想気体の状態方程式を活用した応用的な問題も理解ができる。
・化学反応の定量的な取り扱いができる。特にモル濃度については実験の要素も含んだ理解ができる。

【授業の概要】
講義と演習によって精選した化学の基本概念を理解させ，専門科目の材料学を履修するための基礎を修得させる。さらに、小テストやディスカッションも取り入れて理解を深めさせる。また、アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。

【授業要旨】

回数	題　目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	物質の分類	純物質と混合物、単体と化合物、元素記号と元素名	テキスト(P2~10)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	物質の構成（1）	原子の構造、原子の表し方、小テストの実施	テキスト(P12~15)を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	６０ ６０
3	物質の構成（2）	同位体、物質の表し方と化学式	テキスト(P15~25）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
4	電子配置（1）	電子殻と原子軌道、電子の収容	テキスト(P33~38）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	電子配置（2）	多電子原子の電子配置、閉殻構造、小テストの実施	テキスト(P39~42)を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	６０ ６０
6	電子配置と周期表の関係	最大電子収容数と閉殻電子配置の関係	テキスト(P42~47）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
7	１回～６回までのまとめ	演習問題の解答・解説とまとめについてディスカッションを行い理解を深める。	演習問題を解き理解を深める。 ディスカッションの内容をまとめる	１２０ ６０
8	化学結合（1）	イオン結合、金属結合、金属結晶の構造	テキスト(P51~56）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
9	化学結合（2）	共有結合、不対電子、共有電子対、配結合	テキスト(P56~66）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
10	化学結合（3）	分子の極性、分子間力、水素結合	テキスト(P67~71）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
11	化学量論（1）	原子の相対質量、原子量、分子量、小テストの実施	テキスト(P75~78)を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	６０ ６０
12	化学量論（2）	物質量、気体の体積、気体の状態方程式	テキスト(P78~79）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
13	化学量論（3）	モル質量とモル濃度、その他の濃度	テキスト(P80~86）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
14	科学の課題	地球温暖化の原因とその対策についてディスカッションにより理解を深める。	地球温暖化の原因を調べ、その対策を考えレポートにまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	１２０ ６０
15	まとめ	まとめと総括。小テストの実施	小テストの準備。 ノートの整理とまとめ。	６０ １２０

【テキスト】　化学入門　　千葉工業大学教育センター科学教室　編　　学術図書出版社

【参考書・参考資料等】　授業中に適宜配布する。

【成績評価基準・方法】　ノート取得状況＆レポート（30%）、小テスト（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0363	授業科目： 高分子化学（Polymer Chemistry）
開講時期	後期	（ 全 ）学科（2）年（2）単位　担当者： 切手 純孝

【授業の到達目標】
・有機化合物の IUPC 命名法にそった名称がつけられる。
・プラスチックの名称・構造と基本的な性質が関連付けられる。

【授業の概要】
有機化合物に関する高校での理解度はかなり低く、有機高分子に至っては皆無に等しい。それにもかかわらず、有機化合物は工業材料（プラスチック）としての利用度がかなり高い。
有機化合物に関する下記の内容を詳細に講義することは時間的に困難である。したがって高分子に関する講義を主体とすることによって、今後、学生が技術者として高分子材料に遭遇したとき、その材料の名称からおおよその性質が推察できるように工夫する。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	物質の三態と特性	固体・液体・気体の特徴、融解点・凝固点・沸点・沸騰・蒸発・昇華	テキスト(P88~89)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	物質の相図と特徴	個相・液相・気相の特徴、三重点・臨界点、標高と気圧、	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
3	理想気体と実在気体	ボイルの法則、シャルルの法則、気体の状態方程式、	テキスト(P76~78)を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	６０ ６０
4	モル濃度と実験	溶解度、質量パーセント、モル濃度、アボガドロ定数、	テキスト(P79~82) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	化学反応(2)	酸化数と酸化還元反応、特別な化学反応	テキスト(P91~94) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
6	化学反応(1)	酸・塩基と中和反応、水素イオン濃度と pH、	テキスト(P95~99) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
7	まとめと復習	１回～６回までの小テストと解説。質問によるディスカッション	小テストの準備。授業の復習をする。 授業の内容を復習する。	１２０ ６０
8	炭素原子とＳＰ混成軌道	2S と 2P 軌道の特徴、混成軌道形成の考え方	テキスト(P61~65) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
9	炭化水素化合物(1)	有機化合物の命名と構造式の特徴 アルカン、アルケン、アルキン	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
10	炭化水素化合物(2)	Alkane 連鎖異性体, Alkene 位置異性体, 幾何異性体	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
11	炭化水素化合物(3)	脂環式炭化水素と芳香族炭化水素の構造と特性	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
12	炭化水素化合物の反応	置換反応、付加反応、付加重合、エステル化反応	リントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
13	酸素を含む有機化合物	アルコール, アルデヒド、カルボン酸の構造と特性	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
14	科学の課題	ダイオキシンなどの有機塩素化合物についてのグループディスカッションにより理解を深める。	ダイオキシンなどについて調べ、自分の考えをレポートにまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	１２０ ６０
15	まとめ	まとめと総括。小テストの実施	小テストの準備。 ノートの整理とまとめ。	６０ １２０

【テキスト】　化学入門　千葉工業大学教育センター科学教室　編　学術図書出版社

【参考書・参考資料等】　授業中に適宜配布

【成績評価基準・方法】　ノート取得状況&受講態度（30%）、中間テスト（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0255	授業科目：技術者倫理（　Engineer ethics　）
開講時期	後期	（　全　）学科（3）年（1）単位　担当者：　各学科教員

【授業の到達目標】

・技術者倫理の基本的事項が理解できる。

【授業の概要】

本授業科目は、技術者倫理の専門家を養成することではなく、企業で働いていて技術者倫理が問われる問題に遭遇したとき、正しい判断ができる知識を教えることを目的とする。

・技術者として、つねに専門技術の向上に努めるとともに、良心に基づいて行動する。
・技術者として、相互に信頼し合い、相手の立場を尊重し行動する。
・技術者として、業務上知り得た秘密を他に漏らしたり、または盗用したりしない。
・アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。

【授業要旨】

回数	題　　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	技術者倫理序論	技術者としての良心に基づいた行動について。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	技術者と倫理	技術者として､相互に信頼し合い、相手の立場を尊重した行動について。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
3	倫理問題への対応	技術者としての守秘義務、環境保全、労働安全衛生等について。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
4	実践的技術者倫理	技術者倫理が問われる問題に遭遇したとき、正しい判断ができる知識について。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	事例から学ぶ技術者倫理（1）	事例１：技術者倫理が問われる事例を基にした、グループ討議やグループ学習を行う。	資料を読みまとめる。 グループ討議の内容をまとめて復習する。	６０ ６０
6	事例から学ぶ技術者倫理（2）	事例２：技術者倫理が問われる事例を基にした、グループ討議やグループ学習を行う。	資料を読みまとめる。 グループ討議の内容をまとめて復習する。	６０ ６０
7	事例から学ぶ技術者倫理（3）	事例３：技術者倫理が問われる事例を基にした、グループ討議やグループ学習を行う。	資料を読みまとめる。 グループ討議の内容をまとめて復習する。	６０ ６０
8	まとめと総括	技術者倫理に関する事例研究のまとめを行い、グループごとに発表する。	発表用の原稿を作成する。 ディスカッションの内容をまとめる	１２０ ６０

【テキスト】　資料、プリント、その他

【参考書・参考資料等】

技術者倫理入門　　谷垣昌敬　監修　　オーム社
はじめての工学倫理　　齋藤了文・坂下浩司　編　　昭和堂

【学生に対する評価】

ノート取得状況、発表態度、授業態度等（70%）、レポート（30%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0251	授業科目：産業と人間（Human and Industry）
開講時期	前期	（ 全 ）学科（1）年（2）単位　　担当者：　石田尾　博夫

【授業の到達目標】

現代の産業社会の諸問題と課題に焦点を当て、現代経済の仕組みについても理解ができる。また、教養論文のテーマになりそうな事項や面接試験で話題になりそうな事項を扱う分野でもある。したがって最新の情報を配布プリントなどでフォローさせる。

【授業の概要】

本講義では、「産業と人間」のあり方を、経済学や社会学の視点から考察する。現代の産業社会の分析に必須のツールとしての理論と現実のいわば「思考の往復」を図りたい。

【授業要旨】

回数	題　　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	資本主義社会の成立	資本主義の成立と発展。ケネーからフリードマンまで。	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	ミクロ経済とマクロ経済学	市場メカニズム、市場の失敗、インフレとデフレ。	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
3	金融とフィスカルポリシー	金融政策、今日の金融をめぐる動き、金融の自由化・国際化と金融不安。	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
4	財政（1）	財政の機能と役割	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	財政（2）	財政改革	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ３０
6	国際経済と国際貿易	国際収支、外国為替、国際通貨体制。	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
7	１回～６回までのまとめ	演習問題の解答・解説とまとめについてディスカッション等で理解を求める。	演習問題を解き理解を深める。 ディスカッションの内容をまとめる	１２０ ６０
8	国際経済と国際貿易	地域経済統合（EU、ASEAN）BRICS　PIIGS	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
9	戦後日本経済史の展開	経済のソフト化・サービス化、産業の空洞化。	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
10	産業と人間	集団主義、日本文化論、テクノストレス。	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
11	社会保障と社会福祉	各国の社会保障制度の歴史	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
12	人口問題と少子高齢化社会	マルサスの人工論、人口置換論（倍加年数、合計特殊出生率）	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
13	労働環境	男女共同参画社会、ジェンダー問題。	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
14	現代社会の課題	現代社会の特徴と現代経営を比較し課題を理解する。	課題研究等レポートにまとめる。	１２０ ６０
15	まとめ	まとめと総括。小テストの実施	小テストの準備。 ノートの整理とまとめ。	６０ １２０

【テキスト】プリント配布

【参考書】　「世界経済論ノート」　石田尾　博夫編著　（台湾国立成功大学）

【成績評価基準・方法】　ノート取得状況＆レポート（30%）、テスト（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0471	授業科目：英語入門演習（Introduction to Basic English）
開講時期	前期	（全）学科（1）年（2）単位　担当者：村上 美穂・徳山 ティーダ・知念 潔

【授業の到達目標】
英文法の総復習とその定着を図り、工学基礎としての英語力を身に付けることを目標とする。

【授業の概要】
本科目では，毎回テキストと辞書を使用。　テキストの予習･復習は毎回必須。予習に基づいた演習形式により，高校時までの英文法の整理･確認をしながら，それを発展させ，工学基礎の定着を図る。定着をはかるためにリスニング演習･オーラル演習は毎回取り入れ、音読の習慣も身につけさせていく。各 Unit 終了後は小テストも実施する。履修生には、各自資格試験等にも積極的に取り組んでもらえるよう積極的に支援していく。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題(予習･復習)	時間
1	導入	オリエンテーション，相互自己紹介，アンケート，ノート指導 等	テキスト全体に目を通しておく	60 分
2	導入	‘Let’s get back to the Basics	テキスト(P4～13)の予習	120 分
3	Unit 1	基本動詞の理解とリスニング	テキスト(P14～16)の予習と復習	120 分
4	Unit 1	基本動詞の応用と英文読解	テキスト(P14～16)の予習と復習	120 分
5	Unit 2	基本動詞(現在)の理解とリスニング	テキスト(P17～19)の予習と復習	120 分
6	Unit 2	基本動詞(現在)の応用と英文読解	テキスト(P17～19)の予習と復習	120 分
7	Unit 3	基本動詞(過去)の理解とリスニング	テキスト(P20～22)の予習と復習	120 分
8	Unit 3	基本動詞(過去)の応用と英文読解	テキスト(P20～22)の予習と復習	120 分
9	Unit 4	進行形の理解とリスニング	テキスト(P23～25)の予習と復習	120 分
10	Unit 4	進行形の応用と英文読解	テキスト(P23～25)の予習と復習	120 分
11	Unit 5	未来形の理解とリスニング	テキスト(P26～28)の予習と復習	120 分
12	Unit 5	未来形の応用と英文読解	テキスト(P26～28)の予習と復習	120 分
13	Unit 6	助動詞の理解とリスニング	テキスト(P29～31)の予習と復習	120 分
14	Unit 6	助動詞の応用と英文読解	テキスト(P29～31)の予習と復習	120 分
15	Unit 7	名詞・ 冠詞の理解とリスニング	テキスト(P32～34)の予習と復習	120 分
16	Unit 7	名詞・冠詞の応用と英文読解	テキスト(P32～34)の予習と復習	120 分
17	Unit 8	代名詞の理解とリスニング	テキスト(P35～37)の予習と復習	120 分
18	Unit 8	代名詞の応用と英文読解	テキスト(P35～37)の予習と復習	120 分
19	Unit 9	前置詞の理解とリスニング	テキスト(P38～40)の予習と復習	120 分
20	Unit 9	前置詞の応用と英文読解	テキスト(P38～40)の予習と復習	120 分
21	Unit10	形容詞・副詞の理解とリスニング	テキスト(P41～43)の予習と復習	120 分
22	Unit10	形容詞・副詞の応用と英文読解	テキスト(P41～43)の予習と復習	120 分
23	Unit11	比較の理解とリスニング	テキスト(P44～46)の予習と復習	120 分
24	Unit11	比較の応用と英文読解	テキスト(P44～46)の予習と復習	120 分
25	Unit12	命令文・感嘆文の理解とリスニング	テキスト(P47～49)の予習と復習	120 分
26	Unit12	命令文・感嘆文の応用と英文読解	テキスト(P47～49)の予習と復習	120 分
27	Unit13	接続詞(1)の理解とリスニング	テキスト(P50～52)の予習と復習	120 分
28	Unit13	接続詞(1)の応用と英文読解	テキスト(P50～52)の予習と復習	120 分
29	Review	前半の総復習，応用演習，その他	ノートの整理，復習，音読	120 分
30	Review	後半の総復習，応用演習，その他	ノートの整理，復習，音読	120 分

【テキスト】　**‘First Primer’**　(Revised Edition 改訂新版）：南雲堂
(佐藤哲三・椿松伸二・愛甲ゆかり・小手川巧光・福島孝夫・重久睦美・村上美穂・新 彰 共著)

【参考書・参考資料等】辞書（電子辞書は講義では使用不可），他は別途指示

【学生に対する評価】授業態度(15%)，試験(55%)，ノート･レポート･小テスト(30%) 等で総合的な評価をおこなう。

教科番号	0472	授業科目：実用英語（Practical English）
開講時期	後期	（ 全 ）学科（1）年（4）単位　担当者：村上美穂・徳山ティーダ・知念潔

【授業の到達目標】

英語検定の初級～中級レベル以上の英語力に到達し，英語を実際に使い味わえるための実践力を身につける。

【授業の概要】

本科目では，テキスト・辞書は毎回使用。予習をもとにした演習形式により，英文法の確認，応用も含めた問題演習・長文問題に取り組む。口頭での応答がスムーズにできるよう，リスニング演習やオーラル演習も積極的に取り入れる。テキストの予習･復習は毎回必須。各 Unit 終了後は小テストも実施する。履修生には、各自資格試験等にも積極的に取り組んでもらえるよう積極的に支援していく。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題(予習･復習)	時間
1	導入	授業オリエンテーション	テキスト全体に目を通しておく。	60 分
2	Unit 14	不定詞(Ⅰ)･動名詞(Ⅰ)の理解とリスニング	テキスト(P53～55)の予習と復習	120 分
3	Unit 14	不定詞(Ⅰ)･動名詞(Ⅰ)の応用と英文読解	テキスト(P53～55)の予習と復習	120 分
4	Unit 15	受動態の理解とリスニング	テキスト(P56～58)の予習と復習	120 分
5	Unit 15	受動態の応用と英文読解	テキスト(P56～58)の予習と復習	120 分
6	Unit 16	完了形の理解とリスニング	テキスト(P59～61)の予習と復習	120 分
7	Unit 16	完了形の応用と英文読解	テキスト(P59～61)の予習と復習	120 分
8	Unit 17	接続詞(Ⅱ) の理解とリスニング	テキスト(P62～64)の予習と復習	120 分
9	Unit 17	接続詞(Ⅱ) の応用と英文読解	テキスト(P62～64)の予習と復習	120 分
10	Unit 18	基本文型の理解とリスニング	テキスト(P65～67)の予習と復習	120 分
11	Unit 18	基本文型の応用と英文読解	テキスト(P65～67)の予習と復習	120 分
12	Unit 19	各種疑問文の理解とリスニング	テキスト(P68～70)の予習と復習	120 分
13	Unit 19	各種疑問文の応用と英文読解	テキスト(P68～70)の予習と復習	120 分
14	Unit 20	不定詞(Ⅱ)の理解とリスニング	テキスト(P71～73)の予習と復習	120 分
15	Unit 20	不定詞(Ⅱ)の応用と英文読解	テキスト(P71～73)の予習と復習	120 分
16	Unit 21	It の特別用法の理解とリスニング	テキスト(P74～76)の予習と復習	120 分
17	Unit 21	It の特別用法の応用と英文読解	テキスト(P74～76)の予習と復習	120 分
18	Unit 22	分詞･動名詞の理解とリスニング	テキスト(P77～79)の予習と復習	120 分
19	Unit 22	分詞･動名詞の応用と英文読解	テキスト(P77～79)の予習と復習	120 分
20	Unit 23	関係代名詞の理解とリスニング	テキスト(P80～82)の予習と復習	120 分
21	Unit 23	関係代名詞の応用と英文読解	テキスト(P80～82)の予習と復習	120 分
22	Unit 23	関係代名詞の総演習	別途配布する教材の予習と復習	120 分
23	Speaking	日常会話表現	別途配布する教材の予習と復習	120 分
24	Listening	各種リスニング演習	別途配布する教材の予習と復習	90 分
25	Listening	各種リスニング演習	別途配布する教材の予習と復習	90 分
26	Cultures	各英語圏の英語の発音，リスニング演習	別途配布する教材の予習と復習	90 分
27	Cultures	英語圏の文化に関する英文読解，フィードバック	別途配布する教材の予習と復習	90 分
28	Review	前半の総復習，応用演習，その他	ノートの整理，復習，音読	120 分
29	Review	後半の総復習，応用演習，その他	ノートの整理，復習，音読	120 分
30	まとめ	学習のまとめと総括	ノートの整理，復習，音読	120 分

【テキスト】

'First Primer' (Revised Edition 改訂新版) ：南雲堂

（佐藤哲三・椙松伸二・愛甲ゆかり・小手川巧光・福島孝夫・重久睦美・村上美穂・新 彰 共著）

【参考書・参考資料等】

辞書（電子辞書でないほうがよい）。他は別途指示

【成績評価基準・方法】

授業態度(15%)，試験(55%)，ノート,レポート&小テスト(30%) 等で総合的な評価をおこなう。

教科番号	0473	授業科目：総合英語Ⅰ　（ General Learning of English Ⅰ ）
開講時期	前期	（ 全 ）学科（ 2～4 ）年（ 2 ）単位　　担当者：村上 美穂

【授業の到達目標】

本講義では、文法や語法の再確認をしながら、自分の表現したい内容を様々な英文で表現する方法を身に付ける。

【授業の概要】

テキスト・辞書（英和・和英）は毎回使用。言いたいことを、英語らしく適切な表現をする方法を学ぶ。予習をもとに、文法事項の再確認、初歩的なライティング活動、発展的なライティング活動を主に行い、学生同士が話し合い様々な表現を考え出す時間を設ける。　更に、親しみやすいストーリーの中で、日常生活でよく使われる会話表現も身に付ける。各 Unit 終了後には小テスト、学期末にはオーラルテストも実施する。

【授業要旨】

回数	題 目	授 業 内 容	学習課題(予習･復習)	時間
1	導入・Unit 1	授業オリエンテーション。 基本動詞の用法の復習。	テキスト(P4)の文法事項を理解しノートにまとめ, 演習問題をノートに解く。授業内容の復習と音読。	120分
2	Unit 1	基本動詞（時制の変化）を応用的に用いた英作文。日常会話。口頭演習	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120分
3	Unit 2	進行形（時制の変化）・未来形・助動詞の用法。	テキスト(P8)の文法事項を理解しノートにまとめ, 演習問題をノートに解く。授業内容の復習と音読。	120分
4	Unit 2	進行形・未来形・助動詞を用いた英作文・日常会話。口頭演習。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120分
5	Unit 3	名詞（可算・不可算）・冠詞・代名詞（各種代名詞）の用法。	テキスト(P12)の文法事項を理解しノートにまとめ, 演習問題をノートに解く。授業内容の復習と音読。	120分
6	Unit 3	名詞・冠詞・代名詞を応用的に用いた英作文。日常会話。口頭演習。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120分
7	Unit 4	前置詞（連語も含む）・接続詞（that 以外）の用法。	テキスト(P16)の文法事項を理解しノートにまとめ, 演習問題をノートに解く。授業内容の復習と音読。	120分
8	Unit 4	前置詞・接続詞（that 以外）を応用的に用いた英作文。日常会話。口頭演習。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120分
9	Unit 5	形容詞と副詞。 比較。	テキスト(P20)の文法事項を理解しノートにまとめ, 演習問題をノートに解く。授業内容の復習と音読。	120分
10	Unit 5	形容詞と副詞を使った英作文・言い換え。比較を使った様々な表現。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120分
11	Unit 6	命令文・感嘆文の用法と応用。	テキスト(P24)の文法事項を理解しノートにまとめ, 演習問題をノートに解く。授業内容の復習と音読。	120分
12	Unit 6	命令文・感嘆文を応用的に用いた英作文。日常会話。口頭演習。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120分
13	Unit 7	不定詞の基本的な用法と応用。	テキスト(P28)の文法事項を理解しノートにまとめ, 演習問題をノートに解く。授業内容の復習と音読。	120分
14	Unit 7	不定詞のその他の用法と応用。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120分
15	まとめ	学習のまとめと総括。 オーラルテスト。	ノートの整理とまとめ。 オーラルテストの準備。	120分

【テキスト】　‘Primer for English Writing’　(新藤照夫，佐藤哲三，愛甲ゆかり　共著　：南雲堂)

【参考書・参考資料等】　英和辞書・和英辞書（電子辞書以外のもの），他は別途指示

【成績評価基準・方法】ノート取得状況&受講態度（30%）、試験(60%)、小テスト(10%)　で総合的に評価する。

教科番号	0474	授業科目：総合英語Ⅱ　（　General Learning of English　Ⅱ　）
開講時期	後期	（　全　）学科（　2～4　）年（　2　）単位　　担当者：村上　美穂

【授業の到達目標】

本講義では，文法や語法の再確認をしながら，自分の表現したい内容を様々な英文で表現する方法を身に付ける。

【授業の概要】

テキスト・辞書（英和・和英）は毎回使用。言いたいことを英語らしく適切な表現をする方法を学ぶ。予習をもとに，文法事項の再確認，リスニング，初歩的なライティング活動，発展的なライティング活動を主に行い，学生主体で話し合い様々な表現を考え出す機会を設ける。　更に，親しみやすいストーリーの中で，日常生活でよく使われる会話表現も身に付ける。各 Unit 終了後には小テスト，学期末にはオーラルテストも実施する。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題(予習･復習)	時間
1	Unit 8	動名詞の応用（主語･前置詞の目的語･動詞の目的語）。	テキスト(P32)の文法事項を理解しまとめ，演習問題を解く。授業内容の復習と音読。	120 分
2	Unit 8	現在分詞の応用。日常会話。	演習問題(P34)をノートに解く。 授業内容の復習と音読。	120 分
3	Unit 8	過去分詞の応用。日常会話。	演習問題(をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120 分
4	Unit 9	各種疑問文（付加疑問文・間接疑問文等）の用法。	テキスト(P36)の文法事項を理解しまとめ，演習問題を解く。授業内容の復習と音読。	120 分
5	Unit 9	It の特別用法。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習と音読。	120 分
6	Unit 9	It の特別な用法を用いた英作文 日常会話。口頭演習。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120 分
7	Unit 10	受動態の応用。 受動態を用いた特殊表現。	テキスト(P40)の文法事項を理解しまとめ，演習問題を解く。授業内容の復習と音読。	120 分
8	Unit 10	受動態がよく用いられる場面・用途	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120 分
9	Unit 11	現在完了の応用。口頭演習。	テキスト(P44)の文法事項を理解しまとめ，演習問題を解く。授業内容の復習と音読。	120 分
10	Unit 11	過去完了の応用。口頭演習。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120 分
11	Unit 12	接続詞 that の応用。読解。	テキスト(P48)の文法事項を理解しまとめ，演習問題を解く。授業内容の復習と音読。	120 分
12	Unit 12	その他の接続詞を用いた様々な構文。 手紙の文例・書き方。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120 分
13	Unit 13	5 文型の復習。	テキスト(P52)の文法事項を理解しまとめ，演習問題を解く。授業内容の復習と音読。	120 分
14	Unit 13	5 文型の応用，言い換え。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120 分
15	まとめ	学習のまとめと総括。オーラルテスト。	ノートの整理とまとめ。 オーラルテストの準備。	120 分

【テキスト】‘Primer for English Writing’　（佐藤哲三，愛甲ゆかり，新藤照夫　共著：南雲堂）

【参考書・参考資料等】　英和辞書・和英辞書（電子辞書以外のもの），他は別途指示

【成績評価基準・方法】　ノート取得状況&受講態度（30%），試験(60%)，小テスト(10%)　で総合的に評価する。

教科番号	0475	授業科目： 英会話入門（English Conversation－Introduction）
開講時期	前期	（ 全 ）学科 (3) 年 (2) 単位　　担当者： 徳山 ティーダ

【授業の到達目標】
・英語に慣れ親しみ、語彙知識を増やし、英会話をする上で必要な基礎知識を身に着ける。
・コミュニケーション力だけでなく、リスニング力やスピーキング力も講義でのペアワークや
グループワークなどを通して身に着けていく。

【授業の概要】
講義と会話の練習などをして基本フレーズを理解させ，実践的に使えるように英語になれていく。さらに、小テストやディスカッションも取り入れて理解を深めさせる。また、アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	Orientation Introduction	導入　オリエンテーション	classroom language の学習。今後の講義の為の予習や復習の仕方を紹介する	３０ ６０
2	How's it going?	簡単な自己紹介（出身や趣味など）、疑問詞、現在形の復習	テキスト(P1~5)を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	６０ ６０
3	What am I thinking of?	物の表現の仕方、簡単な質問の仕方、好みなどの言い方	テキスト(P7~11) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
4	Where's the post office?	町・市街地での場所の言い方、道の尋ね方・案内方法	テキスト(P13~17) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	Let's go shopping!	日常生活品の購入方法、飲食店での注文の仕方	テキスト(P19~23)を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	６０ ６０
6	How often do you exercise?	日課の言い方・聞き方、頻度を表す表現の活用方法	テキスト(P25~29) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
7	1回～6回までのまとめ	6 回目までの講義から一つテーマを選びディスカッションを行い理解を深める。	演習問題を解き理解を深める。 ディスカッションの内容をまとめる	１２０ ６０
8	Time for trivia!	時間の聞き方・言い方、距離や期間の表現方法	テキスト(P31~35) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
9	What does she look like?	家族構成の言い方・紹介し方、外見や特徴などの表現方法	テキスト(P37~41) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
10	Which do you prefer?	意見・好みなどを比較級を用いての表現方法	テキスト(P43~47) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
11	What did you do?	週末の出来事、経験、豆知識などの紹介方法・表現方法	テキスト(P49~53)を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	６０ ６０
12	What's your future career?	職業別に適した質問の仕方・将来の目標などを表現方法	テキスト(P55~59) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
13	Have you ever …?	完了形を用いてこれまでの経験・体験の表現方法	テキスト(P61~65) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
14	これまでの学習内容を取り入れたスピーチ	1 つテーマを選びプレゼンをし、プレゼン内容をディスカッションする。	プレゼンに対して質問などをし、 ディスカッションの内容をまとめる	１２０ ６０
15	Let's review!	まとめと総括。小テストの実施	小テストの準備。 ノートの整理とまとめ。	６０ １２０

【テキスト】　Now You're talking!（Chris Elvin 著 EFL 出版）

【参考書・参考資料等】　英和・和英辞書。授業中に適宜配布する。

【成績評価基準・方法】　ノート取得状況＆レポート（30%）、小テスト（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0476	授業科目： 基礎英会話（Basic English Conversation）
開講時期	後期	（ 全 ）学科 (3) 年 (2) 単位　　担当者： 徳山 ティーダ

【授業の到達目標】
・語彙・基本フレーズを増やしリスニング、リィディング力を定着させ、日常会話などで応用できる力を身に着けていく。
・隔週で学習内容を定着させるために簡単なスピーチなどをしてスピーキング力を強化していく。

【授業の概要】
講義と会話の練習などをして基本フレーズを理解させ，実践的に使えるように英語になれていく。さらに、スピーチやディスカッションも取り入れて理解を深めさせる。また、アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。

【授業要旨】

回数	題　目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	Orientation Introduction	導入　オリエンテーション	classroom language の学習。今後の講義の為の予習や復習の仕方を紹介	３０ ６０
2	Meeting People	自己紹介（出身や趣味など）、follow-up questions	テキスト(P7~10)を読みまとめる。 授業の内容を復習。スピーチの準備。	６０ ６０
3	Getting to Know Your Classmates	大学生活や学部の紹介の仕方	テキスト(P11~14) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
4	Talking About Classes	専攻科目・履修科目などの紹介の仕方	テキスト(P15~18) を読みまとめる。 授業の内容を復習。スピーチの準備。	３０ ６０
5	Talking About Your Daily Life	日課・日常生活の紹介、 頻度を表す副詞	テキスト(P19~23)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
6	Talking About People	外見や性格を表す単語を用いて家族や友人の紹介	テキスト(P24~28) を読みまとめる。 授業の内容を復習。スピーチの準備。	３０ ６０
7	1回～6回までのまとめ	6 回目までの講義から一つテーマを選びディスカッションを行い理解を深める。	演習問題を解き理解を深める。 ディスカッションの内容をまとめる	１２０ ６０
8	Talking About Last Weekend	過去形を用いて週末の出来事を話す	テキスト(P34~38) を読みまとめる。 授業の内容を復習。スピーチの準備。	３０ ６０
9	Talking About the Vacation	間違いやすい表現法やフレーズの学習と説明	テキスト(P39~42) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
10	Talking About Going Out on the Town	外出予定の立て方、招待の仕方、承諾・断り方	テキスト(P43~48) を読みまとめる。 授業の内容を復習。スピーチの準備。	３０ ６０
11	Talking About Travel	完了形と未来形などを用いて経験や将来の計画の表現方法	テキスト(P53~56)を読みまとめる。 授業の復習をする。	６０ ６０
12	Talking About Your Opinion	比較級・最上級などを用いて意見の述べ方・聞き方	テキスト(P61~64) を読みまとめる。 授業の内容を復習。スピーチの準備。	３０ ６０
13	視覚教材 課題・レポート	映像をみて次週のためのディスカッションをまとめる	翌週の発表準備。レポートのまとめ。 論点や要点をまとめる。	３０ ６０
14	課題・レポート発表とディスカッション	視覚教材で取り上げられた問題点について各自の意見を発表しディスカッションをする	課題・レポートを発表する。 発表者に自身の意見や見解を述べディスカッションをする。	１２０ ６０
15	Let's review!	まとめと総括。小テストの実施	小テストの準備。 ノートの整理とまとめ。	６０ １２０

【テキスト】　New Time to Communicate [改訂新版]（Eric Bray 著 NAN'UN-DO）

【参考書・参考資料等】　英和・和英辞書。授業中に適宜配布する。

【成績評価基準・方法】　ノート取得状況＆レポート（20%）、スピーチ＆小テスト（30%）、試験（50%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0477	授業科目：実用英会話（Practical　English　Conversation）
開催時期	集中	（ 全 ）学科（2～4）年（2）単位　担当者：徳山 ティーダ

【授業の到達目標】

○　英語に慣れ親しみ、語彙知識を増やし、社会で通用する実践的な英語力を身につける。

○　留学や海外語学研修を通して「読む・書く・聞く・話す」の４つの技能についてもバランスよく身につける。

○　英語検定やTOEICテストで上位の成績を収めることで、英語力の向上と実践的な知識を身につける。

【授業の概要】

留学や海外語学研修等で、語彙知識を増やし、英語でコミュニケーションを図る上で必要な実践的な知識を身につける。
また、英語検定やTOEICテストで上位の成績を収めることで、大幅な英語力の向上を目指す。

【授業要旨】

題　目　と　授　業　内　容

○　２週間以上の留学や海外語学研修を終えて、英会話力の飛躍的な向上が認められた者に２単位が与えられる。

○　本学へ入学後、英語検定で２級以上、TOEICスコア４１０点以上を修得した者に２単位が与えられる。

【テキスト】

プリント，資料

【参考書・参考資料等】

なし

【成績評価基準・方法】

留学や海外語学研修の状況、英語検定やTOEICテストの結果を総合的に評価する。

教科番号	0478	授業科目：ビジネス英語Ⅰ　（ Business English Ⅰ ）
開講時期	前期	（ 全 ）学科（ 2 ）年（ 2 ）単位　　担当者：村上　美穂

【授業の到達目標】
上級英語力およびビジネス英語の語彙力やコミュニケーション力を身につける。

【授業の概要】
英語の「読む」・「書く」・「聴く」・「話す」の４技能の定着を図りながら上級英語力習得・ビジネス英語への応用を図る。本講義では，ある程度の基礎英語力を備えた学生（※英検準２級レベル程度以上）を対象に履修者数を限定し，資格試験問題等も題材にしながら講義を進める。学生主体のアクティブラーニング的な活動も随時取り入れる。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（事前･事後学習）	時間
1	授業概要・ﾚﾍﾞﾙﾁｪｯｸ	講義の概要・評価方法説明。 レベルチェック。	授業計画を確認し，レベルチェックテストに備えておく。授業内容の復習。	90 分
2	‘Eating’	食事の場面の４技能の習得。 内容理解テストおよび解説。	食事の場面での表現について予め教材で理解に努める。授業内容の復習と音読。	90 分
3	‘Leisure’	余暇に関する４技能の習得。 内容理解テストおよび解説。	余暇の様々な場面での表現について予め教材で理解に努める。授業内容の復習と音読。	90 分
4	‘Sports’	スポーツに関する４技能の習得。 内容理解テストおよび解説。	スポーツの場面での表現について予め教材で理解に努める。授業内容の復習と音読。	90 分
5	‘Shopping’	買い物に関する４技能の習得。 内容理解テストおよび解説。	買い物の場面での表現について予め教材で理解に努める。授業内容の復習と音読。	90 分
6	‘Campus Life’	学生生活に関する４技能の習得。 内容理解テストおよび解説。	学生生活の場面での表現について予め教材で理解に努める。授業内容の復習と音読。	90 分
7	‘Travel’	旅行に関する４技能の習得。 内容理解テストおよび解説。	旅行の場面での表現について予め教材で理解に努める。授業内容の復習と音読。	90 分
8	Review Quiz	レベルチェックを兼ねた，前半の復習。	レベルチェックテストの準備。ノートの整理と音読。	150 分
9	‘Health’	健康に関する４技能の習得。 内容理解テストおよび解説。	健康に関する表現について予め教材で理解に努める。 授業内容の復習と音読。	90 分
10	‘Work’	職場での４技能の習得。 内容理解テストおよび解説。	職場での表現について予め教材で理解に努める。授業内容の復習と音読。	90 分
11	‘Weather’	天候に関する４技能の習得。 内容理解テストおよび解説。	天候に関する表現について予め教材で理解に努める。 授業内容の復習と音読。	90 分
12	‘Cooking’	調理に関する４技能の習得。 内容理解テストおよび解説。	調理に関する表現について予め教材で理解に努める。 授業内容の復習と音読。	90 分
13	‘Parties’	パーティーなど人が集まる場面での ４技能の習得。内容理解テストおよび解説。	パーティなどの人が集まる場での表現について予め教材で理解に努める。授業内容の復習と音読。	90 分
14	‘Movies’	映画に関する４技能の習得。内容理解テストおよび解説。	映画に関する表現について予め教材で理解に努める。 授業内容の復習と音読。	90 分
15	まとめ	学習のまとめと総括。 ダイアログをペアで作成。	小テストの準備。ノートの整理とまとめ。 ダイアログの準備	150 分

【テキスト】　別途指示。

【参考書・参考資料等】　英和辞書・和英辞書（電子辞書以外のもの），他は別途指示。

【成績評価基準・方法】　予習状況&受講態度（40%），試験(60%),　で総合的に評価する。

教科番号	0479	授業科目： ビジネス英語Ⅱ（Business English - Advanced）
開講時期	後期	（ 全 ）学科 (2) 年 (2) 単位　　担当者： 徳山 ティーダ

【授業の到達目標】

・TOEIC テストの問題に慣れ、スコア UP のためのコツを身につけることを目的とし総合的な対策を行う。

・文法力と語彙力を定着させ TOEIC スコア 500 点以上を目指す。

【授業の概要】

１回の講義で１章をカバーし、第３回目以降、隔週で、前２週分の復習となる小テストを実施する。各学習内容の予習をし、講義の前半でリスニング、後半はリーディングパートを学習していく。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	Orientation Introduction	導入　オリエンテーション	TOEIC テストの説明。今後の講義の為の予習や復習の仕方を紹介	６０
2	Restaurant	レストラン、現在と過去・進行時制、ニュース記事	テキスト(P8~15)を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	６０ ６０
3	Hotel 小テスト１	ホテル、未来時制・完了時制、問い合わせメール	テキスト(P16~23) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
4	Shopping	ショッピング、受動態、セールのチラシ	テキスト(P24~31) を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	６０ ６０
5	Financing 小テスト２	金融、使役動詞、銀行からの通知	テキスト(P32~39)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
6	Hospital	病院、(can, may, must)、入院手続きの書類	テキスト(P40~47) を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	６０ ６０
7	Airport 小テスト３	空港、仮定法、天気予報	テキスト(P48~55) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
8	Transportation	道路、交通、不定詞と動名詞、路線案内	テキスト(P56~63) を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	６０ ６０
9	Sightseeing 小テスト４	観光、現在分詞と過去分詞、友人との E メール	テキスト(P64~71) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
10	Office Issues	日常勤務、形容詞と副詞、社内での E メール	テキスト(P72~79) を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	６０ ６０
11	Business 小テスト５	人物写真－人、冠詞と名詞、自己紹介文	テキスト(P80~87)を読みまとめる。 授業の復習をする。	６０ ６０
12	Sports Events	人物写真－複数、前置詞、国技の説明	テキスト(P88~96) を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	６０ ６０
13	Computers 小テスト６	物の位置－屋内、接続詞、新聞報道	テキスト(P97~105)を読みまとめる。 授業の復習をする。	６０ ６０
14	Personnel	物の位置－屋外、関係詞、履歴書	テキスト(P106~114) を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	６０ ６０
15	Hiring and Training 小テスト７ Let's review!	人と物、話法と時制の一致、会社創業の精神。 まとめと総括。	テキスト(P115~123) を読みまとめる。 ノートの整理とまとめ。	６０ １２０

【テキスト】　Overall Skills for the TOEIC Test　(Takayuki Ishii, Emiko Matsumoto 他著 SEIBIDO)

【参考書・参考資料等】　英和・和英辞書。授業中に適宜配布する。

【成績評価基準・方法】　ノート取得状況&課題（20%）、小テスト（30%）、試験（50%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0460	授業科目：基礎ドイツ語(Basic German)
開講時期	前期	（ 全 ）学科 （1）年 （2）単位 担当者：知念潔

【授業の到達目標】

ドイツ語の文字、文を見てちゃんと発音でｋるようになる。ドイツ語の基本的表現を記憶させる。ドイツ語の基本的知識を、文法的な知識と関連させながら、まとめていく。

【授業の概要】

ドイツ語の基本的知識を解説するとともに、ドイツ語文化圏について紹介する。基本的な事柄から始め、段階をおってじゅんじゅんに積み上げながら進めてゆく。特に発音を重視する。実際の音声面に注意を促しながら進めてゆく。文法と平行して「決まり文句」日常的な場面で使われる表現を紹介し、旅行などですぐ使えるような知識をおりまぜて進めてゆく。

【授業要旨】

回数	題目	授業内容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	導入(1)	ドイツ語圏の国々とドイツ語について	ドイツ語圏という概念とドイツ語の通時的、共時的認識	９０分
2	導入(2)	ドイツ語のアルファベットの読み方	読み方を覚える	９０分
3	人称変化(1)	（1）決まり文句 Danke schön Bitte schön （2）つづりと発音 ローマ字式 ＪＤ （3）基本文例 Sie kommen aus Deutschland	お礼と感謝の表現を覚える 出身地の表現を身に着ける	９０分
4	人称変化(2)	（1）Guten Tag Guten Abend （2）Ä Ö Ü (3) Kommen Sie aus Deutschland?	挨拶と質問（疑問文）の作り方を復習	９０分
5	人称変化(3)	(1) Guten Morgen (2) ß groß (3) Ich komme aus Japan	挨拶と自分の出身を言う表現を身につける	９０分
6	人称変化(4)	(1) Gute Nacht (2) ei ie eu (3) Woher kommen Sie? Ich komme aus Japan. ドイツやヨーロッパのアクチュアルな出来事について論じてみる	今、ドイツ、ヨーロッパで何が問題になっているか、関心を持って調べる	９０分
7	人称変化(5)	(1) Auf Wiedersehen (2) V W (3) Kommen Sie aus Japan? Ja, ich komme aus Japan	別れの挨拶と問答形式の文章を覚える	９０分
8	人称変化(6)	(1) Gute Reise (2) Lektion Thema Philosophie (3) Ich bin müde. Du bist müde.	旅行へ行く人に別れの言葉をそして sein の人称変化を学ぶ	９０分
9	人称変化(7)	(1) Schönen Abend noch (2) Kopf Aaapfel (3) Er ist Student. Sie ist Studentin.	晩の別れの挨拶と sein の三人称の単数の形を覚える	９０分
10	人称変化(8)	(1) Viel Glück (2) König Quelle (3) ich bin wir sind Du bist ihr seid Er ist sie sind Sie sind	Sein の人称変化表を覚える	９０分
11	人称変化(9)	(3) ich komme wir kommen Du kommst ihr kommt Er kommt sie kommen Sie kommen	人称変化の表をおぼえる	９０分
12	人称変化(10)	Arbeiten の人称変化	音便の項目を理解する	９０分
13	人称変化(11)	Fahren の人称変化 A-Ä 型	幹母音の変化を学ぶ	９０分
14	人称変化	Sprechen の人称変化 E/IE 型 ヨーロッパの言語に特徴的な人称変化について言語学的な、文化・歴史史な示唆を与え、論じてみる	もう一つの感母音の変化	９０分
15	まとめ	これまで学んだことをまとめて、試験について解説する	これまでのすべてにわたって復習すること	９０分

【テキスト】 『生まれて初めてのドイツ語』このテキストを中心に、その他のことも織り込む

【参考書】 『アポロン独和辞書』 NHK のドイツ語講座（関心のある学生に）

【評価基準・方法】 ノート点（３０％）、出席状況（２０％）、テスト（５０％）で総合的に評価する

教科番号	0461	授業科目：ドイツ語（　German）
開講時期	後期	（全）学科　（1）年　（2）単位　　担当者：知念潔

【授業の到達目標】ドイツ語の基本的運用。例文を用いて、最重要な文例に絞って、繰り返し反復させて、身に着けさせる。発音させ、親しませ、習うより慣れよ、を実践する。

【授業概要】ドイツ語の応用知識、ドイツ語圏の文化ついての紹介も行い、語学の知識とともに「言語を用いて意思疎通する」人間のコミュニケーションの意義についても協調したい

【授業要旨】

回数	題目	授業内容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	人称変化（1）	１決まり文句 Danke shön ２数字 eins　zwei　drei ３基本文例　Sie haben Hunger	「ありがとう」は？ 数字の１，２，３は？	９０分
2	人称変化（2）	1 Bitte, shön 2 vier　fünf　sechs 3 Haben Sie Geld?　Ja. Ich habe Geld.	「どういたしまして」は？ 「お金はありますか」？	９０分
3	人称変化（3）	1 toi, toi, toi 2 sieben　acht neun 3 Hast du Zeit？　Ja, ich habe Zeit.	「くわばら、くわばら」は？ 数字の７、８，９は？	９０分
4	人称変化（4）	1 Gott sei Dank 2 Zehn elf　zwölf　drei 3 Er hat heute Zeit　Sie hat morgen English	「やれやれ（安堵）」は何というか？　１０，１１，１２の数字は？	９０分
5	人称変化（5）	1 Auf Deutsch, bitte 2 dreizehn　vierzehn　fünfzehn 3 Wir haben Geld　Ihr habt Zeit. Sie haben heute Zeit. Ich habe　wir haben Du hast　ihr habt Er hat　sie haben　Sie haben	Haben の人称変化を正しく記憶せよ	９０分
6	性別と冠詞（1）	1 Ja, gerne.　Nein, Danke 2 fünfzehn　sechzehn 3 Der Tisch ist klein. Die Schule ist alt. Das Haus ist neu. ドイツ、ヨーロッパのアクチュアルな問題	「はい、いただきます。」 「いいえ、けっこうです」は何という？	９０分
7	性別と冠詞（2）	1 Grüß　Gott 2 siebzehn　achzehn 3 Der Berg ist hoch Die Kirche ist alt Das Schloss ist groß	「その山は高い」「その教会は古い」「その城は大きい」はそれぞれ、何というか？	９０分
8	性別と冠詞（3）	Der Tisch　die Tür　das Fenster 性別は定冠詞をつけて 1 Pst　2 neunzehn　zwanzig	これまでの名詞の語彙を冠詞をつけた形で言ってみよ	９０分
9	不定冠詞（1）	1 Servus 2 einundzwanzig　zweiundzwnzig 3 ein tisch　ein Haus　eine Schule	２１、２２の数字は？	９０分
１０	不定冠詞（2）	1 Wein auf Bier 2 vierzig　fünfzig　sechzig 3 Was ist das?　Das ist ein Tisch.	「これは何ですか」答えて下さい「机です」	９０分
１１	否定冠詞	1 Fröliche Weinachten 2 siebzig　achzig neunzig 3 Das ist keine Uhr	「これは机です」「これは机ではありません」？	９０分
１２	所有冠詞（1）	1 Ein glückliches neues Jahr 2 dreißig　hudert 3 mein Tisch　mein Haus　meine Schule	「新年おめでとうございます」？	９０分

１３	所有冠詞（２）	1 Deutsch mact spaß 2 zwei hundert　drei hundert 3 Der　Mann ist mein Freund. Die Frau ist meine Freundin.	「その女の人は私のガールフレンドです」？	９０分
１４	４格	1 Wein auf Bier 2 tausend　zweitausendsechzehn 3 Ich kenne den Mann. 「言語は差異である」この原理を考えてみよう	私はその男の人をよく知っています」？	９０分
１５	人称代名詞の４格	1 Auf　Wiedersehen 2 zehntuasend　hundertausend　million 3 Liebst du mich?　Ich liebe dich.	私はあなたを愛しています あなたは私を愛していますか ドイツ語で言ってみなさい	９０分
【テキスト】『生まれて初めてのドイツ語』これをメインに関連事項を付け加える				
【参考書・参考資料】折にふれ授業中に紹介する。				
【成績評価基準・方法】　出席状況（３０％）、ノート提出（１０％）、試験（６０％）で総合的に評価する。				

教科番号	0065	授業科目：日本語講座A（ Japanese course A ）
開講時期	通年	（ 留学生 ）学科（1）年（4）単位 担当者：村上美穂、徳山ティダ

【授業の到達目標】

・日常会話に対応でき，且つ，2年次以降の講義を理解できる。

【授業の概要】

留学生を対象にした日本語初級クラスの講義を行う。（文法を中心に）

【授業要旨】

回数	題 目	授 業 内 容	学習課題	時間（分）
1	レディネス調査	プレイスメントテスト、インタヴュー	試験の復習	３０
2	副助詞①	「は」（主題）、「も」（並列）	まとめ問題	３０
3	格助詞①	「を」（対象）、「が」（対象）	〃	３０
4	格助詞②	「に」（時間・着点）、「で」（手段・場所）	〃	３０
5	格助詞③	「から」（起点）、「まで」（終点）	〃	３０
6	形容詞①	「な形容詞」と「い形容詞」	〃	３０
7	時制	形容詞文・動詞文・名詞文の時制	〃	３０
8	格助詞④	「に」（目的・場所）、「を」（出発点）	〃	３０
9	形容詞②	形容詞の接続形	〃	３０
10	動詞①	て形＋います（反復）	〃	３０
11	動詞②	て形＋います（進行）	〃	３０
12	文型①	～は～が［形容詞］	〃	３０
13	動詞③	た形＋ことがあります	〃	３０
14	動詞④	（ます形）＋たい	〃	３０
15	復習	既習事項の確認		
16	動詞⑤	て形＋ください	〃	３０
17	動詞⑥	て形＋もいいです／はいけません	〃	３０
18	動詞⑦	ない形＋でください	〃	３０
19	動詞⑧	（ない形）＋ければなりません	〃	３０
20	動詞⑨	た形＋ほうがいい	〃	３０
21	動詞⑩	た形＋り、た形＋り　する	〃	３０
22	文体	「ですます体」と「基本体」	〃	３０
23	副詞節①	た形＋ら	〃	３０
24	副詞節②	基本体＋とき	〃	３０
25	副詞節③	て形＋から　（ます形）＋ながら	〃	３０
26	動詞⑪	辞書形＋の／こと	〃	３０
27	動詞⑫	可能形	〃	３０
28	副詞節④	基本体＋ので／から	〃	３０
29	引用節	基本体＋と思います	〃	３０
30	復習	既習事項の確認		

【テキスト】 プリント、資料配布

【参考書・参考資料等】 「新文化初級日本語Ⅰ」（文化外国語専門学校）

【成績評価基準・方法】 出席状況及び受講態度（20%）、コース期間中のまとめ問題（30%）、試験（50%）により、総合的な評価を行う。

教科番号	0066	授業科目：日本語講座Ｂ（　Japanese course　B　）
開講時期	通年	（　留学生　）学科（2）年（4）単位　担当者：村上美穂、徳山ティダ

【授業の到達目標】

・日常会話に対応でき，且つ，２年次以降の講義を理解できる。

【授業の概要】

留学生を対象にした日本語初級クラスの講義を行う。（発話を中心に）

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題	時間（分）
1	自己紹介	スムースな自己紹介を身につける	エッセイ暗記	３０
2	家族の紹介	家族について話す	〃	３０
3	好きな物	好きなこと、嫌いなことについて話す	〃	３０
4	私の一日①	日常生活について話す（日中）	〃	３０
5	〃　②	〃　（夜）	〃	３０
6	金曜日の夜①	金曜日の夜（毎週）について話す	〃	３０
7	〃　②	〃　（先週）　〃	〃	３０
8	外出①	外出時の出来事について話す	〃	３０
9	〃　②	〃	〃	３０
10	私の家族①	家族について話す（属性）	〃	３０
11	〃　②	〃　（性格）	〃	３０
12	〃　③	〃　（現状）	〃	３０
13	私のしたい事①	経験について話す	〃	３０
14	〃　②	願望について話す	〃	３０
15	まとめ	これまでのエッセイをまとめる		
16	きまり①	「きまり」の表現を理解する	〃	３０
17	〃　②	「きまり」の表現を試みる	〃	３０
18	忙しい毎日	しなければならない事について話す	〃	３０
19	大変な仕事	「禁止」の表現を理解する	〃	３０
20	気をつける事①	したほうがいい事について話す	〃	３０
21	〃　②	気候について話す	〃	３０
22	復習	日本語母語話者との会話を練習する	〃	３０
23	毎日の生活①	毎日の生活について話す①	〃	３０
24	〃　②	〃　②	〃	３０
25	〃　③	〃　③	〃	３０
26	私の楽しみ	趣味について話す	〃	３０
27	できる事①	能力について話す	〃	３０
28	〃　②	できない事について話す	〃	３０
29	〃　③	感想について話す	〃	３０
30	まとめ	エッセイをまとめて、大きな話にする		

【テキスト】　「NEJ　テーマで学ぶ基礎日本語 Vol.１」（くろしお出版）

【参考書・参考資料等】　なし

【成績評価基準・方法】　出席状況及び受講態度（20%）、コース期間中のエッセイ（30%）、試験（50%）により、総合的な評価を行う。

教科番号	0159	授業科目：コミュニケーション技術Ⅰ（ Communication Technology Ⅰ ）
開講時期	前期	（ 全 ）学科（1）年（1）単位　担当者：全学科教員

【授業の到達目標】

・コミュニケーション技術の基礎的・基本的な技術や能力を養う

【授業の概要】

コミュニケーション技術とは、読み、書き、話し、聴くといった言葉を媒介にした基本的行為を効果的に行うための技術である。

自分の思っていることを誤解なく相手に伝えたり、相手の話を正確に理解するために不可欠なコミュニケーション技術は、大学生活における人間関係を円満にするための技術でもあり、勉学に勤しむ学生が磨いておくべき大切なスキルである。

コミュニケーション技術Ⅰでは、コミュニケーション技術の基礎的・基本的な技術や能力を養うことを主眼とする。

また、アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	オリエンテーション	講義の目的、進め方の説明、自己紹介で自分の論理力を知る。基本的な表現のルール、原稿用紙の使い方ができる。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	論理力を高める（1）	「まず論理、そして説明」のクセをつける。 「5WIH」を説明する。新聞を丹念に読む。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
3	論理力を高める（2）	作文し、音読する。「自分情報」を整理する。「外部情報」を整理する。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
4	表現力を高める（1）	「結起承転結」を身につける。 「話の４要素」を理解する。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	表現力を高める（2）	「センテンス」を短くする。自然なイントネーションで聴きやすい話しができる。ロールプレイングを行う。	資料を読みまとめる。 ロールプレイングの内容をまとめて復習する。	６０ ６０
6	理解力を高める（1）	効果的な３つの「間」のサインができる。 「聴いてますよ」というサインが出せる。ロールプレイングを行う。	資料を読みまとめる。 ロールプレイングの内容をまとめて復習する。	６０ ６０
7	理解力を高める（2）	質問することを前提に聴くことができる。メモを取りながら聴くことができる。グループ討議を行う。	発表用の原稿を作成する。 グループ討議の内容をまとめて復習する。	１２０ ６０
8	対応力・応用力を高める	１回から７回までに学んだことを自分なりにまとめて発表する。プレゼンテーションを行う。	発表用の原稿を作成する。 発表の内容等をまとめて復習する。	１２０ ６０

【テキスト】

プリント、資料、その他

【参考書・参考資料等】

「社会人として必要な「聞く力・話す力」の高め方」高梨敬一郎著　こう書房

【学生に対する評価】

ノート取得状況、発表態度、授業態度等（70%）、レポート（30%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0160	授業科目：コミュニケーション技術Ⅱ（ Communication Technology Ⅱ ）
開講時期	後期	（ 全 ）学科（3）年（1）単位　担当者：全学科教員

【授業の到達目標】

・コミュニケーション技術の応用力を培い、実践的な技術や能力を養う.

【授業の概要】

コミュニケーション技術とは、読み、書き、話し、聴くといった言葉を媒介にした基本的行為を効果的に行うための技術である。

自分の思っていることを誤解なく相手に伝えたり、相手の話を正確に理解するために不可欠なコミュニケーション技術は、大学生活における人間関係を円満にするための技術でもあり、勉学に勤しむ学生が磨いておくべき大切なスキルである。

コミュニケーション技術Ⅱでは、来るべき就職活動に備え、コミュニケーション技術の応用力を培い、実践的な技術や能力を養うことを主眼とする。

また、アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	オリエンテーション	講義の目的、進め方の説明 自己紹介文を書き、自己紹介をする。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	書く力を高める（1）	就職試験の小論文・作文の書き方（1） 「将来の夢」を書き、自分をアピールする。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
3	書く力を高める（2）	就職試験の小論文・作文の書き方（2） 志望理由、就職作文を書く。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
4	書く力を高める（3）	履歴書の書き方を身につける。 就職観を書き、発表・意見交換をする。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	聞く力・話す力を高める（1）	面接試験の受け方（1）「何を聞かれているか」、質問の趣旨を見極める。 ロールプレイングを行う。	資料を読みまとめる。 ロールプレイングの内容をまとめて復習する。	６０ ６０
6	聞く力・話す力を高める（2）	面接試験の受け方（2）想定問答を用意しておく。 ロールプレイングを行う。	資料を読みまとめる。 ロールプレイングの内容をまとめて復習する。	６０ ６０
7	実践力を高める（1）	模擬面接試験（1） グループ討議で反省点を話し合う。	発表用の原稿を作成する。 グループ討議の内容をまとめて復習する。	１２０ ６０
8	実践力を高める（2）	模擬面接試験（2） グループ討議で反省点を話し合う。	発表用の原稿を作成する。 グループ討議の内容をまとめて復習する。	１２０ ６０

【テキスト】

プリント、資料、その他

【参考書・参考資料等】

「社会人として必要な「聞く力・話す力」の高め方」高梨敬一郎著　こう書房

【学生に対する評価】

ノート取得状況、発表態度、授業態度等（70%）、レポート（30%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0917	授業科目：インターンシップ（事前指導） (Basic Training for Internship (Early guidance))
開催時期	前期	（ 全 ）学科（2）年（1）単位　担当者：　竹下　俊一

【授業の到達目標】

・仕事に対する興味・関心・学習意欲を高め、ビジネスマナーや職業意識を身につけることができる。
次年度以降の実体験に向けたガイダンスを行う。

【授業の概要】

「インターンシップ」は学生の職業観・就業意識の高い人材を育成することをねらいとしているもので、学生は就業体験を通して社会や企業の実情を知ることにより仕事に対する興味・関心・学習意欲を高め、自立心を向上させ、ビジネスマナーや職業意識を身につけることができる。ここでは、企業活動・企業の組織、組織の中での業務分担・人間関係などについて学び、併せて、就職活動に資する各種指導を行う。

【授業要旨】

回数	題　　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	望ましいインターンシップ	体験の意義についてのオリエンテーション	シラバスを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	企業活動と組織（1）	企業活動と組織体制　組織人のあり方	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
3	企業活動と組織（2）	履歴書・自己紹介についての心得	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
4	企業活動と組織（3）	小論文とテーマ設定についての心得	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	企業活動と組織（4）	望ましい企業人になるためには企業人の心得	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
6	企業活動とコミュニケーション（1）	受け入れ先企業の選定　研修テーマ設定　職種、時期、期間等	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
7	企業とコミュニケーション（2）	自己紹介と企業マッチング	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
8	企業活動とコミュニケーション（3）	企業活動におけるコミュニケーションの仕方（連絡、交渉）	シラバスを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
9	専門的業務への参加（1）	専門的業務の学習及び具体的な実施に向けてのガイダンス	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
10	専門的業務への参加（2）	専門的業務の学習（企業事前研究事前指導）	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
11	専門的業務への参加（3）	マナー講習会　インターンシップの実際	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
12	報告書の書き方（1）	報告書作成についての実習	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
13	報告書の書き方（2）	報告書作成についての実習	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
14	報告書の書き方（3）	報告会プレゼン資料作成についての実習	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
15	報告会参加発表	就業体験の報告書提出と報告会	発表用のレポートを作成する。 プレゼンテーションの内容をまとめる。	１２０ ６０

【テキスト】　　プリント（インターンシップの手引）

【参考書・参考資料等】　　インターンシップ報告資料等

【成績評価基準・方法】

ノート取得状況&受講態度（50%）、レポート（50%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0920	授業科目：インターンシップ　(Internship)
開講時期	集中	（　全　）学科（2～3）年（2）単位　　担当者：竹下　俊一

【授業の到達目標】

企業での就業体験を通して、コミュニケーションの重要性と社会性を学び、さらに実務遂行のために必要不可欠な基礎知識を習得させるとともに将来の進路決定に役立てることができるようにする。

【授業の概要】

大学における学問的知識は、社会に出てからの企業における業務遂行のための基礎的および専門的知識を与えるものである。しかし、大学における講義だけでは実際の企業における業務遂行の実践的感覚を養うことは難しい。そこで、地元企業或いは学生の出身地における企業に学生を派遣し、実務を行わせることによって、実務遂行過程の複雑さ、より高度な専門知識の必要性、コミュニケーションの重要性、責任感や達成時の満足感等の実践的な経験を積ませる。

【授業要旨】

題目と授業内容

○　事前指導：インターンシップの具体的な活動内容等についての確認を行う。
また、「インターンシップ計画書」と「インターンシップ報告書」並びに活動中の障害保険についての説明を行う。

○　活　　動：インターンシップに参加する。
・企業での就業体験活動
・専門的業務への参加

○　活動期間：主に長期休暇期間に行う。

○　活動時間：１日の活動時間は６～８時間とする。

○　修得単位：６０時間以上の活動に対して２単位を与える。

○　事後指導：「インターンシップ報告書」の提出

【テキスト】

資料プリント

【参考書・参考資料等】

な　し

【学生に対する評価の方法】

インターンシップ報告書、企業の評価等を総合的に評価する。

教科番号	0927	授業科目：地域企業インターンシップ（Local Company Internship）
開講時期	集中	（ 全 ）学科（2～3）年（2）単位　　担当者： 竹下　俊一

【授業の到達目標】

鹿児島県内の企業での就業体験を通して、地域企業に対する理解を深めるとともに、実際の企業における業務遂行の実践的感覚を養うことができる。

また、コミュニケーションの重要性と社会性を学び、さらに実務遂行のために必要不可欠な基礎知識を習得させるとともに将来の進路決定に役立てることができる。

【授業の概要】

大学における学問的知識は、社会に出てからの企業における業務遂行のための基礎的および専門的知識を与えるものである。しかし、大学における講義だけでは実際の企業における業務遂行の実践的感覚を養うことは難しい。そこで、地元企業或いは学生の出身地における企業に学生を派遣し、実務遂行過程の実際を学ぶことで、より高度な専門知識の必要性やコミュニケーションの重要性、仕事に対する責任感や達成感等を実践的な経験を通して学ぶ。

【授業要旨】

回数	題　　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	ガイダンス①	鹿児島県内の企業についての紹介と説明	希望する企業について、自ら情報を集め内容をまとめる。	６０
2	ガイダンス②	計画書、報告書、契約書、傷害保険等の記入説明	就業体験企業の選択・決定 書類等の記入と確認	９０
3 ～ 28	就業体験活動	・５日間以上の体験活動 ・企業での就業体験活動 ・専門的業務への参加 ・業務遂行の実践的感覚の修得 ・実践的技術感覚の修得	・就業体験活動において、気付いたことをまとめる。 ・不明な点や疑問点を尋ねてノートにまとめる。	９０ × ５日 ＝ ４５０
29	報告会参加発表	就業体験の報告書提出と報告会での発表	発表用のレポートを作成する。 プレゼンテーションの内容をまとめる。	９０ ６０
30				

【テキスト】

資料プリント

【参考書・参考資料等】

な　し

【成績評価基準・方法】

インターンシップ報告書、企業の評価等を総合的に評価する。

教科番号	0925	授業科目：地域社会貢献活動（ Community　charitable　activity）
開催時期	集中	（ 全 ）学科（1～4）年（2）単位　　担当者：　竹下　俊一

【授業の到達目標】

地域社会貢献活動とは、学生が自発的に災害復興支援並びに社会福祉や非営利組織の各種イベント等での支援活動などに参加し、社会に貢献する活動を実際に体験することである。そして、そこでの体験を通して、社会に貢献することの大切さや奉仕の精神や意義を学び社会連帯についての認識を深めさせる。

【授業の概要】

災害復興支援並びに社会福祉や非営利組織の各種イベント等での支援活動などに参加して、社会での実践力や企画力を養うとともに自分の職業適性や将来計画を考える機会とする。さらに、地域社会貢献活動を通して自発性、協力、共生、相互貢献等を理解する。

【授業要旨】

題　目　と　授　業　内　容

○　事前指導：地域社会貢献活動の具体的な活動内容等についての確認を行う。
また、「地域社会貢献活動計画書」と「地域社会貢献活動報告書」並びに活動中の障害保険についての説明を行う。

○　活　　動：地域社会貢献活動に参加する。
・災害復興支援等のボランティア活動
・社会福祉団体や非営利組織の各種イベント等の支援活動

○　活動期間：主に長期休暇期間に行う。

○　活動時間：１日の活動時間は６時間とし、１時間の活動に対して１ポイントを与える。

○　修得単位：６０ポイント以上で２単位とする。

○　事後指導：「地域社会貢献活動報告書」の提出

【テキスト】

プリント（地域社会貢献活動の手引）

【参考書・参考資料等】

地域社会貢献活動報告資料等

【成績評価基準・方法】

地域社会貢献活動報告書とレポート等を総合的に評価する。

教科番号	0928	授業科目：地域貢献演習（Regional Contribution Seminar）
開講時期	集中	（全）学科　（1～2）学年　（2）単位　　担当者：竹下　俊一

【授業の到達目標】
・地域の課題や魅力を自ら発見することができる
・現地調査の結果を適切にまとめ、具体的な解決策等を提示することができる
・地域の持続可能な発展を考える視点や発想を涵養する

【授業の概要】
鹿児島県内の地域の方々と協働し、大学で学んだ専門性を活かした地域おこしや地域活性化に取り組み、地域に対する理解と愛着を深め、取り組んだ活動の地域貢献度を評価する実践に即したプロジェクト演習とする。
また、本科目では、調査によって地域の課題や魅力を受講生自ら発見し、解決策や活用策を立案・実施したのちにその経緯や成果を公表するというプロセスを実体験することで、将来的に一市民として地域活性化に貢献しうる視点や発想の涵養を目指す。開講時期については受講希望者数や対象地の受け入れ状況に応じて変更される可能性もある。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	ガイダンス	地域貢献演習についての説明	演習の概要、社会情勢、背景の理解についてまとめる。	６０
2 ～ 10	①調　査	・地域の理解・ニーズの把握 課題の抽出と対応策の提案 ・地域住民との交流を通しての地域理解の深化	グループによる現地調査を通じた地域理解やニーズの把握についてまとめる。	１２０
11 ～ 19	②立　案	・解決策についてのグループ討議 ・KJ 法によるグループ学習	・調査結果のとりまとめをする。 ・グループディスカッションによる解決策をまとめる。 ・活用策や地域の将来的なビジョン等の立案を考える。	１２０
20 ～ 28	③実　施	・地域の理解・ニーズの把握 ・課題の抽出と対応策の提案	・立案した解決策の実施についてまとめる。	１２０
29	④発　表	・成果発表	・発表のための資料を作成する。 ・演習対象地域に向けて成果を発表する	９０
30				９０

【テキスト】
課題に応じて適宜配布

【参考書・参考資料等】
課題に応じて適宜配布

【成績評価基準・方法】
①　課題への取り組み、②成果のとりまとめと提案・発表内容を総合的に評価

教科番号	0918	授業科目：　就業力演習
開講時期	前期	（全）学科（3）年（2）単位　担当者：　福永知哉、知念　潔、切手純孝

【授業の到達目標】

将来の進路を決定するためには、自分の性格や興味・関心、自分は何に向いているのかという適性を、きちんと把握しておくことが必要である。そのために、最新の就職情報や適性検査等を通して自己理解を深める。

また、就職試験等を受けるのに必要な学力の向上、面接試験等を受ける際のコミュニケーション力の向上などを図ることを目的とする。

【授業の概要】

人が働く際には、能力、興味・関心、価値観の３つを軸に考え、職業を選択することが大切であると言われている。そこで授業を通して、自分の性格や興味・関心などの適性を把握し、さらにコミュニケーション力を高めるために演習も実施する。

【授業要旨】

回数	題　　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	就職情報	オリエンテーション、最新の就職情報と検索の仕方、	シラバスを読で準備をする。 資料を基に授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	就職試験の傾向と対策　1	言語的な常識問題（国語、社会）と演習・解説	テキストを読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	３０ ６０
3	就職試験の傾向と対策　2	数理的な常識問題（数学、理科）と演習・解説	テキストを読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	３０ ６０
4	就職試験の傾向と対策　3	時事問題と言語的な常識問題の演習・解説	テキストを読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	ＳＰＩ　　1	就職試験問題の傾向と対策、言語能力の問題演習と解説	テキストと資料を読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	６０ ６０
6	ＳＰＩ　　2	就職試験問題の傾向と対策、数理能力の問題演習と解説	テキストを読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	６０ ６０
7	就職試験の傾向と対策　4	数理的な常識問題（数学、理科）と演習・解説	テキストを読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	３０ ６０
8	就職試験の傾向と対策のまとめ　1	１～７までのまとめと小テストを実施し、その解答と解説	小テストの準備をする。 資料を基に授業の内容を復習する。	１２０ ６０
9	適性検査　1	適性検査の実施方法と解説、	テキストと資料を読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	３０ ６０
10	就職試験の傾向と対策　5	数理的な常識問題（数学、理科）と演習・解説	テキストと資料を読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	３０ ６０
11	適性検査　2	適性検査の結果と解説、適性と職業との関連	テキストと資料を読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	３０ ６０
12	就職試験の傾向と対策　6	言語的な常識問題（国語、社会）と演習・解説	テキストを読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	３０ ６０
13	マナー教室	面接試験における礼儀作法と敬語の基本（実技演習を含む）	面接試験の事前準備につて調べる。 資料を基に授業の内容を復習する。	１２０ ６０
14	就職試験の傾向と対策　7	数理的な常識問題（数学、理科）と演習・解説	テキストと資料を読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	３０ ６０
15	就職試験の傾向と対策のまとめ　2	ＳＰＩ全国模試と全国的な就職試験の傾向と対策	ＳＰＩのまとめと復習問題をする。 ９～１４の整理とまとめをする。	１２０ １２０

【テキスト】　ＳＰＩ対策問題集　就職情報研究会　編　実務教育出版、　プリントと資料

【参考書・参考資料等】　なし

【成績評価基準・方法】　ノート取得状況＆レポート（30%）、小テスト（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0934	授業科目：ベンチャービジネス論（Theory of Venture Business）
開講時期	前期	（全）学科（3）年（2）単位　　担当者：當金　一郎

【授業の到達目標】

ベンチャー企業とは何かを理解させるとともに、その実践において何が重要なのかを見取って理解する。
特にこれまでに無い新しいビジネスを始める時には、事業計画をしっかりたてると共に、その「利益を生み出すビジネスモデル」を確立しなければ、事業資金が得られないことを理解させる。

【授業の概要】

本講義ではベンチャー企業を興し、持続的に経営し、さらに発展させるためにはどうしたらよいかを論ずる。
実際にはベンチャー企業を興すこともそうであるが、これをつぶさないように運営していくことはかなり難しい。
更にマスコミ等で取り上げられるように、ある程度の規模の企業に発展させていくのは実際には運の部分が大きく左右する。　それはなぜか、過去の日本や海外において大きく発展して企業の事例を題材として考察する。
特に重要なのはビジネスモデルと事業計画であるので、これについても講義を行う。
毎回の授業の内容についての課題レポートを書かせて提出させると共に、次回の講義内容のあらましに関して Moodle に置いてある資料を基に、インターネット等で十分に調べて講義に臨む必要がある。

【授業要旨】

回数	題　　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	企業とは何か	企業の存在理由、「企業」概念の歴史的変遷	Moodle にある資料で事前に学習する。 出された課題に対してﾚﾎﾟｰﾄを作成する。	６０ １２０
2	ﾍﾞﾝﾁｬｰとは何か	ｱﾒﾘｶ及び日本におけるﾍﾞﾝﾁｬｰの定義、ｱﾒﾘｶ・台湾・日本のﾍﾞﾝﾁｬｰ企業	Moodle にある資料で事前に学習する。 出された課題に対してﾚﾎﾟｰﾄを作成する。	６０ １２０
3	日米ﾍﾞﾝﾁｬｰ比較（1）	ｱﾒﾘｶにおけるﾍﾞﾝﾁｬｰの位置づけ、ﾍﾞﾝﾁｬｰ支援体制、ﾍﾞﾝﾁｬｰ発展の歴史	Moodle にある資料で事前に学習する。 出された課題に対してﾚﾎﾟｰﾄを作成する。	１２０ ９０
4	日米ﾍﾞﾝﾁｬｰ比較（2）	日本におけるﾍﾞﾝﾁｬの位置づけ、ﾍﾞﾝﾁｬｰ支援体制、ﾍﾞﾝﾁｬｰ発展の歴史	Moodle にある資料で事前に学習する。 出された課題に対してﾚﾎﾟｰﾄを作成する。	９０ １５０
5	アジアのﾍﾞﾝﾁｬｰ事情	台湾、香港、中国、韓国等における経済状況とﾍﾞﾝﾁｬｰ企業の実際	Moodle にある資料で事前に学習する。 出された課題に対してﾚﾎﾟｰﾄを作成する。	９０ １５０
6	ﾍﾞﾝﾁｬｰの要因分析	ﾍﾞﾝﾁｬｰ企業の成功事例と失敗事例、成功要因・失敗要因の分析	Moodle にある資料で事前に学習する。 出された課題に対してﾚﾎﾟｰﾄを作成する。	９０ １５０
7	１～６のまとめ	小テスト①、これまでの内容を基にﾍﾞﾝﾁｬｰﾋﾞｼﾞﾈｽについて議論する。	小テストの準備 ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝの内容を纏め Moodle へｱｯﾌﾟ	１５０ １８０
8	ﾍﾞﾝﾁｬｰの経営理念	経営理念の必要性、複数のﾍﾞﾝﾁｬｰ企業の経営理念の紹介	Moodle にある資料で事前に学習する。 出された課題に対してﾚﾎﾟｰﾄを作成する。	９０ １５０
9	ﾍﾞﾝﾁｬｰの経営戦略	経営戦略とは何か、発展戦略・競争戦略・変化対応戦略とは何か	ﾃｷｽﾄ pp. 67－81 を事前に読んでくる。 章末の演習問題を解いてくる。	９０ １５０
10	ﾋﾞｼﾞﾈｽﾓﾃﾞﾙとは	ﾋﾞｼﾞﾈｽﾓﾃﾞﾙの必要性、ﾋﾞｼﾞﾈｽﾓﾃﾞﾙと経営理念・経営戦略の関連性	ﾃｷｽﾄ pp.82－94 を事前に読んでくる。 章末の演習問題を解いてくる。	９０ １５０
11	ﾋﾞｼﾞﾈｽﾓﾃﾞﾙ（1）	ｱﾒﾘｶの複数の企業のﾋﾞｼﾞﾈｽﾓﾃﾞﾙを紹介	ﾃｷｽﾄ pp.95－112 を事前に読んでくる。 章末の演習問題を解いてくる。	９０ １５０
12	ﾋﾞｼﾞﾈｽﾓﾃﾞﾙ（2）	日本の複数の企業のﾋﾞｼﾞﾈｽﾓﾃﾞﾙを紹介	ﾃｷｽﾄ pp.113－128 を事前に読んでくる。 章末の演習問題を解いてくる。	９０ １５０
13	ﾍﾞﾝﾁｬｰ実践事例（1）	日本におけるﾍﾞﾝﾁｬｰ実践の事例を紹介する	ﾃｷｽﾄ pp.140－174 を事前に読んでくる。 章末の演習問題を解いてくる。	９０ １５０
14	ﾍﾞﾝﾁｬｰ実践事例（2）	アメリカにおけるﾍﾞﾝﾁｬｰ実践の事例を紹介する	ﾃｷｽﾄ pp.175－193 を事前に読んでくる。 章末の演習問題を解いてくる。	９０ １５０
15	総まとめ	小テスト②、学習内容を基に再度ﾍﾞﾝﾁｬｰﾋﾞｼﾞﾈｽについて議論する。	小テストの準備 ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝの内容を纏め moodle へｱｯﾌﾟ	１５０ １８０

【テキスト】

毎回ﾌﾟﾘﾝﾄを配布する。

【参考書・参考資料等】

「起業学の基礎～アントレプレナーシップとは何か～」　高橋徳行　著、勁草書房

【学生に対する評価の方法】

毎回出す課題のレポート提出状況（50%）、ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾗﾝ（10%）、最終テスト（40%）で総合的な評価を行う。

２　共通総合教育科目

（情報電子ｼｽﾃﾑ工学科（情報工学ﾋﾞｼﾞﾈｽｺｰｽ））

教科番号	0158	授業科目：やさしい哲学 (Introduction to Philosophy)
開講時期	前期	（ 全 ）学科（2）年 （2）単位 担当者：知念 潔

【授業の到達目標】
西洋近代の二大源流である、ギリシア哲学とキリスト教の思想を、それぞれ、具体的にソクラテス、プラトン、アリストテレスの哲学、そしてユダヤ教、キリスト教の基本的な事柄を開設する。哲学の基本的述語を易しく解説して哲学的な表現を理解できるようにする。

【授業の概要】
かみ砕いた講義によって哲学の初歩を理解させる。既習の事項や用語の意味を尋ねて身についているか確かめる。アクチュアルなテーマを講義中に投げかけ、それに対して、哲学的な思考をして自分の意見をまとめさせてみる。
また、アクティヴ・ラーニングについても考慮して積極的に取り入れていきたい。

【授業要旨】

回数	題目	授業内容	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1	序章	哲学　西洋思想　東洋思想　西洋思想の二大源流	哲学の語源　東西の思想の根本的相違（有と無）を復習	９０分
2	古代ギリシアの思想	エートス　黄金時代　ペロポネソス戦争とエートスの衰退	エートスの意味を復習	９０分
3	ソクラテス	デルポイの神託　無知の知　神託の意味	無知の知の意味	９０分
4	ソクラテス	問答法　ソクラテス裁判	問答法の意味	９０分
5	ソクラテス	ソクラテスの死	死の意義	９０分
6	プラトン	プラトンの論理主義　霊肉二元論　ソクラテスの生き方についてディスカッション	ソクラテスのまとめ	９０分
7	プラトン	イデア　エロス　ソクラテスからプラトンへ	イデア、エロスの意味	９０分
8	プラトン	想起説　無意識の世界	アナムネーシスの意味	９０分
9	プラトン	魂の三部分説　馬車の比喩	三部分説とは？	９０分
１０	プラトン	哲人政治　理想国家	哲人政治とは？	９０分
１１	アリストテレス	現実主義　質料と形相	質料と形相の意味	９０分
１２	アリストテレス	心の構造　植物的心；動物的心；人間的心	心の構造とは？	９０分
１３	アリストテレス	中庸の徳と習慣　ヘブライズム	中庸の意味	９０分
１４	キリスト教	ユダヤ教の特徴　キリスト教について論じる	どんな特徴がある？	９０分
１５	キリスト教	ユダヤ教からキリスト教へ　悔い改めと信仰	悔い改めとは？	９０分

【テキスト】 テキストは特別に定めない。担当教官の講義ノートから、授業中に、それを板書し解説する。

【参考書・参考資料】講義中に適宜紹介。書店で入手しやすい古典を紹介する。

【成績評価基準・方法】 ノートのまとめかた（三回提出）（３０％）、 出席状況（２０％）、
テスト（５０％）で総合的な評価を行う。

教科番号	0152	授業科目：現代社会に生きる倫理　（ Ethics in the modern society ）
開講時期	後期	（ 全 ）学科　（2）年　（2）単位　担当者：知念　潔

【授業の到達目標】

現代に生きる者にとって問題になる倫理を基礎づける、西洋近代の思想と倫理を、その成り立ちからカントによる完成までをあとづける。その際、その二大源流である、経験論と合理論を順次、解説し、それぞれの利点と欠点を明らかにして、カントによるその統合と、近代倫理学の確立を解説する。

【授業の概要】

易しくわかりやすい解説で近代哲学、ならびに、倫理学の内容と用語を行ってゆく。内容と用語の意味するところを身につけ、自己を表現する時の、重要にして必要な語彙にしてもらいたい。現下のアクチュアルな実際問題へのテーマを講義中に提起し、それに対して倫理的思考を適用して、自分の意見をまとめてみさせる。アクティブな主体的な、積極性を喚起したい。

回数	題目	授業内容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	序章	近世　神中心か人間中心へ	目的論とは？　形相と質料の意味は？	９０分
2	ベーコン（1）	近代科学の成立　知は力なり	経験論とは？　合理論とは？	９０分
3	ベーコン（2）	四つのイドラ	種族のイドラとは？　洞窟のイドラとは？　市場のイドラとは？　劇場のイドラとは？	９０分
4	ロック	経験論　ターブラ・ラサ	ターブラ・ラサとは？	９０分
5	ヒューム	経験論の徹底　懐疑論	懐疑論とは？	９０分
6	デカルト（1）	デカルトの生涯　方法論　デカルトから近代哲学が始まると言われるの何故か、考えてみよう	Method とは何だろう？	９０分
7	デカルト（2）	我思う、故に、我あり　四つの準則	明証性、分析、総合、枚挙、それぞれの規則とは？	９０分
8	デカルト（3）	学問の木　暫定的道徳	学問の木とは？	９０分
9	デカルト（4）	情念の制御　自覚と訓練	情念とは？　訓練とは？	９０分
10	デカルト（5） スピノザ（1）	高邁の精神　スピノザの神　理神論	高邁の精神とは？　理神論とは？	９０分
11	カント（1）	カントの生涯	三批判書とは？	９０分
12	カント（2）	模写説と構成説	構成説とは？　感性とは？　悟性とは？	９０分
13	カント（3）	構成説の意義と限界	もの自体(Ding an sich)とは？	９０分
14	カント（4）	人間の二重性　自然因果と自由因果カントに始まる自由に対する新しい考えを深く反省して自覚してみよう	自由因果とは何か？	９０分
15	カント（5）	仮言命法と定言命法	現代に生きる倫理とは何か？	９０分

【テキスト】　テキストは特別に定めない。担当教官の講義ノートから、授業中に、板書し解説する。

【参考書・参考資料】　講義中に適宜紹介。書店で入手しやすい古典を紹介する。

【成績評価基準・方法】ノートのまとめ方（三回提出）（３０％）、出席状況（２０％）、テスト（５０％）で総合的に評価する。

教科番号	0551	授業科目：体育実技Ⅰ（ Physical education practice Ⅰ ）
開講時期	前期	（ 全 ）学科（2）年（1）単位 担当者： 岩元真一、神之門 均

【授業の到達目標】

・生涯生活での健康に基づく体育の役割を理解する。

・社会生活の基本的なルールに基づく協調性を養う。

【授業の概要】

人生における生涯生活の中で健康に基づく体育の役割を認識させ、運動（特に、トレーニング、持久走）の実践により、心身の発達を促し、よりよい社会生活の基本的なルールを会得し、学生相互の協調性を養成して集団生活及び個人生活を養う。霧島山麓の自然の中で、体力づくりを実施することにより、心身のリフレッシュと社会性を養う。

また、学習課題としての予習・復習については、毎回の授業内容の復習を兼ねて自主的にトレーニングを行い心身の健康管理や体力づくりに生かせるようにする。

【授業要旨】

回数	題　目	授 業 内 容
1	散歩	城山　アスレチック～城山～アスレチック　個人の体力を知る
2	筋力トレーニング(1)	腕力（腕立、腹筋、背筋、馬跳び等）自己の体力の衰えを知る
3	筋力トレーニング(2)	脚力（サージャントジャンプ、スクワット、変形スタートダッシュ）
4	筋力トレーニング(3)	脚力（サージャントジャンプ、スクワット）
5	スポーツテスト	個々人の体力測定結果を知る
6	持久走 or トレーニング(1)	2kmx2 周（体育館～一高～中央高）補助トレーニング
7	持久走 or トレーニング(2)	2kmx2 周、補助トレーニング
8	持久走 or、バスケット、バレーボール	4km　向花方面（体育館～中央高から向花小折返）補助トレーニング　学生相互間の和を養う
9	持久走 or ウオーキング	6km　城山方面（体育館～中央高～国分高～城山折返）
10	持久走 or ウオーキング	7km　日当山方面（体育館～重久～日当山～向花～体育館）
11	持久走 or ウオーキング	8 km　鹿児島神宮（体育館～向花参宮橋～神宮折返）
12	持久走 or ウオーキング、マット運動	10km　清水～城山（森林浴を兼ねる）柔軟性の欠点を知る
13	アスレチック	アスレチック器具を使用して持久力を高める
14	早朝城山	学生生活と社会性の変化を知る
15	夜間歩行	歩くことにより、集団生活と協調性を養う（森林浴を兼ねる）、 60 ㎞（国分～霧島～高千穂河原往復）

【テキスト】

プリント

【参考書・参考資料等】

なし

【成績評価基準・方法】

履修状況等を総合的に判断して評価する。

教科番号	0552	授業科目：体育実技Ⅱ（ Physical education practice Ⅱ ）
開講時期	後期	（ 全 ）学科（2）年（1）単位 担当者： 岩元真一、神之門 均

【授業の到達目標】

・生涯生活での健康に基づく体育の役割を理解する。

・社会生活の基本的なルールに基づく協調性を養う。

【授業の概要】

人生における生涯生活の中で健康に基づく体育の役割を認識させ、運動（特に、トレーニング、持久走）の実践により、心身の発達を促し、よりよい社会生活の基本的なルールを会得し、学生相互の協調性を養成して集団生活及び個人生活を養う。霧島山麓の自然の中で、体力づくりを実施することにより、心身のリフレッシュと社会性を養う。

また、学習課題としての予習・復習については、毎回の授業内容の復習を兼ねて自主的にトレーニングを行い心身の健康管理や体力づくりに生かせるようにする。

【授業要旨】

回数	題 目	授 業 内 容
1	散歩	城山 アスレチック～城山～アスレチック
2	・バレーボール 1	・理論による技術の解説
3	・バレーボール 2	・実技指導と学生相互の和を養う
4	・バスケットボール 1	・理論による技術の解説
5	・バスケットボール 2	・実技指導と集団プレーを養う
6	・バドミントン 1	・理論による技術の解説
7	・バドミントン 2	・実技指導と学生相互の和を養う
8	・テニス 1	・理論による技術の解説
9	・テニス 2	・実技指導と学生相互の和を養う
10	・サッカー 1	・理論による技術の解説
11	・サッカー 2	・実技指導と集団プレーを養う
12	・ソフトボール1	・理論による技術の解説
13	・ソフトボール 2	・実技指導と集団プレーを養う
14	体育講義 1	健康と体力について知識等を理解させる
15	体育講義 2	今後の体力増進について知識等を理解させる

【テキスト】 プリント

【参考書・参考資料等】 なし

【成績評価基準・方法】

履修状況等を総合的に判断して評価する。

教科番号	0252	授業科目：現代社会の諸相（Various Aspects of Modern Society）
実施期間	後期	（ 全 ）学科（1）年（2）単位　　担当者：

【授業の到達目標】

・政治学の諸概念、専門用語について理解し、それらを用いて政治現象の実際を説明できるようにする。また、社会の構成員として必要な問題解決力と表現力が身につくようにする。

・民主主義概念の歴史的変容を前提として、政治学のカバーする多様な問題をできる限り包括的に取上げることによって、個別科学としての政治学のアウトラインを理解してもらう。

【授業の概要】

・政治現象が、人間社会に随伴する社会現象であるとともに、身近なものであることを理解した上で、先達の政治研究の成果から政治現象をより深く理解できるようにしたい。

・講義事項はすべて板書するので、必ずノートを準備されたい。

【授業要旨】

回数	題　目	講　義　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	政治とは何か①	はじめに 政治の定義	開講にあたっての注意 喚起 講義内容の説明	２０ ７０
2	政治とは何か②	政治の機能	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
3	政治とは何か③	実体概念と関係概念	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
4	権力①	サイモンとラズウェルの権力観	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
5	権力②	イーストンとパーソンズの権力観	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
6	権力③	アレントとルークスの権力観	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
7	権力④	フーコーの権力観	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
8	支配と服従①、 発表と討論	支配の分類、支配の正当性 講義で扱った項目について自ら調べた成果を発表し、それを評価する。	前回講義の復習 講義内容の説明 発表と討論	１０ ８０ ９０
9	支配と服従②	支配・服従関係の安定化、エリート論	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
10	支配と服従③	リーダーシップ論	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
11	政治学の発展①	政治学の学問的特質、政治学固有の困難性	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
12	政治学の発展②	政治学の科学化	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
13	政治学の発展③	伝統的政治学と科学的政治学	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
14	政治学の発展④	システム論	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
15	政治学の発展⑤ 発表と討論	行動論革命と脱行動論革命、支配の正当性講義で扱った項目について自ら調べた成果を発表し、それを評価する。	前回講義の復習 講義内容の説明 発表と討論	１０ ８０ ９０

【テキスト】　砂原庸介、稗田健志、多胡淳『政治学の第一歩』（有斐閣ステゥディア、2015 年）

【参考書・参考資料等】　・川出良枝, 谷口将紀編『政治学』（東京大学出版会、2012 年）
・佐々木毅『政治学講義　第 2 版』（東京大学出版会、2012 年）

【成績評価基準・方法】　期末試験 80%、平常点 20%（出席・レポート）の総合評価

教科番号	0254	授業科目：法学（ Law ）
開講時期	後期	（ 全 ）学科 (3) 年 (2) 単位　担当者：　中村　武四郎

【授業の到達目標】

・法の常識的知識を身につけ，これからの社会での生活に役立てられることを目標とする。

【授業の概要】

学生の皆さんには，新聞を読んだりテレビ等を視聴したりすることを督励し，授業でも各法律に関連して，できる限り身近な時事的出来事を題材に取上げ，より理解を深めやすいような講義とする。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	法の分類	日本国憲法・民法・刑法などの我が国における法の分類	プリント（1）を読み学習 本時授業の復習	７０ ３０
2	基本六法について	日本国憲法・民法・刑法・商法・民事訴訟・法刑事訴訟法の概観と法学への導入	プリント（2）を読み学習 本時授業の復習	７０ ３０
3	日本国憲法	前期で学習した日本国憲法についての復習	プリント（2）を読み学習 本時授業の復習	７０ ３０
4	民法 (1)	総則についての解説	プリント(3～6)を読み学習 本時授業の復習	７０ ３０
5	民法 (2)	物権・債権についての解説	プリント(7～9)を読み学習 本時授業の復習	７０ ３０
6	民法 (3)	親族・相続についての解説	プリント(10～11)を読み学習 本時授業の復習	７０ ３０
7	１回～６回までのまとめ	まとめの問題の解答について討議し、理解を深める	まとめ問題を解き、理解を深める 討議の内容をまとめる	９０ ３０
8	刑法 (1)	刑法の役割、犯罪の成立要件（行為・構成要件）	プリント（１２）を読み学習 本時授業の復習	７０ ３０
9	刑法 (2)	犯罪の成立要件（違法性・責任）	プリント（１３）を読み学習 本時授業の復習	７０ ３０
10	商　法	企業関係における諸問題	プリント（１４）を読み学習 本時授業の復習	７０ ３０
11	刑事訴訟法・民事訴訟法	犯罪の捜査、裁判（公判）、裁判で言い渡された刑の執行。民事訴訟の機構及び作用	プリント（１５）を読み学習　本時授業の復習	７０ ３０
12	労働法	労働法の意義、労働組合、労働契約、労働災害及びその補償	プリント（１６）を読み学習 本時授業の復習	７０ ３０
13	手形・小切手法	手形・小切手の経済的機能	プリント（１７）を読み学習 本時授業の復習	７０ ３０
14	諸法律の課題	普段の生活における法律とのかかわりについて討議し、理解を深める	課題について討議し、レポート作成 討議の内容をまとめる	１２０ ６０
15	まとめ	小テスト まとめと総括	小テストの準備 プリント整理とまとめ	９０ ３０

【テキスト】　プリント、資料

【参考書・参考資料等】　プリント配付

【成績評価基準・方法】　ノート記録状況&受講態度（30%）、レポート（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0912	授業科目：経営学総論（business administration introduction）
開講時期	後期	（ 全 ）学科（1）年（2）単位　　担当者： 石田尾 博夫

【授業の到達目標】
・企業経営の基本的考えについて理解を深め、企業を取り巻く経営環境、企業の社会的責任についても理解ができる。

【授業の概要】
近年、わが国の企業を取り巻く環境は、益々その厳しさを増しつつある。このような状況のもとで、企業の中には、生産・販売などの経営活動を合理的・経済的に維新するとともに、組織の革命、管理の科学化に取り組み、業績を伸ばしているものが見られる。そこで、本講義では、企業の成長発展の基礎となる経営者の理念、経営環境との関連性、経営戦略、経営意志決定、リーダーシップなどについて学ぶ。

【授業要旨】

回数	題　目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	経営学の世界	経営資源、会社と企業の区別。 経営と管理の区別。	テキスト(P1~2)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	経営学と経済学	企業の３機能、企業の利益と経営効率、経営学と経済学。	テキスト(P3~6)を読みまとめる。 授業の復習をする。	３０ ６０
3	経営組織	経営組織の形態（ライン・スタッフ）CEO/COO、リーダーシップ論。	テキスト(P7~9) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
4	経営構造の発展（1）	職能別組織、事業部制組織、マトリックス組織。	テキスト(P10~13) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	経営構造の発展（2）	SBU、アントレプレナー。	テキスト(P12~13)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ３０
6	経営戦略（1）	事業戦略（５つの競争戦略・競争戦略の３類型)	テキスト(P14~21) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
7	１回～６回までのまとめ	演習問題の解答・解説とまとめについてディスカッション等で理解を求める。	演習問題を解き理解を深める。 ディスカッションの内容をまとめる	１２０ ６０
8	経営戦略（2）	CSR,PPM 分析	テキスト(P27~29) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
9	経営戦略（3）	SWOT 分析	テキスト(P30~31) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
10	マーケティング論（1）	マーケティングの４P、４C	テキスト(P32~33) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
11	マーケティング論（2）	サプライチェーン・マネジメント（SCM)	テキスト(P73~74)を読みまとめる。 授業の内容を復習をする。	３０ ６０
12	マーケティング論（3）	POP システム、プッシュ・プル戦略	テキスト(P40~41) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
13	マーケティング論（4）	M&A,AIDMA 理論	テキスト(P41) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
14	経営学の課題	日本型経営の特徴と現状経営を比較し課題を理解する。	海外で活躍する日本企業の経営、企業の社会的責任等レポートにまとめる。	１２０ ６０
15	まとめ	まとめと総括、小テストの実施	小テストの準備。 ノートの整理とまとめ。	６０ １２０

【テキスト】講義ノート「経営学」石田尾　博夫編　日本経済大学刊

【参考書】　授業中に適宜配布する。

【成績評価基準・方法】　ノート取得状況・レポート（30%）、テスト（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0915	授業科目：技術と経営　(Technology and Management)
開講時期	前期	（　全　）学科 (2) 年 (2) 単位　担当者：當金一郎

【授業の到達目標】　現代社会の技術を取り巻く概況を国内外に渡って認識する。大学で修めた技術を実社会で効果的に生かすことができるように技術経営の基本を理解する。

【授業の概要】技術と経営とは一見すると結びつきにくいように感じるが、現代の経営の多くは技術と密接に関わるものが多い。日本企業が国際競争力を取り戻すには、「経営感覚のある技術者」が握っていると云われている。本講義では、技術と経営の両方の視点で活躍できる技術者の育成を目指して議論を進めていく。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習復習）	時間（分）
1	技術と経営	技術者に求められる経営管理とは	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	MOTとは何か	Management of Technologyの視点、MBAとの違いは	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
3	市場環境と技術経営	市場ニーズ、価値連鎖、新製品開発	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
4	技術戦略とは(1)	技術戦略とは、技術戦略策定のプロセス	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	技術戦略とは(2)	競争優位の技術戦略、技術投資の意思決定	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
6	研究開発マネジメント	研究開発とは。研究開発予算管理、製品開発プロセス	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
7	１回～６回のまとめ	社会状況の変化と理解促進。ディスカッション	授業前半総括、課題の検討と発表、ディスカッション	９０
8	知的財産マネジメント(3)	製品開発の組織、知的財産権マネジメント	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
9	アライアンスマネジメント	外部企業利用の必要性、アライアンスの種類と形態	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
10	生産マネジメント	生産管理とは、工程管理、作業管理	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
11	生産マネジメント	品質管理、資材購買管理	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
12	ＣＴＩの基礎	コンペティティブ・テクニカル・インテリジェンス	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
13	プロジェクトマネジメント	プロジェクトマネジメントの手法、研究開発の効率化	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
14	レピュテーションマネジメント	企業の社会的責任（ＣＳＲ）、企業市民	授業の全体総括とグループディスカッション。	９０
15	まとめ	学修のまとめと総括	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０

【テキスト】　「技術経営論入門　わかりやすいMOTの考え方」阿部隆夫著　(森北出版)

【参考書・参考資料等】技術経営論：藤末健三（生産性出版）．コンペティティブ・テクニカル・インテリジェンス：菅澤嘉男（コロナ社）．レピュテーションマネジメント：(日本実業出版社)．バランススコアカード入門：吉川武男（生産性出版）．技術マネジメント入門：三澤一文（日経文庫）．技術士制度における総合技術監理部門の技術体系：(日本技術士会)．通勤大学MBA11,MOT:総合法令

【成績評価基準・方法】受講態度(20%)、レポート、小テスト(20%)、最終評価試験(60%)を行い、総合的な評価を行う。

教科番号	0380	授業科目：修学基礎　（ School　Foundation ）
開講時期	前期	（ 全 ）学科（1）年（ 1 ）単位　　担当者：各学科教員

【授業の到達目標】

大学における修学や生活に取り組む態度・心構えを身につけ、自己管理力を養成し、自己実現に向かって積極的かつ実践的に取り組むことができるようにする。

また、卒業後、技術者として将来の目標を設定する必要性を学び、希望する専門領域を確定し、その学習のための事前準備を含めた履修計画や行動を自ら立案し実行することができるようにする。

【授業の概要】

大学生として自主的に学び，考え，行動するための基礎を築き，卒業後の自分の姿を具体化し，目標を明確にする手助けとする。

履修方法の指導，講義を受けるための基礎となるノートの取り方，テキストの読み方，レポートの書き方などを学ぶ。また，外部講師等の講話を聴講し，4年間の学生生活を心身ともに健康に過ごすための方策とする。

図書館をはじめとした大学の諸施設の見学や利用方法を学び，自分の目的に応じて学習環境を利用できるようになることを目指す。

また、アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	イントロダクション	・大学で学ぶ意義、講座の目的を知る。 ・各学科教員の紹介と教員の経験に基づく訓話。 ・将来の目標について考える。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	学生生活と心の健康（全学科620教室）	・青年期における悩みや不安についての理解とその対応（ストレスマネジメント）について学ぶ。 ・学生相談室の概要と利用の仕方について。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。 （担当者：切手）	３０ ６０
3	学生生活での危機対策（全学科620教室）	・大学生活で陥りやすい問題（薬物乱用等）の正確な知識を得て、退学処分等を受けることなく勉学を全うするための心構えを学ぶ。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。 （担当者：外部講師）	３０ ６０
4	スタディ・スキルを身につけよう（全学科620教室）	・人類を人間として発達させた「ことば」の意味を考え、ことばでノートをとる技能のイロハをやってみる。	４００字以内で抱負を書いてくる。（提出） 主張文構造を復習する。 （担当者：岩橋）	６０ ６０
5	学科・コースの紹介	・卒業後を見据えた各コースの紹介。 ・先輩たちの就職先の紹介。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
6	単位の修得等	・単位の修得（4年間のコースごとの単位習得についてのシュミレーションを提示）、テストの受け方やレポートの書き方。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
7	修学・生活態度	・1年間の学習計画、行動計画をワークシートにしたがって書き、提出させる。それに基づいてクラスアドバイザーとの面談を後日行う。	資料を読みまとめる。 面談内容をまとめて復習する。	６０ ６０
8	情報収集の仕方	・図書館の利用の仕方、インターネットの利用の仕方。実際に学科ごとに図書館とコンピュータルームに行って、簡単な利用上の説明を受けた後、レポート作成などの具体例を挙げてより詳しく図書館、インターネットの活用法を学ぶ。	資料を読みまとめる。 図書館利用やインターネットの活用法をまとめて復習する。	６０ ６０

【テキスト】　随時資料配付

【参考書・参考資料等】　なし

【成績評価基準・方法】　ノート取得状況&受講態度（50%）、レポート（50%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0387	授業科目：数学入門（ Introductory Mathematics ）
開講時期	前期	（全）学科（1）年（4）単位　担当者：竹下俊一・福永知哉

【授業の到達目標】

工学全般に必要な微積分学や線形代数を学ぶ上で必要な基礎的な事項を学び、高等学校数学からのなめらかな接続をめざす。

【授業の概要】

高等学校までの学習において、履修科目や習熟度の差があることに配慮し、基礎的な事項の定着をめざす。論理的な説明はなるべく簡略にし、基礎事項の学習や問題演習に時間をかけ、計算力の習熟をめざす。工学や日常の例をできるだけ取り上げ、興味を持って学べるよう工夫する。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	数や量の概念	数と寮の計算、人割合、いろいろな数量関係	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
2	式とグラフ	１次式・２次式・分数式、式とグラフ・方程式	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
3	式と計算１	整式の加法・減法・乗法・展開、因数分解	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
4	式と計算２	整式の除法、因数定理、３次以上の方程式	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
5	式と計算３	グラフと不等式、1 次不等式、2 次不等式、	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
6	三角関数１	三角比、一般角と弧度法、単位円と三角関数	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
7	三角関数２	三角関数の相互関係、三角関数の性質	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
8	三角関数３	三角関数のグラフ、三角関数の方程式・不等式	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
9	三角関数４	単位円と三角関数、加法定理	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
10	三角関数５	2 倍角・半角、積⇔和・差、合成	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
11	三角関数６	単位円と逆三角関数、逆三角関数の値	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
12	11 回までのまとめ	演習問題の解答・解説とまとめについてディスカッションを行い理解を深める。	演習問題を解説し発表する。 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
13	指数・対数関数　1	累乗と累乗根、指数法則、指数の拡張	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
14	指数・対数関数　2	指数関数の性質、指数関数のグラフ	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
15	指数・対数関数　3	指数関数と対数関数、対数の性質	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
16	指数・対数関数　4	対数関数のグラフ、対数の応用	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
17	16 回までのまとめ	演習問題の解答・解説とまとめについてディスカッションを行い理解を深める。	演習問題を解説し発表する。 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
18	ベクトル１	ベクトルの加法・減法・実数倍	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
19	ベクトル２	座標平面、座標空間、ベクトルの成分表示	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60

20	ベクトル3	内積の定義、内積の性質、計算法則	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
21	ベクトル4	成分と内積、内積の応用	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
22	21回までのまとめ	演習問題の解答・解説とまとめについてディスカッションを行い理解を深める。	演習問題を解説し発表する。 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
23	ベクトル5	図形とベクトル、直線や曲線のベクトル方程式	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
24	複素数1	複素数、複素数の計算、複素数と方程式の解	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
26	複素数2	複素数平面、複素数平面における加法・減法	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
27	複素数3	複素数の極形式表示、ド・モアブルの定理とベキ乗根	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
28	複素数4	指数関数表示、極表示、オイラーの定理	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
29	複素数5	指数関数表示、極表示、オイラーの定理	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
30	まとめ	まとめと総括。小テストの実施		60 120

【テキスト】　実教出版　「理工系の基礎数学」

【参考書・参考資料等】　　なし

【成績評価基準・方法】　ノート取得状況&受講態度（30%）、小テスト（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0388	授業科目：基礎物理（ Basic Physics ）
開講時期	前期	（全）学科（1）年（4）単位　担当者：山田　猛矢、大脇　康博、福永　知哉

【授業の到達目標】

・ 力学・熱力学・波動学・電磁気学・原子物理を概念的に理解し、簡単な計算ができるようになる。

・ 物理分野全般の現象をイメージできるようになる。

【授業の概要】

身近な例や多くの絵によって、イメージ的に理解することを優先する。単位や三角関数などのおさらいから半導体や放射線まで、物理全般を直感的に説明する。専門外の技術課題に対してある程度理解ができ、将来、他分野の技術者と協働できるようになるために、どの分野の技術者も教養として知っておくべき物理を学ぶ。

【授業要旨】

回数	題　　目	授　業　内　容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	物理のための道具（1）	単位、有効数字、三角関数	テキスト(p1～4)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 120
2	物理のための道具（2）	指数関数、対数関数	テキスト(p5～7)を読みまとめる。 テキスト p8 の問題を解く。	90 150
3	力学の基本（1）	速度、加速度	テキスト(p9～12)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 120
4	力学の基本（2）	落下運動、反発係数	テキスト(p13～16)を読みまとめる。 テキスト p17 の問題を解く。	90 150
5	運動と力（1）	力、運動方程式、力のつり合い	テキスト(p18～22)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 120
6	運動と力（2）	慣性の法則、作用反作用の法則	テキスト(p23～24)を読みまとめる。 テキスト p25 の問題を解く。	90 150
7	圧力と回転	圧力、気圧、水圧、浮力，力のモーメント、重心	テキスト(p26～32)を読みまとめる。 キスト p33 の問題を解く。	90 120
8	1～7 回までのまとめ	力学分野(力と運動方程式)についての工学分野の応用においてディスカッションを行い理解を深める。	力学分野(力と運動方程式)の復習。 ディスカッションの内容についてまとめる。	180 120
9	エネルギーと保存則（1）	仕事、仕事率、運動エネルギー、位置エネルギー	テキスト(p34～37)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 120
10	エネルギーと保存則（2）	弾性エネルギー、エネルギー保存の法則	テキスト(p38～39)を読みまとめる。 テキスト p40 の問題を解く。	90 150
11	運動量と慣性力（1）	運動量、力積、運動量保存の法則	テキスト(p41～43)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 120
12	運動量と慣性力（2）	相対速度、慣性力、遠心力	テキスト(p44～45)を読みまとめる。 テキスト p46 の問題を解く。	90 150
13	9～12 回までのまとめ	力学分野(エネルギー保存則, 運動量保存則)についての身近な物理現象においてディスカッションを行い理解を深める。	力学分野(エネルギー保存則，運動量保存則)の復習。ディスカッションの内容についてまとめる。	180 180
14	気体分子の運動と熱（1）	熱運動、熱量保存の法則、ボイル・シャルルの法則	テキスト(p48～51)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 120
15	気体分子の運動と熱（2）	状態方程式、内部エネルギー、熱力学第１法則	テキスト(p51～54)を読みまとめる。 テキスト p56 の問題を解く。	90 150
16	波の性質と表し方（1）	振幅、波長、振動数、位相、横波・縦波	テキスト(p57～90)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 120
17	波の性質と表し方（2）	回折、反射、屈折、定常波、干渉	テキスト(p61～64)を読みまとめる。 テキスト p65 の問題を解く。	90 150
18	音と光（1）	音波、うなり、ドップラー効果	テキスト(p66～69)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 120
19	音と光（2）	光、全反射、レンズ、光の干渉	テキスト(p70～73)を読みまとめる。 テキスト p78 の問題を解く。	90 150

20	14～19 回までのまとめ	熱、波分野についての身近な物理現象においてディスカッションを行い理解を深める	熱、波分野の復習。 ディスカッションの内容についてまとめる。	180 180
21	静電気と力（1）	電子、静電気力、電気量保存の法則	テキスト(p79～80)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 120
22	静電気と力（2）	電場、電位	テキスト(p81～82)を読みまとめる。 テキスト p83 の問題を解く。	90 150
23	オームの法則､電気回路	自由電子、オームの法則、電力、アース、コンデンサー	テキスト(p84～90)を読みまとめる。 テキスト p93 の問題を解く。	90 120
24	電流と磁場（1）	磁場、コイル、右ねじの法則	テキスト(p94～96)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 150
25	電流と磁場（2）	フレミングの左手の法則、ローレンツ力、モーター	テキスト(p97～99)を読みまとめる。 テキスト p100 の問題を解く。	90 120
26	交流（1）	電磁誘導、誘導電流、交流電源	テキスト(p101～104)を読みまとめる。授業の内容を復習する。	90 150
27	交流（2）	自己誘導、相互誘導、電磁波	テキスト(p105～107)を読みまとめる。テキスト p108 の問題を解く。	90 120
28	原子物理	半導体、集積回路、放射線、放射性崩壊、半減期	テキスト(p109～113)を読みまとめる。テキスト p114 の問題を解く。	120 150
29	21～28 までのまとめ	電気、磁気分野について身近な物理現象を調べディスカッションを行い理解を深める。	電気、磁気分野の復習。 ディスカッションの内容についてまとめる。	180 120
30	総合演習、まとめ	総合問題演習とまとめと各専門分野とのつながりについて。	テキストの章末問題の解きなおし等, テストに備える。	240

【テキスト】　教養基礎シリーズ「まるわかり！基礎物理」時政孝行 監修 桒子 研 著　南山堂

【参考書・参考資料等】　授業中に適宜配布する。

【成績評価方法】　　試験（80%），授業態度(20%) で総合的な評価を行う。

教科番号	0362	授業科目： 化学入門（Introduction of Chemistry）
開講時期	前期	（ 全 ）学科（2）年（2）単位　　担当者： 切手 純孝

【授業の到達目標】

・原子の構造と電子軌道について理解を深め、物質の結合論と化学的性質についても理解ができる。
・物質の三態（固体・液体・気体）について、それぞれの基本的法則の理解ができる。また、理想気体の状態方程式を活用した応用的な問題も理解ができる。
・化学反応の定量的な取り扱いができる。特にモル濃度については実験の要素も含んだ理解ができる。

【授業の概要】

講義と演習によって精選した化学の基本概念を理解させ，専門科目の材料学を履修するための基礎を修得させる。さらに、小テストやディスカッションも取り入れて理解を深めさせる。また、アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	物質の分類	純物質と混合物、単体と化合物、元素記号と元素名	テキスト(P2~10)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	物質の構成（1）	原子の構造、原子の表し方、小テストの実施	テキスト(P12~15)を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	６０ ６０
3	物質の構成（2）	同位体、物質の表し方と化学式	テキスト(P15~25) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
4	電子配置（1）	電子殻と原子軌道、電子の収容	テキスト(P33~38) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	電子配置（2）	多電子原子の電子配置、閉殻構造、小テストの実施	テキスト(P39~42)を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	６０ ６０
6	電子配置と周期表の関係	最大電子収容数と閉殻電子配置の関係	テキスト(P42~47) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
7	１回～６回までのまとめ	演習問題の解答・解説とまとめについてディスカッションを行い理解を深める。	演習問題を解き理解を深める。 ディスカッションの内容をまとめる	１２０ ６０
8	化学結合（1）	イオン結合、金属結合、金属結晶の構造	テキスト(P51~56) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
9	化学結合（2）	共有結合、不対電子、共有電子対、配結合	テキスト(P56~66) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
10	化学結合（3）	分子の極性、分子間力、水素結合	テキスト(P67~71) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
11	化学量論（1）	原子の相対質量、原子量、分子量、小テストの実施	テキスト(P75~78)を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	６０ ６０
12	化学量論（2）	物質量、気体の体積、気体の状態方程式	テキスト(P78~79) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
13	化学量論（3）	モル質量とモル濃度、その他の濃度	テキスト(P80~86) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
14	科学の課題	地球温暖化の原因とその対策についてディスカッションにより理解を深める。	地球温暖化の原因を調べ、その対策を考えレポートにまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	１２０ ６０
15	まとめ	まとめと総括。小テストの実施	小テストの準備。 ノートの整理とまとめ。	６０ １２０

【テキスト】　化学入門　　千葉工業大学教育センター科学教室　編　　学術図書出版社

【参考書・参考資料等】　授業中に適宜配布する。

【成績評価基準・方法】　ノート取得状況＆レポート（30%）、小テスト（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0363	授業科目： 高分子化学（Polymer Chemistry）
開講時期	後期	（ 全 ）学科（2）年（2）単位 担当者：切手 純孝

【授業の到達目標】
・有機化合物の IUPC 命名法にそった名称がつけられる。
・プラスチックの名称・構造と基本的な性質が関連付けられる。

【授業の概要】
有機化合物に関する高校での理解度はかなり低く、有機高分子に至っては皆無に等しい。それにもかかわらず、有機化合物は工業材料（プラスチック）としての利用度がかなり高い。
有機化合物に関する下記の内容を詳細に講義することは時間的に困難である。したがって高分子に関する講義を主体とすることによって、今後、学生が技術者として高分子材料に遭遇したとき、その材料の名称からおおよその性質が推察できるように工夫する。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	物質の三態と特性	固体・液体・気体の特徴、融解点・凝固点・沸点・沸騰・蒸発・昇華	テキスト(P88~89)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	物質の相図と特徴	個相・液相・気相の特徴、三重点・臨界点、標高と気圧、	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
3	理想気体と実在気体	ボイルの法則、シャルルの法則、気体の状態方程式、	テキスト(P76~78)を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	６０ ６０
4	モル濃度と実験	溶解度、質量パーセント、モル濃度、アボガドロ定数、	テキスト(P79~82) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	化学反応(2)	酸化数と酸化還元反応、特別な化学反応	テキスト(P91~94) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
6	化学反応(1)	酸・塩基と中和反応、水素イオン濃度と pH、	テキスト(P95~99) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
7	まとめと復習	１回～６回までの小テストと解説。質問によるディスカッション	小テストの準備。授業の復習をする。 授業の内容を復習する。	１２０ ６０
8	炭素原子とＳＰ混成軌道	2S と 2P 軌道の特徴、混成軌道形成の考え方	テキスト(P61~65) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
9	炭化水素化合物(1)	有機化合物の命名と構造式の特徴 アルカン、アルケン、アルキン	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
10	炭化水素化合物(2)	Alkane 連鎖異性体, Alkene 位置異性体, 幾何異性体	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
11	炭化水素化合物(3)	脂環式炭化水素と芳香族炭化水素の構造と特性	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
12	炭化水素化合物の反応	置換反応、付加反応、付加重合、エステル化反応	リントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
13	酸素を含む有機化合物	アルコール, アルデヒド、カルボン酸の構造と特性	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
14	科学の課題	ダイオキシンなどの有機塩素化合物についてのグループディスカッションにより理解を深める。	ダイオキシンなどについて調べ、自分の考えをレポートにまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	１２０ ６０
15	まとめ	まとめと総括。小テストの実施	小テストの準備。 ノートの整理とまとめ。	６０ １２０

【テキスト】　化学入門　千葉工業大学教育センター科学教室　編　学術図書出版社

【参考書・参考資料等】　授業中に適宜配布

【成績評価基準・方法】　ノート取得状況&受講態度（30%）、中間テスト（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0255	授業科目：技術者倫理（　Engineer ethics　）
開講時期	後期	（　全　）学科（3）年（1）単位　担当者：各学科教員

【授業の到達目標】

・技術者倫理の基本的事項が理解できる。

【授業の概要】

本授業科目は、技術者倫理の専門家を養成することではなく、企業で働いていて技術者倫理が問われる問題に遭遇したとき、正しい判断ができる知識を教えることを目的とする。

・技術者として、つねに専門技術の向上に努めるとともに、良心に基づいて行動する。

・技術者として、相互に信頼し合い、相手の立場を尊重し行動する。

・技術者として、業務上知り得た秘密を他に漏らしたり、または盗用したりしない。

・アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。

【授業要旨】

回数	題　　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	技術者倫理序論（外部講師）	技術者としての良心に基づいた行動について。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	技術者と倫理（外部講師）	技術者として、相互に信頼し合い、相手の立場を尊重した行動について。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
3	倫理問題への対応	技術者としての守秘義務、環境保全、労働安全衛生等について。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
4	実践的技術者倫理	技術者倫理が問われる問題に遭遇したとき、正しい判断ができる知識について。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	事例から学ぶ技術者倫理（1）	事例１：技術者倫理が問われる事例を基にした、グループ討議やグループ学習を行う。	資料を読みまとめる。 グループ討議の内容をまとめて復習する。	６０ ６０
6	事例から学ぶ技術者倫理（2）	事例２：技術者倫理が問われる事例を基にした、グループ討議やグループ学習を行う。	資料を読みまとめる。 グループ討議の内容をまとめて復習する。	６０ ６０
7	事例から学ぶ技術者倫理（3）	事例３：技術者倫理が問われる事例を基にした、グループ討議やグループ学習を行う。	資料を読みまとめる。 グループ討議の内容をまとめて復習する。	６０ ６０
8	まとめと総括	技術者倫理に関する事例研究のまとめを行い、グループごとに発表する。	発表用の原稿を作成する。 ディスカッションの内容をまとめる	１２０ ６０

【テキスト】

資料、プリント、その他

【参考書・参考資料等】

技術者倫理入門　　谷垣昌敬　監修　　オーム社

はじめての工学倫理　　齋藤了文・坂下浩司　編　　昭和堂

【学生に対する評価】

ノート取得状況、発表態度、授業態度等（70%）、レポート（30%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0251	授業科目：産業と人間（Human and Industry）
開講時期	前期	（ 全 ）学科（1）年（2）単位　　担当者：　石田尾　博夫

【授業の到達目標】

現代の産業社会の諸問題と課題に焦点を当て、現代経済の仕組みについても理解ができる。また、教養論文のテーマになりそうな事項や面接試験で話題になりそうな事項を扱う分野でもある。したがって最新の情報を配布プリントなどでフォローさせる。

【授業の概要】

本講義では、「産業と人間」のあり方を、経済学や社会学の視点から考察する。現代の産業社会の分析に必須のツールとしての理論と現実のいわば「思考の往復」を図りたい。

【授業要旨】

回数	題　　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	資本主義社会の成立	資本主義の成立と発展。ケネーからフリードマンまで。	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	ミクロ経済とマクロ経済学	市場メカニズム、市場の失敗、インフレとデフレ。	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
3	金融とフィスカルポリシー	金融政策、今日の金融をめぐる動き、金融の自由化・国際化と金融不安。	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
4	財政（1）	財政の機能と役割	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	財政（2）	財政改革	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ３０
6	国際経済と国際貿易	国際収支、外国為替、国際通貨体制。	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
7	１回～６回までのまとめ	演習問題の解答・解説とまとめについてディスカッション等で理解を求める。	演習問題を解き理解を深める。 ディスカッションの内容をまとめる	１２０ ６０
8	国際経済と国際貿易	地域経済統合（EU、ASEAN）BRICS　PIIGS	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
9	戦後日本経済史の展開	経済のソフト化・サービス化、産業の空洞化。	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
10	産業と人間	集団主義、日本文化論、テクノストレス。	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
11	社会保障と社会福祉	各国の社会保障制度の歴史	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
12	人口問題と少子高齢化社会	マルサスの人工論、人口置換論（倍加年数、合計特殊出生率）	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
13	労働環境	男女共同参画社会、ジェンダー問題。	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
14	現代社会の課題	現代社会の特徴と現代経営を比較し課題を理解する。	課題研究等レポートにまとめる。	１２０ ６０
15	まとめ	まとめと総括。小テストの実施	小テストの準備。 ノートの整理とまとめ。	６０ １２０

【テキスト】プリント配布

【参考書】　「世界経済論ノート」　石田尾　博夫編著　（台湾国立成功大学）

【成績評価基準・方法】　ノート取得状況＆レポート（30%）、テスト（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0471	授業科目：英語入門演習（Introduction to Basic English）
開講時期	前期	（全）学科（1）年（2）単位　担当者：村上 美穂・徳山 ティーダ・知念 潔

【授業の到達目標】
英文法の総復習とその定着を図り、工学基礎としての英語力を身に付けることを目標とする。

【授業の概要】
本科目では，毎回テキストと辞書を使用。　テキストの予習･復習は毎回必須。予習に基づいた演習形式により，高校時までの英文法の整理･確認をしながら，それを発展させ，工学基礎の定着を図る。定着をはかるためにリスニング演習･オーラル演習は毎回取り入れ、音読の習慣も身につけさせていく。各 Unit 終了後は小テストも実施する。履修生には、各自資格試験等にも積極的に取り組んでもらえるよう積極的に支援していく。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題(予習･復習)	時間
1	導入	オリエンテーション，相互自己紹介，アンケート，ノート指導 等	テキスト全体に目を通しておく	60 分
2	導入	‘Let’s get back to the Basics	テキスト(P4～13)の予習	120 分
3	Unit 1	基本動詞の理解とリスニング	テキスト(P14～16)の予習と復習	120 分
4	Unit 1	基本動詞の応用と英文読解	テキスト(P14～16)の予習と復習	120 分
5	Unit 2	基本動詞(現在)の理解とリスニング	テキスト(P17～19)の予習と復習	120 分
6	Unit 2	基本動詞(現在)の応用と英文読解	テキスト(P17～19)の予習と復習	120 分
7	Unit 3	基本動詞(過去)の理解とリスニング	テキスト(P20～22)の予習と復習	120 分
8	Unit 3	基本動詞(過去)の応用と英文読解	テキスト(P20～22)の予習と復習	120 分
9	Unit 4	進行形の理解とリスニング	テキスト(P23～25)の予習と復習	120 分
10	Unit 4	進行形の応用と英文読解	テキスト(P23～25)の予習と復習	120 分
11	Unit 5	未来形の理解とリスニング	テキスト(P26～28)の予習と復習	120 分
12	Unit 5	未来形の応用と英文読解	テキスト(P26～28)の予習と復習	120 分
13	Unit 6	助動詞の理解とリスニング	テキスト(P29～31)の予習と復習	120 分
14	Unit 6	助動詞の応用と英文読解	テキスト(P29～31)の予習と復習	120 分
15	Unit 7	名詞・ 冠詞の理解とリスニング	テキスト(P32～34)の予習と復習	120 分
16	Unit 7	名詞・冠詞の応用と英文読解	テキスト(P32～34)の予習と復習	120 分
17	Unit 8	代名詞の理解とリスニング	テキスト(P35～37)の予習と復習	120 分
18	Unit 8	代名詞の応用と英文読解	テキスト(P35～37)の予習と復習	120 分
19	Unit 9	前置詞の理解とリスニング	テキスト(P38～40)の予習と復習	120 分
20	Unit 9	前置詞の応用と英文読解	テキスト(P38～40)の予習と復習	120 分
21	Unit10	形容詞・副詞の理解とリスニング	テキスト(P41～43)の予習と復習	120 分
22	Unit10	形容詞・副詞の応用と英文読解	テキスト(P41～43)の予習と復習	120 分
23	Unit11	比較の理解とリスニング	テキスト(P44～46)の予習と復習	120 分
24	Unit11	比較の応用と英文読解	テキスト(P44～46)の予習と復習	120 分
25	Unit12	命令文・感嘆文の理解とリスニング	テキスト(P47～49)の予習と復習	120 分
26	Unit12	命令文・感嘆文の応用と英文読解	テキスト(P47～49)の予習と復習	120 分
27	Unit13	接続詞(1)の理解とリスニング	テキスト(P50～52)の予習と復習	120 分
28	Unit13	接続詞(1)の応用と英文読解	テキスト(P50～52)の予習と復習	120 分
29	Review	前半の総復習，応用演習，その他	ノートの整理，復習，音読	120 分
30	Review	後半の総復習，応用演習，その他	ノートの整理，復習，音読	120 分

【テキスト】　**‘First Primer’**　(Revised Edition 改訂新版）：南雲堂
(佐藤哲三・椿松伸二・愛甲ゆかり・小手川巧光・福島孝夫・重久睦美・村上美穂・新 彰 共著)

【参考書・参考資料等】　辞書（電子辞書は講義では使用不可），他は別途指示

【学生に対する評価】授業態度(15%)，試験(55%)，ノート･レポート･小テスト(30%) 等で総合的な評価をおこなう。

教科番号	0472	授業科目：実用英語（Practical English）
開講時期	後期	（ 全 ）学科（1）年（4）単位　担当者：村上美穂・徳山ティーダ・知念潔

【授業の到達目標】
英語検定の初級～中級レベル以上の英語力に到達し，英語を実際に使い味わえるための実践力を身につける。

【授業の概要】
本科目では，テキスト・辞書は毎回使用。予習をもとにした演習形式により，英文法の確認，応用も含めた問題演習・長文問題に取り組む。口頭での応答がスムーズにできるよう，リスニング演習やオーラル演習も積極的に取り入れる。テキストの予習･復習は毎回必須。各 Unit 終了後は小テストも実施する。履修生には、各自資格試験等にも積極的に取り組んでもらえるよう積極的に支援していく。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題(予習･復習)	時間
1	導入	授業オリエンテーション	テキスト全体に目を通しておく。	60 分
2	Unit 14	不定詞(Ⅰ)･動名詞(Ⅰ)の理解とリスニング	テキスト(P53～55)の予習と復習	120 分
3	Unit 14	不定詞(Ⅰ)･動名詞(Ⅰ)の応用と英文読解	テキスト(P53～55)の予習と復習	120 分
4	Unit 15	受動態の理解とリスニング	テキスト(P56～58)の予習と復習	120 分
5	Unit 15	受動態の応用と英文読解	テキスト(P56～58)の予習と復習	120 分
6	Unit 16	完了形の理解とリスニング	テキスト(P59～61)の予習と復習	120 分
7	Unit 16	完了形の応用と英文読解	テキスト(P59～61)の予習と復習	120 分
8	Unit 17	接続詞(Ⅱ) の理解とリスニング	テキスト(P62～64)の予習と復習	120 分
9	Unit 17	接続詞(Ⅱ) の応用と英文読解	テキスト(P62～64)の予習と復習	120 分
10	Unit 18	基本文型の理解とリスニング	テキスト(P65～67)の予習と復習	120 分
11	Unit 18	基本文型の応用と英文読解	テキスト(P65～67)の予習と復習	120 分
12	Unit 19	各種疑問文の理解とリスニング	テキスト(P68～70)の予習と復習	120 分
13	Unit 19	各種疑問文の応用と英文読解	テキスト(P68～70)の予習と復習	120 分
14	Unit 20	不定詞(Ⅱ)の理解とリスニング	テキスト(P71～73)の予習と復習	120 分
15	Unit 20	不定詞(Ⅱ)の応用と英文読解	テキスト(P71～73)の予習と復習	120 分
16	Unit 21	It の特別用法の理解とリスニング	テキスト(P74～76)の予習と復習	120 分
17	Unit 21	It の特別用法の応用と英文読解	テキスト(P74～76)の予習と復習	120 分
18	Unit 22	分詞･動名詞の理解とリスニング	テキスト(P77～79)の予習と復習	120 分
19	Unit 22	分詞･動名詞の応用と英文読解	テキスト(P77～79)の予習と復習	120 分
20	Unit 23	関係代名詞の理解とリスニング	テキスト(P80～82)の予習と復習	120 分
21	Unit 23	関係代名詞の応用と英文読解	テキスト(P80～82)の予習と復習	120 分
22	Unit 23	関係代名詞の総演習	別途配布する教材の予習と復習	120 分
23	Speaking	日常会話表現	別途配布する教材の予習と復習	120 分
24	Listening	各種リスニング演習	別途配布する教材の予習と復習	90 分
25	Listening	各種リスニング演習	別途配布する教材の予習と復習	90 分
26	Cultures	各英語圏の英語の発音，リスニング演習	別途配布する教材の予習と復習	90 分
27	Cultures	英語圏の文化に関する英文読解，フィードバック	別途配布する教材の予習と復習	90 分
28	Review	前半の総復習，応用演習，その他	ノートの整理，復習，音読	120 分
29	Review	後半の総復習，応用演習，その他	ノートの整理，復習，音読	120 分
30	まとめ	学習のまとめと総括	ノートの整理，復習，音読	120 分

【テキスト】**'First Primer'**　(Revised Edition 改訂新版)　：南雲堂
（佐藤哲三・椙松伸二・愛甲ゆかり・小手川巧光・福島孝夫・重久睦美・村上美穂・新 彰 共著）

【参考書・参考資料等】　辞書（電子辞書でないほうがよい）。他は別途指示

【成績評価基準・方法】 授業態度(15%)，試験(55%)，ノート,レポート&小テスト(30%) 等で総合的な評価をおこなう。

教科番号	0473	授業科目：総合英語Ⅰ　（ General Learning of English Ⅰ ）
開講時期	前期	（ 全 ）学科（ 2 ）年（ 2 ）単位　　担当者：村上 美穂

【授業の到達目標】

本講義では、文法や語法の再確認をしながら、自分の表現したい内容を様々な英文で表現する方法を身に付ける。

【授業の概要】

テキスト・辞書（英和・和英）は毎回使用。言いたいことを、英語らしく適切な表現をする方法を学ぶ。予習をもとに、文法事項の再確認、初歩的なライティング活動、発展的なライティング活動を主に行い、学生同士が話し合い様々な表現を考え出す時間を設ける。　更に、親しみやすいストーリーの中で、日常生活でよく使われる会話表現も身に付ける。各 Unit 終了後には小テスト、学期末にはオーラルテストも実施する。

【授業要旨】

回数	題 目	授 業 内 容	学習課題(予習･復習)	時間
1	導入・Unit 1	授業オリエンテーション。 基本動詞の用法の復習。	テキスト(P4)の文法事項を理解しノートにまとめ, 演習問題をノートに解く。授業内容の復習と音読。	120分
2	Unit 1	基本動詞（時制の変化）を応用的に用いた英作文。日常会話。口頭演習	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120分
3	Unit 2	進行形（時制の変化）・未来形・助動詞の用法。	テキスト(P8)の文法事項を理解しノートにまとめ, 演習問題をノートに解く。授業内容の復習と音読。	120分
4	Unit 2	進行形・未来形・助動詞を用いた英作文・日常会話。口頭演習。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120分
5	Unit 3	名詞（可算・不可算）・冠詞・代名詞（各種代名詞）の用法。	テキスト(P12)の文法事項を理解しノートにまとめ, 演習問題をノートに解く。授業内容の復習と音読。	120分
6	Unit 3	名詞・冠詞・代名詞を応用的に用いた英作文。日常会話。口頭演習。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120分
7	Unit 4	前置詞（連語も含む）・接続詞（that 以外）の用法。	テキスト(P16)の文法事項を理解しノートにまとめ, 演習問題をノートに解く。授業内容の復習と音読。	120分
8	Unit 4	前置詞・接続詞（that 以外）を応用的に用いた英作文。日常会話。口頭演習。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120分
9	Unit 5	形容詞と副詞。 比較。	テキスト(P20)の文法事項を理解しノートにまとめ, 演習問題をノートに解く。授業内容の復習と音読。	120分
10	Unit 5	形容詞と副詞を使った英作文・言い換え。比較を使った様々な表現。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120分
11	Unit 6	命令文・感嘆文の用法と応用。	テキスト(P24)の文法事項を理解しノートにまとめ, 演習問題をノートに解く。授業内容の復習と音読。	120分
12	Unit 6	命令文・感嘆文を応用的に用いた英作文。日常会話。口頭演習。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120分
13	Unit 7	不定詞の基本的な用法と応用。	テキスト(P28)の文法事項を理解しノートにまとめ, 演習問題をノートに解く。授業内容の復習と音読。	120分
14	Unit 7	不定詞のその他の用法と応用。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120分
15	まとめ	学習のまとめと総括。 オーラルテスト。	ノートの整理とまとめ。 オーラルテストの準備。	120分

【テキスト】　‘Primer for English Writing’　(新藤照夫, 佐藤哲三, 愛甲ゆかり　共著　：南雲堂)

【参考書・参考資料等】　英和辞書・和英辞書（電子辞書以外のもの），他は別途指示

【成績評価基準・方法】ノート取得状況&受講態度（30%）、試験(60%)、小テスト(10%)　で総合的に評価する。

教科番号	0474	授業科目：総合英語Ⅱ　（ General Learning of English Ⅱ ）
開講時期	後期	（ 全 ）学科（ 2 ）年（ 2 ）単位　　担当者：村上　美穂

【授業の到達目標】

本講義では，文法や語法の再確認をしながら，自分の表現したい内容を様々な英文で表現する方法を身に付ける。

【授業の概要】

テキスト・辞書（英和・和英）は毎回使用。言いたいことを英語らしく適切な表現をする方法を学ぶ。予習をもとに，文法事項の再確認，リスニング，初歩的なライティング活動，発展的なライティング活動を主に行い，学生主体で話し合い様々な表現を考え出す機会を設ける。　更に，親しみやすいストーリーの中で，日常生活でよく使われる会話表現も身に付ける。各 Unit 終了後には小テスト，学期末にはオーラルテストも実施する。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題(予習･復習)	時間
1	Unit 8	動名詞の応用（主語･前置詞の目的語･動詞の目的語）。	テキスト(P32)の文法事項を理解しまとめ，演習問題を解く。授業内容の復習と音読。	120 分
2	Unit 8	現在分詞の応用。日常会話。	演習問題(P34)をノートに解く。 授業内容の復習と音読。	120 分
3	Unit 8	過去分詞の応用。日常会話。	演習問題(をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120 分
4	Unit 9	各種疑問文（付加疑問文・間接疑問文等）の用法。	テキスト(P36)の文法事項を理解しまとめ，演習問題を解く。授業内容の復習と音読。	120 分
5	Unit 9	It の特別用法。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習と音読。	120 分
6	Unit 9	It の特別な用法を用いた英作文 日常会話。口頭演習。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120 分
7	Unit 10	受動態の応用。 受動態を用いた特殊表現。	テキスト(P40)の文法事項を理解しまとめ，演習問題を解く。授業内容の復習と音読。	120 分
8	Unit 10	受動態がよく用いられる場面・用途	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120 分
9	Unit 11	現在完了の応用。口頭演習。	テキスト(P44)の文法事項を理解しまとめ，演習問題を解く。授業内容の復習と音読。	120 分
10	Unit 11	過去完了の応用。口頭演習。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120 分
11	Unit 12	接続詞 that の応用。読解。	テキスト(P48)の文法事項を理解しまとめ，演習問題を解く。授業内容の復習と音読。	120 分
12	Unit 12	その他の接続詞を用いた様々な構文。 手紙の文例・書き方。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120 分
13	Unit 13	5 文型の復習。	テキスト(P52)の文法事項を理解しまとめ，演習問題を解く。授業内容の復習と音読。	120 分
14	Unit 13	5 文型の応用，言い換え。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120 分
15	まとめ	学習のまとめと総括。オーラルテスト。	ノートの整理とまとめ。 オーラルテストの準備。	120 分

【テキスト】‘Primer for English Writing’　（佐藤哲三，愛甲ゆかり，新藤照夫　共著：南雲堂）

【参考書・参考資料等】　英和辞書・和英辞書（電子辞書以外のもの），他は別途指示

【成績評価基準・方法】　ノート取得状況&受講態度（30%），試験(60%)，小テスト(10%)　で総合的に評価する。

教科番号	0475	授業科目： 英会話入門（English Conversation－Introduction）
開講時期	前期	（ 全 ）学科 (3) 年 (2) 単位　　担当者： 徳山 ティーダ

【授業の到達目標】
・英語に慣れ親しみ、語彙知識を増やし、英会話をする上で必要な基礎知識を身に着ける。
・コミュニケーション力だけでなく、リスニング力やスピーキング力も講義でのペアワークや
グループワークなどを通して身に着けていく。

【授業の概要】
講義と会話の練習などをして基本フレーズを理解させ，実践的に使えるように英語になれていく。さらに、小テストやディスカッションも取り入れて理解を深めさせる。また、アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	Orientation Introduction	導入　オリエンテーション	classroom language の学習。今後の講義の為の予習や復習の仕方を紹介する	３０ ６０
2	How's it going?	簡単な自己紹介（出身や趣味など)、疑問詞、現在形の復習	テキスト(P1~5)を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	６０ ６０
3	What am I thinking of?	物の表現の仕方、簡単な質問の仕方、好みなどの言い方	テキスト(P7~11) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
4	Where's the post office?	町・市街地での場所の言い方、道の尋ね方・案内方法	テキスト(P13~17) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	Let's go shopping!	日常生活品の購入方法、飲食店での注文の仕方	テキスト(P19~23)を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	６０ ６０
6	How often do you exercise?	日課の言い方・聞き方、頻度を表す表現の活用方法	テキスト(P25~29) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
7	１回～6 回までのまとめ	6 回目までの講義から一つテーマを選びディスカッションを行い理解を深める。	演習問題を解き理解を深める。 ディスカッションの内容をまとめる	１２０ ６０
8	Time for trivia!	時間の聞き方・言い方、距離や期間の表現方法	テキスト(P31~35) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
9	What does she look like?	家族構成の言い方・紹介し方、外見や特徴などの表現方法	テキスト(P37~41) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
10	Which do you prefer?	意見・好みなどを比較級を用いての表現方法	テキスト(P43~47) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
11	What did you do?	週末の出来事、経験、豆知識などの紹介方法・表現方法	テキスト(P49~53)を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	６０ ６０
12	What's your future career?	職業別に適した質問の仕方・将来の目標などを表現方法	テキスト(P55~59) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
13	Have you ever …?	完了形を用いてこれまでの経験・体験の表現方法	テキスト(P61~65) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
14	これまでの学習内容を取り入れたスピーチ	１つテーマを選びプレゼンをし、プレゼン内容をディスカッションする。	プレゼンに対して質問などをし、 ディスカッションの内容をまとめる	１２０ ６０
15	Let's review!	まとめと総括。小テストの実施	小テストの準備。 ノートの整理とまとめ。	６０ １２０

【テキスト】　Now You're talking!（Chris Elvin 著 EFL 出版）

【参考書・参考資料等】　英和・和英辞書。授業中に適宜配布する。

【成績評価基準・方法】　ノート取得状況＆レポート（30%）、小テスト（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0476	授業科目： 基礎英会話（Basic English Conversation）
開講時期	後期	（ 全 ）学科 (3) 年 (2) 単位　　担当者： 徳山 ティーダ

【授業の到達目標】
・語彙・基本フレーズを増やしリスニング、リィディング力を定着させ、日常会話などで応用できる力を身に着けていく。
・隔週で学習内容を定着させるために簡単なスピーチなどをしてスピーキング力を強化していく。

【授業の概要】
講義と会話の練習などをして基本フレーズを理解させ，実践的に使えるように英語になれていく。さらに、スピーチやディスカッションも取り入れて理解を深めさせる。また、アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。

【授業要旨】

回数	題　目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	Orientation Introduction	導入　オリエンテーション	classroom language の学習。今後の講義の為の予習や復習の仕方を紹介	３０ ６０
2	Meeting People	自己紹介（出身や趣味など）、follow-up questions	テキスト(P7~10)を読みまとめる。 授業の内容を復習。スピーチの準備。	６０ ６０
3	Getting to Know Your Classmates	大学生活や学部の紹介の仕方	テキスト(P11~14) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
4	Talking About Classes	専攻科目・履修科目などの紹介の仕方	テキスト(P15~18) を読みまとめる。 授業の内容を復習。スピーチの準備。	３０ ６０
5	Talking About Your Daily Life	日課・日常生活の紹介、 頻度を表す副詞	テキスト(P19~23)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
6	Talking About People	外見や性格を表す単語を用いて家族や友人の紹介	テキスト(P24~28) を読みまとめる。 授業の内容を復習。スピーチの準備。	３０ ６０
7	1回～6回までのまとめ	6 回目までの講義から一つテーマを選びディスカッションを行い理解を深める。	演習問題を解き理解を深める。 ディスカッションの内容をまとめる	１２０ ６０
8	Talking About Last Weekend	過去形を用いて週末の出来事を話す	テキスト(P34~38) を読みまとめる。 授業の内容を復習。スピーチの準備。	３０ ６０
9	Talking About the Vacation	間違いやすい表現法やフレーズの学習と説明	テキスト(P39~42) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
10	Talking About Going Out on the Town	外出予定の立て方、招待の仕方、承諾・断り方	テキスト(P43~48) を読みまとめる。 授業の内容を復習。スピーチの準備。	３０ ６０
11	Talking About Travel	完了形と未来形などを用いて経験や将来の計画の表現方法	テキスト(P53~56)を読みまとめる。 授業の復習をする。	６０ ６０
12	Talking About Your Opinion	比較級・最上級などを用いて意見の述べ方・聞き方	テキスト(P61~64) を読みまとめる。 授業の内容を復習。スピーチの準備。	３０ ６０
13	視覚教材 課題・レポート	映像をみて次週のためのディスカッションをまとめる	翌週の発表準備。レポートのまとめ。 論点や要点をまとめる。	３０ ６０
14	課題・レポート発表とディスカッション	視覚教材で取り上げられた問題点について各自の意見を発表しディスカッションをする	課題・レポートを発表する。 発表者に自身の意見や見解を述べディスカッションをする。	１２０ ６０
15	Let's review!	まとめと総括。小テストの実施	小テストの準備。 ノートの整理とまとめ。	６０ １２０

【テキスト】　New Time to Communicate [改訂新版]（Eric Bray 著 NAN'UN-DO）

【参考書・参考資料等】　英和・和英辞書。授業中に適宜配布する。

【成績評価基準・方法】　ノート取得状況＆レポート（20%）、スピーチ＆小テスト（30%）、試験（50%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0460	授業科目：基礎ドイツ語(Basic German)
開講時期	前期	（ 全 ）学科 （1）年 （2）単位 担当者：知念潔

【授業の到達目標】
ドイツ語の文字、文を見てちゃんと発音でｋるようになる。ドイツ語の基本的表現を記憶させる。ドイツ語の基本的知識を、文法的な知識と関連させながら、まとめていく。

【授業の概要】
ドイツ語の基本的知識を解説するとともに、ドイツ語文化圏について紹介する。基本的な事柄から始め、段階をおってじゅんじゅんに積み上げながら進めてゆく。特に発音を重視する。実際の音声面に注意を促しながら進めてゆく。文法と平行して「決まり文句」日常的な場面で使われる表現を紹介し、旅行などですぐ使えるような知識をおりまぜて進めてゆく。

【授業要旨】

回数	題目	授業内容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	導入(1)	ドイツ語圏の国々とドイツ語について	ドイツ語圏という概念とドイツ語の通時的、共時的認識	９０分
2	導入(2)	ドイツ語のアルファベットの読み方	読み方を覚える	９０分
3	人称変化(1)	（1）決まり文句 Danke schön Bitte schön （2）つづりと発音 ローマ字式 ＪＤ （3）基本文例 Sie kommen aus Deutschland	お礼と感謝の表現を覚える 出身地の表現を身に着ける	９０分
4	人称変化(2)	（1）Guten Tag Guten Abend （2）Ä Ö Ü (3) Kommen Sie aus Deutschland?	挨拶と質問（疑問文）の作り方を復習	９０分
5	人称変化(3)	(1) Guten Morgen (2) ß groß (3) Ich komme aus Japan	挨拶と自分の出身を言う表現を身につける	９０分
6	人称変化(4)	(1) Gute Nacht (2) ei ie eu (3) Woher kommen Sie? Ich komme aus Japan. ドイツやヨーロッパのアクチュアルな出来事について論じてみる	今、ドイツ、ヨーロッパで何が問題になっているか、関心を持って調べる	９０分
7	人称変化(5)	(1) Auf Wiedersehen (2) V W (3) Kommen Sie aus Japan? Ja, ich komme aus Japan	別れの挨拶と問答形式の文章を覚える	９０分
8	人称変化(6)	(1) Gute Reise (2) Lektion Thema Philosophie (3) Ich bin müde. Du bist müde.	旅行へ行く人に別れの言葉をそして sein の人称変化を学ぶ	９０分
9	人称変化(7)	(1) Schönen Abend noch (2) Kopf Aaapfel (3) Er ist Student. Sie ist Studentin.	晩の別れの挨拶と sein の三人称の単数の形を覚える	９０分
10	人称変化(8)	(1) Viel Glück (2) König Quelle (3) ich bin wir sind Du bist ihr seid Er ist sie sind Sie sind	Sein の人称変化表を覚える	９０分
11	人称変化(9)	(3) ich komme wir kommen Du kommst ihr kommt Er kommt sie kommen Sie kommen	人称変化の表をおぼえる	９０分
12	人称変化(10)	Arbeiten の人称変化	音便の項目を理解する	９０分
13	人称変化(11)	Fahren の人称変化 A-Ä 型	幹母音の変化を学ぶ	９０分
14	人称変化	Sprechen の人称変化 E/IE 型 ヨーロッパの言語に特徴的な人称変化について言語学的な、文化・歴史史な示唆を与え、論じてみる	もう一つの感母音の変化	９０分
15	まとめ	これまで学んだことをまとめて、試験について解説する	これまでのすべてにわたって復習すること	９０分

【テキスト】 『生まれて初めてのドイツ語』このテキストを中心に、その他のことも織り込む

【参考書】 『アポロン独和辞書』 NHK のドイツ語講座（関心のある学生に）

【評価基準・方法】 ノート点（３０％）、出席状況（２０％）、テスト（５０％）で総合的に評価する

教科番号	0461	授業科目：ドイツ語（　German）
開講時期	後期	（全）学科　（1）年　（2）単位　　担当者：知念潔

【授業の到達目標】ドイツ語の基本的運用。例文を用いて、最重要な文例に絞って、繰り返し反復させて、身に着けさせる。発音させ、親しませ、習うより慣れよ、を実践する。

【授業概要】ドイツ語の応用知識、ドイツ語圏の文化ついての紹介も行い、語学の知識とともに「言語を用いて意思疎通する」人間のコミュニケーションの意義についても協調したい

【授業要旨】

回数	題目	授業内容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	人称変化（1）	１決まり文句 Danke shön ２数字 eins　zwei　drei ３基本文例　Sie haben Hunger	「ありがとう」は？ 数字の１，２，３は？	９０分
2	人称変化（2）	1 Bitte, shön 2 vier　fünf　sechs 3 Haben Sie Geld?　Ja. Ich habe Geld.	「どういたしまして」は？ 「お金はありますか」？	９０分
3	人称変化（3）	1 toi, toi, toi 2 sieben　acht neun 3 Hast du Zeit？　Ja, ich habe Zeit.	「くわばら、くわばら」は？ 数字の７、８，９は？	９０分
4	人称変化（4）	1 Gott sei Dank 2 Zehn elf　zwölf　drei 3 Er hat heute Zeit　Sie hat morgen English	「やれやれ（安堵）」は何というか？　　１０，１１，１２の数字は？	９０分
5	人称変化（5）	1 Auf Deutsch, bitte 2 dreizehn　vierzehn　fünfzehn 3 Wir haben Geld　Ihr habt Zeit. Sie haben heute Zeit. Ich habe　wir haben Du hast　ihr habt Er hat　sie haben　Sie haben	Haben の人称変化を正しく記憶せよ	９０分
6	性別と冠詞（1）	1 Ja, gerne.　Nein, Danke 2 fünfzehn　sechzehn 3 Der Tisch ist klein. Die Schule ist alt. Das Haus ist neu. ドイツ、ヨーロッパのアクチュアルな問題	「はい、いただきます。」 「いいえ、けっこうです」は何という？	９０分
7	性別と冠詞（2）	1 Grüß　Gott 2 siebzehn　achzehn 3 Der Berg ist hoch Die Kirche ist alt Das Schloss ist groß	「その山は高い」「その教会は古い」「その城は大きい」はそれぞれ、何というか？	９０分
8	性別と冠詞（3）	Der Tisch　die Tür　das Fenster 性別は定冠詞をつけて 1 Pst　2 neunzehn　zwanzig	これまでの名詞の語彙を冠詞をつけた形で言ってみよ	９０分
9	不定冠詞（1）	1 Servus 2 einundzwanzig　zweiundzwnzig 3 ein tisch　ein Haus　eine Schule	２１、２２の数字は？	９０分
１０	不定冠詞（2）	1 Wein auf Bier 2 vierzig　fünfzig　sechzig 3 Was ist das?　Das ist ein Tisch.	「これは何ですか」答えて下さい 「机です」	９０分
１１	否定冠詞	1 Fröliche Weinachten 2 siebzig　achzig neunzig 3 Das ist keine Uhr	「これは机です」「これは机ではありません」？	９０分
１２	所有冠詞（1）	1 Ein glückliches neues Jahr 2 dreißig　hudert 3 mein Tisch　mein Haus　meine Schule	「新年おめでとうございます」？	９０分

１３	所有冠詞（２）	1 Deutsch mact spaß 2 zwei hundert　drei hundert 3 Der　Mann ist mein Freund. Die Frau ist meine Freundin.	「その女の人は私のガールフレンドです」？	９０分
１４	４格	1 Wein auf Bier 2 tausend　zweitausendsechzehn 3 Ich kenne den Mann. 「言語は差異である」この原理を考えてみよう	私はその男の人をよく知っています」？	９０分
１５	人称代名詞の４格	1 Auf　Wiedersehen 2 zehntuasend　hundertausend　million 3 Liebst du mich?　Ich liebe dich.	私はあなたを愛しています あなたは私を愛していますか ドイツ語で言ってみなさい	９０分
【テキスト】『生まれて初めてのドイツ語』これをメインに関連事項を付け加える				
【参考書・参考資料】折にふれ授業中に紹介する。				
【成績評価基準・方法】　出席状況（３０％）、ノート提出（１０％）、試験（６０％）で総合的に評価する。				

教科番号	0065	授業科目：日本語講座A（ Japanese course A ）
開講時期	通年	（ 留学生 ）学科（1）年（4）単位 担当者：村上美穂、徳山ティダ

【授業の到達目標】

・日常会話に対応でき，且つ，2年次以降の講義を理解できる。

【授業の概要】

留学生を対象にした日本語初級クラスの講義を行う。（文法を中心に）

【授業要旨】

回数	題 目	授 業 内 容	学習課題	時間（分）
1	レディネス調査	プレイスメントテスト、インタヴュー	試験の復習	３０
2	副助詞①	「は」（主題）、「も」（並列）	まとめ問題	３０
3	格助詞①	「を」（対象）、「が」（対象）	〃	３０
4	格助詞②	「に」（時間・着点）、「で」（手段・場所）	〃	３０
5	格助詞③	「から」（起点）、「まで」（終点）	〃	３０
6	形容詞①	「な形容詞」と「い形容詞」	〃	３０
7	時制	形容詞文・動詞文・名詞文の時制	〃	３０
8	格助詞④	「に」（目的・場所）、「を」（出発点）	〃	３０
9	形容詞②	形容詞の接続形	〃	３０
10	動詞①	て形＋います（反復）	〃	３０
11	動詞②	て形＋います（進行）	〃	３０
12	文型①	～は～が［形容詞］	〃	３０
13	動詞③	た形＋ことがあります	〃	３０
14	動詞④	（ます形）＋たい	〃	３０
15	復習	既習事項の確認		
16	動詞⑤	て形＋ください	〃	３０
17	動詞⑥	て形＋もいいです／はいけません	〃	３０
18	動詞⑦	ない形＋でください	〃	３０
19	動詞⑧	（ない形）＋ければなりません	〃	３０
20	動詞⑨	た形＋ほうがいい	〃	３０
21	動詞⑩	た形＋り、た形＋り　する	〃	３０
22	文体	「ですます体」と「基本体」	〃	３０
23	副詞節①	た形＋ら	〃	３０
24	副詞節②	基本体＋とき	〃	３０
25	副詞節③	て形＋から　（ます形）＋ながら	〃	３０
26	動詞⑪	辞書形＋の／こと	〃	３０
27	動詞⑫	可能形	〃	３０
28	副詞節④	基本体＋ので／から	〃	３０
29	引用節	基本体＋と思います	〃	３０
30	復習	既習事項の確認		

【テキスト】 プリント、資料配布

【参考書・参考資料等】 「新文化初級日本語Ⅰ」（文化外国語専門学校）

【成績評価基準・方法】 出席状況及び受講態度（20%）、コース期間中のまとめ問題（30%）、試験（50%）により、総合的な評価を行う。

教科番号	0066	授業科目：日本語講座Ｂ（　Japanese course　B　）
開講時期	通年	（　留学生　）学科（2）年（4）単位　担当者：村上美穂、徳山ティダ

【授業の到達目標】

・日常会話に対応でき，且つ，２年次以降の講義を理解できる。

【授業の概要】

留学生を対象にした日本語初級クラスの講義を行う。（発話を中心に）

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題	時間（分）
1	自己紹介	スムースな自己紹介を身につける	エッセイ暗記	３０
2	家族の紹介	家族について話す	〃	３０
3	好きな物	好きなこと、嫌いなことについて話す	〃	３０
4	私の一日①	日常生活について話す（日中）	〃	３０
5	〃　②	〃　（夜）	〃	３０
6	金曜日の夜①	金曜日の夜（毎週）について話す	〃	３０
7	〃　②	〃　（先週）　〃	〃	３０
8	外出①	外出時の出来事について話す	〃	３０
9	〃　②	〃	〃	３０
10	私の家族①	家族について話す（属性）	〃	３０
11	〃　②	〃　（性格）	〃	３０
12	〃　③	〃　（現状）	〃	３０
13	私のしたい事①	経験について話す	〃	３０
14	〃　②	願望について話す	〃	３０
15	まとめ	これまでのエッセイをまとめる		
16	きまり①	「きまり」の表現を理解する	〃	３０
17	〃　②	「きまり」の表現を試みる	〃	３０
18	忙しい毎日	しなければならない事について話す	〃	３０
19	大変な仕事	「禁止」の表現を理解する	〃	３０
20	気をつける事①	したほうがいい事について話す	〃	３０
21	〃　②	気候について話す	〃	３０
22	復習	日本語母語話者との会話を練習する	〃	３０
23	毎日の生活①	毎日の生活について話す①	〃	３０
24	〃　②	〃　②	〃	３０
25	〃　③	〃　③	〃	３０
26	私の楽しみ	趣味について話す	〃	３０
27	できる事①	能力について話す	〃	３０
28	〃　②	できない事について話す	〃	３０
29	〃　③	感想について話す	〃	３０
30	まとめ	エッセイをまとめて、大きな話にする		

【テキスト】　「NEJ　テーマで学ぶ基礎日本語 Vol.１」（くろしお出版）

【参考書・参考資料等】　なし

【成績評価基準・方法】　出席状況及び受講態度（20%）、コース期間中のエッセイ（30%）、試験（50%）により、総合的な評価を行う。

教科番号	0159	授業科目：コミュニケーション技術Ⅰ（ Communication Technology Ⅰ ）
開講時期	前期	（ 全 ）学科（1）年（1）単位　担当者：全学科教員

【授業の到達目標】

・コミュニケーション技術の基礎的・基本的な技術や能力を養う

【授業の概要】

コミュニケーション技術とは、読み、書き、話し、聴くといった言葉を媒介にした基本的行為を効果的に行うための技術である。

自分の思っていることを誤解なく相手に伝えたり、相手の話を正確に理解するために不可欠なコミュニケーション技術は、大学生活における人間関係を円満にするための技術でもあり、勉学に勤しむ学生が磨いておくべき大切なスキルである。

コミュニケーション技術Ⅰでは、コミュニケーション技術の基礎的・基本的な技術や能力を養うことを主眼とする。

また、アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	オリエンテーション	講義の目的、進め方の説明、自己紹介で自分の論理力を知る。基本的な表現のルール、原稿用紙の使い方ができる。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	論理力を高める（1）	「まず論理、そして説明」のクセをつける。「5WIH」を説明する。新聞を丹念に読む。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
3	論理力を高める（2）	作文し、音読する。「自分情報」を整理する。「外部情報」を整理する。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
4	表現力を高める（1）	「結起承転結」を身につける。 「話の４要素」を理解する。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	表現力を高める（2）	「センテンス」を短くする。自然なイントネーションで聴きやすい話しができる。ロールプレイングを行う。	資料を読みまとめる。 ロールプレイングの内容をまとめて復習する。	６０ ６０
6	理解力を高める（1）	効果的な３つの「間」のサインができる。 「聴いてますよ」というサインが出せる。ロールプレイングを行う。	資料を読みまとめる。 ロールプレイングの内容をまとめて復習する。	６０ ６０
7	理解力を高める（2）	質問することを前提に聴くことができる。メモを取りながら聴くことができる。グループ討議を行う。	発表用の原稿を作成する。 グループ討議の内容をまとめて復習する。	１２０ ６０
8	対応力・応用力を高める	１回から７回までに学んだことを自分なりにまとめて発表する。プレゼンテーションを行う。	発表用の原稿を作成する。 発表の内容等をまとめて復習する。	１２０ ６０

【テキスト】

プリント、資料、その他

【参考書・参考資料等】

「社会人として必要な「聞く力・話す力」の高め方」高梨敬一郎著　こう書房

【学生に対する評価】

ノート取得状況、発表態度、授業態度等（70%）、レポート（30%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0160	授業科目：コミュニケーション技術Ⅱ（ Communication Technology Ⅱ ）
開講時期	後期	（ 全 ）学科（3）年（1）単位　担当者：全学科教員

【授業の到達目標】

・コミュニケーション技術の応用力を培い、実践的な技術や能力を養う.

【授業の概要】

コミュニケーション技術とは、読み、書き、話し、聴くといった言葉を媒介にした基本的行為を効果的に行うための技術である。

自分の思っていることを誤解なく相手に伝えたり、相手の話を正確に理解するために不可欠なコミュニケーション技術は、大学生活における人間関係を円満にするための技術でもあり、勉学に勤しむ学生が磨いておくべき大切なスキルである。

コミュニケーション技術Ⅱでは、来るべき就職活動に備え、コミュニケーション技術の応用力を培い、実践的な技術や能力を養うことを主眼とする。

また、アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	オリエンテーション	講義の目的、進め方の説明 自己紹介文を書き、自己紹介をする。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	書く力を高める（1）	就職試験の小論文・作文の書き方（1） 「将来の夢」を書き、自分をアピールする。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
3	書く力を高める（2）	就職試験の小論文・作文の書き方（2） 志望理由、就職作文を書く。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
4	書く力を高める（3）	履歴書の書き方を身につける。 就職観を書き、発表・意見交換をする。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	聞く力・話す力を高める（1）	面接試験の受け方（1）「何を聞かれているか」、質問の趣旨を見極める。 ロールプレイングを行う。	資料を読みまとめる。 ロールプレイングの内容をまとめて復習する。	６０ ６０
6	聞く力・話す力を高める（2）	面接試験の受け方（2）想定問答を用意しておく。 ロールプレイングを行う。	資料を読みまとめる。 ロールプレイングの内容をまとめて復習する。	６０ ６０
7	実践力を高める（1）	模擬面接試験（1） グループ討議で反省点を話し合う。	発表用の原稿を作成する。 グループ討議の内容をまとめて復習する。	１２０ ６０
8	実践力を高める（2）	模擬面接試験（2） グループ討議で反省点を話し合う。	発表用の原稿を作成する。 グループ討議の内容をまとめて復習する。	１２０ ６０

【テキスト】

プリント、資料、その他

【参考書・参考資料等】

「社会人として必要な「聞く力・話す力」の高め方」高梨敬一郎著　こう書房

【学生に対する評価】

ノート取得状況、発表態度、授業態度等（70%）、レポート（30%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0917	授業科目：インターンシップ（事前指導） (Basic Training for Internship (Early guidance))
開催時期	前期	（ 全 ）学科（2）年（1）単位　担当者：　竹下　俊一

【授業の到達目標】

・仕事に対する興味・関心・学習意欲を高め、ビジネスマナーや職業意識を身につけることができる。
次年度以降の実体験に向けたガイダンスを行う。

【授業の概要】

「インターンシップ」は学生の職業観・就業意識の高い人材を育成することをねらいとしているもので、学生は就業体験を通して社会や企業の実情を知ることにより仕事に対する興味・関心・学習意欲を高め、自立心を向上させ、ビジネスマナーや職業意識を身につけることができる。ここでは、企業活動・企業の組織、組織の中での業務分担・人間関係などについて学び、併せて、就職活動に資する各種指導を行う。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	望ましいインターンシップ	体験の意義についてのオリエンテーション	シラバスを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	企業活動と組織（1）	企業活動と組織体制　組織人のあり方	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
3	企業活動と組織（2）	履歴書・自己紹介についての心得	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
4	企業活動と組織（3）	小論文とテーマ設定についての心得	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	企業活動と組織（4）	望ましい企業人になるためには　企業人の心得	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
6	企業活動とコミュニケーション（1）	受け入れ先企業の選定　研修テーマ設定　職種、時期、期間等	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
7	企業とコミュニケーション（2）	自己紹介と企業マッチング	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
8	企業活動とコミュニケーション（3）	企業活動におけるコミュニケーションの仕方（連絡、交渉）	シラバスを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
9	専門的業務への参加（1）	専門的業務の学習及び具体的な実施に向けてのガイダンス	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
10	専門的業務への参加（2）	専門的業務の学習（企業事前研究　事前指導）	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
11	専門的業務への参加（3）	マナー講習会　インターンシップの実際	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
12	報告書の書き方（1）	報告書作成についての実習	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
13	報告書の書き方（2）	報告書作成についての実習	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
14	報告書の書き方（3）	報告会プレゼン資料作成についての実習	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
15	報告会参加発表	就業体験の報告書提出と報告会	発表用のレポートを作成する。 プレゼンテーションの内容をまとめる。	１２０ ６０

【テキスト】　プリント（インターンシップの手引）

【参考書・参考資料等】　インターンシップ報告資料等

【成績評価基準・方法】

ノート取得状況&受講態度（50%）、レポート（50%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0920	授業科目：インターンシップ　(Internship)
開講時期	集中	（　全　）学科（1～4）年（2）単位　　担当者：竹下　俊一

【授業の到達目標】

企業での就業体験を通して、コミュニケーションの重要性と社会性を学び、さらに実務遂行のために必要不可欠な基礎知識を習得させるとともに将来の進路決定に役立てることができるようにする。

【授業の概要】

大学における学問的知識は、社会に出てからの企業における業務遂行のための基礎的および専門的知識を与えるものである。しかし、大学における講義だけでは実際の企業における業務遂行の実践的感覚を養うことは難しい。そこで、地元企業或いは学生の出身地における企業に学生を派遣し、実務を行わせることによって、実務遂行過程の複雑さ、より高度な専門知識の必要性、コミュニケーションの重要性、責任感や達成時の満足感等の実践的な経験を積ませる。

【授業要旨】

題目と授業内容

○　事前指導：インターンシップの具体的な活動内容等についての確認を行う。
また、「インターンシップ計画書」と「インターンシップ報告書」並びに活動中の障害保険についての説明を行う。

○　活　　動：インターンシップに参加する。
・企業での就業体験活動
・専門的業務への参加

○　活動期間：主に長期休暇期間に行う。

○　活動時間：１日の活動時間は６～８時間とする。

○　修得単位：６０時間以上の活動に対して２単位を与える。

○　事後指導：「インターンシップ報告書」の提出

【テキスト】

資料プリント

【参考書・参考資料等】

な　し

【学生に対する評価の方法】

インターンシップ報告書、企業の評価等を総合的に評価する。

教科番号	0927	授業科目：地域企業インターンシップ（Local Company Internship）
開講時期	集中	（ 全 ）学科（2～3）年（2）単位　　担当者： 竹下　俊一

【授業の到達目標】

鹿児島県内の企業での就業体験を通して、地域企業に対する理解を深めるとともに、実際の企業における業務遂行の実践的感覚を養うことができる。

また、コミュニケーションの重要性と社会性を学び、さらに実務遂行のために必要不可欠な基礎知識を習得させるとともに将来の進路決定に役立てることができる。

【授業の概要】

大学における学問的知識は、社会に出てからの企業における業務遂行のための基礎的および専門的知識を与えるものである。しかし、大学における講義だけでは実際の企業における業務遂行の実践的感覚を養うことは難しい。そこで、地元企業或いは学生の出身地における企業に学生を派遣し、実務遂行過程の実際を学ぶことで、より高度な専門知識の必要性やコミュニケーションの重要性、仕事に対する責任感や達成感等を実践的な経験を通して学ぶ。

【授業要旨】

回数	題　　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	ガイダンス①	鹿児島県内の企業についての紹介と説明	希望する企業について、自ら情報を集め内容をまとめる。	６０
2	ガイダンス②	計画書、報告書、契約書、傷害保険等の記入説明	就業体験企業の選択・決定 書類等の記入と確認	９０
3 ～ 28	就業体験活動	・５日間以上の体験活動 ・企業での就業体験活動 ・専門的業務への参加 ・業務遂行の実践的感覚の修得 ・実践的技術感覚の修得	・就業体験活動において、気付いたことをまとめる。 ・不明な点や疑問点を尋ねてノートにまとめる。	９０ × ５日 ＝ ４５０
29	報告会参加発表	就業体験の報告書提出と報告会での発表	発表用のレポートを作成する。 プレゼンテーションの内容をまとめる。	９０ ６０
30				

【テキスト】

資料プリント

【参考書・参考資料等】

な　し

【成績評価基準・方法】

インターンシップ報告書、企業の評価等を総合的に評価する。

教科番号	0925	授業科目：地域社会貢献活動（ Community charitable activity）
開催時期	集中	（ 全 ）学科（1～4）年（2）単位　　担当者：　竹下　俊一

【授業の到達目標】

地域社会貢献活動とは、学生が自発的に災害復興支援並びに社会福祉や非営利組織の各種イベント等での支援活動などに参加し、社会に貢献する活動を実際に体験することである。そして、そこでの体験を通して、社会に貢献することの大切さや奉仕の精神や意義を学び社会連帯についての認識を深めさせる。

【授業の概要】

災害復興支援並びに社会福祉や非営利組織の各種イベント等での支援活動などに参加して、社会での実践力や企画力を養うとともに自分の職業適性や将来計画を考える機会とする。さらに、地域社会貢献活動を通して自発性、協力、共生、相互貢献等を理解する。

【授業要旨】

題　目　と　授　業　内　容

○　事前指導：地域社会貢献活動の具体的な活動内容等についての確認を行う。
また、「地域社会貢献活動計画書」と「地域社会貢献活動報告書」並びに活動中の障害保険についての説明を行う。

○　活　　動：地域社会貢献活動に参加する。
・災害復興支援等のボランティア活動
・社会福祉団体や非営利組織の各種イベント等の支援活動

○　活動期間：主に長期休暇期間に行う。

○　活動時間：１日の活動時間は６時間とし、１時間の活動に対して１ポイントを与える。

○　修得単位：６０ポイント以上で２単位とする。

○　事後指導：「地域社会貢献活動報告書」の提出

【テキスト】

プリント（地域社会貢献活動の手引）

【参考書・参考資料等】

地域社会貢献活動報告資料等

【成績評価基準・方法】

地域社会貢献活動報告書とレポート等を総合的に評価する。

教科番号	0928	授業科目：地域貢献演習（Regional Contribution Seminar）
開講時期	集中	（全）学科　（1～2）学年　（2）単位　　担当者：竹下　俊一

【授業の到達目標】
・地域の課題や魅力を自ら発見することができる
・現地調査の結果を適切にまとめ、具体的な解決策等を提示することができる
・地域の持続可能な発展を考える視点や発想を涵養する

【授業の概要】
鹿児島県内の地域の方々と協働し、大学で学んだ専門性を活かした地域おこしや地域活性化に取り組み、地域に対する理解と愛着を深め、取り組んだ活動の地域貢献度を評価する実践に即したプロジェクト演習とする。
また、本科目では、調査によって地域の課題や魅力を受講生自ら発見し、解決策や活用策を立案・実施したのちにその経緯や成果を公表するというプロセスを実体験することで、将来的に一市民として地域活性化に貢献しうる視点や発想の涵養を目指す。開講時期については受講希望者数や対象地の受け入れ状況に応じて変更される可能性もある。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	ガイダンス	地域貢献演習についての説明	演習の概要、社会情勢、背景の理解についてまとめる。	６０
2 ～ 10	①調　査	・地域の理解・ニーズの把握 課題の抽出と対応策の提案 ・地域住民との交流を通しての地域理解の深化	グループによる現地調査を通じた地域理解やニーズの把握についてまとめる。	１２０
11 ～ 19	②立　案	・解決策についてのグループ討議 ・KJ 法によるグループ学習	・調査結果のとりまとめをする。 ・グループディスカッションによる解決策をまとめる。 ・活用策や地域の将来的なビジョン等の立案を考える。	１２０
20 ～ 28	③実　施	・地域の理解・ニーズの把握 ・課題の抽出と対応策の提案	・立案した解決策の実施についてまとめる。	１２０
29	④発　表	・成果発表	・発表のための資料を作成する。 ・演習対象地域に向けて成果を発表する	９０
30				９０

【テキスト】
課題に応じて適宜配布

【参考書・参考資料等】
課題に応じて適宜配布

【成績評価基準・方法】
②　課題への取り組み、②成果のとりまとめと提案・発表内容を総合的に評価

教科番号	0918	授業科目：　就業力演習
開講時期	前期	（全）学科（3）年（2）単位　担当者：　切手純孝、福永知哉、知念　潔、

【授業の到達目標】

将来の進路を決定するためには、自分の性格や興味・関心、自分は何に向いているのかという適性を、きちんと把握しておくことが必要である。そのために、最新の就職情報や適性検査等を通して自己理解を深める。

また、就職試験等を受けるのに必要な学力の向上、面接試験等を受ける際のコミュニケーション力の向上などを図ることを目的とする。

【授業の概要】

人が働く際には、能力、興味・関心、価値観の３つを軸に考え、職業を選択することが大切であると言われている。そこで授業を通して、自分の性格や興味・関心などの適性を把握し、さらにコミュニケーション力を高めるために演習も実施する。

【授業要旨】

回数	題　　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	就職情報	オリエンテーション、最新の就職情報と検索の仕方、	シラバスを読で準備をする。 資料を基に授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	就職試験の傾向と対策　1	言語的な常識問題（国語、社会）と演習・解説	テキストを読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	３０ ６０
3	就職試験の傾向と対策　2	数理的な常識問題（数学、理科）と演習・解説	テキストを読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	３０ ６０
4	就職試験の傾向と対策　3	時事問題と言語的な常識問題の演習・解説	テキストを読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	ＳＰＩ　　1	就職試験問題の傾向と対策、言語能力の問題演習と解説	テキストと資料を読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	６０ ６０
6	ＳＰＩ　　2	就職試験問題の傾向と対策、数理能力の問題演習と解説	テキストを読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	６０ ６０
7	就職試験の傾向と対策　4	数理的な常識問題（数学、理科）と演習・解説	テキストを読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	３０ ６０
8	就職試験の傾向と対策のまとめ　1	１～７までのまとめと小テストを実施し、その解答と解説	小テストの準備をする。 資料を基に授業の内容を復習する。	１２０ ６０
9	適性検査　1	適性検査の実施方法と解説、	テキストと資料を読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	３０ ６０
10	就職試験の傾向と対策　5	数理的な常識問題（数学、理科）と演習・解説	テキストと資料を読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	３０ ６０
11	適性検査　2	適性検査の結果と解説、適性と職業との関連	テキストと資料を読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	３０ ６０
12	就職試験の傾向と対策　6	言語的な常識問題（国語、社会）と演習・解説	テキストを読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	３０ ６０
13	マナー教室	面接試験における礼儀作法と敬語の基本（実技演習を含む）	面接試験の事前準備につて調べる。 資料を基に授業の内容を復習する。	１２０ ６０
14	就職試験の傾向と対策　7	数理的な常識問題（数学、理科）と演習・解説	テキストと資料を読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	３０ ６０
15	就職試験の傾向と対策のまとめ　2	ＳＰＩ全国模試と全国的な就職試験の傾向と対策	ＳＰＩのまとめと復習問題をする。 ９～１４の整理とまとめをする。	１２０ １２０

【テキスト】　ＳＰＩ対策問題集　就職情報研究会　編　実務教育出版、　プリントと資料

【参考書・参考資料等】　　なし

【成績評価基準・方法】　　ノート取得状況＆レポート（30%）、小テスト（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0934	授業科目：ベンチャービジネス論（Theory of Venture Business）
開講時期	前期	（全）学科（3）年（2）単位　　担当者：當金　一郎

【授業の到達目標】

ベンチャー企業とは何かを理解させるとともに、その実践において何が重要なのかを見取って理解する。
特にこれまでに無い新しいビジネスを始める時には、事業計画をしっかりたてると共に、その「利益を生み出すビジネスモデル」を確立しなければ、事業資金が得られないことを理解させる。

【授業の概要】

本講義ではベンチャー企業を興し、持続的に経営し、さらに発展させるためにはどうしたらよいかを論ずる。
実際にはベンチャー企業を興すこともそうであるが、これをつぶさないように運営していくことはかなり難しい。
更にマスコミ等で取り上げられるように、ある程度の規模の企業に発展させていくのは実際には運の部分が大きく左右する。　それはなぜか、過去の日本や海外において大きく発展して企業の事例を題材として考察する。
特に重要なのはビジネスモデルと事業計画であるので、これについても講義を行う。
毎回の授業の内容についての課題レポートを書かせて提出させると共に、次回の講義内容のあらましに関して Moodle に置いてある資料を基に、インターネット等で十分に調べて講義に臨む必要がある。

【授業要旨】

回数	題　　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	企業とは何か	企業の存在理由、「企業」概念の歴史的変遷	Moodle にある資料で事前に学習する。 出された課題に対してﾚﾎﾟｰﾄを作成する。	６０ １２０
2	ﾍﾞﾝﾁｬｰとは何か	ｱﾒﾘｶ及び日本におけるﾍﾞﾝﾁｬｰの定義、ｱﾒﾘｶ・台湾・日本のﾍﾞﾝﾁｬｰ企業	Moodle にある資料で事前に学習する。 出された課題に対してﾚﾎﾟｰﾄを作成する。	６０ １２０
3	日米ﾍﾞﾝﾁｬｰ比較（1）	ｱﾒﾘｶにおけるﾍﾞﾝﾁｬｰの位置づけ、ﾍﾞﾝﾁｬｰ支援体制、ﾍﾞﾝﾁｬｰ発展の歴史	Moodle にある資料で事前に学習する。 出された課題に対してﾚﾎﾟｰﾄを作成する。	１２０ ９０
4	日米ﾍﾞﾝﾁｬｰ比較（2）	日本におけるﾍﾞﾝﾁｬの位置づけ、ﾍﾞﾝﾁｬｰ支援体制、ﾍﾞﾝﾁｬｰ発展の歴史	Moodle にある資料で事前に学習する。 出された課題に対してﾚﾎﾟｰﾄを作成する。	９０ １５０
5	アジアのﾍﾞﾝﾁｬｰ事情	台湾、香港、中国、韓国等における経済状況とﾍﾞﾝﾁｬｰ企業の実際	Moodle にある資料で事前に学習する。 出された課題に対してﾚﾎﾟｰﾄを作成する。	９０ １５０
6	ﾍﾞﾝﾁｬｰの要因分析	ﾍﾞﾝﾁｬｰ企業の成功事例と失敗事例、成功要因・失敗要因の分析	Moodle にある資料で事前に学習する。 出された課題に対してﾚﾎﾟｰﾄを作成する。	９０ １５０
7	１～６のまとめ	小テスト①、これまでの内容を基にﾍﾞﾝﾁｬｰﾋﾞｼﾞﾈｽについて議論する。	小テストの準備 ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝの内容を纏め Moodle へｱｯﾌﾟ	１５０ １８０
8	ﾍﾞﾝﾁｬｰの経営理念	経営理念の必要性、複数のﾍﾞﾝﾁｬｰ企業の経営理念の紹介	Moodle にある資料で事前に学習する。 出された課題に対してﾚﾎﾟｰﾄを作成する。	９０ １５０
9	ﾍﾞﾝﾁｬｰの経営戦略	経営戦略とは何か、発展戦略・競争戦略・変化対応戦略とは何か	ﾃｷｽﾄ pp. 67－81 を事前に読んでくる。 章末の演習問題を解いてくる。	９０ １５０
10	ﾋﾞｼﾞﾈｽﾓﾃﾞﾙとは	ﾋﾞｼﾞﾈｽﾓﾃﾞﾙの必要性、ﾋﾞｼﾞﾈｽﾓﾃﾞﾙと経営理念・経営戦略の関連性	ﾃｷｽﾄ pp.82－94 を事前に読んでくる。 章末の演習問題を解いてくる。	９０ １５０
11	ﾋﾞｼﾞﾈｽﾓﾃﾞﾙ（1）	ｱﾒﾘｶの複数の企業のﾋﾞｼﾞﾈｽﾓﾃﾞﾙを紹介	ﾃｷｽﾄ pp.95－112 を事前に読んでくる。 章末の演習問題を解いてくる。	９０ １５０
12	ﾋﾞｼﾞﾈｽﾓﾃﾞﾙ（2）	日本の複数の企業のﾋﾞｼﾞﾈｽﾓﾃﾞﾙを紹介	ﾃｷｽﾄ pp.113－128 を事前に読んでくる。 章末の演習問題を解いてくる。	９０ １５０
13	ﾍﾞﾝﾁｬｰ実践事例（1）	日本におけるﾍﾞﾝﾁｬｰ実践の事例を紹介する	ﾃｷｽﾄ pp.140－174 を事前に読んでくる。 章末の演習問題を解いてくる。	９０ １５０
14	ﾍﾞﾝﾁｬｰ実践事例（2）	アメリカにおけるﾍﾞﾝﾁｬｰ実践の事例を紹介する	ﾃｷｽﾄ pp.175－193 を事前に読んでくる。 章末の演習問題を解いてくる。	９０ １５０
15	総まとめ	小テスト②、学習内容を基に再度ﾍﾞﾝﾁｬｰﾋﾞｼﾞﾈｽについて議論する。	小テストの準備 ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝの内容を纏め moodle へｱｯﾌﾟ	１５０ １８０

【テキスト】

毎回ﾌﾟﾘﾝﾄを配布する。

【参考書・参考資料等】

「起業学の基礎～アントレプレナーシップとは何か～」　高橋徳行　著、勁草書房

【学生に対する評価の方法】

毎回出す課題のレポート提出状況（50%）、ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾗﾝ（10%）、最終テスト（40%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0935	授業科目：マーケティング論（Marketing Theory）
開講時期	後期	（全）学科（2）年（2）単位　担当者：　石田尾　博夫

【授業の到達目標】マーケティングの基本的な分析手法を知る。企業におけるマーケティングの役割、IT 社会におけるマーケティングの特徴を理解する。

【授業の概要】マーケティングとは「企業が価値を創造し、提供し、他の人々との交換することを通じて、消費者が望むニーズ、ウォンツを満たすこと」である。分りやすく言えば、「起業家とって最適な目標市場を導きだして利益を上げるために」「消費者の行動分析、競合企業との競争分析、自社の経営資源分析を行うこと」となる。この視点に立って、より具体的に例を挙げながらマーケティングについて解説する。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習復習）	時間（分）
1	マーケティングコンセプト	マーケティングの定義、マーケット戦略、顧客の視点	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	マーケティングの必要性	生産志向、製品志向、販売志向、顧客志向	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
3	マーティング環境分析	PEST 分析、５フォーセズ、３C,	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
4	マーティング環境分析	SWOT 分析、マズローの欲求５段階説	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	ターゲット市場の選定	セグメンテーション	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
6	ターゲット市場の選定	ターゲティング、ポジショニング	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
7	マーケットミクスの最適化	４P の整合性とは	授業前半総括、課題の検討と発表、ディスカッション	９０
8	戦略的マーケティング	製品戦略	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
9	マーケティング・ミックス	価格戦略	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
10	マーケティング・ミックス	流通戦略	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
11	マーケティング・ミックス	コミュニケーション戦略、AIDMA、AMTUL、損益分岐点	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
12	マーケティングのキーワード	リサーチ、CRM、RFM 分析	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
13	インターネット・マーケティング	サービスマーケティングの 6P とは	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
14	さまざまなマーケティング	サービス、品質の見える化	授業の全体総括とグループディスカッション。	９０
15	まとめ	学修のまとめと総括	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０

【テキスト】　講義ノート「マーケティング論」：石田尾博夫著（日本経済大学）

【参考書・参考資料等】ＭＢＡマーケティング：（ダイヤモンド社）．通勤大学 MBA2 マーケティング：青井倫一（総合法令）．コトラーを読む：酒井光男（日経文庫）．マーケティング活動の進め方：木村達也（日経文庫）．ベーシックマーケティング入門：相原修（日経文庫）．日経ビジネス誌.

【成績評価基準・方法】受講態度(20%)、レポート、小テスト(20%)、最終評価試験(60%)を行い、総合的な評価を行う。

３　共通総合教育科目

（航空工学科、機械ｼｽﾃﾑ工学科）

教科番号	0166	授業科目：世界の地理と歴史　（ History of World ）
開講時期	後期	（　全　）学科（ 1 ）年（ 2 ）単位　担当者：　石田尾　博夫

【授業の到達目標】

・人類の出現と進化，古代オリエント文明、ギリシア文明，ローマ世界の発展などを理解できる。
・キリスト教とイスラーム教の発展、西ヨーロッパ世界とイスラーム世界との交流等を理解できる。
・今日のパレスチナ問題や中東問題等の国際紛争の歴史的・地理的な背景等を理解できる。

【授業の概要】

文明の衝突が人類を進歩させ，歴史が築かれていく。世界の歴史の時代を大きく動かした歴史事象について学習し，その原因と結果，そして地理的視野の拡大を考察しながら，地理・歴史の面白さを理解し，考察する。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	東アジア	東アジアのあらまし 中国と周辺諸国、地誌	テキストを読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
2	東南アジア	東南アジアのあらまし 東南アジア各国地誌	テキストを読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
3	西南アジア	西南アジアのあらまし 西南アジア各国地誌	テキストを読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
4	中央アジア	中央アジアのあらまし 中央アジア各国地誌	テキストを読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
5	ヨーロッパ	ヨーロッパのあらまし ヨーロッパ各国地誌 小テストの実施	テキストを読みまとめる 授業の内容を復習する 小テストの準備	60 60
6	1～5回までのまとめ	演習問題の解答、解説とまとめについてディスカッションにより理解を深める	演習問題を解き理解を深める ディスカッションの内容をまとめる	120 60
7	中南部アメリカ	中南アメリカのあらまし 中南アメリカ各国地誌	テキストを読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
8	北アメリカ	北アメリカのあらまし アメリカ、カナダ地誌	テキストを読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
9	ロシアと周辺諸国	ロシア周辺諸国のあらまし ロシアと周辺諸国地誌 小テストの実施	テキストを読みまとめる 授業の内容を復習する 小テストの準備	60 60
１０	アフリカ	アフリカのあらまし アフリカ各国地誌	テキストを読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
１１	オセアニア	オセアニアのあらまし オーストラリア、ニュージーランド地誌	テキストを読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
１２	両極地方	北極、南極のあらまし 北極、南極地誌	テキストを読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
１３	日本	日本の地誌	テキストを読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
１４	7～13回までのまとめ	演習問題の解答、解説とまとめについてディスカッションにより理解を深める	演習問題を解き理解を深める ディスカッションの内容をまとめる	120 60
１５	まとめ	まとめと総括 小テストの実施	小テストの準備 ノートの整理とまとめ	60 120

【テキスト】　授業中に随時資料配布

【参考書・参考資料等】　授業中に紹介

【成績評価基準・方法】　授業の進度に応じてのレポート提出や小テスト（40%），試験（60%）等で総合的な評価を行う。

教科番号	0158	授業科目：やさしい哲学 (Introduction to Philosophy)
開講時期	前期	（ 全 ）学科（2）年 （2）単位 担当者：知念 潔

【授業の到達目標】

西洋近代の二大源流である、ギリシア哲学とキリスト教の思想を、それぞれ、具体的にソクラテス、プラトン、アリストテレスの哲学、そしてユダヤ教、キリスト教の基本的な事柄を開設する。哲学の基本的述語を易しく解説して哲学的な表現を理解できるようにする。

【授業の概要】

かみ砕いた講義によって哲学の初歩を理解させる。既習の事項や用語の意味を尋ねて身についているか確かめる。アクチュアルなテーマを講義中に投げかけ、それに対して、哲学的な思考をして自分の意見をまとめさせてみる。

また、アクティヴ・ラーニングについても考慮して積極的に取り入れていきたい。

【授業要旨】

回数	題目	授業内容	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1	序章	哲学　西洋思想　東洋思想　西洋思想の二大源流	哲学の語源　東西の思想の根本的相違（有と無）を復習	９０分
2	古代ギリシアの思想	エートス　黄金時代　ペロポネソス戦争とエートスの衰退	エートスの意味を復習	９０分
3	ソクラテス	デルポイの神託　無知の知　神託の意味	無知の知の意味	９０分
4	ソクラテス	問答法　ソクラテス裁判	問答法の意味	９０分
5	ソクラテス	ソクラテスの死	死の意義	９０分
6	プラトン	プラトンの論理主義　霊肉二元論ソクラテスの生き方についてディスカッション	ソクラテスのまとめ	９０分
7	プラトン	イデア　エロス　ソクラテスからプラトンへ	イデア、エロスの意味	９０分
8	プラトン	想起説　無意識の世界	アナムネーシスの意味	９０分
9	プラトン	魂の三部分説　馬車の比喩	三部分説とは？	９０分
１０	プラトン	哲人政治　理想国家	哲人政治とは？	９０分
１１	アリストテレス	現実主義　質料と形相	質料と形相の意味	９０分
１２	アリストテレス	心の構造　植物的心；動物的心；人間的心	心の構造とは？	９０分
１３	アリストテレス	中庸の徳と習慣　ヘブライズム	中庸の意味	９０分
１４	キリスト教	ユダヤ教の特徴　キリスト教について論じる	どんな特徴がある？	９０分
１５	キリスト教	ユダヤ教からキリスト教へ　悔い改めと信仰	悔い改めとは？	９０分

【テキスト】　テキストは特別に定めない。担当教官の講義ノートから、授業中に、それを板書し解説する。

【参考書・参考資料】講義中に適宜紹介。書店で入手しやすい古典を紹介する。

【成績評価基準・方法】　ノートのまとめかた（三回提出）（３０％）、　出席状況（２０％）、
テスト（５０％）で総合的な評価を行う。

教科番号	0152	授業科目：現代社会に生きる倫理　（ Ethics in the modern society ）
開講時期	後期	（ 全 ）学科　（2）年　（2）単位　担当者：知念　潔

【授業の到達目標】

現代に生きる者にとって問題になる倫理を基礎づける、西洋近代の思想と倫理を、その成り立ちからカントによる完成までをあとづける。その際、その二大源流である、経験論と合理論を順次、解説し、それぞれの利点と欠点を明らかにして、カントによるその統合と、近代倫理学の確立を解説する。

【授業の概要】

易しくわかりやすい解説で近代哲学、ならびに、倫理学の内容と用語を行ってゆく。内容と用語の意味するところを身につけ、自己を表現する時の、重要にして必要な語彙にしてもらいたい。現下のアクチュアルな実際問題へのテーマを講義中に提起し、それに対して倫理的思考を適用して、自分の意見をまとめてみさせる。アクティブな主体的な、積極性を喚起したい。

回数	題目	授業内容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	序章	近世　神中心か人間中心へ	目的論とは？　形相と質料の意味は？	９０分
2	ベーコン（1）	近代科学の成立　知は力なり	経験論とは？　合理論とは？	９０分
3	ベーコン（2）	四つのイドラ	種族のイドラとは？　洞窟のイドラとは？　市場のイドラとは？　劇場のイドラとは？	９０分
4	ロック	経験論　ターブラ・ラサ	ターブラ・ラサとは？	９０分
5	ヒューム	経験論の徹底　懐疑論	懐疑論とは？	９０分
6	デカルト（1）	デカルトの生涯　方法論　デカルトから近代哲学が始まると言われるの何故か、考えてみよう	Method とは何だろう？	９０分
7	デカルト（2）	我思う、故に、我あり　四つの準則	明証性、分析、総合、枚挙、それぞれの規則とは？	９０分
8	デカルト（3）	学問の木　暫定的道徳	学問の木とは？	９０分
9	デカルト（4）	情念の制御　自覚と訓練	情念とは？　訓練とは？	９０分
10	デカルト（5） スピノザ（1）	高邁の精神　スピノザの神　理神論	高邁の精神とは？　理神論とは？	９０分
11	カント（1）	カントの生涯	三批判書とは？	９０分
12	カント（2）	模写説と構成説	構成説とは？　感性とは？　悟性とは？	９０分
13	カント（3）	構成説の意義と限界	もの自体(Ding an sich)とは？	９０分
14	カント（4）	人間の二重性　自然因果と自由因果カントに始まる自由に対する新しい考えを深く反省して自覚してみよう	自由因果とは何か？	９０分
15	カント（5）	仮言命法と定言命法	現代に生きる倫理とは何か？	９０分

【テキスト】　テキストは特別に定めない。担当教官の講義ノートから、授業中に、板書し解説する。

【参考書・参考資料】　講義中に適宜紹介。書店で入手しやすい古典を紹介する。

【成績評価基準・方法】ノートのまとめ方（三回提出）（３０％）、出席状況（２０％）、テスト（５０％）で総合的に評価する。

教科番号	0551	授業科目：体育実技Ⅰ（ Physical education practice Ⅰ ）
開講時期	前期	（ 全 ）学科（2）年（1）単位 担当者： 岩元真一、神之門 均

【授業の到達目標】

・生涯生活での健康に基づく体育の役割を理解する。

・社会生活の基本的なルールに基づく協調性を養う。

【授業の概要】

人生における生涯生活の中で健康に基づく体育の役割を認識させ、運動（特に、トレーニング、持久走）の実践により、心身の発達を促し、よりよい社会生活の基本的なルールを会得し、学生相互の協調性を養成して集団生活及び個人生活を養う。霧島山麓の自然の中で、体力づくりを実施することにより、心身のリフレッシュと社会性を養う。

また、学習課題としての予習・復習については、毎回の授業内容の復習を兼ねて自主的にトレーニングを行い心身の健康管理や体力づくりに生かせるようにする。

【授業要旨】

回数	題　目	授 業 内 容
1	散歩	城山　アスレチック～城山～アスレチック　個人の体力を知る
2	筋力トレーニング(1)	腕力（腕立、腹筋、背筋、馬跳び等）自己の体力の衰えを知る
3	筋力トレーニング(2)	脚力（サージャントジャンプ、スクワット、変形スタートダッシュ）
4	筋力トレーニング(3)	脚力（サージャントジャンプ、スクワット）
5	スポーツテスト	個々人の体力測定結果を知る
6	持久走 or トレーニング(1)	2kmx2 周（体育館～一高～中央高）補助トレーニング
7	持久走 or トレーニング(2)	2kmx2 周、補助トレーニング
8	持久走 or、バスケット、バレーボール	4km　向花方面（体育館～中央高から向花小折返）補助トレーニング　学生相互間の和を養う
9	持久走 or ウオーキング	6km　城山方面（体育館～中央高～国分高～城山折返）
10	持久走 or ウオーキング	7km　日当山方面（体育館～重久～日当山～向花～体育館）
11	持久走 or ウオーキング	8 km　鹿児島神宮（体育館～向花参宮橋～神宮折返）
12	持久走 or ウオーキング、マット運動	10km　清水～城山（森林浴を兼ねる）柔軟性の欠点を知る
13	アスレチック	アスレチック器具を使用して持久力を高める
14	早朝城山	学生生活と社会性の変化を知る
15	夜間歩行	歩くことにより、集団生活と協調性を養う（森林浴を兼ねる）、 60 ㎞（国分～霧島～高千穂河原往復）

【テキスト】

プリント

【参考書・参考資料等】

なし

【成績評価基準・方法】

履修状況等を総合的に判断して評価する。

教科番号	0552	授業科目：体育実技Ⅱ（ Physical education practice Ⅱ ）
開講時期	後期	（ 全 ）学科（2）年（1）単位 担当者： 岩元真一、神之門 均

【授業の到達目標】

・生涯生活での健康に基づく体育の役割を理解する。

・社会生活の基本的なルールに基づく協調性を養う。

【授業の概要】

人生における生涯生活の中で健康に基づく体育の役割を認識させ、運動（特に、トレーニング、持久走）の実践により、心身の発達を促し、よりよい社会生活の基本的なルールを会得し、学生相互の協調性を養成して集団生活及び個人生活を養う。霧島山麓の自然の中で、体力づくりを実施することにより、心身のリフレッシュと社会性を養う。

また、学習課題としての予習・復習については、毎回の授業内容の復習を兼ねて自主的にトレーニングを行い心身の健康管理や体力づくりに生かせるようにする。

【授業要旨】

回数	題 目	授 業 内 容
1	散歩	城山 アスレチック～城山～アスレチック
2	・バレーボール 1	・理論による技術の解説
3	・バレーボール 2	・実技指導と学生相互の和を養う
4	・バスケットボール 1	・理論による技術の解説
5	・バスケットボール 2	・実技指導と集団プレーを養う
6	・バドミントン 1	・理論による技術の解説
7	・バドミントン 2	・実技指導と学生相互の和を養う
8	・テニス 1	・理論による技術の解説
9	・テニス 2	・実技指導と学生相互の和を養う
10	・サッカー 1	・理論による技術の解説
11	・サッカー 2	・実技指導と集団プレーを養う
12	・ソフトボール1	・理論による技術の解説
13	・ソフトボール 2	・実技指導と集団プレーを養う
14	体育講義 1	健康と体力について知識等を理解させる
15	体育講義 2	今後の体力増進について知識等を理解させる

【テキスト】 プリント

【参考書・参考資料等】 なし

【成績評価基準・方法】

履修状況等を総合的に判断して評価する。

教科番号	0165	授業科目：政治と文化（Politics and Culture ）
実施期間	後期	（ 全 ）学科（1）年（2）単位　　担当者：

【授業の到達目標】

・政治学の諸概念、専門用語について理解し、それらを用いて政治現象の実際を説明できるようにする。また、社会の構成員として必要な問題解決力と表現力が身につくようにする。

・民主主義概念の歴史的変容を前提として、政治学のカバーする多様な問題をできる限り包括的に取上げることによって、個別科学としての政治学のアウトラインを理解してもらう。

【授業の概要】

・政治現象が、人間社会に随伴する社会現象であるとともに、身近なものであることを理解した上で、先達の政治研究の成果から政治現象をより深く理解できるようにしたい。

・主に制度論を中心に取り上げ、国情による政治文化の差異も理解する。

・講義事項はすべて板書するので、必ずノートを準備されたい。

【授業要旨】

回数	題　　目	講　義　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	政治体制とは何か	はじめに J・リンスの政治体制論	開講にあたっての注意喚起 講義内容の説明	２０ ７０
2	議院内閣制と大統領制①	イギリス、アメリカの政治体制	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
3	議院内閣制と大統領制②	フランス、ドイツの政治体制	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
4	議院内閣制と大統領制③	ロシア、中国の政治体制	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
5	選挙制度①	選挙の原則・意義・機能	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
6	選挙制度②	選挙区制度	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
7	政党と政党制① 発表と討論	政党の定義と機能 講義で扱った項目について自ら調べた成果を発表し、それを評価する。	前回講義の復習 講義内容の説明 発表と討論	１０ ８０ ９０
8	政党と政党制②	政党の類型と発達史	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
9	圧力団体①	圧力団体の定義・機能	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
10	圧力団体②	圧力団体の種類	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
11	マス・デモクラシー①	マス・デモクラシー成立の要因と歴史的背景	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
12	マス・デモクラシー②	政治構造の変容	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
13	マス・デモクラシー③	マスコミの機能と問題点	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
14	民主主義と「参加」①	直接民主主義と間接民主主義	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
15	民主主義と「参加」② 発表と討論	現代民主主義論とエリート 講義で扱った項目について自ら調べた成果を発表し、それを評価する。	前回講義の復習 講義内容の説明 発表と討論	１０ ８０ ９０

【テキスト】　砂原庸介、稗田健志、多胡淳『政治学の第一歩』（有斐閣ステゥディア、2015 年）

【参考書・参考資料等】　・川出良枝, 谷口将紀編『政治学』（東京大学出版会、2012 年）
・佐々木毅『政治学講義　第 2 版』（東京大学出版会、2012 年）

【成績評価基準・方法】　期末試験 80%、平常点 20%（出席・レポート）の総合評価

教科番号	0252	授業科目：現代社会の諸相（Various Aspects of Modern Society）
実施期間	後期	（ 全 ）学科（1）年（2）単位　　担当者：

【授業の到達目標】

・政治学の諸概念、専門用語について理解し、それらを用いて政治現象の実際を説明できるようにする。また、社会の構成員として必要な問題解決力と表現力が身につくようにする。

・民主主義概念の歴史的変容を前提として、政治学のカバーする多様な問題をできる限り包括的に取上げることによって、個別科学としての政治学のアウトラインを理解してもらう。

【授業の概要】

・政治現象が、人間社会に随伴する社会現象であるとともに、身近なものであることを理解した上で、先達の政治研究の成果から政治現象をより深く理解できるようにしたい。

・講義事項はすべて板書するので、必ずノートを準備されたい。

【授業要旨】

回数	題　目	講　義　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	政治とは何か①	はじめに 政治の定義	開講にあたっての注意 喚起 講義内容の説明	２０ ７０
2	政治とは何か②	政治の機能	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
3	政治とは何か③	実体概念と関係概念	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
4	権力①	サイモンとラズウェルの権力観	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
5	権力②	イーストンとパーソンズの権力観	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
6	権力③	アレントとルークスの権力観	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
7	権力④	フーコーの権力観	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
8	支配と服従①、 発表と討論	支配の分類、支配の正当性 講義で扱った項目について自ら調べた成果を発表し、それを評価する。	前回講義の復習 講義内容の説明 発表と討論	１０ ８０ ９０
9	支配と服従②	支配・服従関係の安定化、エリート論	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
10	支配と服従③	リーダーシップ論	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
11	政治学の発展①	政治学の学問的特質、政治学固有の困難性	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
12	政治学の発展②	政治学の科学化	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
13	政治学の発展③	伝統的政治学と科学的政治学	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
14	政治学の発展④	システム論	前回講義の復習 講義内容の説明	１０ ８０
15	政治学の発展⑤ 発表と討論	行動論革命と脱行動論革命、支配の正当性講義で扱った項目について自ら調べた成果を発表し、それを評価する。	前回講義の復習 講義内容の説明 発表と討論	１０ ８０ ９０

【テキスト】　砂原庸介、稗田健志、多胡淳『政治学の第一歩』（有斐閣ステゥディア、2015 年）

【参考書・参考資料等】　・川出良枝, 谷口将紀編『政治学』（東京大学出版会、2012 年）
・佐々木毅『政治学講義　第 2 版』（東京大学出版会、2012 年）

【成績評価基準・方法】　期末試験 80%、平常点 20%（出席・レポート）の総合評価

教科番号	0253	授業科目：日本国憲法（ The Constitution of Japan ）
開講時期	前期	（ 全 ）学科 (3) 年 (2) 単位　担当者：　中村武四郎

【授業の到達目標】

将来の日本の発展に寄与する有為な形成者になるように、生徒を教え育む役割の教職を目指す学生諸君に、この日本国憲法の内容を習得してもらう。

【授業の概要】

基本的にはプリントを使用して講義をすすめ、折にふれて、日本国憲法に関係する時事的事柄にも、新聞の切り抜き等の資料を用いて触れることによって、学生諸君にこの日本国憲法をより深く理解してもらう。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	二本国憲法への導入	私たちの生活における憲法のかかわり	資料プリントを読み学習 本時授業の復習	７０ ２０
2	憲法の展開	大日本帝国憲法から日本国憲法の成立へ	プリント（１～２）を読み学習 本時授業の復習	７０ ２０
3	日本国憲法の基本原理	三大基本原理	プリント（２～３）を読み学習 本時授業の復習	７０ ２０
4	日本国憲法「前文」	日本国憲法の基本的な考え方	プリント（３～４）を読み学習 本時授業の復習	７０ ２０
5	第一章　天皇	日本国憲法第１条～第８条	プリント（５～６）を読み学習 本時授業の復習	７０ ２０
6	第二章　戦争の放棄	日本国憲法第９条	プリント（７～８）を読み学習 本時授業の復習	７０ ２０
7	１回～６回までのまとめ	まとめの問題の解答について討議し、理解を深める	まとめ問題を解き理解を深める 討議の内容をまとめる	６０ ３０
8	第三章　国民の権利及び義務（1）	日本国憲法第１０条～第２３条	プリント（９～１０）を読み学習 本時授業の復習	７０ ２０
9	第三章　国民の権利及び義務（2）	日本国憲法第２４条～第４０条	プリント（１１）を読み学習 本時授業の復習	７０ ２０
10	第四章　国会	日本国憲法第４１条～第６４条	プリント（１２～１３）を読み学習 本時授業の復習	７０ ２０
11	第五章　内閣	日本国憲法第６５条～第７５条	プリント（１４）を読み学習 本時授業の復習	７０ ２０
12	第六章　司法	日本国憲法第７６条～第８２条	プリント（１５）を読み学習 本時授業の復習	７０ ２０
13	第七章～第十一章、補則	日本国憲法第８３条～第１０３条	プリント（１６～１８）を読み学習 本時授業の復習	７０ ２０
14	日本国憲法の課題	日本国憲法の諸問題について討議し、理解を深める	課題について討議し・レポート作成 討議の内容をまとめる	７０ ２０
15	まとめ	まとめ　小テストの実施	プリント整理と総括 小テストの準備	７０ ２０

【テキスト】　プリント　資料

【参考書・参考資料等】　必要に応じ資料・プリントを配布

【成績評価基準・方法】　ノート記録状況と受講態度（30%）、小テスト（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0254	授業科目：法学（ Law ）
開講時期	後期	（ 全 ）学科 (3) 年 (2) 単位　担当者：　中村　武四郎

【授業の到達目標】

・法の常識的知識を身につけ，これからの社会での生活に役立てられることを目標とする。

【授業の概要】

学生の皆さんには，新聞を読んだりテレビ等を視聴したりすることを督励し，授業でも各法律に関連して，できる限り身近な時事的出来事を題材に取上げ，より理解を深めやすいような講義とする。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	法の分類	日本国憲法・民法・刑法などの我が国における法の分類	プリント（1）を読み学習 本時授業の復習	７０ ３０
2	基本六法について	日本国憲法・民法・刑法・商法・民事訴訟・法刑事訴訟法の概観と法学への導入	プリント（2）を読み学習 本時授業の復習	７０ ３０
3	日本国憲法	前期で学習した日本国憲法についての復習	プリント（2）を読み学習 本時授業の復習	７０ ３０
4	民法 (1)	総則についての解説	プリント(3～6)を読み学習 本時授業の復習	７０ ３０
5	民法 (2)	物権・債権についての解説	プリント(7～9)を読み学習 本時授業の復習	７０ ３０
6	民法 (3)	親族・相続についての解説	プリント(10～11)を読み学習 本時授業の復習	７０ ３０
7	１回～６回までのまとめ	まとめの問題の解答について討議し、理解を深める	まとめ問題を解き、理解を深める 討議の内容をまとめる	９０ ３０
8	刑法 (1)	刑法の役割、犯罪の成立要件（行為・構成要件）	プリント（１２）を読み学習 本時授業の復習	７０ ３０
9	刑法 (2)	犯罪の成立要件（違法性・責任）	プリント（１３）を読み学習 本時授業の復習	７０ ３０
10	商　法	企業関係における諸問題	プリント（１４）を読み学習 本時授業の復習	７０ ３０
11	刑事訴訟法・民事訴訟法	犯罪の捜査、裁判（公判）、裁判で言い渡された刑の執行。民事訴訟の機構及び作用	プリント（１５）を読み学習　本時授業の復習	７０ ３０
12	労働法	労働法の意義、労働組合、労働契約、労働災害及びその補償	プリント（１６）を読み学習 本時授業の復習	７０ ３０
13	手形・小切手法	手形・小切手の経済的機能	プリント（１７）を読み学習 本時授業の復習	７０ ３０
14	諸法律の課題	普段の生活における法律とのかかわりについて討議し、理解を深める	課題について討議し、レポート作成 討議の内容をまとめる	１２０ ６０
15	まとめ	小テスト まとめと総括	小テストの準備 プリント整理とまとめ	９０ ３０

【テキスト】　プリント、資料

【参考書・参考資料等】　プリント配付

【成績評価基準・方法】　ノート記録状況&受講態度（30%）、レポート（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0912	授業科目：経営学総論（business administration introduction）
開講時期	後期	（ 全 ）学科（1）年（2）単位　　担当者：　石田尾　博夫

【授業の到達目標】
・企業経営の基本的考えについて理解を深め、企業を取り巻く経営環境、企業の社会的責任についても理解ができる。

【授業の概要】
近年、わが国の企業を取り巻く環境は、益々その厳しさを増しつつある。このような状況のもとで、企業の中には、生産・販売などの経営活動を合理的・経済的に維新するとともに、組織の革命、管理の科学化に取り組み、業績を伸ばしているものが見られる。そこで、本講義では、企業の成長発展の基礎となる経営者の理念、経営環境との関連性、経営戦略、経営意志決定、リーダーシップなどについて学ぶ。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	経営学の世界	経営資源、会社と企業の区別。 経営と管理の区別。	テキスト(P1~2)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	経営学と経済学	企業の３機能、企業の利益と経営効率、経営学と経済学。	テキスト(P3~6)を読みまとめる。 授業の復習をする。	３０ ６０
3	経営組織	経営組織の形態（ライン・スタッフ）CEO/COO、リーダーシップ論。	テキスト(P7~9) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
4	経営構造の発展（1）	職能別組織、事業部制組織、マトリックス組織。	テキスト(P10~13) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	経営構造の発展（2）	SBU、アントレプレナー。	テキスト(P12~13)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ３０
6	経営戦略（1）	事業戦略（５つの競争戦略・競争戦略の３類型)	テキスト(P14~21) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
7	１回～６回までのまとめ	演習問題の解答・解説とまとめについてディスカッション等で理解を求める。	演習問題を解き理解を深める。 ディスカッションの内容をまとめる	１２０ ６０
8	経営戦略（2）	CSR,PPM 分析	テキスト(P27~29) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
9	経営戦略（3）	SWOT 分析	テキスト(P30~31) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
10	マーケティング論（1）	マーケティングの４P、４C	テキスト(P32~33) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
11	マーケティング論（2）	サプライチェーン・マネジメント（SCM)	テキスト(P73~74)を読みまとめる。 授業の内容を復習をする。	３０ ６０
12	マーケティング論（3）	POP システム、プッシュ・プル戦略	テキスト(P40~41) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
13	マーケティング論（4）	M&A,AIDMA 理論	テキスト(P41) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
14	経営学の課題	日本型経営の特徴と現状経営を比較し課題を理解する。	海外で活躍する日本企業の経営、企業の社会的責任等レポートにまとめる。	１２０ ６０
15	まとめ	まとめと総括、小テストの実施	小テストの準備。 ノートの整理とまとめ。	６０ １２０

【テキスト】講義ノート「経営学」石田尾　博夫編　日本経済大学刊

【参考書】　授業中に適宜配布する。

【成績評価基準・方法】　ノート取得状況・レポート（30%）、テスト（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0915	授業科目：技術と経営　(Technology and Management)
開講時期	前期	（　全　）学科 (2) 年 (2) 単位　担当者：當金　一郎

【授業の到達目標】　現代社会の技術を取り巻く概況を国内外に渡って認識する。大学で修めた技術を実社会で効果的に生かすことができるように技術経営の基本を理解する。

【授業の概要】技術と経営とは一見すると結びつきにくいように感じるが、現代の経営の多くは技術と密接に関わるものが多い。日本企業が国際競争力を取り戻すには、「経営感覚のある技術者」が握っていると云われている。本講義では、技術と経営の両方の視点で活躍できる技術者の育成を目指して議論を進めていく。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習復習）	時間（分）
1	技術と経営	技術者に求められる経営管理とは	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	ＭＯＴとは何か	Management of Technology の視点、ＭＢＡとの違いは	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
3	市場環境と技術経営	市場ニーズ、価値連鎖、新製品開発	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
4	技術戦略とは(1)	技術戦略とは、技術戦略策定のプロセス	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	技術戦略とは(2)	競争優位の技術戦略、技術投資の意思決定	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
6	研究開発マネジメント	研究開発とは。研究開発予算管理、製品開発プロセス	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
7	１回～６回のまとめ	社会状況の変化と理解促進。ディスカッション	授業前半総括、課題の検討と発表、ディスカッション	９０
8	知的財産マネジメント(3)	製品開発の組織、知的財産権マネジメント	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
9	アライアンスマネジメント	外部企業利用の必要性、アライアンスの種類と形態	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
10	生産マネジメント	生産管理とは、工程管理、作業管理	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
11	生産マネジメント	品質管理、資材購買管理	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
12	ＣＴＩの基礎	コンペティティブ・テクニカル・インテリジェンス	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
13	プロジェクトマネジメント	プロジェクトマネジメントの手法、研究開発の効率化	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
14	レピュテーションマネジメント	企業の社会的責任（ＣＳＲ）、企業市民	授業の全体総括とグループディスカッション。	９０
15	まとめ	学修のまとめと総括	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０

【テキスト】　資料配布

【参考書・参考資料等】技術経営論：藤末健三（生産性出版）．コンペティティブ・テクニカル・インテリジェンス：菅澤嘉男（コロナ社）．レピュテーションマネジメント：(日本実業出版社)．バランススコアカード入門：吉川武男（生産性出版）．技術マネジメント入門：三澤一文（日経文庫）．技術士制度における総合技術監理部門の技術体系：(日本技術士会)．通勤大学MBA11,MOT:総合法令

【成績評価基準・方法】受講態度(20%)、レポート、小テスト(20%)、最終評価試験(60%)を行い、総合的な評価を行う。

教科番号	0935	授業科目：マーケティング論（Marketing Theory）
開講時期	後期	（全）学科（2）年（2）単位　担当者：　石田尾　博夫

【授業の到達目標】マーケティングの基本的な分析手法を知る。企業におけるマーケティングの役割、IT 社会におけるマーケティングの特徴を理解する。

【授業の概要】マーケティングとは「企業が価値を創造し、提供し、他の人々との交換することを通じて、消費者が望むニーズ、ウォンツを満たすこと」である。分りやすく言えば、「起業家とって最適な目標市場を導きだして利益を上げるために」「消費者の行動分析、競合企業との競争分析、自社の経営資源分析を行うこと」となる。この視点に立って、より具体的に例を挙げながらマーケティングについて解説する。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習復習）	時間（分）
1	マーケティングコンセプト	マーケティングの定義、マーケット戦略、顧客の視点	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	マーケティングの必要性	生産志向、製品志向、販売志向、顧客志向	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
3	マーティング環境分析	PEST 分析、５フォーセズ、3C,	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
4	マーティング環境分析	SWOT 分析、マズローの欲求５段階説	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	ターゲット市場の選定	セグメンテーション	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
6	ターゲット市場の選定	ターゲティング、ポジショニング	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
7	マーケットミクスの最適化	４P の整合性とは	授業前半総括、課題の検討と発表、ディスカッション	９０
8	戦略的マーケティング	製品戦略	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
9	マーケティング・ミックス	価格戦略	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
10	マーケティング・ミックス	流通戦略	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
11	マーケティング・ミックス	コミュニケーション戦略、AIDMA、AMTUL、損益分岐点	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
12	マーケティングのキーワード	リサーチ、CRM、RFM 分析	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
13	インターネット・マーケティング	サービスマーケティングの 6P とは	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
14	さまざまなマーケティング	サービス、品質の見える化	授業の全体総括とグループディスカッション。	９０
15	まとめ	学修のまとめと総括	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０

【テキスト】　講義ノート「マーケティング論」：石田尾博夫著（日本経済大学）

【参考書・参考資料等】ＭＢＡマーケティング：（ダイヤモンド社）．通勤大学 MBA2 マーケティング：青井倫一（総合法令）．コトラーを読む：酒井光男（日経文庫）．マーケティング活動の進め方：木村達也（日経文庫）．ベーシックマーケティング入門：相原修（日経文庫）．日経ビジネス誌.

【成績評価基準・方法】受講態度(20%)、レポート、小テスト(20%)、最終評価試験(60%)を行い、総合的な評価を行う。

教科番号	0919	授業科目：情報メディアの活用（Application of Information Media）
開講時期	後期	（全）学科（2）年（2）単位　　担当者：當金　一郎

【授業の到達目標及びテーマ】

(3)学校図書館と関連する情報メディアの種類と特性について理解する。

(4)学校図書館と関連する情報メディアの活用の方法について考察を行う。

【授業の概要】

本講義では、教育現場で活用される様々な情報メディアの種類、特性、活用法について知り、併せて司書教諭として学校図書館の運営を担う立場から必要とされる様々な課題、問題点について理解させることを狙いとして講義を行う。

授業計画

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	はじめに	司書教諭科目の概要と本科目の位置づけ 学校図書館の役割と機能	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	高度情報化社会の構造	高度情報化社会の定義、高度情報化社会における学校教育のありかた	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
3	情報と情報メディア	情報および情報メディアの定義 情報メディアの種類と歴史的変遷	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
4	学校教育と情報メディア(1)	学校教育において利用される情報メディアの種類、各情報メディアの特徴	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	学校教育と情報メディア(2)	学校教育における情報メディア活用の事例分析、情報メディアの教育的効果	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
6	学校教育と視聴覚メディア	視聴覚メディアの種類と特徴 学校教育における視聴覚メディア活用の場面と効果	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
7	教育用ソフトウェア(1)	教育用ソフトウェアの種類と特徴及び活用時の教育的効果	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
8	教育用ソフトウェア(2)	E-learning ソフトウェア Moodle の紹介 Moodle を使った教育の効果の検証	レポートを作成する。 授業の内容を復習する。	１２０ ６０
9	データベースシステム(1)	データベースシステムとファイルシステムの違い、各種データベースシステムの定義と特徴	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
10	データベースシステム(2)	リレーショナルデータベースモデルの概要、図書館における図書の分類の方法	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
11	データベースシステム(3)	学校図書館におけるデータベースシステム、学校図書館における図書検索及び情報検索のサービス	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
12	インターネットを利用した情報検索	Google、Amazon、質問回答サイト、国立情報学研究所等を用いた図書検索と情報検索のやり方	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
13	著作権の定義と範囲	知的財産権とは、著作権の定義と各種事例紹介	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
14	インターネットにおける情報発信	ブログ、ホームページ、ＳＮＳ等を用いた情報発信、情報発信と個人情報保護および著作権保護	各自でレポートを作成し、グループで討議する。 授業の内容を復習する。	１２０ ６０
15	まとめと評価	授業のまとめと総合評価	小テストの準備。 ノートの整理とまとめ。	６０ １２０

【テキスト】　情報メディアの活用と展開（学校図書館図解・演習シリーズ）中山伸一　青弓社

【参考書】なし

【成績評価基準・方法】　ノート取得状況&受講態度（30%）、小テスト（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0380	授業科目：修学基礎　（ School　Foundation ）
開講時期	前期	（ 全 ）学科（1）年（ 1 ）単位　　担当者：各学科教員

【授業の到達目標】

大学における修学や生活に取り組む態度・心構えを身につけ、自己管理力を養成し、自己実現に向かって積極的かつ実践的に取り組むことができるようにする。

また、卒業後、技術者として将来の目標を設定する必要性を学び、希望する専門領域を確定し、その学習のための事前準備を含めた履修計画や行動を自ら立案し実行することができるようにする。

【授業の概要】

大学生として自主的に学び，考え，行動するための基礎を築き，卒業後の自分の姿を具体化し，目標を明確にする手助けとする。

履修方法の指導，講義を受けるための基礎となるノートの取り方，テキストの読み方，レポートの書き方などを学ぶ。また，外部講師等の講話を聴講し，4年間の学生生活を心身ともに健康に過ごすための方策とする。

図書館をはじめとした大学の諸施設の見学や利用方法を学び，自分の目的に応じて学習環境を利用できるようになることを目指す。

また、アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	イントロダクション	・大学で学ぶ意義、講座の目的を知る。 ・各学科教員の紹介と教員の経験に基づく訓話。 ・将来の目標について考える。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	学生生活と心の健康（全学科620教室）	・青年期における悩みや不安についての理解とその対応（ストレスマネジメント）について学ぶ。 ・学生相談室の概要と利用の仕方について。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。 （担当者：切手）	３０ ６０
3	学生生活での危機対策（全学科620教室）	・大学生活で陥りやすい問題（薬物乱用等）の正確な知識を得て、退学処分等を受けることなく勉学を全うするための心構えを学ぶ。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。 （担当者：外部講師）	３０ ６０
4	スタディ・スキルを身につけよう（全学科620教室）	・人類を人間として発達させた「ことば」の意味を考え、ことばでノートをとる技能のイロハをやってみる。	４００字以内で抱負を書いてくる。（提出） 主張文構造を復習する。 （担当者：岩橋）	６０ ６０
5	学科・コースの紹介	・卒業後を見据えた各コースの紹介。 ・先輩たちの就職先の紹介。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
6	単位の修得等	・単位の修得（4年間のコースごとの単位習得についてのシュミレーションを提示）、テストの受け方やレポートの書き方。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
7	修学・生活態度	・1年間の学習計画、行動計画をワークシートにしたがって書き、提出させる。それに基づいてクラスアドバイザーとの面談を後日行う。	資料を読みまとめる。 面談内容をまとめて復習する。	６０ ６０
8	情報収集の仕方	・図書館の利用の仕方、インターネットの利用の仕方。実際に学科ごとに図書館とコンピュータルームに行って、簡単な利用上の説明を受けた後、レポート作成などの具体例を挙げてより詳しく図書館、インターネットの活用法を学ぶ。	資料を読みまとめる。 図書館利用やインターネットの活用法をまとめて復習する。	６０ ６０

【テキスト】　随時資料配付

【参考書・参考資料等】　なし

【成績評価基準・方法】　ノート取得状況&受講態度（50%）、レポート（50%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0387	授業科目：数学入門（ Introductory Mathematics ）
開講時期	前期	（全）学科（1）年（4）単位　担当者：竹下俊一・福永知哉

【授業の到達目標】

工学全般に必要な微積分学や線形代数を学ぶ上で必要な基礎的な事項を学び、高等学校数学からのなめらかな接続をめざす。

【授業の概要】

高等学校までの学習において、履修科目や習熟度の差があることに配慮し、基礎的な事項の定着をめざす。論理的な説明はなるべく簡略にし、基礎事項の学習や問題演習に時間をかけ、計算力の習熟をめざす。工学や日常の例をできるだけ取り上げ、興味を持って学べるよう工夫する。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	数や量の概念	数と寮の計算、人割合、いろいろな数量関係	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
2	式とグラフ	１次式・２次式・分数式、式とグラフ・方程式	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
3	式と計算１	整式の加法・減法・乗法・展開、因数分解	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
4	式と計算２	整式の除法、因数定理、３次以上の方程式	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
5	式と計算３	グラフと不等式、1 次不等式、2 次不等式、	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
6	三角関数１	三角比、一般角と弧度法、単位円と三角関数	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
7	三角関数２	三角関数の相互関係、三角関数の性質	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
8	三角関数３	三角関数のグラフ、三角関数の方程式・不等式	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
9	三角関数４	単位円と三角関数、加法定理	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
10	三角関数５	2 倍角・半角、積⇔和・差、合成	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
11	三角関数６	単位円と逆三角関数、逆三角関数の値	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
12	11 回までのまとめ	演習問題の解答・解説とまとめについてディスカッションを行い理解を深める。	演習問題を解説し発表する。 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
13	指数・対数関数　1	累乗と累乗根、指数法則、指数の拡張	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
14	指数・対数関数　2	指数関数の性質、指数関数のグラフ	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
15	指数・対数関数　3	指数関数と対数関数、対数の性質	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
16	指数・対数関数　4	対数関数のグラフ、対数の応用	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
17	16 回までのまとめ	演習問題の解答・解説とまとめについてディスカッションを行い理解を深める。	演習問題を解説し発表する。 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
18	ベクトル１	ベクトルの加法・減法・実数倍	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
19	ベクトル２	座標平面、座標空間、ベクトルの成分表示	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60

20	ベクトル3	内積の定義、内積の性質、計算法則	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
21	ベクトル4	成分と内積、内積の応用	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
22	21回までのまとめ	演習問題の解答・解説とまとめについてディスカッションを行い理解を深める。	演習問題を解説し発表する。 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
23	ベクトル5	図形とベクトル、直線や曲線のベクトル方程式	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
24	複素数1	複素数、複素数の計算、複素数と方程式の解	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
26	複素数2	複素数平面、複素数平面における加法・減法	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
27	複素数3	複素数の極形式表示、ド・モアブルの定理とベキ乗根	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
28	複素数4	指数関数表示、極表示、オイラーの定理	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
29	複素数5	指数関数表示、極表示、オイラーの定理	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
30	まとめ	まとめと総括。小テストの実施		60 120

【テキスト】　実教出版　「理工系の基礎数学」

【参考書・参考資料等】　　なし

【成績評価基準・方法】　ノート取得状況&受講態度（30%）、小テスト（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0382	授業科目：工学基礎数学（微分積分学）（Fundamental mathematics for technology）
開講時期	後期	（全）学科（1）年（4）単位　担当者：竹下俊一・福永知哉

【授業の到達目標】

工学全般に必要な数学の基礎的な事項を学び、工学の学習に対応できる数学的な思考力・表現力・計算力を養う。

【授業の概要】

高等学校で数学Ⅰしか学習していない学生にも配慮した授業内容で、工学を学ぶ上で必要な数学の基礎的な事項を学ぶ。また、微積分や線形代数の学習につながるような基礎事項の学習や問題演習を通した計算力の習熟を目指す。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1	関数とグラフ1	比例・反比例、２次関数、グラフの平行移動	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
2	関数とグラフ2	三角関数、指数関数、合成関数	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
3	関数とグラフ3	逆関数、無理関数、	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
4	関数とグラフ4	逆三角関数、対数関数	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
5	関数とグラフ5	グラフの合成、双曲線関数	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
6	５回までのまとめ	演習問題の解答・解説とまとめについてディスカッションを行い理解を深める。	演習問題を解説し発表する。 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
7	微分法　1	関数の極限、平均変化率	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
8	微分法　2	関数の定義、変化率	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
9	微分法　3	いろいろな関数の微分	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
10	微分法　4	積の微分，商の微分	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
11	微分法　5	合成関数の微分、逆関数の微分	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
12	11回までのまとめ	演習問題の解答・解説とまとめについてディスカッションを行い理解を深める。	演習問題を解説し発表する。 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
13	微分の応用1	接線と法線および関数の増減と極大・極小	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
14	微分の応用2	高次導関数と陰関数の微分法	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
15	微分の応用3	曲線の凹・凸・変曲点および平均値の定理と不定形の極限値	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
16	16回までのまとめ	演習問題の解答・解説とまとめについてディスカッションを行い理解を深める。	演習問題を解説し発表する。 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
17	不定積分1	原始関数、不定積分、不定積分の基本公式、および問題演習	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
18	不定積分2	置換積分および問題演習	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
19	不定積分3	部分積分および問題演習	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60

20	定積分　　1	三角関数の変形公式、三角関数の積分および問題演習	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
21	定積分　　2	有理関数の積分（部分分数分解）および演習問題	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
22	定積分　　3	無理関数の積分および問題演習	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
23	定積分　　4	定積分の定義、定積分の性質、定積分の基本定理	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
24	工学系の基礎数学　1	航空工学に関する数学	演習問題を解説し発表する。 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
26	工学系の基礎数学　2	機械工学に関する数学	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
27	工学系の基礎数学　3	情報電子工学に関する数学	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
28	工学系の基礎数学　4	土木工学に関する数学	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
29	工学系の基礎数学　5	建築工学に関する数学	テキストを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
30	まとめ	まとめと総括。小テストの実施		60 120
【テキスト】　実教出版　「理工系の基礎数学」				
【参考書・参考資料等】　　なし				
【成績評価基準・方法】　ノート取得状況＆受講態度（30%）、小テスト（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。				

教科番号	0372	授業科目： 微分積分学（Calculus）
開講時期	後期	（ 全 ）学科（1）年（4）単位 担当者： 山元 完二

【授業の到達目標】

微分積分の基本的な概念を学び、微分積分を利用して、初等関数についての理解を深める。

【授業の概要】

論理性に深入りせず、具体例による直観的な概念理解を深め、工学の分野へ利用する姿勢を養う。高校で微分積分学を学習していない、または、学んだが理解が不十分な学生にも十分配慮し、興味を持って取り組み、自ら計算し、思考することができるよう工夫する。予習への取り組みを促し、主体的な学習姿勢を育てる。

【授業要旨】

回数	題　目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	いろいろな関数	整関数、分数関数、無理関数、三角関数、指数関数、対数関数	テキスト（P.1～5）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
2	関数の極限	関数の極限、右極限・左極限	テキスト（P.6）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
3	関数の連続	区間、連続関数（点・区間で連続）、連続関数の四則、中間値の定理	テキスト（P.7～9）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
4	微分の基本公式	微分の定義、微分の基本公式、展開して項別微分	テキスト（P.10～13）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
5	積・商の微分	積の微分、商の微分	テキスト（P.14～16）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
6	合成関数の微分	合成関数、合成関数の微分	テキスト（P.16～18）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
7	三角関数	三角関数を含む式の極限、三角関数の導関数	テキスト（P.20～22）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
8	逆三角関数	逆関数の概念、逆関数の導関数、逆三角関数	テキスト（P.34～35）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
9	逆三角関数の微分	逆三角関数の導関数（逆正弦関数・逆余弦関数・逆正接関数）	テキスト（P.36～37）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
10	1回～9回までのまとめ	今まで学習した箇所の演習問題を学生が黒板に書き，考え方等を学生自身が説明する。	より良い方法がないかを学生どうし議論する。	120 60
11	対数関数の微分	ネピア数、自然対数、対数関数の微分	テキスト（P.22～28）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
12	指数関数の微分	対数関数と指数関数、指数関数の微分、対数微分法	テキスト（P.31～33）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
13	双曲線関数	双曲線関数とその導関数および対数微分法	テキスト（P.43）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
14	高次導関数	第ｎ次導関数、いろいろな関数の高次導関数	テキスト（P.61～62）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
15	変化する量と微分	速度・加速度、接線の傾き、媒介変数表示、陰関数の微分	テキスト（P.70～72）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
16	微分と近似	変化する量と微分、近似計算、工学への応用例	テキスト（P.72～75）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
17	11回～16回までのまとめ	今まで学習した内容について，演習問題を学生が黒板に書き，考え方等を説明する。	より良い考え方がないかを学生どうし議論する。	120 60
18	基本的な不定積分	原始関数、不定積分、不定積分の基本公式、 展開して項別積分	テキスト（P.78～81）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
18	分数・無理関数の積分	分数関数・無理関数の積分基本公式	テキスト（P.106～108）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
19	置換積分①	置換積分のいろいろ	テキスト（P.97～98）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60

20	置換積分②	置換積分を利用した積分計算	テキスト（P.98～99）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
21	部分積分①	部分積分法（整関数と三角・指数・対数関数との積）	テキスト（P.100～103）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
22	部分積分②	部分積分を2回以上実行するタイプ、漸化式利用	テキスト（P.103～105）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
23	18回～22回までのまとめ	今まで学習した内容について，演習問題を学生が黒板に書き，考え方等を説明する。	より良い考え方がないかを学生どうし議論する。	
24	三角関数の積分①	三角関数の変形公式を利用した三角関数の積分	テキスト（P.92～94）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
25	三角関数の積分②	置換積分・部分積分の利用による積分	テキスト（P.109～111）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
26	有理関数の積分	部分分数分解、有理関数の積分	テキスト（P.106～107）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
27	無理関数の積分	無理関数の積分	テキスト（P.107～108）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
28	定積分の計算	基本的な定積分	テキスト（P.82～86）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
29	24回～28回までのまとめ	今まで学習した内容について，演習問題を学生が黒板に書き，考え方等を説明する。	より良い考え方がないかを学生どうし議論する。	120 60
30	すべてのまとめ	今まで学習した内容について疑問点，また関心を持った点を各自発表する。	演習問題を解き，より良い考え方がないかを議論する。	120 60

【テキスト】　「新　微分積分Ⅰ」　高遠節夫　（他）著　大日本図書

【参考書・参考資料等】　プリントを準備する

【成績評価基準・方法】

取り組みの姿勢や積極性（10%）、事前予習（15%）、演習課題（15%）、小テスト、中間・期末試験（60%）等により総合的に評価する。

教科番号	0383	授業科目：応用微分積分（ Applied Calculus ）
開講時期	後期	（ 全 ）学科（ １ ）年（ ２ ）単位　　担当者： 山元 完二

【授業の到達目標】

・定積分を用いて、面積や体積を求めるなど、求積問題に微分積分が応用できる。
・テイラー展開やマクローリン展開による関数の無限級数展開ができる。
・物理量や工学の分野への応用例を具体的に取り上げ、近似計算にもふれる。

【授業の概要】

「微分積分学」では「基本的な関数の微分および積分」の計算に習熟することを主眼としている。この後に続く「応用微分積分学」では、工学への応用を意識し、微積分を積極的に活用することができるようになることをめざす。そのため、できるだけ具体的な例を取り上げ、微積分の有用性を実感できるようにする。予習への取り組みを促し、主体的な学習姿勢（ＡＬ）の育成にも努める。

【授業要旨】

回数	題　目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時 間 (分)
1	面積・曲線の長さ	曲線で囲まれた図形の面積、曲線の長さ	テキスト（P.115～121）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
2	立体の体積	立体の体積、練習問題	テキスト（P.122～128）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
3	媒介変数表示による図形	図形の媒介変数表示と面積・曲線の長さ・回転体の体積	テキスト（P.127～130）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
4	極座標表示	図形の極座標表示と面積・曲線の長さ	テキスト（P.131～136）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
5	広義積分	広義積分の定義と考え方	テキスト（P.137～139）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
6	変化率と積分	変化率（速度・加速度）と積分、練習問題	テキスト（P.140～141）を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	30 60
7	1 回～6 回までのまとめ	6 回までの演習問題を学生が解き，それを板書して学生自身が解説する。	演習問題を解き理解を深める。 解説の内容をまとめる。	120 60
8	多項式による関数の近似（1）	1 次近似式，2 次近似式	授業の内容を復習する。	30 60
9	多項式による関数の近似（2）	ｎ次近似式	授業の内容を復習する。	30 60
10	数列の極限	無限数列，収束と極限値	授業の内容を復習する。	90
11	級数	部分和，等比級数	授業の内容を復習する。	90
12	べき級数	べき級数の収束，発散について	授業の内容を復習する。	90
13	テーラー展開とマクローリン展開	テーラー級数とマクローリン級数について	授業の内容を復習する。	90
14	オイラーの公式	テーラー展開からの発展	授業の内容を復習する。	90
15	8回～14回までのまとめ	14 回までに出てきた演習問題を学生が解き，それを板書して学生自身が解説する。	演習問題を解き理解を深める。 解説の内容をまとめる。	120 60

【テキスト】　「新　微分積分Ｉ」　　高遠節夫ほか　　大日本図書

【参考書・参考資料等】　適宜、プリントを配布する。

【成績評価基準・方法】　取り組みの姿勢や積極性・出席状況（１０）、事前予習（１５）、演習課題（１５）、中間・期末試験（６０）等により総合的に評価する。

教科番号	0375	授業科目：線形代数　（ Linear　Algebra ）
開講時期	後期	全学科（　１　）年（　２　）単位　　担当者：山元　完二

【授業の到達目標】　行列、行列式の定義と基本性質、連立１次方程式との関係、余因子展開、逆行列、クラメールの公式、平面と空間のベクトルについて学ぶ。特に、2次または3次の行列や行列式の計算や活用ができるようにする。

【授業の概要】

高等学校の新学習指導要領から、行列がなくなったため、学生にとっては、全く新しい分野となる。丁寧な説明をこころがけ、基本的な概念や演算に習熟するように努める。解説はできるだけコンパクトに押さえ、問題演習にも十分時間をかける。数学の教職科目としての設定でもある。予習への取り組みを促し、主体的な学習姿勢（ＡＬ）の育成に努める。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1	行列の定義	行列の定義、行列の和・差・実数倍	テキストＰ．47～52を読みまとめる。授業の内容を復習する。	30 60
2	行列の積	行列の型と行列の積、計算法則、演習問題	テキストＰ．53～58を読みまとめる。授業の内容を復習する。	30 60
3	正方行列	転置行列　、逆行列、正則行列	テキストＰ．59～66を読みまとめる。授業の内容を復習する。	30 60
4	連立１次方程式と行列	消去法、係数行列、行基本変形、	テキストＰ．68～72を読みまとめる。授業の内容を復習する。	30 60
5	逆行列と連立１次方程式	逆行列と連立１次方程式	テキストＰ．73～79を読みまとめる。授業の内容を復習する。	30 60
6	練習問題，行列式	練習問題２－Ａ，試験，行列式の定義	テキストＰ．80～83を読みまとめる。授業の内容を復習する。	30 60
7	１回から６回までのまとめ	講義の内容や演習問題等で理解が不十分と思う所を発表し，互いに理解を深める。	良いアイディアを持った学生が皆の前で発表する。	120 60
8	行列式の定義と性質	行列式の定義(2)，行列式の性質	テキストＰ．84～92を読みまとめる。授業の内容を復習する。	30 60
9	行列式の計算	行列の積の行列式，行列式の展開	テキストＰ．93～100を読みまとめる。授業の内容を復習する。	30 60
10	行列式と逆行列	行列式と逆行列，連立１次方程式と行列式	テキストＰ．101～112を読みまとめる。授業の内容を復習する。	30 60
11	平面のベクトル	ベクトルの成分	テキストＰ．1～9を読みまとめる。授業の内容を復習する。	30 60
12	ベクトルの内積	定義、成分と内積，平行と垂直	テキストＰ．10～14を読みまとめる。授業の内容を復習する。	30 60
13	図形への応用	位置ベクトル，直線のベクトル方程式	テキストＰ．15～20を読みまとめる。授業の内容を復習する。	30 60
14	図形とベクトル	線形独立・線形従属,	テキストＰ．21～25を読みまとめる。授業の内容を復習する。	30 60
15	8回から14回までのまとめ	講義の内容や演習問題等で理解が不十分と思う所を発表し，互いに理解を深める。	良いアイディアを持った学生が皆の前で発表する。	120 60

【テキスト】

「新　線形代数」　　高遠　節夫　（他）著　　大日本図書

【参考書・参考資料等】

図書館を積極的に利用してください。書店で自分に適した本を購入し，テキストと並列で勉強する事も勧めます。

【成績評価基準・方法】

取り組みの姿勢や積極性・出席点(１０)、ＡＬ(予習)（１５）、宿題（１５）、試験（６０）等により総合的に評価する。

教科番号	0388	授業科目：基礎物理（ Basic Physics ）
開講時期	前期	（全）学科（1）年（4）単位　担当者：山田　猛矢、大脇　康博、福永　知哉

【授業の到達目標】

・ 力学・熱力学・波動学・電磁気学・原子物理を概念的に理解し、簡単な計算ができるようになる。

・ 物理分野全般の現象をイメージできるようになる。

【授業の概要】

身近な例や多くの絵によって、イメージ的に理解することを優先する。単位や三角関数などのおさらいから半導体や放射線まで、物理全般を直感的に説明する。専門外の技術課題に対してある程度理解ができ、将来、他分野の技術者と協働できるようになるために、どの分野の技術者も教養として知っておくべき物理を学ぶ。

【授業要旨】

回数	題　　目	授　業　内　容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	物理のための道具（1）	単位、有効数字、三角関数	テキスト(p1～4)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 120
2	物理のための道具（2）	指数関数、対数関数	テキスト(p5～7)を読みまとめる。 テキスト p8 の問題を解く。	90 150
3	力学の基本（1）	速度、加速度	テキスト(p9～12)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 120
4	力学の基本（2）	落下運動、反発係数	テキスト(p13～16)を読みまとめる。 テキスト p17 の問題を解く。	90 150
5	運動と力（1）	力、運動方程式、力のつり合い	テキスト(p18～22)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 120
6	運動と力（2）	慣性の法則、作用反作用の法則	テキスト(p23～24)を読みまとめる。 テキスト p25 の問題を解く。	90 150
7	圧力と回転	圧力、気圧、水圧、浮力，力のモーメント、重心	テキスト(p26～32)を読みまとめる。 キスト p33 の問題を解く。	90 120
8	1～7 回までのまとめ	力学分野(力と運動方程式)についての工学分野の応用においてディスカッションを行い理解を深める。	力学分野(力と運動方程式)の復習。 ディスカッションの内容についてまとめる。	180 120
9	エネルギーと保存則（1）	仕事、仕事率、運動エネルギー、位置エネルギー	テキスト(p34～37)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 120
10	エネルギーと保存則（2）	弾性エネルギー、エネルギー保存の法則	テキスト(p38～39)を読みまとめる。 テキスト p40 の問題を解く。	90 150
11	運動量と慣性力（1）	運動量、力積、運動量保存の法則	テキスト(p41～43)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 120
12	運動量と慣性力（2）	相対速度、慣性力、遠心力	テキスト(p44～45)を読みまとめる。 テキスト p46 の問題を解く。	90 150
13	9～12 回までのまとめ	力学分野(エネルギー保存則, 運動量保存則)についての身近な物理現象においてディスカッションを行い理解を深める。	力学分野(エネルギー保存則，運動量保存則)の復習。ディスカッションの内容についてまとめる。	180 180
14	気体分子の運動と熱（1）	熱運動、熱量保存の法則、ボイル・シャルルの法則	テキスト(p48～51)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 120
15	気体分子の運動と熱（2）	状態方程式、内部エネルギー、熱力学第１法則	テキスト(p51～54)を読みまとめる。 テキスト p56 の問題を解く。	90 150
16	波の性質と表し方（1）	振幅、波長、振動数、位相、横波・縦波	テキスト(p57～90)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 120
17	波の性質と表し方（2）	回折、反射、屈折、定常波、干渉	テキスト(p61～64)を読みまとめる。 テキスト p65 の問題を解く。	90 150
18	音と光（1）	音波、うなり、ドップラー効果	テキスト(p66～69)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 120
19	音と光（2）	光、全反射、レンズ、光の干渉	テキスト(p70～73)を読みまとめる。 テキスト p78 の問題を解く。	90 150

20	14～19 回までのまとめ	熱、波分野についての身近な物理現象においてディスカッションを行い理解を深める	熱、波分野の復習。 ディスカッションの内容についてまとめる。	180 180
21	静電気と力（1）	電子、静電気力、電気量保存の法則	テキスト(p79～80)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 120
22	静電気と力（2）	電場、電位	テキスト(p81～82)を読みまとめる。 テキスト p83 の問題を解く。	90 150
23	オームの法則､電気回路	自由電子、オームの法則、電力、アース、コンデンサー	テキスト(p84～90)を読みまとめる。 テキスト p93 の問題を解く。	90 120
24	電流と磁場（1）	磁場、コイル、右ねじの法則	テキスト(p94～96)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	90 150
25	電流と磁場（2）	フレミングの左手の法則、ローレンツ力、モーター	テキスト(p97～99)を読みまとめる。 テキスト p100 の問題を解く。	90 120
26	交流（1）	電磁誘導、誘導電流、交流電源	テキスト(p101～104)を読みまとめる。授業の内容を復習する。	90 150
27	交流（2）	自己誘導、相互誘導、電磁波	テキスト(p105～107)を読みまとめる。テキスト p108 の問題を解く。	90 120
28	原子物理	半導体、集積回路、放射線、放射性崩壊、半減期	テキスト(p109～113)を読みまとめる。テキスト p114 の問題を解く。	120 150
29	21～28 までのまとめ	電気、磁気分野について身近な物理現象を調べディスカッションを行い理解を深める。	電気、磁気分野の復習。 ディスカッションの内容についてまとめる。	180 120
30	総合演習、まとめ	総合問題演習とまとめと各専門分野とのつながりについて。	テキストの章末問題の解きなおし等, テストに備える。	240

【テキスト】　教養基礎シリーズ「まるわかり！基礎物理」時政孝行 監修 桒子 研 著　南山堂

【参考書・参考資料等】　授業中に適宜配布する。

【成績評価方法】　　試験（80%），授業態度(20%) で総合的な評価を行う。

教科番号	0362	授業科目： 化学入門（Introduction of Chemistry）
開講時期	前期	（ 全 ）学科（2）年（2）単位　　担当者： 切手 純孝

【授業の到達目標】

・原子の構造と電子軌道について理解を深め、物質の結合論と化学的性質についても理解ができる。
・物質の三態（固体・液体・気体）について、それぞれの基本的法則の理解ができる。また、理想気体の状態方程式を活用した応用的な問題も理解ができる。
・化学反応の定量的な取り扱いができる。特にモル濃度については実験の要素も含んだ理解ができる。

【授業の概要】

講義と演習によって精選した化学の基本概念を理解させ，専門科目の材料学を履修するための基礎を修得させる。さらに、小テストやディスカッションも取り入れて理解を深めさせる。また、アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	物質の分類	純物質と混合物、単体と化合物、元素記号と元素名	テキスト(P2~10)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	物質の構成（1）	原子の構造、原子の表し方、小テストの実施	テキスト(P12~15)を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	６０ ６０
3	物質の構成（2）	同位体、物質の表し方と化学式	テキスト(P15~25) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
4	電子配置（1）	電子殻と原子軌道、電子の収容	テキスト(P33~38) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	電子配置（2）	多電子原子の電子配置、閉殻構造、小テストの実施	テキスト(P39~42)を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	６０ ６０
6	電子配置と周期表の関係	最大電子収容数と閉殻電子配置の関係	テキスト(P42~47) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
7	１回～６回までのまとめ	演習問題の解答・解説とまとめについてディスカッションを行い理解を深める。	演習問題を解き理解を深める。 ディスカッションの内容をまとめる	１２０ ６０
8	化学結合（1）	イオン結合、金属結合、金属結晶の構造	テキスト(P51~56) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
9	化学結合（2）	共有結合、不対電子、共有電子対、配結合	テキスト(P56~66) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
10	化学結合（3）	分子の極性、分子間力、水素結合	テキスト(P67~71) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
11	化学量論（1）	原子の相対質量、原子量、分子量、小テストの実施	テキスト(P75~78)を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	６０ ６０
12	化学量論（2）	物質量、気体の体積、気体の状態方程式	テキスト(P78~79) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
13	化学量論（3）	モル質量とモル濃度、その他の濃度	テキスト(P80~86) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
14	科学の課題	地球温暖化の原因とその対策についてディスカッションにより理解を深める。	地球温暖化の原因を調べ、その対策を考えレポートにまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	１２０ ６０
15	まとめ	まとめと総括。小テストの実施	小テストの準備。 ノートの整理とまとめ。	６０ １２０

【テキスト】　化学入門　　千葉工業大学教育センター科学教室　編　　学術図書出版社

【参考書・参考資料等】　授業中に適宜配布する。

【成績評価基準・方法】　ノート取得状況＆レポート（30%）、小テスト（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0363	授業科目： 高分子化学（Polymer Chemistry）
開講時期	後期	（ 全 ）学科（2）年（2）単位 担当者：切手 純孝

【授業の到達目標】
・有機化合物の IUPC 命名法にそった名称がつけられる。
・プラスチックの名称・構造と基本的な性質が関連付けられる。

【授業の概要】
有機化合物に関する高校での理解度はかなり低く、有機高分子に至っては皆無に等しい。それにもかかわらず、有機化合物は工業材料（プラスチック）としての利用度がかなり高い。
有機化合物に関する下記の内容を詳細に講義することは時間的に困難である。したがって高分子に関する講義を主体とすることによって、今後、学生が技術者として高分子材料に遭遇したとき、その材料の名称からおおよその性質が推察できるように工夫する。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	物質の三態と特性	固体・液体・気体の特徴、融解点・凝固点・沸点・沸騰・蒸発・昇華	テキスト(P88~89)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	物質の相図と特徴	個相・液相・気相の特徴、三重点・臨界点、標高と気圧、	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
3	理想気体と実在気体	ボイルの法則、シャルルの法則、気体の状態方程式、	テキスト(P76~78)を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	６０ ６０
4	モル濃度と実験	溶解度、質量パーセント、モル濃度、アボガドロ定数、	テキスト(P79~82) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	化学反応(2)	酸化数と酸化還元反応、特別な化学反応	テキスト(P91~94) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
6	化学反応(1)	酸・塩基と中和反応、水素イオン濃度と pH、	テキスト(P95~99) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
7	まとめと復習	１回～６回までの小テストと解説。質問によるディスカッション	小テストの準備。授業の復習をする。 授業の内容を復習する。	１２０ ６０
8	炭素原子とＳＰ混成軌道	2S と 2P 軌道の特徴、混成軌道形成の考え方	テキスト(P61~65) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
9	炭化水素化合物(1)	有機化合物の命名と構造式の特徴 アルカン、アルケン、アルキン	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
10	炭化水素化合物(2)	Alkane 連鎖異性体, Alkene 位置異性体, 幾何異性体	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
11	炭化水素化合物(3)	脂環式炭化水素と芳香族炭化水素の構造と特性	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
12	炭化水素化合物の反応	置換反応、付加反応、付加重合、エステル化反応	リントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
13	酸素を含む有機化合物	アルコール, アルデヒド、カルボン酸の構造と特性	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
14	科学の課題	ダイオキシンなどの有機塩素化合物についてのグループディスカッションにより理解を深める。	ダイオキシンなどについて調べ、自分の考えをレポートにまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる	１２０ ６０
15	まとめ	まとめと総括。小テストの実施	小テストの準備。 ノートの整理とまとめ。	６０ １２０

【テキスト】　化学入門　千葉工業大学教育センター科学教室　編　学術図書出版社

【参考書・参考資料等】　授業中に適宜配布

【成績評価基準・方法】　ノート取得状況&受講態度（30%）、中間テスト（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0255	授業科目：技術者倫理（　Engineer ethics　）
開講時期	後期	（　全　）学科（3）年（1）単位　担当者：各学科教員

【授業の到達目標】

・技術者倫理の基本的事項が理解できる。

【授業の概要】

本授業科目は、技術者倫理の専門家を養成することではなく、企業で働いていて技術者倫理が問われる問題に遭遇したとき、正しい判断ができる知識を教えることを目的とする。

・技術者として、つねに専門技術の向上に努めるとともに、良心に基づいて行動する。

・技術者として、相互に信頼し合い、相手の立場を尊重し行動する。

・技術者として、業務上知り得た秘密を他に漏らしたり、または盗用したりしない。

・アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。

【授業要旨】

回数	題　　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	技術者倫理序論（外部講師）	技術者としての良心に基づいた行動について。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	技術者と倫理（外部講師）	技術者として、相互に信頼し合い、相手の立場を尊重した行動について。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
3	倫理問題への対応	技術者としての守秘義務、環境保全、労働安全衛生等について。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
4	実践的技術者倫理	技術者倫理が問われる問題に遭遇したとき、正しい判断ができる知識について。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	事例から学ぶ技術者倫理（1）	事例１：技術者倫理が問われる事例を基にした、グループ討議やグループ学習を行う。	資料を読みまとめる。 グループ討議の内容をまとめて復習する。	６０ ６０
6	事例から学ぶ技術者倫理（2）	事例２：技術者倫理が問われる事例を基にした、グループ討議やグループ学習を行う。	資料を読みまとめる。 グループ討議の内容をまとめて復習する。	６０ ６０
7	事例から学ぶ技術者倫理（3）	事例３：技術者倫理が問われる事例を基にした、グループ討議やグループ学習を行う。	資料を読みまとめる。 グループ討議の内容をまとめて復習する。	６０ ６０
8	まとめと総括	技術者倫理に関する事例研究のまとめを行い、グループごとに発表する。	発表用の原稿を作成する。 ディスカッションの内容をまとめる	１２０ ６０

【テキスト】

資料、プリント、その他

【参考書・参考資料等】

技術者倫理入門　　谷垣昌敬　監修　　オーム社

はじめての工学倫理　　齋藤了文・坂下浩司　編　　昭和堂

【学生に対する評価】

ノート取得状況、発表態度、授業態度等（70%）、レポート（30%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0251	授業科目：産業と人間（Human and Industry）
開講時期	前期	（ 全 ）学科（1）年（2）単位　　担当者：　石田尾　博夫

【授業の到達目標】

現代の産業社会の諸問題と課題に焦点を当て、現代経済の仕組みについても理解ができる。また、教養論文のテーマになりそうな事項や面接試験で話題になりそうな事項を扱う分野でもある。したがって最新の情報を配布プリントなどでフォローさせる。

【授業の概要】

本講義では、「産業と人間」のあり方を、経済学や社会学の視点から考察する。現代の産業社会の分析に必須のツールとしての理論と現実のいわば「思考の往復」を図りたい。

【授業要旨】

回数	題　　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	資本主義社会の成立	資本主義の成立と発展。ケネーからフリードマンまで。	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	ミクロ経済とマクロ経済学	市場メカニズム、市場の失敗、インフレとデフレ。	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
3	金融とフィスカルポリシー	金融政策、今日の金融をめぐる動き、金融の自由化・国際化と金融不安。	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
4	財政（1）	財政の機能と役割	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	財政（2）	財政改革	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ３０
6	国際経済と国際貿易	国際収支、外国為替、国際通貨体制。	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
7	１回～６回までのまとめ	演習問題の解答・解説とまとめについてディスカッション等で理解を求める。	演習問題を解き理解を深める。 ディスカッションの内容をまとめる	１２０ ６０
8	国際経済と国際貿易	地域経済統合（EU、ASEAN）BRICS　PIIGS	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
9	戦後日本経済史の展開	経済のソフト化・サービス化、産業の空洞化。	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
10	産業と人間	集団主義、日本文化論、テクノストレス。	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
11	社会保障と社会福祉	各国の社会保障制度の歴史	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
12	人口問題と少子高齢化社会	マルサスの人工論、人口置換論（倍加年数、合計特殊出生率）	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
13	労働環境	男女共同参画社会、ジェンダー問題。	文献を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
14	現代社会の課題	現代社会の特徴と現代経営を比較し課題を理解する。	課題研究等レポートにまとめる。	１２０ ６０
15	まとめ	まとめと総括。小テストの実施	小テストの準備。 ノートの整理とまとめ。	６０ １２０

【テキスト】プリント配布

【参考書】　「世界経済論ノート」　石田尾　博夫編著　（台湾国立成功大学）

【成績評価基準・方法】　ノート取得状況＆レポート（30%）、テスト（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0471	授業科目：英語入門演習（Introduction to Basic English）
開講時期	前期	（全）学科（1）年（2）単位　担当者：村上 美穂・徳山 ティーダ・知念 潔

【授業の到達目標】
英文法の総復習とその定着を図り、工学基礎としての英語力を身に付けることを目標とする。

【授業の概要】
本科目では，毎回テキストと辞書を使用。　テキストの予習･復習は毎回必須。予習に基づいた演習形式により，高校時までの英文法の整理･確認をしながら，それを発展させ，工学基礎の定着を図る。定着をはかるためにリスニング演習･オーラル演習は毎回取り入れ、音読の習慣も身につけさせていく。各 Unit 終了後は小テストも実施する。履修生には、各自資格試験等にも積極的に取り組んでもらえるよう積極的に支援していく。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題(予習･復習)	時間
1	導入	オリエンテーション，相互自己紹介，アンケート，ノート指導 等	テキスト全体に目を通しておく	60 分
2	導入	‘Let’s get back to the Basics	テキスト(P4～13)の予習	120 分
3	Unit 1	基本動詞の理解とリスニング	テキスト(P14～16)の予習と復習	120 分
4	Unit 1	基本動詞の応用と英文読解	テキスト(P14～16)の予習と復習	120 分
5	Unit 2	基本動詞(現在)の理解とリスニング	テキスト(P17～19)の予習と復習	120 分
6	Unit 2	基本動詞(現在)の応用と英文読解	テキスト(P17～19)の予習と復習	120 分
7	Unit 3	基本動詞(過去)の理解とリスニング	テキスト(P20～22)の予習と復習	120 分
8	Unit 3	基本動詞(過去)の応用と英文読解	テキスト(P20～22)の予習と復習	120 分
9	Unit 4	進行形の理解とリスニング	テキスト(P23～25)の予習と復習	120 分
10	Unit 4	進行形の応用と英文読解	テキスト(P23～25)の予習と復習	120 分
11	Unit 5	未来形の理解とリスニング	テキスト(P26～28)の予習と復習	120 分
12	Unit 5	未来形の応用と英文読解	テキスト(P26～28)の予習と復習	120 分
13	Unit 6	助動詞の理解とリスニング	テキスト(P29～31)の予習と復習	120 分
14	Unit 6	助動詞の応用と英文読解	テキスト(P29～31)の予習と復習	120 分
15	Unit 7	名詞・ 冠詞の理解とリスニング	テキスト(P32～34)の予習と復習	120 分
16	Unit 7	名詞・冠詞の応用と英文読解	テキスト(P32～34)の予習と復習	120 分
17	Unit 8	代名詞の理解とリスニング	テキスト(P35～37)の予習と復習	120 分
18	Unit 8	代名詞の応用と英文読解	テキスト(P35～37)の予習と復習	120 分
19	Unit 9	前置詞の理解とリスニング	テキスト(P38～40)の予習と復習	120 分
20	Unit 9	前置詞の応用と英文読解	テキスト(P38～40)の予習と復習	120 分
21	Unit10	形容詞・副詞の理解とリスニング	テキスト(P41～43)の予習と復習	120 分
22	Unit10	形容詞・副詞の応用と英文読解	テキスト(P41～43)の予習と復習	120 分
23	Unit11	比較の理解とリスニング	テキスト(P44～46)の予習と復習	120 分
24	Unit11	比較の応用と英文読解	テキスト(P44～46)の予習と復習	120 分
25	Unit12	命令文・感嘆文の理解とリスニング	テキスト(P47～49)の予習と復習	120 分
26	Unit12	命令文・感嘆文の応用と英文読解	テキスト(P47～49)の予習と復習	120 分
27	Unit13	接続詞(1)の理解とリスニング	テキスト(P50～52)の予習と復習	120 分
28	Unit13	接続詞(1)の応用と英文読解	テキスト(P50～52)の予習と復習	120 分
29	Review	前半の総復習，応用演習，その他	ノートの整理，復習，音読	120 分
30	Review	後半の総復習，応用演習，その他	ノートの整理，復習，音読	120 分

【テキスト】　**‘First Primer’**　(Revised Edition 改訂新版）：南雲堂
(佐藤哲三・椿松伸二・愛甲ゆかり・小手川巧光・福島孝夫・重久睦美・村上美穂・新 彰 共著)

【参考書・参考資料等】　辞書（電子辞書は講義では使用不可），他は別途指示

【学生に対する評価】授業態度(15%)，試験(55%)，ノート･レポート･小テスト(30%) 等で総合的な評価をおこなう。

教科番号	0491	授業科目: 英語入門演習(操)		
開講時期	前期	(航空)工学科(1)年 (2)単位　　担当者:　勝又 明志		
【授業の到達目標】将来航空人として必要な基礎的な英語知識と読解力の向上を目指す				
【授業の概要】操縦士の基礎訓練課程に対応した英語教育				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	Discovering Aviation①	a. Pilot Training	テキスト 1-1～1-23 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 30
2	Discovering Aviation②	b. Aviation Opportunities	テキスト 1-24～1-50 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 30
3	Discovering Aviation③	c. Induction to Human Factor テキスト内の Summary Checklist を使用して具体的な例を考えると共にディスカッションを行う。	テキスト 1-51～1-68 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 30
4	Airplane Systems①	a. Airplane	テキスト 2-2～2-13 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 30
5	Airplane Systems②	b. The Power-Plant and Related Systems	テキスト 2-14～2-46 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 30
6	Airplane Systems③	c. Flight Instruments テキスト内の Summary Checklist を使用して実物の飛行機のシステムを見る。	テキスト 2-47～2-78 を読みまとめる 授業の内容を復習・まとめる	30 30
7	The Flight Environment①	a. Safety of Flight b. Airports	テキスト 4-2～4-15 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 30
8	The Flight Environment②	b. Airports c. Aeronautical Charts	テキスト 4-16～4-55 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 30
9	The Flight Environment③	d. Air Space	テキスト 4-56～4-88 を読みまとめる 授業の内容を復習・まとめる	30 30
10	Communication and Flight Information①	a. Radar and ATC Services	テキスト 5-2～5-17 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 30
11	Communication and Flight Information②	b. Radio Procedures	テキスト 5-18～5-36 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 30
12	Communication and Flight Information③	c. Sources of Flight Information テキスト内の Summary Checklist を使用して空港、空域でのオペレーションをシミュレーションする。	テキスト 5-37～5-50 を読みまとめる 授業の内容を復習・まとめる	30 30
13	Meteorology for pilot①	a. Basic Weather Theory b. Weather Patterns	テキスト 6-2～6-37 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 30
14	Meteorology for pilot②	c. Weather Hazards	テキスト 6-38～6-58 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 30
15	Review	Q and A 又は DVD 学習 中間テスト	これまでの不明確なところを明らかにする Q&A の内容をまとめる	30 30
16	Interpreting weather Data①	a. The Forecasting Process b. Printed Reports and Forecasts	テキスト 7-2～7-30 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 30
17	Interpreting weather Data②	c. Graphic weather Products	テキスト 7-31～7-43 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 30
18	Interpreting weather Data②	d. Sources of weather Information Summary Checklist を使用して実際に航空気象情報を入手し解析する	テキスト 7-44～7-54 を読みまとめる 授業の内容を復習・まとめる	30 30

19	Airplane performance①	a. Predicting Performance b	テキスト 8-2～8-28 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 30
20	Airplane performance②	b. Weight and Balance	テキスト 8-29～8-49 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 30
21	Airplane performance③	c. Flight Computers	テキスト 8-50～8-70 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 30
22	Navigation①	a. Pilotage and Dead Reckoning	テキスト 9-2～9-19 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 30
23	Navigation②	b. VOR Navigation	テキスト 9-20～9-33 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 30
24	Navigation③	c. ADF Navigation	テキスト 9-34～9-46 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 30
25	Navigation④	d. Advanced Navigation Summary Checklist を使用して実際に飛行計画を作成する	テキスト 9-47～9-54 を読みまとめる 授業の内容を復習・まとめる	30 30
26	Applying Human Factors Principles①	a. Aviation Physiology	テキスト 10-2～10-21 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 30
27	Applying Human Factors Principles②	b. Aeronautical Decision making	テキスト 10-22～10-40 を読みまとめる 授業の内容を復習・まとめる	30 30
28	Flying Cross-Country ①	a. The Flight Planning Making	テキスト 11-2～11-14 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 30
29	Flying Cross-Country ②	b. The Flight	テキスト 11-15～11-40 を読みまとめる 授業の内容を復習・まとめる	30 30
30	Review	comprehension check	小テストの準備 ノートの整理とまとめ	30 30

【テキスト】JEPEPSEN PRIVATE

【参考書・資料等】DIT original 辞書

【成績評価基準・方法】中間テスト 2 回(各 20%) 出席率(10%) 、最終試験(50%)

教科番号	0472	授業科目：実用英語（Practical English）
開講時期	後期	（ 全 ）学科（1）年（4）単位　担当者：村上美穂・徳山ティーダ・知念潔

【授業の到達目標】
英語検定の初級～中級レベル以上の英語力に到達し，英語を実際に使い味わえるための実践力を身につける。

【授業の概要】
本科目では，テキスト・辞書は毎回使用。予習をもとにした演習形式により，英文法の確認，応用も含めた問題演習・長文問題に取り組む。口頭での応答がスムーズにできるよう，リスニング演習やオーラル演習も積極的に取り入れる。テキストの予習･復習は毎回必須。各 Unit 終了後は小テストも実施する。履修生には、各自資格試験等にも積極的に取り組んでもらえるよう積極的に支援していく。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題(予習･復習)	時間
1	導入	授業オリエンテーション	テキスト全体に目を通しておく。	60 分
2	Unit 14	不定詞(Ⅰ)･動名詞(Ⅰ)の理解とリスニング	テキスト(P53～55)の予習と復習	120 分
3	Unit 14	不定詞(Ⅰ)･動名詞(Ⅰ)の応用と英文読解	テキスト(P53～55)の予習と復習	120 分
4	Unit 15	受動態の理解とリスニング	テキスト(P56～58)の予習と復習	120 分
5	Unit 15	受動態の応用と英文読解	テキスト(P56～58)の予習と復習	120 分
6	Unit 16	完了形の理解とリスニング	テキスト(P59～61)の予習と復習	120 分
7	Unit 16	完了形の応用と英文読解	テキスト(P59～61)の予習と復習	120 分
8	Unit 17	接続詞(Ⅱ) の理解とリスニング	テキスト(P62～64)の予習と復習	120 分
9	Unit 17	接続詞(Ⅱ) の応用と英文読解	テキスト(P62～64)の予習と復習	120 分
10	Unit 18	基本文型の理解とリスニング	テキスト(P65～67)の予習と復習	120 分
11	Unit 18	基本文型の応用と英文読解	テキスト(P65～67)の予習と復習	120 分
12	Unit 19	各種疑問文の理解とリスニング	テキスト(P68～70)の予習と復習	120 分
13	Unit 19	各種疑問文の応用と英文読解	テキスト(P68～70)の予習と復習	120 分
14	Unit 20	不定詞(Ⅱ)の理解とリスニング	テキスト(P71～73)の予習と復習	120 分
15	Unit 20	不定詞(Ⅱ)の応用と英文読解	テキスト(P71～73)の予習と復習	120 分
16	Unit 21	It の特別用法の理解とリスニング	テキスト(P74～76)の予習と復習	120 分
17	Unit 21	It の特別用法の応用と英文読解	テキスト(P74～76)の予習と復習	120 分
18	Unit 22	分詞･動名詞の理解とリスニング	テキスト(P77～79)の予習と復習	120 分
19	Unit 22	分詞･動名詞の応用と英文読解	テキスト(P77～79)の予習と復習	120 分
20	Unit 23	関係代名詞の理解とリスニング	テキスト(P80～82)の予習と復習	120 分
21	Unit 23	関係代名詞の応用と英文読解	テキスト(P80～82)の予習と復習	120 分
22	Unit 23	関係代名詞の総演習	別途配布する教材の予習と復習	120 分
23	Speaking	日常会話表現	別途配布する教材の予習と復習	120 分
24	Listening	各種リスニング演習	別途配布する教材の予習と復習	90 分
25	Listening	各種リスニング演習	別途配布する教材の予習と復習	90 分
26	Cultures	各英語圏の英語の発音，リスニング演習	別途配布する教材の予習と復習	90 分
27	Cultures	英語圏の文化に関する英文読解，フィードバック	別途配布する教材の予習と復習	90 分
28	Review	前半の総復習，応用演習，その他	ノートの整理，復習，音読	120 分
29	Review	後半の総復習，応用演習，その他	ノートの整理，復習，音読	120 分
30	まとめ	学習のまとめと総括	ノートの整理，復習，音読	120 分

【テキスト】**'First Primer'**　(Revised Edition 改訂新版)　：南雲堂
（佐藤哲三・椙松伸二・愛甲ゆかり・小手川巧光・福島孝夫・重久睦美・村上美穂・新 彰 共著）

【参考書・参考資料等】　辞書（電子辞書でないほうがよい）。他は別途指示

【成績評価基準・方法】 授業態度(15%)，試験(55%)，ノート,レポート&小テスト(30%) 等で総合的な評価をおこなう。

教科番号	0492	授業科目: 実用英語(操)		
開講時期	後期	(航空)工学科(1)年 (4)単位　　担当者: 勝又 明志		
【授業の到達目標】将来航空人として必要な実用的な英語知識と読解力の向上を目指す				
【授業の概要】操縦士として海外での飛行機の運航に必要とされる実用的な英語教育				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	Interpreting weather Data①-1	a. The　Forecasting Process	AVIATION WEATHER CENTER より気象情報を入手し授業の準備を行う 実際の気象解析データについてノートにまとめる	30 30
2	Interpreting weather Data①-2	b. Printed Reports and Forecasts	AVIATION WEATHER CENTER より気象情報を入手し授業の準備を行う 実際の気象解析データについてノートにまとめる	30 30
3	Interpreting weather Data②-1	c.-1Graphic weather Products	AVIATION WEATHER CENTER より気象情報を入手し授業の準備を行う 実際の気象解析データについてノートにまとめる	30 30
4	Interpreting weather Data②-2	c.-2 Graphic weather Products	AVIATION WEATHER CENTER より気象情報を入手し授業の準備を行う 実際の気象解析データについてノートにまとめる	30 30
5	Interpreting weather Data③-1	d.-1　Sources of weather Information 気象解析を行い発表する	AVIATION WEATHER CENTER より気象情報を入手し授業の準備を行う 授業で解析・発表したことをノートにまとめる	30 30
6	Interpreting weather Data③-1	d. -2 Sources of weather Information 気象解析を行い発表する	AVIATION WEATHER CENTER より気象情報を入手し授業の準備を行う 授業で解析・発表したことをノートにまとめる	30 30
7	Airplane performance①-1	a. -1 Predicting Performance 飛行性能を計算して発表する	飛行性能を出すために必要なデータを収集する 飛行性能への影響について発表したことをまとめる	30 30
8	Airplane performance①-2	a. -2 Predicting Performance 飛行性能を計算して発表する	飛行性能を出すために必要なデータを収集する 飛行性能への影響について発表したことをまとめる	30 30
9	Airplane performance②-1	b.-1 Weight　and　Balance 重量・重心位置／離着陸性能を計算して決定し発表する	重量・重心位置／離着陸性能の決定に必要なデータを入手する 重量・重心位置／離着陸性能の決定で発表したことをまとめる	30 30
10	Airplane performance②-2	b.-2 Weight　and　Balance 重量・重心位置／離着陸性能を計算して決定し発表する	重量・重心位置／離着陸性能の決定に必要なデータを入手する 重量・重心位置／離着陸性能の決定で発表したことをまとめる	30 30
11	Airplane performance③-1	c. -1 Flight Computers を使用して飛行計画を立案し、発表する	飛行計画に必要なデータを収集する 発表したことをまとめる	30 30
12	Airplane performance③-2	c. -2 Flight Computers を使用して飛行計画を立案し、発表する	飛行計画に必要なデータを収集する 発表したことをまとめる	30 30
13	Navigation①-1	a.-1 Pilotage and Dead Reckoning 海外(アメリカ)での航法について発表する	必要な情報を入手する 発表したことをまとめる	30 30
14	Navigation①-2	a.-2　Pilotage and Dead Reckoning 海外(アメリカ)での航法について発表する	必要な情報を入手する 発表したことをまとめる	30 30

15	Navigation②-1	VOR Navigation ① VOR を使用した航法計画を立案し発表する	飛行計画に必要な情報を入手する 発表したことをまとめる	30 30
16	Navigation②-2	VOR Navigation ② VOR を使用した航法計画を立案し発表する	飛行計画に必要な情報を入手する 発表したことをまとめる	30 30
17	Navigation③-1	ADF Navigation ① ADF を使用した航法計画を立案し発表する	飛行計画に必要な情報を入手する 発表したことをまとめる	30 30
18	Navigation③-2	ADF Navigation ② ADF を使用した航法計画を立案し発表する	飛行計画に必要な情報を入手する 発表したことをまとめる	30 30
19	Navigation④-1	Advanced Navigation ① 海外(アメリカ)での飛行計画について総合飛行計画を立案し発表する	飛行計画に必要な情報を入手する 発表したことをまとめる	30 30
20	Navigation④-2	Advanced Navigation ② 海外(アメリカ)での飛行計画について総合飛行計画を立案し発表する	飛行計画に必要な情報を入手する 発表したことをまとめる	30 30
21	Applying Human Factors Principles ①-1	Aviation Physiology ① 海外(アメリカ)での飛行で考えられる影響を発表する	海外(アメリカ)での飛行で考えられる影響を考える 発表したことをまとめる	30 30
22	Applying Human Factors Principles ①-2	Aviation Physiology ② 海外(アメリカ)での飛行で考えられる影響を発表する	海外(アメリカ)での飛行で考えられる影響を考える 発表したことをまとめる	30 30
23	Applying Human Factors Principles ②-1	Aeronautical Decision making ① 海外運航を模擬したCRMを行い発表する	CRM で必要な情報を入手する 発表したことをまとめる	30 30
24	Applying Human Factors Principles ②-2	Aeronautical Decision making ② 海外運航を模擬したCRMを行い発表する	CRM で必要な情報を入手する 発表したことをまとめる	30 30
25	Review	Q&A または DVD 学習 中間テスト	これまでの不明確なところを明らかにする Q&A の内容をまとめる	30 30
26	Flying Cross-Country①-1	The Flight Planning Making ① ディスカッションを行う	海外運航に必要なことを総合的に準備する ディスカッションの内容をまとめる	30 30
27	Flying Cross-Country①-2	The Flight Planning Making ② ディスカッションを行う	海外運航に必要なことを総合的に準備する ディスカッションの内容をまとめる	30 30
28	Flying Cross-Country②-1	b. The Flight ① ディスカッションを行う	海外運航に必要なことを総合的に準備する ディスカッションの内容をまとめる	30 30
29	Flying Cross-Country②-2	b. The Flight ② ディスカッションを行う	海外運航に必要なことを総合的に準備する ディスカッションの内容をまとめる	30 30
30	Review	comprehension check	小テストの準備 ノートの整理とまとめ	30 30
【テキスト】JEPEPSEN PRIVATE				
【参考書・資料等】DIT original 辞書				
【成績評価基準・方法】中間テスト 2 回(各 20%) 出席率(10%) 、最終試験(50%)				

教科番号	0473	授業科目：総合英語Ⅰ　（ General Learning of English Ⅰ ）
開講時期	前期	（ 全 ）学科（ 2 ）年（ 2 ）単位　　担当者：村上 美穂

【授業の到達目標】

本講義では、文法や語法の再確認をしながら、自分の表現したい内容を様々な英文で表現する方法を身に付ける。

【授業の概要】

テキスト・辞書（英和・和英）は毎回使用。言いたいことを、英語らしく適切な表現をする方法を学ぶ。予習をもとに、文法事項の再確認、初歩的なライティング活動、発展的なライティング活動を主に行い、学生同士が話し合い様々な表現を考え出す時間を設ける。　更に、親しみやすいストーリーの中で、日常生活でよく使われる会話表現も身に付ける。各 Unit 終了後には小テスト、学期末にはオーラルテストも実施する。

【授業要旨】

回数	題 目	授 業 内 容	学習課題(予習･復習)	時間
1	導入・Unit 1	授業オリエンテーション。 基本動詞の用法の復習。	テキスト(P4)の文法事項を理解しノートにまとめ, 演習問題をノートに解く。授業内容の復習と音読。	120分
2	Unit 1	基本動詞（時制の変化）を応用的に用いた英作文。日常会話。口頭演習	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120分
3	Unit 2	進行形（時制の変化）・未来形・助動詞の用法。	テキスト(P8)の文法事項を理解しノートにまとめ, 演習問題をノートに解く。授業内容の復習と音読。	120分
4	Unit 2	進行形・未来形・助動詞を用いた英作文・日常会話。口頭演習。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120分
5	Unit 3	名詞（可算・不可算）・冠詞・代名詞（各種代名詞）の用法。	テキスト(P12)の文法事項を理解しノートにまとめ, 演習問題をノートに解く。授業内容の復習と音読。	120分
6	Unit 3	名詞・冠詞・代名詞を応用的に用いた英作文。日常会話。口頭演習。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120分
7	Unit 4	前置詞（連語も含む）・接続詞（that 以外）の用法。	テキスト(P16)の文法事項を理解しノートにまとめ, 演習問題をノートに解く。授業内容の復習と音読。	120分
8	Unit 4	前置詞・接続詞（that 以外）を応用的に用いた英作文。日常会話。口頭演習。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120分
9	Unit 5	形容詞と副詞。 比較。	テキスト(P20)の文法事項を理解しノートにまとめ, 演習問題をノートに解く。授業内容の復習と音読。	120分
10	Unit 5	形容詞と副詞を使った英作文・言い換え。比較を使った様々な表現。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120分
11	Unit 6	命令文・感嘆文の用法と応用。	テキスト(P24)の文法事項を理解しノートにまとめ, 演習問題をノートに解く。授業内容の復習と音読。	120分
12	Unit 6	命令文・感嘆文を応用的に用いた英作文。日常会話。口頭演習。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120分
13	Unit 7	不定詞の基本的な用法と応用。	テキスト(P28)の文法事項を理解しノートにまとめ, 演習問題をノートに解く。授業内容の復習と音読。	120分
14	Unit 7	不定詞のその他の用法と応用。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120分
15	まとめ	学習のまとめと総括。 オーラルテスト。	ノートの整理とまとめ。 オーラルテストの準備。	120分

【テキスト】　‘Primer for English Writing’　(新藤照夫, 佐藤哲三, 愛甲ゆかり　共著　：南雲堂)

【参考書・参考資料等】　英和辞書・和英辞書（電子辞書以外のもの），他は別途指示

【成績評価基準・方法】ノート取得状況&受講態度（30%）、試験(60%)、小テスト(10%)　で総合的に評価する。

教科番号	0493	授業科目: 総合英語Ⅰ(操)		
開講時期	前期	(航空)工学科(3)年 (2)単位 担当者: 勝又 明志		
【授業の到達目標】英文テキストが読めて、更に英語によって航空知識が考えられるために必要な学力の習得を目指す				
【授業の概要】 事業用操縦士に必要な英語の基礎知識を講義する				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	ADVANCED AERO DYNAMICS-1	①LIFT②LIFT EQUETION③CONTROLLING LIFT④HIGH LIFT DIVICIES⑤TRAILING EDGE FLAPS⑥LEADING EDGE DEVICES⑦DRAG⑧INDUCED DRAG⑨WING PLANFORM	テキスト 12-2～12-12 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
2	ADVANCED AERO DYNAMICS-2	①GROUND EFECT ②PARASITE DRAG ③TOTAL DRAG ④MAXIMUM RANGE ⑤HIGT DRAG DEVICES ⑥THRUST ⑦PROPELLER EFFICIENCY ⑧MUXIMUM LEVEL FLIGHT SPEED	テキスト12-13～12-20を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
3	ADVANCED AERO DYNAMICS-3	①WEIGHT AND LOAD FACTOR ②LOAD FACTOR ③THE V-G DIAGRAM ④ Reviews 中間テスト	テキスト12-21～12-23を読みまとめる 中間テストの準備 授業の内容を復習する	120 60
4	ADVANCED AERO DYNAMICS-4	①AIRCRAFT STABILITY ②STATIC STABILITY ③DYNAMIC STABILITY ④LONGITUDINAL STABLITY⑤LATERAL STABILITY ⑥DERECTINAL STABILITY ⑦INTERACTION OF LATERAL AND DIRECTIONAL STABILITY	テキスト12-23～12-30を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
5	ADVANCED AERO DYNAMICS-5	①AERODYNAMICS AND FLIGHT MANEUVERS ②STRAIGHT-AND-LEVEL FLIGHT ③CLIMBS ④FACTORS AFFECTING CLIMB PORFORMANCE ⑤GLIDES ⑥TURNS ⑦LOAD FACTOR IN TURNS ⑧RADIUS AND RATE OF TURN ⑨COORDINATION IN TURNS	テキスト12-31～12-36を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
6	ADVANCED AERO DYNAMICS-6	①SRALL AND SPIN AWARENESS ②STALLS ③CAUSES OF STALLS ④TYPES OF STALLS ⑤STALL RECOGNITION AND RECOVERY ⑥SPINS ⑦PRIMARY CAUSES ⑧PHASES OF A SPIN ⑨WEIGHT AND BALANCE ⑩SPIN RECOVERY	テキスト12-36～12-42を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
7	Review	Q and A about Advanced Aero Dynamics ディスカッションを行う 中間テスト	中間テストの準備 ADVANCED AERO DYNAMICSをまとめる	120 60
8	PREDICTING PERFORMANCE	①FACTORS AFFECTING PERFORMANCE ②DENSITY ALTITUDE ③SURFACE WINDS ④WEIGHT ⑤RUNWAY CONDITIONS	テキスト12-47～12-53を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
9	CONTROLLING WEIGHT AND BALANCE	①WEIGHT AND BALANCE LIMITATIONS ②MAXIMUM WEIGHT LIMITS ③CENTER OF GRAVITY LIMITS ④FORWARD CG EFFECTS ⑤AFT CG EFFECTS⑥LATERAL CG EFFECTS	テキスト12-72～12-78を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
10	WEIGHT AND BALANCE DOCUMENTS	①WEIGHT AND BALANCE REPORT②WEIGT AND BALANCE COMPUTATIONS ③MOMENT COMPUTATIONS ④DETERMINING CENTER OF GRAVITY POSITION ⑤WEIGHT AND BALANCE CONDITION CHECKS⑥COMPUTATION METHOD⑦GRAPH METHOD⑧TABLE METHOD⑨WEIGHT SHIFT COMPUTATION	テキスト12-78～12-89を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
11	Weather Factors-1	①The Atmosphere ②Atmospheric Circulation ③Pressure and Wind Pattern ④Local Convective Circulation ⑤Moisture, Precipitation, and Stability ⑥Dew-point ⑦Precipitation	テキスト 9-2～9-10 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
12	Weather Factors-2	①Latent Heat of Water ②Stability ③Cloud ④Types of Clouds ⑤Low Clouds ⑥Middle Clouds ⑦High Clouds ⑧Clouds With vertical Development	テキスト9-10～9-16を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
13	Weather Factors-3	①Air-mass ②Fronts ③Cloud Fronts ④Fast-Moving Could Fronts ⑤Slow-Moving Could Fronts ⑥Warm Fronts ⑦Stationary Fronts ⑧Occluded Fronts ⑨The Frontal Cyclone ⑩Structure and Development	テキスト9-16～9-24を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60

14	Weather Factors-4	High Altitude Weather ②Total Review	テキスト 9-24～9-28 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
15	Review	Q and A ディスカッションを行う	ディスカッションの準備 ディスカッションのまとめ	30 60
【テキスト】INSTRUMENT/COMMERCIAL JEPPESEN				
【参考書・資料等】				
【成績評価基準・方法】中間テスト２回(各 20%) 出席率(10%) 、最終試験(50%)				

教科番号	0474	授業科目：総合英語Ⅱ　（ General Learning of English Ⅱ ）
開講時期	後期	（ 全 ）学科（ 2 ）年（ 2 ）単位　　担当者：村上　美穂

【授業の到達目標】

本講義では，文法や語法の再確認をしながら，自分の表現したい内容を様々な英文で表現する方法を身に付ける。

【授業の概要】

テキスト・辞書（英和・和英）は毎回使用。言いたいことを英語らしく適切な表現をする方法を学ぶ。予習をもとに，文法事項の再確認，リスニング，初歩的なライティング活動，発展的なライティング活動を主に行い，学生主体で話し合い様々な表現を考え出す機会を設ける。　更に，親しみやすいストーリーの中で，日常生活でよく使われる会話表現も身に付ける。各 Unit 終了後には小テスト，学期末にはオーラルテストも実施する。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題(予習･復習)	時間
1	Unit 8	動名詞の応用（主語･前置詞の目的語･動詞の目的語）。	テキスト(P32)の文法事項を理解しまとめ，演習問題を解く。授業内容の復習と音読。	120 分
2	Unit 8	現在分詞の応用。日常会話。	演習問題(P34)をノートに解く。 授業内容の復習と音読。	120 分
3	Unit 8	過去分詞の応用。日常会話。	演習問題(をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120 分
4	Unit 9	各種疑問文（付加疑問文・間接疑問文等）の用法。	テキスト(P36)の文法事項を理解しまとめ，演習問題を解く。授業内容の復習と音読。	120 分
5	Unit 9	It の特別用法。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習と音読。	120 分
6	Unit 9	It の特別な用法を用いた英作文 日常会話。口頭演習。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120 分
7	Unit 10	受動態の応用。 受動態を用いた特殊表現。	テキスト(P40)の文法事項を理解しまとめ，演習問題を解く。授業内容の復習と音読。	120 分
8	Unit 10	受動態がよく用いられる場面・用途	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120 分
9	Unit 11	現在完了の応用。口頭演習。	テキスト(P44)の文法事項を理解しまとめ，演習問題を解く。授業内容の復習と音読。	120 分
10	Unit 11	過去完了の応用。口頭演習。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120 分
11	Unit 12	接続詞 that の応用。読解。	テキスト(P48)の文法事項を理解しまとめ，演習問題を解く。授業内容の復習と音読。	120 分
12	Unit 12	その他の接続詞を用いた様々な構文。 手紙の文例・書き方。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120 分
13	Unit 13	5 文型の復習。	テキスト(P52)の文法事項を理解しまとめ，演習問題を解く。授業内容の復習と音読。	120 分
14	Unit 13	5 文型の応用，言い換え。	演習問題をノートに解く。 授業内容の復習(小テスト対策)と音読。	120 分
15	まとめ	学習のまとめと総括。オーラルテスト。	ノートの整理とまとめ。 オーラルテストの準備。	120 分

【テキスト】‘Primer for English Writing’　（佐藤哲三，愛甲ゆかり，新藤照夫　共著：南雲堂）

【参考書・参考資料等】　英和辞書・和英辞書（電子辞書以外のもの），他は別途指示

【成績評価基準・方法】　ノート取得状況&受講態度（30%），試験(60%)，小テスト(10%)　で総合的に評価する。

教科番号	0494	授業科目: 総合英語Ⅱ (操)		
開講時期	後期	(航空)工学科(3)年 (2)単位 担当者:勝又 明志		
【授業の到達目標】事業用操縦士として計器飛行を行うのに必要な英語の知識の習得を目指す				
【授業の概要】事業用操縦士の計器飛行に対応した英語能力の基礎知識を講義する				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題 (予習・復習)	時間 (分)
1	INSTRUMENT/COMMETCIAL TRANING AND OPPOTRUNITIES	①Instrument Flight ②Why An Instrument Rating ③Currency for the Cloud ④The Commercial Pilot Certificate⑤Additional Certificates And Rating ⑥Multi Engine rating ⑦ Certificated Flight Instructor ⑧ Airline Transport Pilot Certificate	テキスト1-2～1-29を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
2	ADVANCED HUMAN FACTORS CONCEPTS 1	①Aeronautical decision making ② Crew resource management ③Single -Plot resource management ④The Decision Making Process ⑤ Pilot-in-Command Responsibility ① Communication ② Work Load management ③ Situational Awareness ④ Aviation Physiology ⑤ Disorientation ⑥Spatial Disorientation	テキスト 1-30～1-41 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
3	ADVANCED HUMAN FACTORS CONCEPTS 2	①Vestibular Disorientation②Motion Sickness ③Hypoxia ④Hypoxic Hypoxia ⑤Other form Of Hypoxia ⑥Prevention of Hypoxia ⑦Supplemental Oxygen ⑧ High Altitude Training ① Decompression Sickness ② Hyperventilation ③Stress ④Fatigue ⑤ Alcohol and Drugs ⑥Fitness for Flight	テキスト 1-41～1-58 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
4	ATTITUDE INSTRUMENT FLYING 1	①Fundamental Skills ②Instrument Cross Check(Scanning technique) ③Frequent Errors ④Instrument Interpretation ⑤Air craft Control ⑥Display of Information ⑦Attitude Instrument Flying Concepts ⑧Control and performance Concept ① Applying control and performance ②Primary/Support concept③ Basic Flight maneuvers ④Straight and Level Flight ⑤Pitch control ⑥Bank control ⑦ Power Control	テキスト 2-40～2-52 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
5	ATTITUDE INSTRUMENT FLYING 2	① Applying control and performance ②Primary/Support concept③ Basic Flight maneuvers ④Straight and Level Flight ⑤Pitch control ⑥Bank control ⑦ Power Control	テキスト 2-46～2-52 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60

6	ATTITUDE INSTRUMENT FLYING 3	①Standard rate Turns ②Bank Control ③Pitch Control ④Steep turns ① Climb and Descents ②Climbs ③ Constant Air Speed Climbs ④Constant rate Climb ⑤Descents ⑥Constant Air Speed Descents ⑦Constant Rate Descents	テキスト 2-52～2-60 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
7	ATTITUDE INSTRUMENT FLYING 4	①Level off from Climbs and Descents ②Climbing and Descending turn ③ Common Errors①Coping with Instrument Failure ②Identifying an Instrument Failure ③Attitude Indicator Failure ③Heading Indicator Failure	テキスト 2-60～2-63 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
8	ATTITUDE INSTRUMENT FLYING 5	①Partial panel Flying ②Straight and level Flight ③Turns ④Compass Turns ⑤Timed turns ⑥Climbs and descents ⑦ Pitot-Static Instrument Failures① Unusual Attitude recovery ②Nose-High Attitude ③ Nose-Low Attitude ④partial panel Unusual Attitude Recovery ⑤Stalls	テキスト 2-63～2-70 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
9	1回～8回のまとめ	Q and A ディスカッション 中間テスト	これまでの不明確なところをまとめる テストの準備 これまでの授業をまとめる	120 60
10	Departure Charts	① Obtaining Charts ② Departure Standards ③ Instrument Departure Procedures ④Vector Departure SID Chart Feature ⑤Pilot Navigation SID Chart Feature	テキスト4-2～4-12を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
11	Departure Procedures	①Briefing A Departure ②Takeoff Minimums ③Departure options ④ Standard Instrument departures ⑤ Obstacle departure Procedures ⑥ RADAR Departures ⑦VFR Departure ⑧ Selecting a Departure Method	テキスト 4-13～4-24 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
12	En-route and Area Charts	①En-route Charts ②Front Panel ③ Navigation Aids ④Victor Airways ① Communication ②Air Space ③Area Charts	テキスト5-2～5-23を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
13	En-route Procedures	① En-route RADAR Procedures ② Communication ③Reporting Procedures ④ RADAR/Non-RADAR reports ⑤ Non RADAR Reports⑥En-route Navigation Using GPS ⑦Air Traffic Service Routes ⑧En-route RNP ⑨Special Use Air space ⑩IFR cruising Altitude ⑪ Reduced Vertical separation Minimums ⑫ Descending from The En-route Segment	テキスト 5-24～5-38 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60

14	Holding Procedures	①The Standard Holding Pattern ② Outbound and Inbound Timing ③ Crosswind Correction ④ Maximum Holding Speed ⑤ Holding Pattern Entries Direct Entry ⑥Teardrop Entry ⑦Parallel Entry ⑧Visualizing Entry procedure ⑨ATC Holding Instructions	テキスト 5-39～5-52 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
15	Review	Q and A ディスカッション 小テスト	これまでの不明確なところをまとめる テストの準備 これまでの授業をまとめる	120 60
【テキスト】Instrument Commercial JEPPESEN				
【参考書・資料等】				
【成績評価基準・方法】中間テスト２回(各 20%)　出席率(10%) 、最終試験(50%)				

教科番号	0475	授業科目： 英会話入門（English Conversation－Introduction）
開講時期	前期	（ 全 ）学科 (3) 年 (2) 単位　　担当者： 徳山 ティーダ

【授業の到達目標】
・英語に慣れ親しみ、語彙知識を増やし、英会話をする上で必要な基礎知識を身に着ける。
・コミュニケーション力だけでなく、リスニング力やスピーキング力も講義でのペアワークや
グループワークなどを通して身に着けていく。

【授業の概要】
講義と会話の練習などをして基本フレーズを理解させ，実践的に使えるように英語になれていく。さらに、小テストやディスカッションも取り入れて理解を深めさせる。また、アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	Orientation Introduction	導入　オリエンテーション	classroom language の学習。今後の講義の為の予習や復習の仕方を紹介する	３０ ６０
2	How's it going?	簡単な自己紹介（出身や趣味など)、疑問詞、現在形の復習	テキスト(P1~5)を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	６０ ６０
3	What am I thinking of?	物の表現の仕方、簡単な質問の仕方、好みなどの言い方	テキスト(P7~11) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
4	Where's the post office?	町・市街地での場所の言い方、道の尋ね方・案内方法	テキスト(P13~17) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	Let's go shopping!	日常生活品の購入方法、飲食店での注文の仕方	テキスト(P19~23)を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	６０ ６０
6	How often do you exercise?	日課の言い方・聞き方、頻度を表す表現の活用方法	テキスト(P25~29) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
7	１回～6 回までのまとめ	6 回目までの講義から一つテーマを選びディスカッションを行い理解を深める。	演習問題を解き理解を深める。 ディスカッションの内容をまとめる	１２０ ６０
8	Time for trivia!	時間の聞き方・言い方、距離や期間の表現方法	テキスト(P31~35) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
9	What does she look like?	家族構成の言い方・紹介し方、外見や特徴などの表現方法	テキスト(P37~41) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
10	Which do you prefer?	意見・好みなどを比較級を用いての表現方法	テキスト(P43~47) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
11	What did you do?	週末の出来事、経験、豆知識などの紹介方法・表現方法	テキスト(P49~53)を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	６０ ６０
12	What's your future career?	職業別に適した質問の仕方・将来の目標などを表現方法	テキスト(P55~59) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
13	Have you ever …?	完了形を用いてこれまでの経験・体験の表現方法	テキスト(P61~65) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
14	これまでの学習内容を取り入れたスピーチ	１つテーマを選びプレゼンをし、プレゼン内容をディスカッションする。	プレゼンに対して質問などをし、 ディスカッションの内容をまとめる	１２０ ６０
15	Let's review!	まとめと総括。小テストの実施	小テストの準備。 ノートの整理とまとめ。	６０ １２０

【テキスト】　Now You're talking!（Chris Elvin 著 EFL 出版）

【参考書・参考資料等】　英和・和英辞書。授業中に適宜配布する。

【成績評価基準・方法】　ノート取得状況＆レポート（30%）、小テスト（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0495	授業科目：英会話入門（English Conversation―Introduction）（操）
開講時期	前期	（航空-パイロットコース）学科（1）年（2）単位　担当者：徳山　ティーダ

【授業到達目標】

英語に慣れ親しみ基礎的な知識を身につける。
コミュニケーション力だけでなく、リスニングや単語力も上達するように取り組む。

【授業概要】

語彙力を増やしながら、リスニング、ペアワーク、スピーチなどを通してコミュニケーションを取っていく。

【授業要旨】

各学習内容の予習をし、基礎を固め、ペア又はグループでの活動を通して応用力を鍛えていく。

	題　目	授 業 内 容
1	Orientation & Introduction	導入　オリエンテーション、classroom language の練習、アンケート記入
2	How's it going?	自己紹介（出身、趣味など）、ペアワーク、インタビュー
3	What am I thinking of?	物の表現の仕方、簡単な質問文、好き嫌い（好みなど）
4	Where's the post office?	町・市街地の場所の言い方、道の尋ね方・案内方法
5	Let's go shopping!	日常生活品の購入方法、飲食店での注文の仕方
6	How often do you exercise?	日課の言い方・聞き方、頻度を表す表現方法
7	Time for trivia!	時間の聞き方、言い方、距離・期間の表現方法
8	Let's Review I	復習 テスト
9	What does she look like?	家族構成の言い方、外見や特徴などの表現方法
10	Which do you prefer?	意見や好みを簡単な比較級などを用いての表現方法
11	What did you do?	週末の出来事、経験、豆知識などの表現方法
12	What's your future career?	職業別に適した質問の仕方・将来の目標などの表現方法
13	Have you ever…?	完了形を用いてこれまでの経験・体験の表現方法
14	Which is heavier?	世界の国の天候、季節や文化などの特徴の表現方法
15	Let's Review II	復習・まとめ

【テキスト】　Now you're talking!　(Chris Elvin 著　EFL 出版)

【参考書・参考資料等】　ノート、英和・和英辞書（電子辞書・タブレット端末　可）

【学生に対する評価方法】

出席、授業の取組（assignments, pair work activities, presentations, and speeches 含む）、 テスト、試験等で総合的に判断して評価する。

教科番号	0476	授業科目： 基礎英会話（Basic English Conversation）
開講時期	後期	（ 全 ）学科 (3) 年 (2) 単位　　担当者： 徳山 ティーダ

【授業の到達目標】
・語彙・基本フレーズを増やしリスニング、リィディング力を定着させ、日常会話などで応用できる力を身に着けていく。
・隔週で学習内容を定着させるために簡単なスピーチなどをしてスピーキング力を強化していく。

【授業の概要】
講義と会話の練習などをして基本フレーズを理解させ，実践的に使えるように英語になれていく。さらに、スピーチやディスカッションも取り入れて理解を深めさせる。また、アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。

【授業要旨】

回数	題　目	授 業 内 容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	Orientation Introduction	導入　オリエンテーション	classroom language の学習。今後の講義の為の予習や復習の仕方を紹介	３０ ６０
2	Meeting People	自己紹介（出身や趣味など）、follow-up questions	テキスト(P7~10)を読みまとめる。 授業の内容を復習。スピーチの準備。	６０ ６０
3	Getting to Know Your Classmates	大学生活や学部の紹介の仕方	テキスト(P11~14) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
4	Talking About Classes	専攻科目・履修科目などの紹介の仕方	テキスト(P15~18) を読みまとめる。 授業の内容を復習。スピーチの準備。	３０ ６０
5	Talking About Your Daily Life	日課・日常生活の紹介、 頻度を表す副詞	テキスト(P19~23)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
6	Talking About People	外見や性格を表す単語を用いて家族や友人の紹介	テキスト(P24~28) を読みまとめる。 授業の内容を復習。スピーチの準備。	３０ ６０
7	1回～6回までのまとめ	6 回目までの講義から一つテーマを選びディスカッションを行い理解を深める。	演習問題を解き理解を深める。 ディスカッションの内容をまとめる	１２０ ６０
8	Talking About Last Weekend	過去形を用いて週末の出来事を話す	テキスト(P34~38) を読みまとめる。 授業の内容を復習。スピーチの準備。	３０ ６０
9	Talking About the Vacation	間違いやすい表現法やフレーズの学習と説明	テキスト(P39~42) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
10	Talking About Going Out on the Town	外出予定の立て方、招待の仕方、承諾・断り方	テキスト(P43~48) を読みまとめる。 授業の内容を復習。スピーチの準備。	３０ ６０
11	Talking About Travel	完了形と未来形などを用いて経験や将来の計画の表現方法	テキスト(P53~56)を読みまとめる。 授業の復習をする。	６０ ６０
12	Talking About Your Opinion	比較級・最上級などを用いて意見の述べ方・聞き方	テキスト(P61~64) を読みまとめる。 授業の内容を復習。スピーチの準備。	３０ ６０
13	視覚教材 課題・レポート	映像をみて次週のためのディスカッションをまとめる	翌週の発表準備。レポートのまとめ。 論点や要点をまとめる。	３０ ６０
14	課題・レポート発表とディスカッション	視覚教材で取り上げられた問題点について各自の意見を発表しディスカッションをする	課題・レポートを発表する。 発表者に自身の意見や見解を述べディスカッションをする。	１２０ ６０
15	Let's review!	まとめと総括。小テストの実施	小テストの準備。 ノートの整理とまとめ。	６０ １２０

【テキスト】　New Time to Communicate [改訂新版]（Eric Bray 著 NAN'UN-DO）

【参考書・参考資料等】　英和・和英辞書。授業中に適宜配布する。

【成績評価基準・方法】　ノート取得状況＆レポート（20%）、スピーチ＆小テスト（30%）、試験（50%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0496	授業科目：基礎英会話（English Conversation―Advanced）（操）
開講時期	後期	(航空-パイロットコース）学科（1）年（2 ）単位　　担当者：徳山　ティーダ

【授業到達目標】
英語に慣れ親しみ基礎的な知識を身につける。
コミュニケーション力だけでなく、リスニングや単語力も上達するように取り組む。

【授業概要】

テーマごとの学習で、リスニング、スピーキング力を向上させ実用的なコミュニケーション力を身に着ける。

【授業要旨】

各学習内容の予習をし、基礎を固め、ペア又はグループでの活動を通して応用力を鍛えていく。

	題　目	授　業　内　容
1	Introduction & Orientation	導入　オリエンテーション、classroom English の練習、アンケート記入
2	Getting to Know You	基本的なあいさつの仕方、follow-up questions の使い方
3	Getting to Know You	自己紹介（出身地、趣味など）、グループ活動
4	You, a Friend Indeed	アドバイスや意見を述べるときのセンテンスパタンを学習
5	You, a Friend Indeed	グループワークを通して実践的にアドバイスや意見を述べる
6	You, Out on the Town	基本フレーズの紹介、予定の立て方、招待の仕方を学習
7	You, Out on the Town	グループワークを通して実践的な招待の仕方、承諾・断り方を練習
8	You, Restaurant Owner	基本フレーズの学習、レストラン経営者と客に分かれて実践演習
9	You, Travel Agent	資料を参考に基本的なフレーズの学習、広告の作成、練習
10	You, Travel Agent	エージェントと客に分かれて実践演習
11	You, World Traveler	ペアワーク、個々の週末の出来事を発表
12	You, Job Seeker	アンケート記入、基本フレーズ学習、自己 PR 作成
13	You, Inventor	基本フレーズ学習、未来の予想、グループ発表
14	Older People in Your Life	アンケート記入、高齢化社会について意見・提案・対策を発表
15	Finishing Up!	自己評価、グループディスカッション、復習

【テキスト】　Moving on with English　(Eric Bray 著　NAN'UN-DO)

【参考書・参考資料等】 ノート、英和・和英辞書(電子辞書・タブレット端末　可)、補足プリント

【成績評価基準・方法】
出席、授業の取組（discussions, pair work activities, presentations, and speeches 含む）、 試験等で総合的に判断して評価する。

教科番号	0477	授業科目：実用英会話（Practical　English　Conversation）
開催時期	集中	（ 全 ）学科（2～4）年（2）単位　担当者：徳山 ティーダ

【授業の到達目標】

○　英語に慣れ親しみ、語彙知識を増やし、社会で通用する実践的な英語力を身につける。

○　留学や海外語学研修を通して「読む・書く・聞く・話す」の４つの技能についてもバランスよく身につける。

○　英語検定やTOEICテストで上位の成績を収めることで、英語力の向上と実践的な知識を身につける。

【授業の概要】

留学や海外語学研修等で、語彙知識を増やし、英語でコミュニケーションを図る上で必要な実践的な知識を身につける。
また、英語検定やTOEICテストで上位の成績を収めることで、大幅な英語力の向上を目指す。

【授業要旨】

題　目　と　授　業　内　容

○　２週間以上の留学や海外語学研修を終えて、英会話力の飛躍的な向上が認められた者に２単位が与えられる。

○　本学へ入学後、英語検定で２級以上、TOEICスコア４１０点以上を修得した者に２単位が与えられる。

【テキスト】

プリント，資料

【参考書・参考資料等】

なし

【成績評価基準・方法】

留学や海外語学研修の状況、英語検定やTOEICテストの結果を総合的に評価する。

教科番号	0497	授業科目：実用英会話（操）（Practical English Conversation）（前期集中講義）
開講時期	前期	（航空工学科パイロット資格コース）（2）年（2）単位担当者：徳山ティーダ

【授業の到達目標】
○英語に慣れ親しみ、語彙知識を増やし、社会で通用する実践的な英語力を身につける。
○留学や海外語学研修を通して「読む・書く・聞く・話す」の４つの技能についてもバランスよく身につける。
○英語検定やTOEICテストで上位の成績を収めることで、英語力の向上と実践的な知識を身につける。

【授業の概要】
留学や海外語学研修等で、語彙知識を増やし、英語でコミュニケーションを図る上で必要な実践的な知識を身につける。
また、英語検定やTOEICテストで上位の成績を収めることで、大幅な英語力の向上を目指す。

【授業要旨】

題目と授業内容

○ ６ヶ月の米国訓練期間、実績を精査し英会話能力が備わり、自家用操縦士資格免許を取得した者に単位を付与する。

○２週間以上の留学や海外語学研修を終えて、英会話力の飛躍的な向上が認められた者に２単位が与えられる。
○本学へ入学後、英語検定で２級以上、TOEICスコア４１０点以上を修得した者に２単位が与えられる。

【テキスト】
プリント,資料

【参考書・参考資料等】
なし

【成績評価基準・方法】
留学や海外語学研修の状況、英語検定やTOEICテストの結果を総合的に評価する。

教科番号	0478	授業科目：ビジネス英語Ⅰ　（ Business English Ⅰ ）
開講時期	前期	（ 全 ）学科（ 2 ）年（ 2 ）単位　　担当者：村上　美穂

【授業の到達目標】
上級英語力およびビジネス英語の語彙力やコミュニケーション力を身につける。

【授業の概要】
英語の「読む」・「書く」・「聴く」・「話す」の４技能の定着を図りながら上級英語力習得・ビジネス英語への応用を図る。本講義では，ある程度の基礎英語力を備えた学生（※英検準２級レベル程度以上）を対象に履修者数を限定し，資格試験問題等も題材にしながら講義を進める。学生主体のアクティブラーニング的な活動も随時取り入れる。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（事前･事後学習）	時間
1	授業概要・ﾚﾍﾞﾙﾁｪｯｸ	講義の概要・評価方法説明。 レベルチェック。	授業計画を確認し，レベルチェックテストに備えておく。授業内容の復習。	90 分
2	‘Eating’	食事の場面の４技能の習得。 内容理解テストおよび解説。	食事の場面での表現について予め教材で理解に努める。授業内容の復習と音読。	90 分
3	‘Leisure’	余暇に関する４技能の習得。 内容理解テストおよび解説。	余暇の様々な場面での表現について予め教材で理解に努める。授業内容の復習と音読。	90 分
4	‘Sports’	スポーツに関する４技能の習得。 内容理解テストおよび解説。	スポーツの場面での表現について予め教材で理解に努める。授業内容の復習と音読。	90 分
5	‘Shopping’	買い物に関する４技能の習得。 内容理解テストおよび解説。	買い物の場面での表現について予め教材で理解に努める。授業内容の復習と音読。	90 分
6	‘Campus Life’	学生生活に関する４技能の習得。 内容理解テストおよび解説。	学生生活の場面での表現について予め教材で理解に努める。授業内容の復習と音読。	90 分
7	‘Travel’	旅行に関する４技能の習得。 内容理解テストおよび解説。	旅行の場面での表現について予め教材で理解に努める。授業内容の復習と音読。	90 分
8	Review Quiz	レベルチェックを兼ねた，前半の復習。	レベルチェックテストの準備。ノートの整理と音読。	150 分
9	‘Health’	健康に関する４技能の習得。 内容理解テストおよび解説。	健康に関する表現について予め教材で理解に努める。授業内容の復習と音読。	90 分
10	‘Work’	職場での４技能の習得。 内容理解テストおよび解説。	職場での表現について予め教材で理解に努める。授業内容の復習と音読。	90 分
11	‘Weather’	天候に関する４技能の習得。 内容理解テストおよび解説。	天候に関する表現について予め教材で理解に努める。授業内容の復習と音読。	90 分
12	‘Cooking’	調理に関する４技能の習得。 内容理解テストおよび解説。	調理に関する表現について予め教材で理解に努める。授業内容の復習と音読。	90 分
13	‘Parties’	パーティーなど人が集まる場面での ４技能の習得。内容理解テストおよび解説。	パーティなどの人が集まる場での表現について予め教材で理解に努める。授業内容の復習と音読。	90 分
14	‘Movies’	映画に関する４技能の習得。内容理解テストおよび解説。	映画に関する表現について予め教材で理解に努める。授業内容の復習と音読。	90 分
15	まとめ	学習のまとめと総括。 ダイアログをペアで作成。	小テストの準備。ノートの整理とまとめ。 ダイアログの準備	150 分

【テキスト】　別途指示。

【参考書・参考資料等】　英和辞書・和英辞書（電子辞書以外のもの），他は別途指示。

【成績評価基準・方法】　予習状況&受講態度（40%），試験(60%),　で総合的に評価する。

教科番号	0498	授業科目: ビジネス英語Ⅰ(操) (Business English Ⅰ)		
開講時期	前期	(航空)工学科(4)年 (2)単位 担当者:勝又 明志		
【授業の到達目標】飛行機の国際運航に必要な標準方式の知識習得を目指す				
【授業の概要】飛行機の国際運航に必要な英語能力の基礎知識を講義する				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題 (事前・事後学習)	時間(分)
1	Arrival & Arrival Procedures	①Arrival Charts ②Standard Terminal Arrival route ③Interpreting the STAR ④Vertical Navigation Planning ⑤Preparing for the Arrival ⑥Briefing the STAR Procedure ⑦Flying the Arrival ⑧Altitude ⑨Airspeed	テキスト 6-2～6-14 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
2	Approach-1	① Approach Charts ② Approach procedure Type ③ Approach Segments ④ Transition from En-route to Approach ⑤ Initial Approach Segment ⑥ Intermediate Approach Segment ⑦ Final Approach Segment ⑧ Elevation and Height References ⑨ Minimum descent requirements ⑩Missed Approach Segment ① Runway and Approach Lighting ② Interpreting Approach Charts ③Chart layout ④Heading section ⑤ Communications section ⑥Briefing Information ① Minimum Safe/Sector Altitude ② Plan View ③ NAVAID and Flight path Depiction ④Course Reversal Depiction ⑤Terrain and Obstacle Depiction ⑥Profile View ⑦ Flight Path depiction ⑧ Missed Approach Instruction ⑨Position information	テキスト 7-2～7-18 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
3	Approach-2	① Step Down FIX ② Visual Descent point ③ Descent/Timing Conversion Table ④ Time and Speed Table and Rate of Climb/Descent Table ⑤ Landing Minimums ⑥Aircraft Approach Categories ⑦Visibility Requirements ⑧ Minimum descent Requirements ⑨ Inoperative Components Airport Sketch ①Airport Chart and Airport Diagram ②Heading and Communications ③ Airport Environment ④ Run way Information ⑤Alternate Airport	テキスト 7-18～7-43 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
4	Approach Procedures-1	Preparing for The Approach ②Approach overview ③Approach Briefing ④Approach Clearance ⑤Performing the approach ⑥Straight-in Landing VS. Circling approach ⑦ Straight-in Approach ⑧ Use Of ATC RADAR for Approaches ⑨Course Reversals	テキスト 7-44～7-54 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
5	Approach Procedures-2	① Timed Approaches from A Holding FIX ② Final Approach ③ Operating Below the DA or MDA ④ Descending to the DA or MDA ⑤VASI ⑥Landing Illusions ⑦Circling Approaches ⑧Side Step Maneuver ⑨Missed Approach Procedures ⑩Visual and Contact Approaches	テキスト 7-54～7-70 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
6	Review	Desiccation About Approach	授業の内容を復習する ディスカッションの内容をまとめる	60 60
7	VOR and NDB Approaches NDB Approaches	①Flying a VOR/DME Approach ②Preparing for the Approach ③Approach Overview ④Approach Briefing ⑤Performing The Approach ⑥Approach Clearance ⑦Initial Approach Segment ⑧ Intermediate Approach Segment ⑨Final Approach Segment ⑩Missed Approach segment①Flying an NDB Approach ②Preparing for the Approach ③Approach Overview ④Approach Briefing ⑤Performing The Approach ⑥Approach Clearance ⑦Initial Approach Segment ⑧Final Approach Segment ⑨Missed Approach segment	テキスト 8-2～8-21 を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60

8	ILS APPROACHES-1 I	①ILS Categories and Minimums ②ILS Components ③Localizer ④Glide Slope ⑤Range Information ⑥ Outer Maker and Compass Locator ⑧DME and VOR Fixes ⑨RADAR FIX ①Flying The ILS ②Flying a Straight -in ILS Approach ③Preparing for the Approach ④Approach Overview ⑤ Approach Briefing ⑥ Performing The Approach ⑦Approach Clearance ⑧Initial Approach Segment ⑨Intermediate Approach Segment	テキスト 8-22～8-34を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
9	ILS APPROACHES-2	①Final Approach Segment ②Missed Approach ③ILS Approach With a Course Reversal ④ILS APPROACHES to Parallel Runways ⑤Parallel(Dependent) ILS Approach ⑥Simultaneous (Independent) Parallel ILS Approach ⑦Simultaneous Close Parallel ILS Approach①Simultaneous Converging Instrument Approach ②Localizer Approach ③Localizer Back Course Approach ④LDA and SDF Approaches ⑤LDA Approach ⑥SDF Approach	テキスト 8-34～8-54を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
10	Review	Desiccation about Approach Criterias 中間テスト	授業の内容を復習する テストの準備 ディスカッションの内容をまとめる	120 60
11	RNAV Approach -1	①Approach Design ②Terminal Arrival Area ③Way point ④GPS Approach Equipment ⑤BARD-VNAV ⑥WAAS-Certified GPS ① Landing Minimums ② LNAV ③ LNAV+V ④ LNAV/VNAV ⑤LPV ⑥LP ⑦Determining Landing Minimums ⑧RNP Approach	テキスト 8-56～8-67を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
12	RNAV Approach -2	① RAIM Failure During An Approach ② Flying an RNAV(GPS) Approach to LPV Minimums ③Preparing for the Approach ④Approach Overview ⑤Approach Briefing ①Performing The Approach ②Approach Clearance ③Initial Approach Segment ④ Intermediate Approach Segment ⑤Final Approach Segment ⑥Missed Approach segment ⑦Flying GPS Approach to LNAV Minimums ⑧Performing the Approach	テキスト 8-68～8-84を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
13	IFR EMERGENCIES IFR DECISION MAKING-1	① Declaring An Emergency ② Minimum Fuel ③Gyroscopic Instrument Failure④Communication Failure ⑤Alerting ATC ⑥Route ⑦Altitude ⑧Leaving the Clearance Limit ⑨Emergency Approach procedures ⑩Surveillance Approach ⑪Precision Approach RADAR ⑫No-Gyro Approach ⑬Malfunction Reports①Applying The decision making Process ②The IFR Accident ③Poor Judgment Chain ④Assessing Risk ⑤Pilot-in-Command Responsibility ⑥ Self Assessment ⑦Hazardous Attitudes ⑧Crew Relation-Ships ⑨ ⑩Communication ⑪Effective Listening ⑫Barriers to Effective Communication	テキスト 10-2～10-14を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
14	IFR DECISION MAKING-2	① Resource Use ② Internal Resources ③ External Resources ④Work-Load Management ⑤Planning and Preparation ⑥ Prioritizing ⑦ Work Over Load ⑧Situational Awareness ⑨Visualization Controlled Flight Into Terrain ⑩Obstacles to Situational Awareness ⑪The Application of The Decision-Making Process ⑫An Accident waiting to Happen ⑬What Would you do?	テキスト 10-15～10-35を読みまとめる 授業の内容を復習する	30 60
15	Review	Q and A 小テスト	テストの準備 今までの授業の内容をまとめる	120 60

【テキスト】INSTRUMENT COMMERCIAL JEPPSON

【参考書・資料等】

【成績評価基準・方法】中間テスト２回(各 20%) 出席率(10%) 、最終試験(50%)

教科番号	0479	授業科目： ビジネス英語Ⅱ（Business English - Advanced）
開講時期	後期	（ 全 ）学科 (2) 年 (2) 単位　　担当者： 徳山 ティーダ

【授業の到達目標】
・TOEIC テストの問題に慣れ、スコア UP のためのコツを身につけることを目的とし総合的な対策を行う。
・文法力と語彙力を定着させ TOEIC スコア 500 点以上を目指す。

【授業の概要】
１回の講義で１章をカバーし、第３回目以降、隔週で、前２週分の復習となる小テストを実施する。各学習内容の予習をし、講義の前半でリスニング、後半はリーディングパートを学習していく。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	Orientation Introduction	導入　オリエンテーション	TOEIC テストの説明。今後の講義の為の予習や復習の仕方を紹介	６０
2	Restaurant	レストラン、現在と過去・進行時制、ニュース記事	テキスト(P8~15)を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	６０ ６０
3	Hotel 小テスト１	ホテル、未来時制・完了時制、問い合わせメール	テキスト(P16~23) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
4	Shopping	ショッピング、受動態、セールのチラシ	テキスト(P24~31) を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	６０ ６０
5	Financing 小テスト２	金融、使役動詞、銀行からの通知	テキスト(P32~39)を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
6	Hospital	病院、(can, may, must)、入院手続きの書類	テキスト(P40~47) を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	６０ ６０
7	Airport 小テスト３	空港、仮定法、天気予報	テキスト(P48~55) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
8	Transportation	道路、交通、不定詞と動名詞、路線案内	テキスト(P56~63) を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	６０ ６０
9	Sightseeing 小テスト４	観光、現在分詞と過去分詞、友人との E メール	テキスト(P64~71) を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
10	Office Issues	日常勤務、形容詞と副詞、社内での E メール	テキスト(P72~79) を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	６０ ６０
11	Business 小テスト５	人物写真－人、冠詞と名詞、自己紹介文	テキスト(P80~87)を読みまとめる。 授業の復習をする。	６０ ６０
12	Sports Events	人物写真－複数、前置詞、国技の説明	テキスト(P88~96) を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	６０ ６０
13	Computers 小テスト６	物の位置－屋内、接続詞、新聞報道	テキスト(P97~105)を読みまとめる。 授業の復習をする。	６０ ６０
14	Personnel	物の位置－屋外、関係詞、履歴書	テキスト(P106~114) を読みまとめる。 小テストの準備。授業の復習をする。	６０ ６０
15	Hiring and Training 小テスト７ Let's review!	人と物、話法と時制の一致、会社創業の精神。 まとめと総括。	テキスト(P115~123) を読みまとめる。 ノートの整理とまとめ。	６０ １２０

【テキスト】　Overall Skills for the TOEIC Test　(Takayuki Ishii, Emiko Matsumoto 他著 SEIBIDO)

【参考書・参考資料等】　英和・和英辞書。授業中に適宜配布する。

【成績評価基準・方法】　ノート取得状況&課題（20%）、小テスト（30%）、試験（50%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0460	授業科目：基礎ドイツ語(Basic German)
開講時期	前期	（ 全 ）学科 （1）年 （2）単位 担当者：知念 潔

【授業の到達目標】
ドイツ語の文字、文を見てちゃんと発音でｋるようになる。ドイツ語の基本的表現を記憶させる。ドイツ語の基本的知識を、文法的な知識と関連させながら、まとめていく。

【授業の概要】
ドイツ語の基本的知識を解説するとともに、ドイツ語文化圏について紹介する。基本的な事柄から始め、段階をおってじゅんじゅんに積み上げながら進めてゆく。特に発音を重視する。実際の音声面に注意を促しながら進めてゆく。文法と平行して「決まり文句」日常的な場面で使われる表現を紹介し、旅行などですぐ使えるような知識をおりまぜて進めてゆく。

【授業要旨】

回数	題目	授業内容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	導入(1)	ドイツ語圏の国々とドイツ語について	ドイツ語圏という概念とドイツ語の通時的、共時的認識	９０分
2	導入(2)	ドイツ語のアルファベットの読み方	読み方を覚える	９０分
3	人称変化(1)	（1）決まり文句 Danke schön Bitte schön （2）つづりと発音 ローマ字式 ＪＤ （3）基本文例 Sie kommen aus Deutschland	お礼と感謝の表現を覚える 出身地の表現を身に着ける	９０分
4	人称変化(2)	（1）Guten Tag Guten Abend （2）Ä Ö Ü (3) Kommen Sie aus Deutschland?	挨拶と質問（疑問文）の作り方を復習	９０分
5	人称変化(3)	(1) Guten Morgen (2) ß groß (3) Ich komme aus Japan	挨拶と自分の出身を言う表現を身につける	９０分
6	人称変化(4)	(1) Gute Nacht (2) ei ie eu (3) Woher kommen Sie? Ich komme aus Japan. ドイツやヨーロッパのアクチュアルな出来事について論じてみる	今、ドイツ、ヨーロッパで何が問題になっているか、関心を持って調べる	９０分
7	人称変化(5)	(1) Auf Wiedersehen (2) V W (3) Kommen Sie aus Japan? Ja, ich komme aus Japan	別れの挨拶と問答形式の文章を覚える	９０分
8	人称変化(6)	(1) Gute Reise (2) Lektion Thema Philosophie (3) Ich bin müde. Du bist müde.	旅行へ行く人に別れの言葉をそして sein の人称変化を学ぶ	９０分
9	人称変化(7)	(1) Schönen Abend noch (2) Kopf Aaapfel (3) Er ist Student. Sie ist Studentin.	晩の別れの挨拶と sein の三人称の単数の形を覚える	９０分
10	人称変化(8)	(1) Viel Glück (2) König Quelle (3) ich bin wir sind Du bist ihr seid Er ist sie sind Sie sind	Sein の人称変化表を覚える	９０分
11	人称変化(9)	(3) ich komme wir kommen Du kommst ihr kommt Er kommt sie kommen Sie kommen	人称変化の表をおぼえる	９０分
12	人称変化(10)	Arbeiten の人称変化	音便の項目を理解する	９０分
13	人称変化(11)	Fahren の人称変化 A-Ä 型	幹母音の変化を学ぶ	９０分
14	人称変化	Sprechen の人称変化 E/IE 型 ヨーロッパの言語に特徴的な人称変化について言語学的な、文化・歴史史な示唆を与え、論じてみる	もう一つの感母音の変化	９０分
15	まとめ	これまで学んだことをまとめて、試験について解説する	これまでのすべてにわたって復習すること	９０分

【テキスト】 『生まれて初めてのドイツ語』このテキストを中心に、その他のことも織り込む

【参考書】 『アポロン独和辞書』 NHK のドイツ語講座（関心のある学生に）

【評価基準・方法】 ノート点（３０％）、出席状況（２０％）、テスト（５０％）で総合的に評価する

教科番号	0461	授業科目：ドイツ語（　German）
開講時期	後期	（全）学科　（1）年　（2）単位　　担当者：知念　潔

【授業の到達目標】ドイツ語の基本的運用。例文を用いて、最重要な文例に絞って、繰り返し反復させて、身に着けさせる。発音させ、親しませ、習うより慣れよ、を実践する。

【授業概要】ドイツ語の応用知識、ドイツ語圏の文化ついての紹介も行い、語学の知識とともに「言語を用いて意思疎通する」人間のコミュニケーションの意義についても協調したい

【授業要旨】

回数	題目	授業内容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	人称変化（1）	１決まり文句 Danke shön ２数字 eins　zwei　drei ３基本文例　Sie haben Hunger	「ありがとう」は？ 数字の１，２，３は？	９０分
2	人称変化（2）	1 Bitte, shön 2 vier　fünf　sechs 3 Haben Sie Geld?　Ja. Ich habe Geld.	「どういたしまして」は？ 「お金はありますか」？	９０分
3	人称変化（3）	1 toi, toi, toi 2 sieben　acht neun 3 Hast du Zeit？　Ja, ich habe Zeit.	「くわばら、くわばら」は？ 数字の７、８，９は？	９０分
4	人称変化（4）	1 Gott sei Dank 2 Zehn elf　zwölf　drei 3 Er hat heute Zeit　Sie hat morgen English	「やれやれ（安堵）」は何というか？　　１０，１１，１２の数字は？	９０分
5	人称変化（5）	1 Auf Deutsch, bitte 2 dreizehn　vierzehn　fünfzehn 3 Wir haben Geld　Ihr habt Zeit. Sie haben heute Zeit. Ich habe　wir haben Du hast　ihr habt Er hat　sie haben　Sie haben	Haben の人称変化を正しく記憶せよ	９０分
6	性別と冠詞（1）	1 Ja, gerne.　Nein, Danke 2 fünfzehn　sechzehn 3 Der Tisch ist klein. Die Schule ist alt. Das Haus ist neu. ドイツ、ヨーロッパのアクチュアルな問題	「はい、いただきます。」 「いいえ、けっこうです」は何という？	９０分
7	性別と冠詞（2）	1 Grüß　Gott 2 siebzehn　achzehn 3 Der Berg ist hoch Die Kirche ist alt Das Schloss ist groß	「その山は高い」「その教会は古い」「その城は大きい」はそれぞれ、何というか？	９０分
8	性別と冠詞（3）	Der Tisch　die Tür　das Fenster 性別は定冠詞をつけて 1 Pst　2 neunzehn　zwanzig	これまでの名詞の語彙を冠詞をつけた形で言ってみよ	９０分
9	不定冠詞（1）	1 Servus 2 einundzwanzig　zweiundzwnzig 3 ein tisch　ein Haus　eine Schule	２１、２２の数字は？	９０分
１０	不定冠詞（2）	1 Wein auf Bier 2 vierzig　fünfzig　sechzig 3 Was ist das?　Das ist ein Tisch.	「これは何ですか」答えて下さい「机です」	９０分
１１	否定冠詞	1 Fröliche Weinachten 2 siebzig　achzig neunzig 3 Das ist keine Uhr	「これは机です」「これは机ではありません」？	９０分
１２	所有冠詞（1）	1 Ein glückliches neues Jahr 2 dreißig　hudert 3 mein Tisch　mein Haus　meine Schule	「新年おめでとうございます」？	９０分

１３	所有冠詞（２）	1 Deutsch mact spaß 2 zwei hundert　drei hundert 3 Der　Mann ist mein Freund. Die Frau ist meine Freundin.	「その女の人は私のガールフレンドです」？	９０分
１４	４格	1 Wein auf Bier 2 tausend　zweitausendsechzehn 3 Ich kenne den Mann. 「言語は差異である」この原理を考えてみよう	私はその男の人をよく知っています」？	９０分
１５	人称代名詞の４格	1 Auf　Wiedersehen 2 zehntuasend　hundertausend　million 3 Liebst du mich?　Ich liebe dich.	私はあなたを愛しています あなたは私を愛していますか ドイツ語で言ってみなさい	９０分
【テキスト】『生まれて初めてのドイツ語』これをメインに関連事項を付け加える				
【参考書・参考資料】折にふれ授業中に紹介する。				
【成績評価基準・方法】　出席状況（３０％）、ノート提出（１０％）、試験（６０％）で総合的に評価する。				

教科番号	0065	授業科目：日本語講座A（ Japanese course A ）
開講時期	通年	（ 留学生 ）学科（1）年（4）単位 担当者：村上美穂、徳山ティダ

【授業の到達目標】

・日常会話に対応でき，且つ，2年次以降の講義を理解できる。

【授業の概要】

留学生を対象にした日本語初級クラスの講義を行う。（文法を中心に）

【授業要旨】

回数	題 目	授 業 内 容	学習課題	時間（分）
1	レディネス調査	プレイスメントテスト、インタヴュー	試験の復習	３０
2	副助詞①	「は」（主題）、「も」（並列）	まとめ問題	３０
3	格助詞①	「を」（対象）、「が」（対象）	〃	３０
4	格助詞②	「に」（時間・着点）、「で」（手段・場所）	〃	３０
5	格助詞③	「から」（起点）、「まで」（終点）	〃	３０
6	形容詞①	「な形容詞」と「い形容詞」	〃	３０
7	時制	形容詞文・動詞文・名詞文の時制	〃	３０
8	格助詞④	「に」（目的・場所）、「を」（出発点）	〃	３０
9	形容詞②	形容詞の接続形	〃	３０
10	動詞①	て形＋います（反復）	〃	３０
11	動詞②	て形＋います（進行）	〃	３０
12	文型①	～は～が［形容詞］	〃	３０
13	動詞③	た形＋ことがあります	〃	３０
14	動詞④	（ます形）＋たい	〃	３０
15	復習	既習事項の確認		
16	動詞⑤	て形＋ください	〃	３０
17	動詞⑥	て形＋もいいです／はいけません	〃	３０
18	動詞⑦	ない形＋でください	〃	３０
19	動詞⑧	（ない形）＋ければなりません	〃	３０
20	動詞⑨	た形＋ほうがいい	〃	３０
21	動詞⑩	た形＋り、た形＋り　する	〃	３０
22	文体	「ですます体」と「基本体」	〃	３０
23	副詞節①	た形＋ら	〃	３０
24	副詞節②	基本体＋とき	〃	３０
25	副詞節③	て形＋から　（ます形）＋ながら	〃	３０
26	動詞⑪	辞書形＋の／こと	〃	３０
27	動詞⑫	可能形	〃	３０
28	副詞節④	基本体＋ので／から	〃	３０
29	引用節	基本体＋と思います	〃	３０
30	復習	既習事項の確認		

【テキスト】 プリント、資料配布

【参考書・参考資料等】 「新文化初級日本語Ⅰ」（文化外国語専門学校）

【成績評価基準・方法】 出席状況及び受講態度（20%）、コース期間中のまとめ問題（30%）、試験（50%）により、総合的な評価を行う。

教科番号	0066	授業科目：日本語講座Ｂ（　Japanese course　B　）
開講時期	通年	（　留学生　）学科（2）年（4）単位　担当者：村上美穂、徳山ティダ

【授業の到達目標】

・日常会話に対応でき，且つ，２年次以降の講義を理解できる。

【授業の概要】

留学生を対象にした日本語初級クラスの講義を行う。（発話を中心に）

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題	時間（分）
1	自己紹介	スムースな自己紹介を身につける	エッセイ暗記	３０
2	家族の紹介	家族について話す	〃	３０
3	好きな物	好きなこと、嫌いなことについて話す	〃	３０
4	私の一日①	日常生活について話す（日中）	〃	３０
5	〃　②	〃　（夜）	〃	３０
6	金曜日の夜①	金曜日の夜（毎週）について話す	〃	３０
7	〃　②	〃　（先週）　〃	〃	３０
8	外出①	外出時の出来事について話す	〃	３０
9	〃　②	〃	〃	３０
10	私の家族①	家族について話す（属性）	〃	３０
11	〃　②	〃　（性格）	〃	３０
12	〃　③	〃　（現状）	〃	３０
13	私のしたい事①	経験について話す	〃	３０
14	〃　②	願望について話す	〃	３０
15	まとめ	これまでのエッセイをまとめる		
16	きまり①	「きまり」の表現を理解する	〃	３０
17	〃　②	「きまり」の表現を試みる	〃	３０
18	忙しい毎日	しなければならない事について話す	〃	３０
19	大変な仕事	「禁止」の表現を理解する	〃	３０
20	気をつける事①	したほうがいい事について話す	〃	３０
21	〃　②	気候について話す	〃	３０
22	復習	日本語母語話者との会話を練習する	〃	３０
23	毎日の生活①	毎日の生活について話す①	〃	３０
24	〃　②	〃　②	〃	３０
25	〃　③	〃　③	〃	３０
26	私の楽しみ	趣味について話す	〃	３０
27	できる事①	能力について話す	〃	３０
28	〃　②	できない事について話す	〃	３０
29	〃　③	感想について話す	〃	３０
30	まとめ	エッセイをまとめて、大きな話にする		

【テキスト】　「NEJ　テーマで学ぶ基礎日本語 Vol.１」（くろしお出版）

【参考書・参考資料等】　なし

【成績評価基準・方法】　出席状況及び受講態度（20%）、コース期間中のエッセイ（30%）、試験（50%）により、総合的な評価を行う。

教科番号	0159	授業科目：コミュニケーション技術Ⅰ（ Communication Technology Ⅰ ）
開講時期	前期	（ 全 ）学科（1）年（1）単位　担当者：全学科教員

【授業の到達目標】

・コミュニケーション技術の基礎的・基本的な技術や能力を養う

【授業の概要】

コミュニケーション技術とは、読み、書き、話し、聴くといった言葉を媒介にした基本的行為を効果的に行うための技術である。

自分の思っていることを誤解なく相手に伝えたり、相手の話を正確に理解するために不可欠なコミュニケーション技術は、大学生活における人間関係を円満にするための技術でもあり、勉学に勤しむ学生が磨いておくべき大切なスキルである。

コミュニケーション技術Ⅰでは、コミュニケーション技術の基礎的・基本的な技術や能力を養うことを主眼とする。

また、アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	オリエンテーション	講義の目的、進め方の説明、自己紹介で自分の論理力を知る。基本的な表現のルール、原稿用紙の使い方ができる。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	論理力を高める（1）	「まず論理、そして説明」のクセをつける。「5WIH」を説明する。新聞を丹念に読む。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
3	論理力を高める（2）	作文し、音読する。「自分情報」を整理する。「外部情報」を整理する。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
4	表現力を高める（1）	「結起承転結」を身につける。 「話の４要素」を理解する。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	表現力を高める（2）	「センテンス」を短くする。自然なイントネーションで聴きやすい話しができる。ロールプレイングを行う。	資料を読みまとめる。 ロールプレイングの内容をまとめて復習する。	６０ ６０
6	理解力を高める（1）	効果的な３つの「間」のサインができる。 「聴いてますよ」というサインが出せる。ロールプレイングを行う。	資料を読みまとめる。 ロールプレイングの内容をまとめて復習する。	６０ ６０
7	理解力を高める（2）	質問することを前提に聴くことができる。メモを取りながら聴くことができる。グループ討議を行う。	発表用の原稿を作成する。 グループ討議の内容をまとめて復習する。	１２０ ６０
8	対応力・応用力を高める	１回から７回までに学んだことを自分なりにまとめて発表する。プレゼンテーションを行う。	発表用の原稿を作成する。 発表の内容等をまとめて復習する。	１２０ ６０

【テキスト】

プリント、資料、その他

【参考書・参考資料等】

「社会人として必要な「聞く力・話す力」の高め方」高梨敬一郎著　こう書房

【学生に対する評価】

ノート取得状況、発表態度、授業態度等（70%）、レポート（30%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0160	授業科目：コミュニケーション技術Ⅱ（ Communication Technology Ⅱ ）
開講時期	後期	（ 全 ）学科（3）年（1）単位　担当者：全学科教員

【授業の到達目標】

・コミュニケーション技術の応用力を培い、実践的な技術や能力を養う.

【授業の概要】

コミュニケーション技術とは、読み、書き、話し、聴くといった言葉を媒介にした基本的行為を効果的に行うための技術である。

自分の思っていることを誤解なく相手に伝えたり、相手の話を正確に理解するために不可欠なコミュニケーション技術は、大学生活における人間関係を円満にするための技術でもあり、勉学に勤しむ学生が磨いておくべき大切なスキルである。

コミュニケーション技術Ⅱでは、来るべき就職活動に備え、コミュニケーション技術の応用力を培い、実践的な技術や能力を養うことを主眼とする。

また、アクティブラーニングについても積極的に取り入れて実施していく。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	オリエンテーション	講義の目的、進め方の説明 自己紹介文を書き、自己紹介をする。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	書く力を高める（1）	就職試験の小論文・作文の書き方（1） 「将来の夢」を書き、自分をアピールする。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
3	書く力を高める（2）	就職試験の小論文・作文の書き方（2） 志望理由、就職作文を書く。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
4	書く力を高める（3）	履歴書の書き方を身につける。 就職観を書き、発表・意見交換をする。	資料を読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	聞く力・話す力を高める（1）	面接試験の受け方（1）「何を聞かれているか」、質問の趣旨を見極める。 ロールプレイングを行う。	資料を読みまとめる。 ロールプレイングの内容をまとめて復習する。	６０ ６０
6	聞く力・話す力を高める（2）	面接試験の受け方（2）想定問答を用意しておく。 ロールプレイングを行う。	資料を読みまとめる。 ロールプレイングの内容をまとめて復習する。	６０ ６０
7	実践力を高める（1）	模擬面接試験（1） グループ討議で反省点を話し合う。	発表用の原稿を作成する。 グループ討議の内容をまとめて復習する。	１２０ ６０
8	実践力を高める（2）	模擬面接試験（2） グループ討議で反省点を話し合う。	発表用の原稿を作成する。 グループ討議の内容をまとめて復習する。	１２０ ６０

【テキスト】

プリント、資料、その他

【参考書・参考資料等】

「社会人として必要な「聞く力・話す力」の高め方」高梨敬一郎著　こう書房

【学生に対する評価】

ノート取得状況、発表態度、授業態度等（70%）、レポート（30%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0917	授業科目：インターンシップ（事前指導） (Basic Training for Internship (Early guidance))
開催時期	前期	（ 全 ）学科（2）年（1）単位　担当者：　竹下　俊一

【授業の到達目標】

・仕事に対する興味・関心・学習意欲を高め、ビジネスマナーや職業意識を身につけることができる。
次年度以降の実体験に向けたガイダンスを行う。

【授業の概要】

「インターンシップ」は学生の職業観・就業意識の高い人材を育成することをねらいとしているもので、学生は就業体験を通して社会や企業の実情を知ることにより仕事に対する興味・関心・学習意欲を高め、自立心を向上させ、ビジネスマナーや職業意識を身につけることができる。ここでは、企業活動・企業の組織、組織の中での業務分担・人間関係などについて学び、併せて、就職活動に資する各種指導を行う。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	望ましいインターンシップ	体験の意義についてのオリエンテーション	シラバスを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	企業活動と組織（1）	企業活動と組織体制　組織人のあり方	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
3	企業活動と組織（2）	履歴書・自己紹介についての心得	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
4	企業活動と組織（3）	小論文とテーマ設定についての心得	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	企業活動と組織（4）	望ましい企業人になるためには　企業人の心得	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
6	企業活動とコミュニケーション（1）	受け入れ先企業の選定　研修テーマ設定　職種、時期、期間等	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
7	企業とコミュニケーション（2）	自己紹介と企業マッチング	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
8	企業活動とコミュニケーション（3）	企業活動におけるコミュニケーションの仕方（連絡、交渉）	シラバスを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
9	専門的業務への参加（1）	専門的業務の学習及び具体的な実施に向けてのガイダンス	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
10	専門的業務への参加（2）	専門的業務の学習（企業事前研究　事前指導）	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
11	専門的業務への参加（3）	マナー講習会　インターンシップの実際	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
12	報告書の書き方（1）	報告書作成についての実習	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	６０ ６０
13	報告書の書き方（2）	報告書作成についての実習	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
14	報告書の書き方（3）	報告会プレゼン資料作成についての実習	プリントを読みまとめる。 授業の内容を復習する。	３０ ６０
15	報告会参加発表	就業体験の報告書提出と報告会	発表用のレポートを作成する。 プレゼンテーションの内容をまとめる。	１２０ ６０

【テキスト】　プリント（インターンシップの手引）

【参考書・参考資料等】　インターンシップ報告資料等

【成績評価基準・方法】

ノート取得状況&受講態度（50%）、レポート（50%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0920	授業科目：インターンシップ　(Internship)
開講時期	集中	（　全　）学科（1～4）年（2）単位　　担当者：竹下　俊一

【授業の到達目標】

企業での就業体験を通して、コミュニケーションの重要性と社会性を学び、さらに実務遂行のために必要不可欠な基礎知識を習得させるとともに将来の進路決定に役立てることができるようにする。

【授業の概要】

大学における学問的知識は、社会に出てからの企業における業務遂行のための基礎的および専門的知識を与えるものである。しかし、大学における講義だけでは実際の企業における業務遂行の実践的感覚を養うことは難しい。そこで、地元企業或いは学生の出身地における企業に学生を派遣し、実務を行わせることによって、実務遂行過程の複雑さ、より高度な専門知識の必要性、コミュニケーションの重要性、責任感や達成時の満足感等の実践的な経験を積ませる。

【授業要旨】

題目と授業内容

○　事前指導：インターンシップの具体的な活動内容等についての確認を行う。
また、「インターンシップ計画書」と「インターンシップ報告書」並びに活動中の障害保険についての説明を行う。

○　活　　動：インターンシップに参加する。
・企業での就業体験活動
・専門的業務への参加

○　活動期間：主に長期休暇期間に行う。

○　活動時間：１日の活動時間は６～８時間とする。

○　修得単位：６０時間以上の活動に対して２単位を与える。

○　事後指導：「インターンシップ報告書」の提出

【テキスト】

資料プリント

【参考書・参考資料等】

な　し

【学生に対する評価の方法】

インターンシップ報告書、企業の評価等を総合的に評価する。

教科番号	0927	授業科目：地域企業インターンシップ（Local Company Internship）
開講時期	集中	（ 全 ）学科（2～3）年（2）単位　　担当者： 竹下　俊一

【授業の到達目標】

鹿児島県内の企業での就業体験を通して、地域企業に対する理解を深めるとともに、実際の企業における業務遂行の実践的感覚を養うことができる。

また、コミュニケーションの重要性と社会性を学び、さらに実務遂行のために必要不可欠な基礎知識を習得させるとともに将来の進路決定に役立てることができる。

【授業の概要】

大学における学問的知識は、社会に出てからの企業における業務遂行のための基礎的および専門的知識を与えるものである。しかし、大学における講義だけでは実際の企業における業務遂行の実践的感覚を養うことは難しい。そこで、地元企業或いは学生の出身地における企業に学生を派遣し、実務遂行過程の実際を学ぶことで、より高度な専門知識の必要性やコミュニケーションの重要性、仕事に対する責任感や達成感等を実践的な経験を通して学ぶ。

【授業要旨】

回数	題　　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	ガイダンス①	鹿児島県内の企業についての紹介と説明	希望する企業について、自ら情報を集め内容をまとめる。	６０
2	ガイダンス②	計画書、報告書、契約書、傷害保険等の記入説明	就業体験企業の選択・決定 書類等の記入と確認	９０
3 ～ 28	就業体験活動	・５日間以上の体験活動 ・企業での就業体験活動 ・専門的業務への参加 ・業務遂行の実践的感覚の修得 ・実践的技術感覚の修得	・就業体験活動において、気付いたことをまとめる。 ・不明な点や疑問点を尋ねてノートにまとめる。	９０ × ５日 ＝ ４５０
29	報告会参加発表	就業体験の報告書提出と報告会での発表	発表用のレポートを作成する。 プレゼンテーションの内容をまとめる。	９０ ６０
30				

【テキスト】

資料プリント

【参考書・参考資料等】

な　し

【成績評価基準・方法】

インターンシップ報告書、企業の評価等を総合的に評価する。

教科番号	0925	授業科目：地域社会貢献活動（ Community charitable activity）
開催時期	集中	（ 全 ）学科（1～4）年（2）単位　　担当者：　竹下　俊一

【授業の到達目標】

地域社会貢献活動とは、学生が自発的に災害復興支援並びに社会福祉や非営利組織の各種イベント等での支援活動などに参加し、社会に貢献する活動を実際に体験することである。そして、そこでの体験を通して、社会に貢献することの大切さや奉仕の精神や意義を学び社会連帯についての認識を深めさせる。

【授業の概要】

災害復興支援並びに社会福祉や非営利組織の各種イベント等での支援活動などに参加して、社会での実践力や企画力を養うとともに自分の職業適性や将来計画を考える機会とする。さらに、地域社会貢献活動を通して自発性、協力、共生、相互貢献等を理解する。

【授業要旨】

題　目　と　授　業　内　容

○　事前指導：地域社会貢献活動の具体的な活動内容等についての確認を行う。
また、「地域社会貢献活動計画書」と「地域社会貢献活動報告書」並びに活動中の障害保険についての説明を行う。

○　活　　動：地域社会貢献活動に参加する。
・災害復興支援等のボランティア活動
・社会福祉団体や非営利組織の各種イベント等の支援活動

○　活動期間：主に長期休暇期間に行う。

○　活動時間：１日の活動時間は６時間とし、１時間の活動に対して１ポイントを与える。

○　修得単位：６０ポイント以上で２単位とする。

○　事後指導：「地域社会貢献活動報告書」の提出

【テキスト】

プリント（地域社会貢献活動の手引）

【参考書・参考資料等】

地域社会貢献活動報告資料等

【成績評価基準・方法】

地域社会貢献活動報告書とレポート等を総合的に評価する。

教科番号	0928	授業科目：地域貢献演習（Regional Contribution Seminar）
開講時期	集中	（全）学科　（1～2）学年　（2）単位　　担当者：竹下　俊一

【授業の到達目標】
・地域の課題や魅力を自ら発見することができる
・現地調査の結果を適切にまとめ、具体的な解決策等を提示することができる
・地域の持続可能な発展を考える視点や発想を涵養する

【授業の概要】
鹿児島県内の地域の方々と協働し、大学で学んだ専門性を活かした地域おこしや地域活性化に取り組み、地域に対する理解と愛着を深め、取り組んだ活動の地域貢献度を評価する実践に即したプロジェクト演習とする。
また、本科目では、調査によって地域の課題や魅力を受講生自ら発見し、解決策や活用策を立案・実施したのちにその経緯や成果を公表するというプロセスを実体験することで、将来的に一市民として地域活性化に貢献しうる視点や発想の涵養を目指す。開講時期については受講希望者数や対象地の受け入れ状況に応じて変更される可能性もある。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	ガイダンス	地域貢献演習についての説明	演習の概要、社会情勢、背景の理解についてまとめる。	６０
2 ～ 10	①調　査	・地域の理解・ニーズの把握 課題の抽出と対応策の提案 ・地域住民との交流を通しての地域理解の深化	グループによる現地調査を通じた地域理解やニーズの把握についてまとめる。	１２０
11 ～ 19	②立　案	・解決策についてのグループ討議 ・KJ 法によるグループ学習	・調査結果のとりまとめをする。 ・グループディスカッションによる解決策をまとめる。 ・活用策や地域の将来的なビジョン等の立案を考える。	１２０
20 ～ 28	③実　施	・地域の理解・ニーズの把握 ・課題の抽出と対応策の提案	・立案した解決策の実施についてまとめる。	１２０
29	④発　表	・成果発表	・発表のための資料を作成する。 ・演習対象地域に向けて成果を発表する	９０
30				９０

【テキスト】
課題に応じて適宜配布

【参考書・参考資料等】
課題に応じて適宜配布

【成績評価基準・方法】
③　課題への取り組み、②成果のとりまとめと提案・発表内容を総合的に評価

教科番号	0918	授業科目：　就業力演習（キャリア教育）
開講時期	前期	（全）学科（3）年（2）単位　担当者：　切手純孝、福永知哉、知念　潔、

【授業の到達目標】

将来の進路を決定するためには、自分の性格や興味・関心、自分は何に向いているのかという適性を、きちんと把握しておくことが必要である。そのために、最新の就職情報や適性検査等を通して自己理解を深める。

また、就職試験等を受けるのに必要な学力の向上、面接試験等を受ける際のコミュニケーション力の向上などを図ることを目的とする。

【授業の概要】

人が働く際には、能力、興味・関心、価値観の３つを軸に考え、職業を選択することが大切であると言われている。そこで授業を通して、自分の性格や興味・関心などの適性を把握し、さらにコミュニケーション力を高めるために演習も実施する。

【授業要旨】

回数	題　　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	就職情報	オリエンテーション、最新の就職情報と検索の仕方、	シラバスを読で準備をする。 資料を基に授業の内容を復習する。	３０ ６０
2	就職試験の傾向と対策　1	言語的な常識問題（国語、社会）と演習・解説	テキストを読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	３０ ６０
3	就職試験の傾向と対策　2	数理的な常識問題（数学、理科）と演習・解説	テキストを読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	３０ ６０
4	就職試験の傾向と対策　3	時事問題と言語的な常識問題の演習・解説	テキストを読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	３０ ６０
5	ＳＰＩ　　1	就職試験問題の傾向と対策、言語能力の問題演習と解説	テキストと資料を読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	６０ ６０
6	ＳＰＩ　　2	就職試験問題の傾向と対策、数理能力の問題演習と解説	テキストを読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	６０ ６０
7	就職試験の傾向と対策　4	数理的な常識問題（数学、理科）と演習・解説	テキストを読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	３０ ６０
8	就職試験の傾向と対策のまとめ　1	１～７までのまとめと小テストを実施し、その解答と解説	小テストの準備をする。 資料を基に授業の内容を復習する。	１２０ ６０
9	適性検査　1	適性検査の実施方法と解説、	テキストと資料を読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	３０ ６０
10	就職試験の傾向と対策　5	数理的な常識問題（数学、理科）と演習・解説	テキストと資料を読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	３０ ６０
11	適性検査　2	適性検査の結果と解説、適性と職業との関連	テキストと資料を読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	３０ ６０
12	就職試験の傾向と対策　6	言語的な常識問題（国語、社会）と演習・解説	テキストを読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	３０ ６０
13	マナー教室	面接試験における礼儀作法と敬語の基本（実技演習を含む）	面接試験の事前準備につて調べる。 資料を基に授業の内容を復習する。	１２０ ６０
14	就職試験の傾向と対策　7	数理的な常識問題（数学、理科）と演習・解説	テキストと資料を読みまとめる。 資料を基に授業の内容を復習する。	３０ ６０
15	就職試験の傾向と対策のまとめ　2	ＳＰＩ全国模試と全国的な就職試験の傾向と対策	ＳＰＩのまとめと復習問題をする。 ９～１４の整理とまとめをする。	１２０ １２０

【テキスト】　ＳＰＩ対策問題集　就職情報研究会　編　実務教育出版、　プリントと資料

【参考書・参考資料等】　　なし

【成績評価基準・方法】　　ノート取得状況＆レポート（30%）、小テスト（10%）、試験（60%）で総合的な評価を行う。

教科番号	0934	授業科目：ベンチャービジネス論（Theory of Venture Business）
開講時期	前期	（全）学科（3）年（2）単位　　担当者：當金　一郎

【授業の到達目標】
　ベンチャー企業とは何かを理解させるとともに、その実践において何が重要なのかを見取って理解する。
特にこれまでに無い新しいビジネスを始める時には、事業計画をしっかりたてると共に、その「利益を生み出すビジネスモデル」を確立しなければ、事業資金が得られないことを理解させる。

【授業の概要】
　本講義ではベンチャー企業を興し、持続的に経営し、さらに発展させるためにはどうしたらよいかを論ずる。
実際にはベンチャー企業を興すこともそうであるが、これをつぶさないように運営していくことはかなり難しい。
更にマスコミ等で取り上げられるように、ある程度の規模の企業に発展させていくのは実際には運の部分が大きく左右する。　それはなぜか、過去の日本や海外において大きく発展して企業の事例を題材として考察する。
特に重要なのはビジネスモデルと事業計画であるので、これについても講義を行う。
各授業の最後に課題を出して、その回の授業で学んだ内容についてのレポートを書かせると共に、次回の講義内容のあらましを伝えるので、Moodle に置いてある資料を基にインターネット等で十分に調べたうえで講義に臨むように。

【授業要旨】

回数	題　目	授　業　内　容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	企業とは何か	企業の存在理由、「企業」概念の歴史的変遷	Moodle にある資料で事前に学習する。 出された課題に対してﾚﾎﾟｰﾄを作成する。	６０ １２０
2	ﾍﾞﾝﾁｬｰとは何か	ｱﾒﾘｶ及び日本におけるﾍﾞﾝﾁｬｰの定義、ｱﾒﾘｶ・台湾・日本のﾍﾞﾝﾁｬｰ企業	Moodle にある資料で事前に学習する。 出された課題に対してﾚﾎﾟｰﾄを作成する。	６０ １２０
3	日米ﾍﾞﾝﾁｬｰ比較（1）	ｱﾒﾘｶにおけるﾍﾞﾝﾁｬｰの位置づけ、ﾍﾞﾝﾁｬｰ支援体制、ﾍﾞﾝﾁｬｰ発展の歴史	Moodle にある資料で事前に学習する。 出された課題に対してﾚﾎﾟｰﾄを作成する。	１２０ ９０
4	日米ﾍﾞﾝﾁｬｰ比較（2）	日本におけるﾍﾞﾝﾁｬの位置づけ、ﾍﾞﾝﾁｬｰ支援体制、ﾍﾞﾝﾁｬｰ発展の歴史	Moodle にある資料で事前に学習する。 出された課題に対してﾚﾎﾟｰﾄを作成する。	９０ １５０
5	アジアのﾍﾞﾝﾁｬｰ事情	台湾、香港、中国、韓国等における経済状況とﾍﾞﾝﾁｬｰ企業の実際	Moodle にある資料で事前に学習する。 出された課題に対してﾚﾎﾟｰﾄを作成する。	９０ １５０
6	ﾍﾞﾝﾁｬｰの要因分析	ﾍﾞﾝﾁｬｰ企業の成功事例と失敗事例、成功要因・失敗要因の分析	Moodle にある資料で事前に学習する。 出された課題に対してﾚﾎﾟｰﾄを作成する。	９０ １５０
7	１～６のまとめ	小テスト①、これまでの内容を基にﾍﾞﾝﾁｬｰﾋﾞｼﾞﾈｽについて議論する。	小テストの準備 ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝの内容を纏め Moodle へｱｯﾌﾟ	１５０ １８０
8	ﾍﾞﾝﾁｬｰの経営理念	経営理念の必要性、複数のﾍﾞﾝﾁｬｰ企業の経営理念の紹介	Moodle にある資料で事前に学習する。 出された課題に対してﾚﾎﾟｰﾄを作成する。	９０ １５０
9	ﾍﾞﾝﾁｬｰの経営戦略	経営戦略とは何か、発展戦略・競争戦略・変化対応戦略とは何か	ﾃｷｽﾄ pp. 67－81 を事前に読んでくる。 章末の演習問題を解いてくる。	９０ １５０
10	ﾋﾞｼﾞﾈｽﾓﾃﾞﾙとは	ﾋﾞｼﾞﾈｽﾓﾃﾞﾙの必要性、ﾋﾞｼﾞﾈｽﾓﾃﾞﾙと経営理念・経営戦略の関連性	ﾃｷｽﾄ pp.82－94 を事前に読んでくる。 章末の演習問題を解いてくる。	９０ １５０
11	ﾋﾞｼﾞﾈｽﾓﾃﾞﾙ（1）	ｱﾒﾘｶの複数の企業のﾋﾞｼﾞﾈｽﾓﾃﾞﾙを紹介	ﾃｷｽﾄ pp.95－112 を事前に読んでくる。 章末の演習問題を解いてくる。	９０ １５０
12	ﾋﾞｼﾞﾈｽﾓﾃﾞﾙ（2）	日本の複数の企業のﾋﾞｼﾞﾈｽﾓﾃﾞﾙを紹介	ﾃｷｽﾄ pp.113－128 を事前に読んでくる。 章末の演習問題を解いてくる。	９０ １５０
13	ﾍﾞﾝﾁｬｰ実践事例（1）	日本におけるﾍﾞﾝﾁｬｰ実践の事例を紹介する	ﾃｷｽﾄ pp.140－174 を事前に読んでくる。 章末の演習問題を解いてくる。	９０ １５０
14	ﾍﾞﾝﾁｬｰ実践事例（2）	アメリカにおけるﾍﾞﾝﾁｬｰ実践の事例を紹介する	ﾃｷｽﾄ pp.175－193 を事前に読んでくる。 章末の演習問題を解いてくる。	９０ １５０
15	総まとめ	小テスト②、学習内容を基に再度ﾍﾞﾝﾁｬｰﾋﾞｼﾞﾈｽについて議論する。	小テストの準備 ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝの内容を纏め moodle へｱｯﾌﾟ	１５０ １８０

【テキスト】「起業学の基礎～アントレプレナーシップとは何か～」　高橋徳行　著、勁草書房

【参考書・参考資料等】

【学生に対する評価の方法】　ノート取得状況&受講態度（30%）、小テスト&毎回出す課題へのレポート提出状況（30%）、最終テスト（40%）で総合的な評価を行う。